

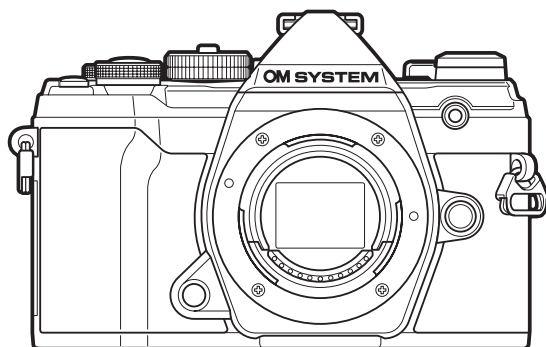


デジタルカメラ

OM SYSTEM

OM-5

取扱説明書



トラブルで困ったときや
最新情報はこちら

JP

Model No. : IM030

■デジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。

■「安全にお使いいただくために」は、製品をご使用になる前によくお読みください。またお読みになったあとも、必ず保管してください。

■ご使用前に付属の取扱説明書 基本編とこの取扱説明書をよくお読みになり、大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。





■取扱説明書で使用している画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。



■カメラのファームアップにより機能の追加・変更があった場合、記載内容が異なります。最新情報は当社ホームページをご確認ください。

もくじ

はじめに	14
はじめにご確認ください.....	14
ユーザー登録について.....	14
ソフトウェア/アプリケーションのインストール.....	15
本取扱説明書について.....	16
知りたいことの検索方法.....	16
本書の表記について.....	17
各部の名称.....	18
準備する	20
カメラと付属品を確認する.....	20
ストラップを取り付ける.....	21
電池を入れる/取り出す.....	22
電池を入れる.....	22
電池を取り出す.....	23
付属の USB-AC アダプターで電池を充電する.....	24
別売の充電器 (BCS-5) で電池を充電する.....	26
カードを入れる/取り出す.....	27
カードを入れる.....	27
カードを取り出す.....	28
カードについて.....	28
レンズを取り付ける/取り外す.....	29
レンズを取り付ける.....	29
レンズを取り外す.....	30
モニターを操作する.....	31
電源を入れる.....	32
カメラのスリープ動作について.....	33
初期設定をする.....	34
言語の表示がおかしい/設定した言語が表示されないときは.....	36
撮影する	37
撮影時の情報表示.....	37

表示の切り換え.....	40
情報表示を切り換える.....	41
静止画を撮る.....	43
撮影モードの種類.....	43
タッチパネルを使って撮る.....	46
絞り値とシャッター速度を自動で設定して撮影する (P プログラム撮影)	48
プログラムシフトについて.....	50
絞りを決めて撮影する (A 絞り優先撮影)	51
シャッター速度を決めて撮影する (S シャッター優先撮影)	53
絞りとシャッター速度を自分で決めて撮影する (M マニュアル撮影)	55
M モード時の露出補正について.....	57
長秒時撮影を行う (B BULB/TIME 撮影)	58
バルブ撮影/タイム撮影の設定方法.....	58
比較明合成撮影を行う (B ライブコンポジット撮影)	62
カメラまかせで撮影する (オートモード)	64
シーンモードを使う (SCN モード)	66
シーンモードの種類.....	67
パノラマ写真を撮影する.....	70
アートフィルターを使う (ART モード)	72
アートフィルターの種類.....	73
[パートカラー] で撮影する.....	75
任意の設定をモードダイヤルに登録する (C カスタムモード)	76
残しておきたい設定内容を登録する (カスタム登録)	76
カスタムモードを使う (C カスタムモード)	78
ムービーを撮る.....	81
静止画撮影時にムービーを撮る.....	81
ムービーモードを使って撮る (📹)	82
タッチ操作で設定する (静音操作)	83
撮影機能を設定する.....	85
撮影機能の設定操作方法.....	85
ダイレクトボタンで設定する.....	86


















ダイレクトボタンで設定できる機能	86
画像の明るさを変えて撮影する（露出補正）	88
露出補正を設定する	89
露出補正をリセットする	89
ピント合わせの範囲を選ぶ（AF ターゲットモード）	90
AF ターゲットモードの種類	90
ピント合わせの位置を自分で決める（AF ターゲット位置）	94
拡大枠 AF / 拡大 AF を使う（スーパースポット AF）	95
感度を変更する（ISO 感度）	97
露出を固定する（AE ロック）	99
連写する / セルフタイマーを使う	100
セルフタイマーの待ち時間や枚数を設定する（  カスタムセルフタイマー）	102
シャッター動作時の振動を防いで撮影する（低振動 [] 撮影）	103
シャッター音を立てずに撮影する（静音 [] 撮影）	104
レリーズタイムラグを防いで撮影する（プロキャプチャー撮影）	105
プロキャプチャー撮影の設定方法	106
より解像度の高い静止画を撮影する（ハイレゾショット撮影）	107
LV スーパーコンパネ / スーパーコンパネで設定する	109
LV スーパーコンパネ / スーパーコンパネについて	109
LV スーパーコンパネ / スーパーコンパネの設定方法	111
LV スーパーコンパネ / スーパーコンパネで設定できる機能	113
感度を変更する（ISO 感度）	115
ピントの合わせ方を設定する（AF 方式）	116
オートフォーカス時にマニュアルフォーカスでピントを調整して撮影する	118
星空 AF で撮影する	119
プリセット MF にピント位置を設定する	120
ピント合わせの範囲や位置を選ぶ（AF ターゲット選択）	121
明るさを測る方法を選ぶ（測光）	122
顔優先 AF / 瞳優先 AF を使う（  顔優先）	123
画像の色合いを調整する（ホワイトバランス）	125
ワンタッチホワイトバランスの設定	127
WB オート電球色残し	128

ホワイトバランスを微調整する（ホワイトバランス補正）	129
手ぶれを抑えて撮影する（手ぶれ補正）	130
連写する／セルフタイマーを使う	133
アスペクト比を設定する	134
静止画撮影で記録する画像サイズを選択する（  画質モード）	135
ムービーの画質を設定する（  画質モード）	137
画質モードの表記について	138
ハイスピードムービーを撮影する	140
スローモーション/クイックモーションムービーを撮影する（スロー/クイック撮影）	142
フラッシュを使って撮影する（フラッシュ撮影）	143
外部フラッシュを取り付ける	143
外部フラッシュを取り外す	144
発光モードを設定する（フラッシュ）	145
フラッシュ発光モード	146
フラッシュ発光モードとシャッター速度	147
フラッシュの発光量を調節する（フラッシュ発光量補正）	149
画像の仕上がりを設定する（ピクチャーモード）	150
ピクチャーモードの種類	150
画像全体の色味を調整する（カラークリエーター）	153
鮮鋭さを微調整する（シャープネス）	154
明暗の差を微調整する（コントラスト）	155
色の鮮やかさを微調整する（彩度）	156
階調を微調整する（階調）	157
モノトーンにフィルター効果をつける（フィルター効果）	158
モノトーンの調色をする（調色）	159
i-Finish の効果を調整する（効果）	160
色の再現方式を設定する（色空間）	161
ハイライト部／シャドウ部の明るさを変えて撮影する（ハイライト&シャドウコントロール）	162
ボタンの機能を変える（ボタン機能）	163
カスタマイズできるボタンと初期設定	163
ボタンに割り当てられる機能と働き	165
マルチファンクションを使う（マルチ Fn）	172

撮影しながら被写体を拡大して撮影する（ムービーテレコン）	173
再生する	175
再生時の情報表示	175
再生画像情報	175
情報表示を切り換える	177
撮った画像／ムービーを見る	178
静止画を見る	178
ムービーを見る	179
画像をすばやく探す（インデックス再生／カレンダー再生）	181
画像を拡大して見る（クローズアップ再生）	182
画像を回転する（回転）	183
画像を保護する（プロテクト）	184
画像を消去する（1コマ消去）	185
画像の転送予約をする（シェア予約）	186
RAW+JPEG で記録した画像をシェア予約する	186
複数の画像を一括で処理する（選択コマシェア予約・プロテクト・選択コマ消去）	188
プリント予約（DPOF）	189
プリント予約する	189
プリント予約を選択して解除する／すべて解除する	190
記録した画像に音声をつける（録音）	192
音声を再生する	193
タッチパネルを使って見る	194
1コマ再生で使う	194
インデックス再生／カレンダー再生で使う	195
その他の機能	195
メニューの機能	196
メニューの基本操作	196
撮影メニュー 1／撮影メニュー 2 を使う	199
撮影メニュー 1／撮影メニュー 2 の機能	199
カメラの設定を初期状態に戻す（リセット）	200
残しておきたい設定内容を登録する（カスタム登録）	201
画像の仕上がりを設定する（ピクチャーモード）	202

静止画撮影で記録する画像サイズを選択する (📷 画質モード)	203
被写体を拡大して記録する (デジタルテレコン)	204
一定時間ごとに自動的に撮影する (インターバル撮影設定)	205
ハイレゾショット撮影の設定をする (ハイレゾショット)	208
明るい環境下でスローシャッター撮影をする (ライブ ND 撮影)	209
条件を少しずつ変化させて撮影する (ブラケット撮影)	212
ブラケット撮影を設定する	217
HDR (ハイダイナミックレンジ) 撮影をする (HDR 撮影)	220
複数の画像を重ね合わせて撮影する (多重露出撮影)	223
台形補正をする / 遠近感を強調する (デジタルシフト撮影)	226
低振動撮影 / 静音撮影を設定する (低振動 [👊] / 静音 [🔇] 撮影)	228
動画メニューを使う	229
動画メニューの機能	229
静止画撮影の効果を使って撮影する (📷 モード (ムービー露出モード))	234
LED 照明による明るさのちらつきを抑えて撮影する (📷 フリッカーキャン)	236
ムービーの画質を設定する (📷 画質モード)	238
フロント / リアダイヤルの機能を変える (📷 ダイヤル機能)	240
録音の設定をする (ムービー録音)	242
再生メニューを使う	244
再生メニューの機能	244
縦位置で撮影した画像を自動で回転表示する (回転再生)	245
撮影した画像を加工する (編集)	246
RAW 画像を編集する (RAW 編集)	246
JPEG 画像を加工する (JPEG 編集)	249
画像を合成する (画像合成)	252
ムービーから静止画を作る (静止画切り出し)	253
ムービーをトリミングする (トリミング)	254
全てのプロテクトを解除する (全プロテクト解除)	255
全ての転送予約を解除する (全シェア予約解除)	256
セットアップメニューを使う	257
セットアップメニューの機能	257
カードを初期化する (カードセットアップ)	259

全コマを消去する (カードセットアップ)	260
マイメニューを使う	261
マイメニューについて.....	261
マイメニューの登録方法.....	261
マイメニューの内容を整理する.....	263
カスタムメニューを使う	264
カスタムメニューの機能.....	264
A1 A2 A3 A4 AF/MF.....	265
A1 AF/MF.....	265
A2 AF/MF.....	266
A3 AF/MF.....	267
A4 AF/MF.....	268
B ボタン/ダイヤル.....	269
B ボタン/ダイヤル.....	269
C1 C2 レリーズ/連写/手ぶれ補正.....	270
C1 レリーズ/連写/手ぶれ補正.....	270
C2 レリーズ/連写/手ぶれ補正.....	270
D1 D2 D3 D4 表示/音/接続.....	272
D1 表示/音/接続.....	272
D2 表示/音/接続.....	273
D3 表示/音/接続.....	274
D4 表示/音/接続.....	275
E1 E2 E3 露出/ISO/BULB/測光.....	277
E1 露出/ISO/BULB/測光.....	277
E2 露出/ISO/BULB/測光.....	278
E3 露出/ISO/BULB/測光.....	279
F フラッシュ.....	280
F フラッシュ.....	280
G 画質/WB/色.....	281
G 画質/WB/色.....	281
H1 H2 記録/消去.....	283
H1 記録/消去.....	283

H2 記録/消去.....	284
I EVF.....	286
I EVF.....	286
J1 J2 その他.....	288
J1 その他.....	288
J2 その他.....	289
AF と MF を併用する ( AF+MF)	290
AEL/AFL ボタンを使ってピント合わせや測光を行う ( AEL/AFL モード)	291
C-AF 動作時のピント合わせの感度を設定する ( C-AF 追従感度)	294
C-AF 動作時のピント合わせ開始位置を設定する ( C-AF 中央スタート)	295
C-AF 動作時に中央優先でピント合わせをする ( C-AF 中央優先)	296
AF 機能のホームポジションを設定する ( Home 登録)	297
AF ターゲット選択設定時の操作方法を設定する ( 選択画面設定)	299
AF ターゲットの循環方法を設定する ( 循環設定)	300
AF ターゲットをカスタマイズする ( ターゲットモード設定)	301
AF ターゲットの設定を横位置/縦位置で変える (  縦位置/横位置切換)	302
オートフォーカス時のレンズの動作範囲を設定する (AF リミッター)	303
AF によるピント位置を微調整する (AF 微調節)	304
登録情報を削除する.....	306
登録された調整値を使う.....	307
マニュアルフォーカス時にピント合わせを補助する (MF アシスト)	308
ピントを操作しながら撮影する (BULB/TIME 中 MF)	309
フロント/リアダイヤルの機能を変える ( ダイヤル機能)	310
Fn レバーの機能を変える ( Fn レバー機能)	312
連写時の速度や枚数の上限を設定する ( L 設定 /  H 設定)	313
蛍光灯による明るさのちらつきを抑えて撮影する (フリッカー低減)	316
撮影時の画面表示のちらつきを抑える (フリッカーレス LV)	316
シャッターが切れるタイミングを設定する (フリッカーレス撮影)	318
操作画面の表示を選ぶ ( Control 表示)	320
操作画面の表示のしかた.....	321
LV コントロール.....	322
INFO ボタンによる情報表示の設定をする ( /Info 表示設定)	323

▶Info (再生情報表示)	323
▶QInfo (再生拡大情報表示)	324
LV-Info (撮影情報表示)	324
LV OFF-Info (撮影情報表示)	324
☒表示 (インデックス/カレンダー表示)	325
画像再生時の拡大倍率を設定する (再生拡大倍率設定)	326
自分撮りに合わせた表示をする (自分撮りアシスト)	327
カメラの画像をテレビで見る (HDMI)	328
USB ケーブル接続時の動作を設定する (USB 接続モード)	330
ライブバルブ撮影時の表示の更新時間を設定する (ライブ BULB 設定)	331
ライブタイム撮影時の表示の更新時間を設定する (ライブ TIME 設定)	332
コンポジット撮影時のシャッター速度を設定する (コンポジット撮影設定)	333
LED 照明による明るさのちらつきを抑えて撮影する (📷フリッカースキャン)	334
露出の基準を微調整する (露出基準調整)	336
フラッシュ発光時のシャッター速度 (⚡同調速度/⚡低速制限)	337
JPEG の画像サイズと圧縮率の組み合わせ (画質設定)	338
レンズ情報を登録する (レンズ情報登録)	339
ファインダー内表示のスタイルを選ぶ (EVF 表示スタイル)	340
ファインダー撮影時のファインダー内表示 (スタイル 1/スタイル 2)	341
ファインダーの情報表示を設定する (☒Info 表示設定)	342
ボタン長押し操作のときの操作時間を設定する (ボタン長押し時間調整)	343
フィッシュアイレンズ使用時の画像の歪みを補正する (フィッシュアイ補正撮影)	344
外部機器と接続する.....	346
外部機器との接続について.....	346
Wi-Fi、Bluetooth®機能をお使いのときのご注意.....	347
カメラの無線通信を停止する.....	348
スマートフォンと接続する.....	349
スマートフォンとの接続について.....	349
スマートフォンとの接続設定をする.....	350
電源オン時の無線接続常時受け付けを設定する.....	352
電源オフ時の無線接続を設定する.....	353
[毎回確認] について.....	354

スマートフォンに画像を転送する.....	355
カメラの電源オフ時に自動で画像を転送する.....	356
スマートフォンからリモート撮影する（ライブビューリモコン）.....	357
スマートフォンからリモート撮影する（ワイヤレスレリーズリモコン）.....	358
画像に位置情報をつける.....	359
無線 LAN/Bluetooth® 設定を初期化する.....	360
パスワードを変更する.....	361
パソコンと接続する.....	362
パソコンに画像を取り込んで保存する.....	362
ソフトウェアのインストール.....	364
カメラを Web カメラとして使用する（WEB カメラ）.....	365
リモコンを使う.....	367
各部の名称.....	367
接続する.....	368
有線で接続する.....	368
無線で接続する.....	368
ペアリングを解除する.....	370
リモコンからリモート撮影する.....	371
リモコンの通信ランプの表示.....	372
リモコンの MAC アドレスについて.....	373
リモコンの使用上のご注意.....	374
外部モニター（テレビ）と接続する（HDMI）.....	375
カメラと外部モニター（テレビ）との接続について.....	375
カメラの画像やムービーをテレビで見る（HDMI）.....	376
HDMI の出力信号を設定する.....	376
カメラをテレビに接続する.....	378
テレビのリモコンで操作する（HDMI コントロール）.....	379
機能と初期設定一覧.....	381
機能と初期設定一覧.....	381
LV コントロール / LV スーパーコンパネ.....	382
📷 撮影メニュー.....	387
🎞️ 動画メニュー.....	391

▶ 再生メニュー.....	395
↑ セットアップメニュー.....	396
✳ カスタムメニュー.....	397
画質設定と記録枚数/記録時間.....	413
静止画撮影枚数.....	413
ムービー総記録時間.....	415
ご注意.....	416
本製品の防塵/防滴性能について.....	416
使用上のご注意.....	416
お手入れ.....	416
電池についてのご注意.....	417
海外での使用について.....	418
資料.....	419
交換レンズについて.....	419
レンズとカメラの組み合わせ.....	419
MF クラッチを搭載したレンズについて.....	420
SET 機能/CALL 機能を搭載しているレンズ装着時のモニター表示.....	421
別売品を使う.....	422
カメラグリップ (ECG-5)	422
専用外部フラッシュ.....	423
ワイヤレス RC フラッシュ撮影.....	424
市販のフラッシュについて.....	428
主なアクセサリについて.....	429
別売品について.....	430
カメラのお手入れと保管.....	434
カメラのお手入れ.....	434
カメラの保管.....	434
撮像素子のクリーニングとチェック.....	435
画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング.....	435
アフターサービス.....	436
こんなときは?.....	437
電池を入れてもカメラが動かない.....	437

言語の設定を促す画面が表示される.....	437
シャッターボタンを押しても撮影ができない.....	437
AF ターゲットの数が少なくなった.....	438
日時設定がされていない.....	439
設定した機能が元に戻ってしまう.....	439
撮影した画像が全体的に白っぽい.....	439
被写体でない明るい点が写り込む.....	439
メニューで選べない機能がある.....	440
スーパーコンパネで設定できない機能がある.....	440
被写体が歪んで写る.....	440
画像にすじが写る.....	440
モニターに被写体のみが表示され、撮影情報が何も表示されない.....	441
MF（マニュアルフォーカス）から変更できない.....	441
モニターに何も表示されない.....	441
エラーコード.....	442
仕様.....	445
カメラ.....	445
リチウムイオン電池.....	449
USB-AC アダプター.....	449
安全にお使いいただくために.....	450
安全にお使いいただくために.....	450
⚠ 危険.....	450
⚠ 警告.....	451
⚠ 注意.....	453
使用上のご注意.....	455
その他のご注意.....	457
機器認定について.....	457
電波障害自主規制について.....	458
商標について.....	458
カメラファイルシステム規格について.....	458

はじめに

はじめにご確認ください

「安全にお使いいただくために」をお読みください

誤った使い方をしたときに生じる人への危害や火災などの財産への損害を未然に防ぐために、製品をご使用になる前に「安全にお使いいただくために」(P.450)をよくお読みください。

カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。お読みになったあとも必ず保管してください。

このカメラを購入した国・地域以外での使用については、その国・地域の規則に違反する恐れがありますので、当社では一切の責任は負えません。

このカメラの無線 LAN、Bluetooth® 機能について

このカメラは、無線 LAN および Bluetooth® 機能を搭載しています。カメラを購入された地域以外での使用については、その国の電波管理規定に違反する恐れがありますので、あらかじめご確認ください。当社では一切の責任は負えません。

使用が禁止されている場所では、無線 LAN および Bluetooth® 機能を停止させてください。🔇 「カメラの無線通信を停止する」(P.348)

ユーザー登録について

お買い求めいただいた製品のユーザー登録をお願いします。ユーザー登録の方法は、当社ホームページをご確認ください。

ソフトウェア／アプリケーションのインストール

OM Workspace

カメラで撮影した静止画やムービーをパソコンに取り込んで、閲覧や編集を行うためのアプリケーションソフトウェアです。カメラのファームウェアのアップデートもできます。ソフトウェアのダウンロードについては当社ホームページをご覧ください。ソフトウェアのダウンロードにはご利用の製品のシリアル No を入力する必要があります。

OM Image Share

カメラでシェア予約した画像をスマートフォンに取り込むことができます。またスマートフォンでカメラをリモート操作し、撮影することができます。アプリケーションについては当社ホームページをご覧ください。

本取扱説明書について

知りたいことの検索方法







本書では、知りたいことを次の方法で検索することができます。

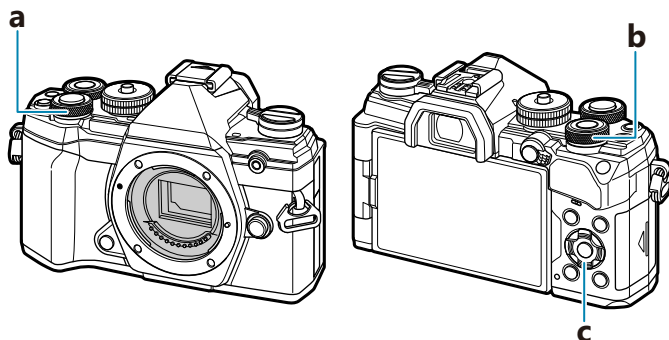
探しかた	場所
やりたいことから探す	 「もくじ」
カメラのボタンや部位から探す	 「各部の名称」(P.18)
画面に表示されるメニューや用語から探す	 「機能と初期設定一覧」(P.381)

本書の表記について

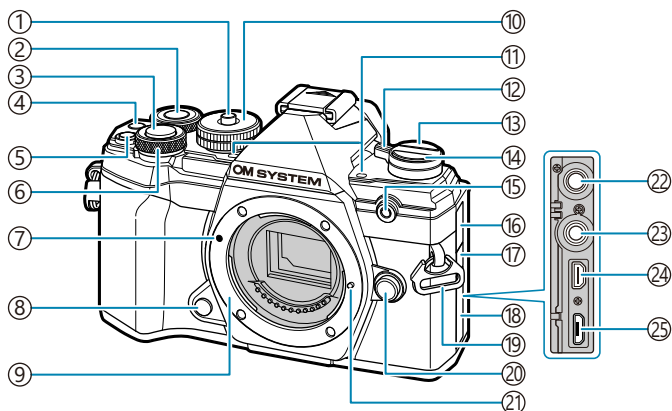
本文中の記号について






本文中、次の表記を使っています。

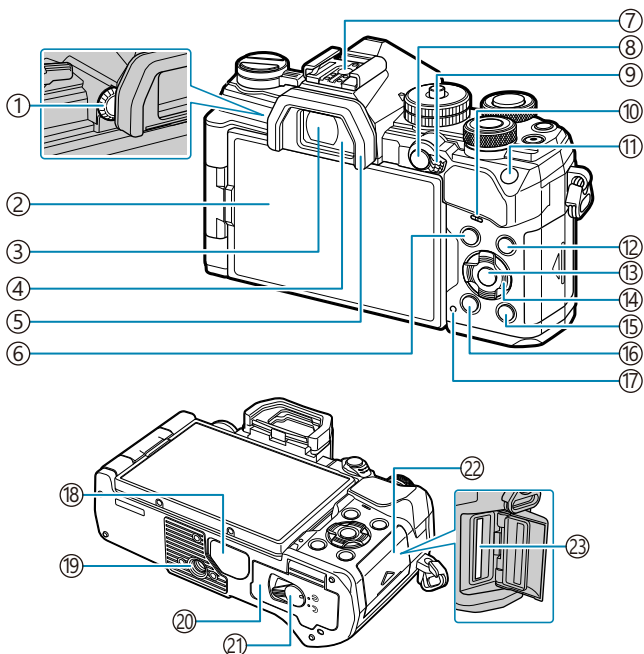
	フロントダイヤル (a) の操作を示しています。
	リアダイヤル (b) の操作を示しています。
	十字ボタン (c) をそれぞれ上下左右に押す操作を示しています。
	注意事項や制約事項を記載しています。
	知っておくと便利なことや役に立つ情報を記載しています。
	関連する情報の参照ページを記載しています。



各部の名称



- ① モードダイヤルロック (P.43)
- ② リアダイヤル (P.178、P.240、P.269、P.310)
- ③ シャッターボタン (P.43)
- ④  (ムービー) /  ボタン (P.81、P.188、P.229、P.269)
- ⑤  (露出補正) ボタン (P.88)
- ⑥ フロントダイヤル (P.178、P.240、P.269、P.310)
- ⑦ レンズ合わせマーク (P.29)
- ⑧ プレビューボタン (P.165)
- ⑨ マウント (ボディキャップを外してからレンズを取り付けます。)
- ⑩ モードダイヤル (P.43)
- ⑪ ステレオマイク (P.192、P.242)
- ⑫ **ON/OFF** レバー (P.22)
- ⑬  (LV) ボタン (P.40)
- ⑭  (連写/セルフタイマー) ボタン (P.100)
- ⑮ セルフタイマーランプ/AF 補助光 (P.100、P.267)
- ⑯ マイク端子カバー
- ⑰ リモートケーブル端子カバー
- ⑱ コネクタカバー
- ⑲ ストラップ取り付け部 (P.21)
- ⑳ レンズ取り外しボタン (P.30)
- ㉑ レンズロックピン
- ㉒ マイク端子 (市販のマイクを接続できます。φ3.5 ステレオミニジャック) (P.242)
- ㉓ リモートケーブル端子 (P.430)
- ㉔ HDMI 端子 (タイプ D) (P.229、P.328)
- ㉕ マイクロ USB コネクタ (P.24、P.362)



- | | |
|--|-------------------------------------|
| ① 視度調整ダイヤル (P.40) | ⑫ INFO ボタン (P.41、P.177) |
| ② モニター (タッチパネル) (P.37、P.40、P.46、
P.175、P.194、P.288) | ⑬ OK ボタン (P.109、P.178、P.196) |
| ③ ファインダー (P.40、P.340) | ⑭ 十字ボタン (P.178) |
| ④ アイセンサー (P.40、P.286) | ⑮ (再生) ボタン (P.178) |
| ⑤ アイカップ (P.429) | ⑯ (消去) ボタン (P.185) |
| ⑥ MENU ボタン (P.196) | ⑰ CHARGE ランプ (P.24) |
| ⑦ ホットシュー (P.143、P.423) | ⑱ 端子カバー |
| ⑧ AEL/AFL / (プロテクト) ボタン (P.99、
P.291、P.184) | ⑳ 電池カバー (P.22) |
| ⑨ Fn レバー (P.229、P.312) | ㉑ 電池カバーロック (P.22) |
| ⑩ スピーカー | ㉒ カードカバー (P.27) |
| ⑪ ISO ボタン (P.97) | ㉓ カードスロット (P.27) |

準備する

カメラと付属品を確認する

お買い上げの商品には、カメラ本体と次の付属品が入っています。
万一、不足していたり、破損していた場合には、お買い上げ販売店までご連絡ください。



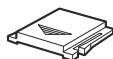
カメラ



ボディキャップ¹



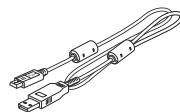
アイカップ EP-15¹



ホットシューカバー¹



ストラップ



USB ケーブル CB-USB12



リチウムイオン電池 BLS-50



USB-AC アダプター F-5AC



取扱説明書 基本編

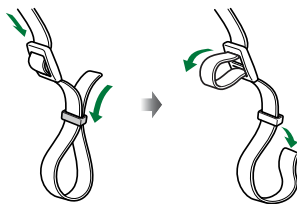
保証書

1 ボディキャップ、アイカップ、ホットシューカバーは、あらかじめカメラ本体に取り付けられています。

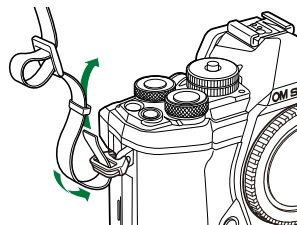
①ご購入の際、充電電池は十分に充電されていません。ご使用前に充電を行ってください (P.24)。

ストラップを取り付ける

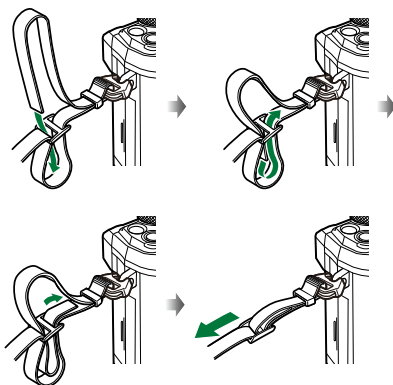
1. カメラに取り付けるために、一度リングから外してほどきます。



2. ストラップの端をカメラのストラップ取り付け部に通してから、再度リングに通します。



3. ストラップの端を留め具に通して固定します。

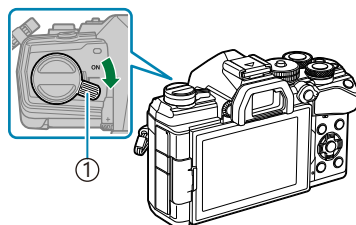


- 同様に逆側も取り付けます。
- 最後にストラップを少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。

電池を入れる／取り出す

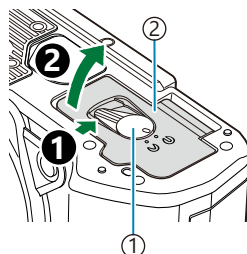
電池を入れる

1. ON/OFF レバーが OFF の位置になっていることを確認します。



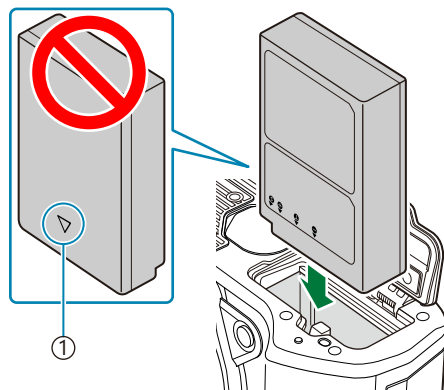
① ON/OFF レバー

2. 電池カバーを開けます。



① 電池カバーロック
② 電池カバー

3. 電池を入れます。
 - 電池は必ず BLS-50 (P.20、P.430) をお使いください。



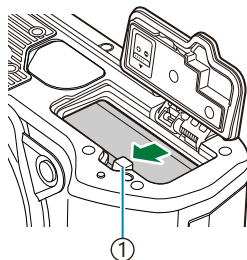
① 電池装填方向マーク

4. 電池カバーを閉めます。

- ⚡ 長時間の撮影には、電池の消耗に備えて予備の電池を用意されることをおすすめします。
- ⚡ 「電池についてのご注意」(P417) も併せてお読みください。

電池を取り出す

電池カバーを開け閉めする際は、カメラの電源をオフにしてください。電池を取り出すには、電池ロックノブを矢印の向きに押し、ロックを外してから取り出します。



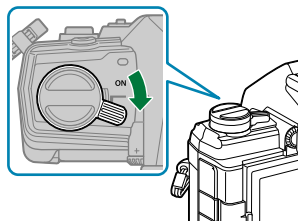
① 電池ロックノブ

- ① カメラから電池を取り出せなくなった場合は無理に取り出さず、当社修理センターまたはサービスステーションまでご相談ください。
- ① カード書き込み中のマーク (P37) が表示されている間は、絶対に電池やカードを抜かないでください。

付属の USB-AC アダプターで電池を充電する

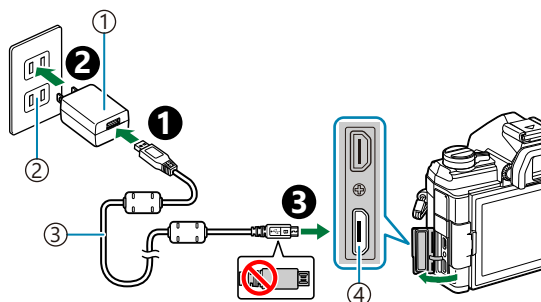
①ご購入の際、充電電池は十分に充電されていません。ご使用前に充電を行ってください。

1. ON/OFF レバーが OFF の位置になっていることを確認します。



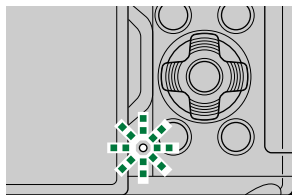
2. USB ケーブル、USB-AC アダプター、電源コンセントを接続します。

※カメラに付属または別売の USB ケーブル（CB-USB12）以外の使用はお控えください。



- ① USB-AC アダプター（付属）
- ② 電源コンセント
- ③ USB ケーブル（付属）
- ④ マイクロ USB コネクタ

- 充電中は CHARGE ランプが点灯します。充電時間は約 4 時間です。充電が完了するとランプが消灯しますので、カメラから USB ケーブルを抜いてください。



① CHARGE ランプが点滅しているときは充電エラーです。USB ケーブルを外して接続しなおしてください。

※充電中の電池の温度が高くなると、充電は停止します。しばらくして電池の温度が下がると充電を再開します。

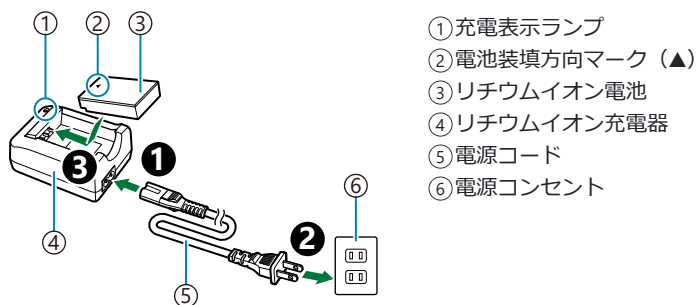
※安全に充電を行うため、高温環境下では、充電時間が長くなる、または充電される容量が少なくなることがあります。

④ USB-AC アダプターの取扱いについて

お手入れの際は、USB-AC アダプター本体をコンセントから抜いて行ってください。USB-AC アダプター本体を抜かないで行うと、感電・けがの原因となることがあります。

別売の充電器（BCS-5）で電池を充電する

1. 電池を充電します。



充電表示ランプ

充電中	橙点灯
充電完了	消灯
充電エラー	橙点滅

(充電時間：約 3 時間 30 分)

- 充電が完了したら必ず充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。

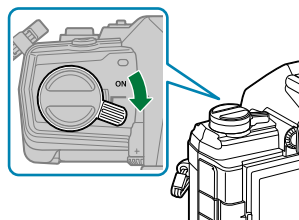
カードを入れる／取り出す

カードを入れる

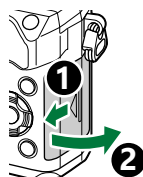
本書では、記録メディアを「カード」と呼びます。このカメラで使用できるカードは、SD規格に準拠したSD/SDHC/SDXCカード（市販）です。

新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途で使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。🔊 「カードを初期化する（カードセットアップ）」(P.259)

1. ON/OFF レバーが OFF の位置になっていることを確認します。

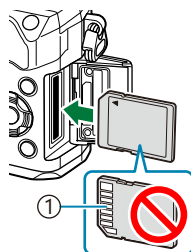


2. カードカバーを開けます。



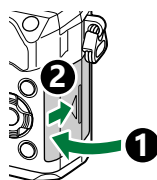
3. カードを入れます。
 - カードがロックされるまで差し込みます。

① 破損、変形したカードを無理に入れしないでください。カードスロットを破損させる場合があります。



① 端子部

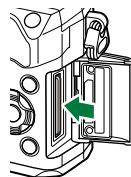
4. カードカバーを閉めます。
 - カチッと音がするまでしっかりと閉めます。



カードを取り出す

差し込まれているカードを押し込むと、カードが出てきます。カードをつまんで取り出します。

- ① カード書き込み中のマーク (P.37) が表示されている間は、絶対に電池やカードを抜かないでください。



カードについて

本書では、記録メディアを「カード」と呼びます。このカメラで利用できるカードは、SD規格に準拠したSD/SDHC/SDXCカード（市販）です。利用できるカードの最新情報は当社ホームページをご確認ください。



SDカードの書き込み禁止スイッチについて

SDカード本体は書き込み禁止スイッチを備えています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みができなくなります。スイッチを戻すと書き込み可能になります。



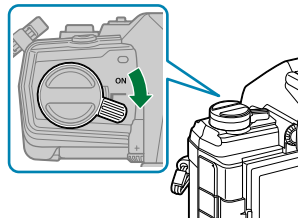
- ① ムービー撮影の場合は、SDスピードクラス10以上に対応したカードをご使用ください。
- ② 次の場合は、UHS-II または UHS-I の UHS スピードクラス3以上をご使用ください。
- [画質モード] のムービーサイズが [4K] または [C4K] のとき
 - [画質モード] のビットレートが [A-I] (All-Intra) のとき
- ⚠ 初期化や消去してもカード内のデータは完全には消去されません。廃棄する際は、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。
- ⚠ SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっている場合は、再生の一部の機能などで制限があります。

レンズを取り付ける／取り外す

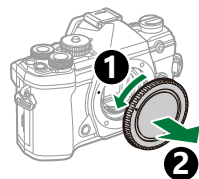
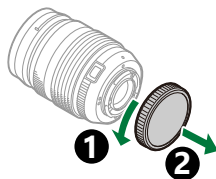
レンズを取り付ける

交換レンズについては、「[交換レンズについて](#)」(P419)をお読みください。

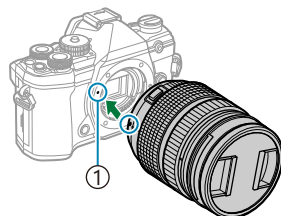
1. ON/OFF レバーが OFF の位置になっていることを確認します。



2. レンズのリアキャップ、カメラのボディキャップを外します。



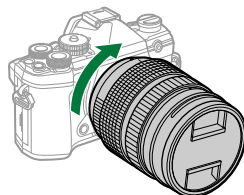
3. カメラのレンズ合わせマーク（赤印）にレンズの取り付け指標（赤印）を合わせ、レンズをボディに差し込みます。



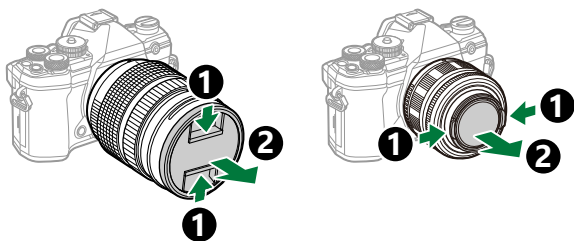
① レンズ合わせマーク

4. レンズをカチッと音がするまで右に回します。

- ① レンズ取り外しボタンは押さないでください。
- ② カメラ内部には触らないでください。

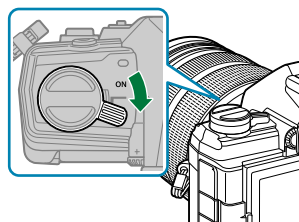


5. レンズキャップを取り外します。

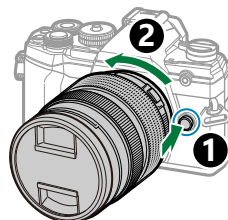


レンズを取り外す

1. ON/OFF レバーが OFF の位置になっていることを確認します。

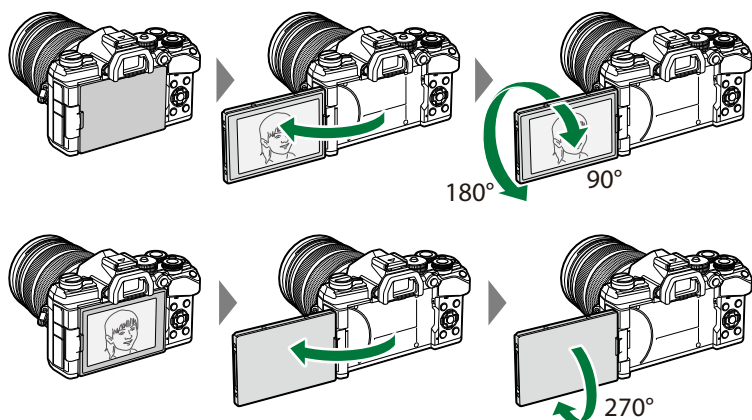


2. レンズ取り外しボタンを押しながら、矢印の方向に回します。

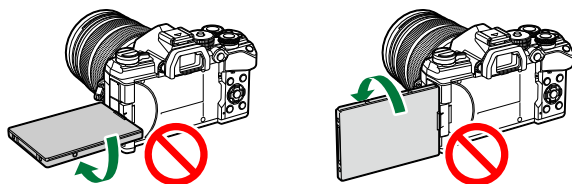


モニターを操作する

モニターの画面を見えるように回転します。モニターは、撮影時の状況に合わせて向きと角度を変えることができます。



- モニターを回転させるときは、可動範囲内でゆっくりと回してください。次のように可動範囲を超えて、無理な力がかかると接続部の破損の原因となります。

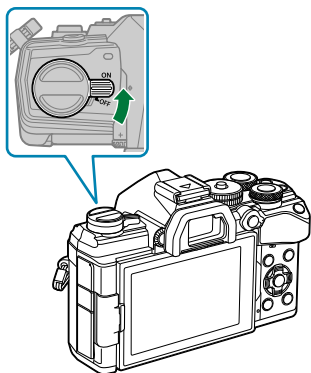


- モニターを自分撮り位置にすると、画面の左右を反転して表示したり、電動ズームレンズのズーム位置を自動的に広角側に移動します。👁️ 「自分撮りに合わせた表示をする (自分撮りアシスト)」 (P.327)

電源を入れる

1. ON/OFF レバーを ON の位置に合わせます。

- 電源が入るとモニターが点灯します。
- 電源をオフにするには、レバーを **OFF** の位置に戻します。






電池残量表示

電池アイコンと電池残量が表示されます。



- [Full] 点灯 (緑) : 撮影できます。
- [3/4] 点灯 (緑) : 電池が減っています。
- [1/4] 点灯 (緑) : 残量が少なくなっています。
- [Empty] 点滅 (赤) : 充電してください。



電源オンオフの機能は Fn レバーに割り当てておくこともできます。   **カスタムメニュー**  **[Fn レバー/電源レバー]** (P.269)

カメラのスリープ動作について

カメラを一定時間操作しないと、電池消費を抑えるためにカメラが自動的に待機状態になります。この状態をスリープモードといいます。

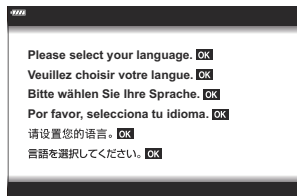
- スリープモードになるとモニターが消灯し、カメラは動作を停止します。シャッターボタンや  ボタンなどを操作するとカメラは動作を再開します。
 - スリープモードに入ってから操作を行わずにさらに一定時間経過すると、電源がオフになります。お使いになるときは、電源を入れなおしてください。
- ① **[Wi-Fi/Bluetooth 設定]** で **[バックグラウンド通信]** が **[On]** (有効) に設定されていると、電源を入れなおしたときの動作に時間が掛かることがあります。🔍 [「電源オフ時の無線接続を設定する」](#) (P.353)
- ① スリープモードまでの時間と電源オフまでの時間は ⚙️ **カスタムメニュー** で変更できます。初期設定では、スリープモードまでの時間は 1 分、電源オフまでの時間は 4 時間です。🔍 ⚙️ **カスタムメニュー**  **[スリープ時間]**、**[自動電源 Off]** (P.289)

初期設定をする

初めて電源を入れたときは、初期設定として言語と日時の設定を行います。

- ① ファイル名は日付の情報をもとに付けられます。お使いになる前に必ず正しい日時を設定してください。設定されていないと使用できない機能もあります。

1. 初期設定画面（言語の設定を促す画面）が表示されたら、**OK** ボタンを押します。



2. Δ ∇ \triangleleft \triangleright またはフロント/リアダイヤルで、設定したい言語にカーソルを移動します。



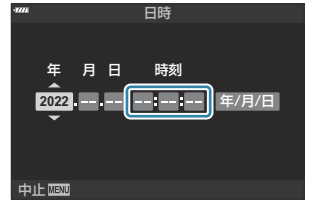
3. 設定したい言語の位置にカーソルを移動させた状態で、**OK** ボタンを押します。



- **OK** ボタンを押す前にシャッターボタンを押すと、言語が設定されないまま撮影待機状態になります。その場合、一度カメラの電源をオフにしてから入れ直すと初期設定画面が再度表示されますので、手順 1 から操作を行ってください。
- 言語の設定は、メニューで後から変更できます。🔍 「言語の表示がおかしい／設定した言語が表示されないときは」(P.36)

4. 日付／時刻／日付表示順序を設定します。

- ◀▶ ボタンで項目を選びます。
- △▽ ボタンで内容を選びます。
- 時刻は 24 時間表示です。



- 日時の設定は、メニューで後から変更できます。🔗 [🔗 セットアップメニュー【日時設定】\(P.257\)](#)

5. OK ボタンを押します。

6. △▽ ボタンで地域を選択し、OK ボタンを押します。

- **INFO** ボタンでサマータイムの設定ができます。

7. OK ボタンを押して、設定を終了します。

📷 日時の情報は画像とともにカードに記録されます。

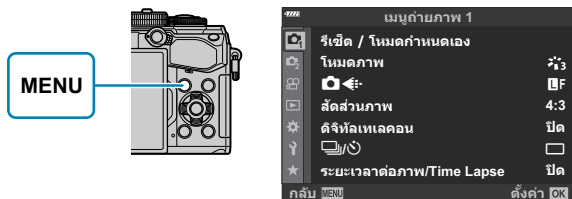
📷 カメラから電池を取り外してしばらく放置すると、日時がリセットされる場合があります。リセットされたときは、メニューから設定してください。🔗 [🔗 セットアップメニュー【日時設定】\(P.257\)](#)

📷 ムービーを撮影する場合は、必要に応じてあらかじめフレームレートを設定してください。🔗 [「ムービーの画質を設定する \(🔗 画質モード\)」\(P.137\)](#)

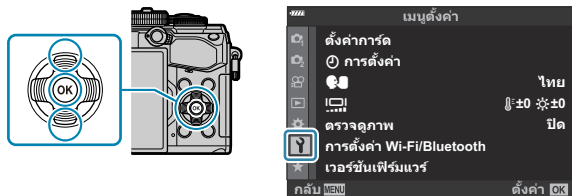
言語の表示がおかしい／設定した言語が表示されないときは

画面の表示が読めない文字になっていたり、意図しない言語が表示されたときは、言語設定時に設定したい言語とは異なる言語を選択した可能性があります。次の手順で言語の設定を変更してください。

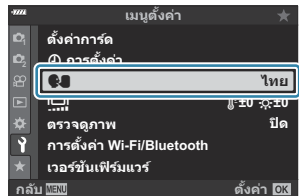
1. MENU ボタンを押し、メニューを表示します。



2. Δ / ∇ ボタンで \Uparrow (セットアップメニュー) タブを選択し、OK ボタンを押します。



3. Δ / ∇ ボタンで $\left[\begin{smallmatrix} \bullet \\ \bullet \end{smallmatrix} \right]$ を選択し、OK ボタンを押します。



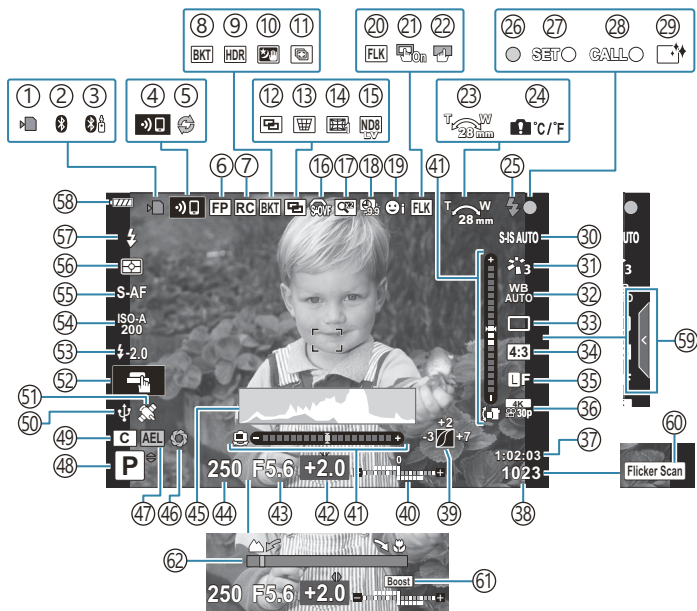
4. Δ / ∇ / \triangleleft / \triangleright ボタンで設定したい言語を選択し、OK ボタンを押します。



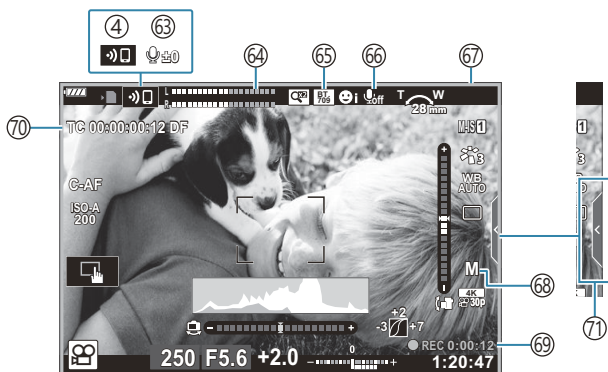
撮影する





撮影時の情報表示

静止画像撮影時のモニター表示










ムービーモード中のモニター表示



- ① カード書き込み中 (P.23、P.28)
- ② Bluetooth® 接続中 (P.350)
- ③ リモコン接続中 (P.368)
- ④ 無線 LAN 接続 (P.350)
- ⑤ プロキャプチャー画像取り込み中 (P.105)
- ⑥ スーパー FP 発光 (P.423)
- ⑦ RC モード (P.425)
- ⑧ ブラケット撮影 (P.212)
- ⑨ HDR 撮影 (P.220)
- ⑩ 手持ち夜景 (P.67)
- ⑪ マルチフォーカス撮影 (P.67)
- ⑫ 多重露出撮影 (P.223)
- ⑬ デジタルシフト撮影 (P.226)
- ⑭ フィッシュアイ補正撮影 (P.344)
- ⑮ ライブ ND 撮影 (P.209)
- ⑯  OVF シミュレーション¹ (P.165、P.172)
- ⑰ デジタルテレコン (P.204)
- ⑱ インターバル撮影 (P.205)
- ⑲ 顔優先／瞳優先 (P.123)
- ⑳ フリッカーレス撮影 (P.316)
- ㉑ AF ターゲットパッド
 -   カスタムメニュー  [AF ターゲットパッド] (P.267)
- ㉒ タッチパネルロック (P.165)
- ㉓ ズーム操作方向／焦点距離
- ㉔ 内部温度上昇警告 (P.442)
- ㉕ フラッシュ (点滅：充電中、点灯：充電完了) (P.143)
- ㉖ 合焦マーク (P.43)
- ㉗ SET 機能 (P.421)
- ㉘ CALL 機能 (P.421)
- ㉙ ダストリダクション (P.435)
- ㉚ 手ぶれ補正 (P.130)
- ㉛ ピクチャーモード (P.150、P.202)
- ㉜ ホワイトバランス
- ㉝ ドライブ (単写／連写／セルフタイマー／低振動撮影／静音撮影／プロキャプチャー撮影／ハイレゾショット) (P.100、P.133)
- ㉞ アスペクト比 (P.134)
- ㉟ 画質モード (静止画) (P.135、P.203)
- ㊱ 画質モード (ムービー) (P.137、P.238)
- ㊲ 録画可能時間 (P.415)
- ㊳ 撮影可能枚数 (P.413)
- ㊴ ハイライト&シャドウコントロール (P.162)
- ㊵ 上：フラッシュ補正 (P.149)
下：露出補正 (P.88)
- ㊶ 水準器 (P.42)
- ㊷ 露出補正值 (P.88)
- ㊸ 絞り値 (P.48、P.51、P.53、P.55)
- ㊹ シャッター速度 (P.48、P.51、P.53、P.55)
- ㊺ ヒストグラム (P.42)
- ㊻ プレビュー (P.163)
- ㊼ AE ロック (P.99、P.291)
- ㊽ 撮影モード (P.43)
- ㊾ カスタムモード (P.78、P.76)
- ㊿ WEB カメラ接続中 (P.365)
- 1 Bluetooth 位置情報付与 (P.365)
- 2 タッチ操作 (P.46)
- 3 フラッシュ補正 (P.149)
- 4 ISO 感度 (P.97、P.115)
- 5 AF 方式 (P.116)
- 6 測光方式 (P.122)
- 7 フラッシュモード (P.143、P.145)
- 8 電池残量 (P.32)
- 9 ライブガイド呼び出し (P.64)
- 10 フリッカーレスキャン (P.236、P.334)
- 11 LV ブースト (P.273)
- 12 フォーカス距離指標 (P.308)

1 OVF シミュレーションのアイコンはファインダー内のみの表示です。

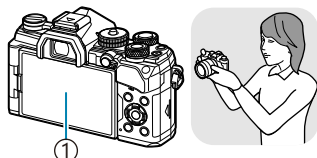
- ⑥③ 録音レベル² (P.83、P.242)
- ⑥④ 録音レベルメーター (P.242)
- ⑥⑤  ビューアシスト
 -  動画メニュー [ 表示設定] (P.229)
- ⑥⑥ ムービー録音 (P.242)
- ⑥⑦ 動画撮影中の赤枠表示
 -  動画メニュー [ 動画撮影中の赤枠表示] (P.229)
- ⑥⑧ ムービー（露出）モード (P.234)
- ⑥⑨ 録画時間（録画中） (P.82)
- ⑦⑩ タイムコード
 -  動画メニュー [ HDMI出力] (P.229)
- ⑦⑪ 静音操作タブ (P.83)

2 録音レベルの設定中のみ表示されます。

表示の切り換え

このカメラは、アイセンサーの働きによってモニターとファインダーの画面を自動的に切り換えます。また、ファインダーやモニターの画面（ライブビュー表示）には、撮影機能の設定状態を示す情報が表示されます。画面の切り換えや情報表示の状態は設定により選択ができます。

モニターを使って撮影する

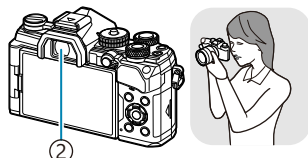


①モニター



モニターの撮影画面がライブビュー表示されます。

ファインダーを使って撮影する

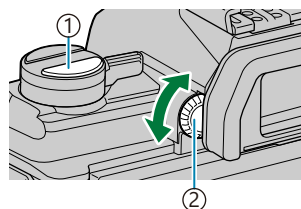


②ファインダー



目を近づけると自動的にファインダーが点灯します。ファインダー点灯中は、モニターは消灯します。

- ファインダー内の表示がぼやけて見えるときは、ファインダーをのぞきながらファインダー内の表示がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回します。



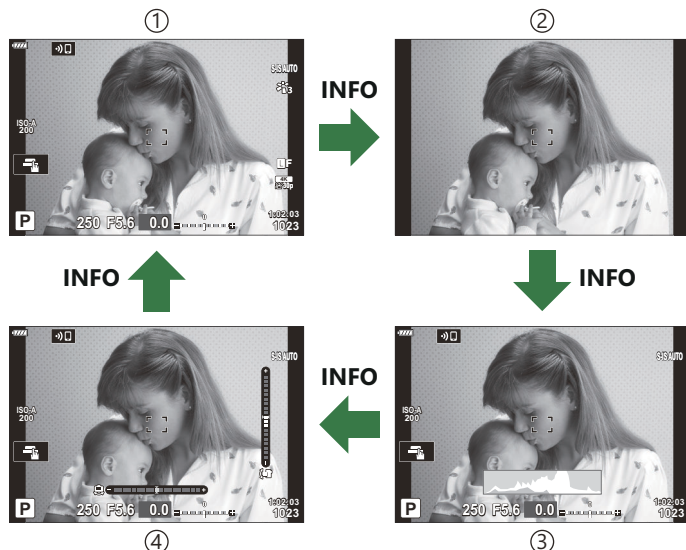
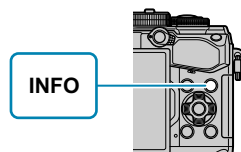
- 1 |O| (LV) ボタン
- 2 視度調整ダイヤル

- モニターがライブビュー表示中に |O| (LV) ボタンを押すと、ライブビュー表示からスーパーコンパネに切り換わります。ファインダーに目を近づけると、ファインダー内の表示がライブビュー表示になります。このときモニターは消灯します。
- スーパーコンパネの表示中に INFO ボタンを押すと、撮影情報表示に切り換わります (P41)。

☞ モニターとファインダーの自動切り換えを手動にしたり、ファインダーの表示スタイル変更は、 カスタムメニューで行うことができます。  カスタムメニュー  [EVF 自動切替設定]、[EVF 表示スタイル] (P286)

情報表示を切り換える

INFO ボタンで撮影時の情報表示の切り換えができます。



① 基本情報表示

② 表示 Off

③ ヒストグラム表示 (カスタム表示 1)

④ 水準器表示 (カスタム表示 2)

- INFO ボタンを押しながらダイヤルを回して撮影時の情報表示を双方向に変更することもできます。
- カスタム表示 1 とカスタム表示 2 の設定は、**[Info 表示設定]** の **[LV-Info]** (P324) で変更できます。
- ムービーモード (MOV) では、静止画撮影モードとは異なる情報表示の設定ができます。**[動画メニュー [Info 表示設定] の [Info 表示]** (P229)
- **[LV-Info]** で **[表示 Off]** を選択したときに ▶ ボタンを押すと、シャッターボタン半押し中の撮影情報表示の設定が選べます。

ヒストグラム表示

画像の明るさの分布をヒストグラムで表示します。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの画素数を表しています。撮影時は上限値以上の部分を赤、下限値以下の部分を青、スポット測光のエリア内を緑で表示します。上限値や下限値の設定は変更できます。☞ **カスタムメニュー** **D3** 【ヒストグラム警告設定】 (P.274)



ハイライト&シャドウ

ヒストグラム表示の上限値および下限値の設定に従って、ハイライトやシャドウ部を赤色や青色で表示します。上限値や下限値の設定は変更できます。☞ **カスタムメニュー** **D3** 【ヒストグラム警告設定】 (P.274)

水準器表示

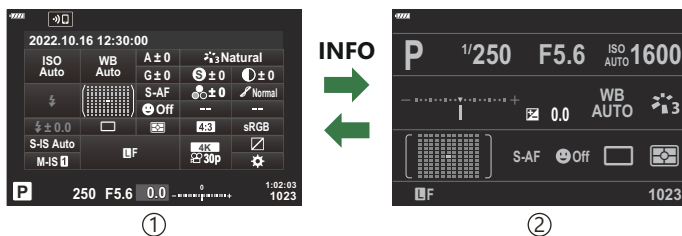
カメラの傾きを表示します。「あおり」方向は縦のバー、「水平」方向は横のバーで表示します。

- 水準器の表示は目安としてお使いください。
- 表示にずれがあるときは、調整することができます。☞ **カスタムメニュー** **D1** 【水準器調整】 (P.288)

撮影情報表示

スーパーコンパネ表示状態 (P.109) で **INFO** ボタンを押すと、撮影情報表示に切り換わります。再度 **INFO** ボタンを押すと、スーパーコンパネ表示に戻ります。

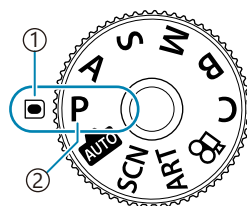
- **カスタムメニュー** **D1** の 【**Info** 表示設定】 の 【**LV OFF-Info**】 (P.324) で撮影情報表示を非表示にすることもできます。



- ① スーパーコンパネ
- ② 撮影情報表示

静止画を撮る

モードダイヤルを使って撮影モードを選んで撮影します。




- ① 指標
- ② 使用するモードのアイコン

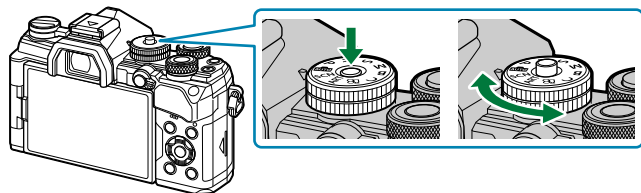
撮影モードの種類

各撮影モードの詳細はそれぞれのページをご覧ください。

P	プログラム AE (P.48)
A	絞り優先 AE (P.51)
S	シャッター優先 AE (P.53)
M	マニュアル (P.55)
B	バルブ撮影／タイム撮影 (P.58)
	ライブコンポジット撮影 (P.62)
	オート (P.64)
SCN	シーン (P.66)
ART	アートフィルター (P.73)
C	カスタム (P.78)

📷モードダイヤルの  については、「ムービーモードを使って撮る (📷)」(P.82) を参照してください。

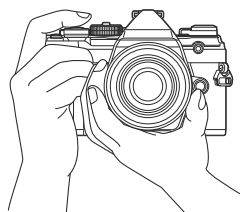
1. モードダイヤルロックを押してロックを解除し、モードダイヤルを回して使用するモードに設定します。



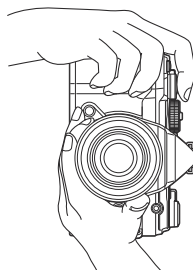
- モードダイヤルロックが押し込まれているとき、モードダイヤルはロックされています。モードダイヤルロックを押すたびにロック／解除が切り換わります。

2. カメラを構えて構図を決めます。

① レンズや AF 補助光に指やストラップがかからないよう、ご注意ください。



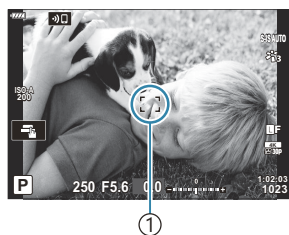
横位置



縦位置

3. ピントを合わせます。

- 撮りたい被写体に AF フレームを合わせます。

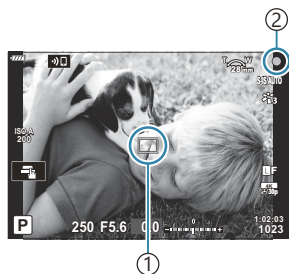


① AF フレーム

- シャッターボタンを1段目まで浅く押し込みます（半押し）。



- 合焦マーク（●）が表示され、ピントの合ったところに緑の枠（AF ターゲット）が表示されます。



① AF ターゲット
② 合焦マーク

- ① 合焦マークが点滅しているときは、被写体にピントが合っていません（P.437）。
- ② AF フレームの形状は AF ターゲットモードの設定により変わります。AF ターゲットの範囲（P.90）や AF ターゲット位置（P.94）を変更、設定して使用してください。
- ③ AF ターゲットの設定（P.90）が【**顔**】（オールターゲット）のときは AF フレームは表示されません。

4. 撮影します。

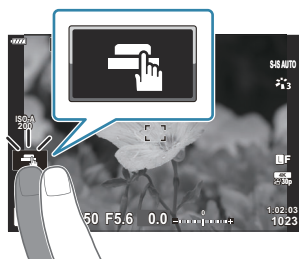
- 半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押し込みます（全押し）。
- シャッターが切れ、撮影されます。








👉 タッチ操作でもピント合わせや静止画の撮影ができます。📷 「タッチパネルを使って撮る」(P.46)

タッチパネルを使って撮る

ピントを合わせたい位置にタッチして撮影することができます。



	タッチした箇所にピントを合わせて自動的に撮影します。撮影モードが B (バルブ)、 ムービーモード のとき、または AF 方式 (P.116) が [AF] 、 [AF MF] のときは使えません。
	タッチ操作での撮影を禁止します。
	タッチした箇所に AF ターゲットを表示してピントを合わせます。AF フレームの大きさや位置は指で操作できます。撮影はシャッターボタンを押します。
	カメラが複数の人物の顔を検出したとき、ピントを合わせる顔をタッチして選択します。  は [顔優先] を [Off] 以外に設定したときに表示されます (P.123)。撮影モードが ムービーモード で、 [画質モード] が [FHD 60p] (ハイスピード) のときは使えません (P.137)。

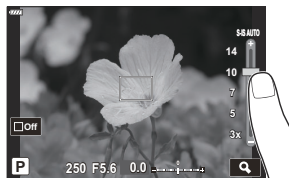
• アイコンをタッチすると、設定が切り換わります。

- ① 先のとがったものや爪で操作しないでください。
- ① モニター保護シートや手袋を使っていると、うまく操作できない場合があります。

ピントを合わせる被写体を確認する ()

1. ピントを合わせたい被写体にタッチします。

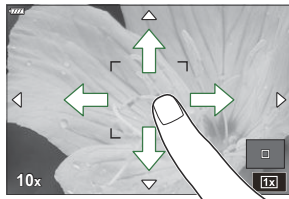
- AF ターゲットが表示されます。
- レベルバーを指で上下させると枠の大きさを変えられます。




-  にタッチすると AF ターゲット表示を終了します。

2. レベルバーで AF ターゲットの大きさを調節してから にタッチすると、枠の位置を拡大表示します。

- 拡大中に、タッチした状態で指を動かすとスクロールできます。



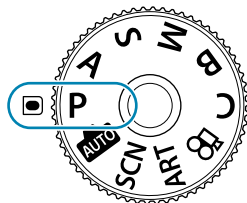
-  にタッチすると拡大表示を終了します。

- 次の場合はタッチ操作できません。
 - ボタンまたはダイヤル操作中など
- タッチパネルの操作を禁止することができます。  [* カスタムメニュー](#)  [\[タッチパネル設定\]](#) (P.288)

絞り値とシャッター速度を自動で設定して撮影する (Pプログラム撮影)

被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッター速度をカメラが自動的に設定します。

1. モードダイヤルを **P** に合わせます。



2. 被写体にピントを合わせて表示を確認します。



- フロントおよびリアダイヤルで次の機能を設定できます。
フロントダイヤル：露出補正 (P.88)
リアダイヤル：プログラムシフト (P.50)
- カメラが設定したシャッター速度と絞り値が表示されます。





- ① 撮影モード
- ② シャッター速度
- ③ 絞り値

- 露出補正は、 ボタンでも設定できます。 ボタンを押してからフロント/リアダイヤルを回します。

3. 撮影します。

 フロント/リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。 「フロント/リアダイヤルの機能を変える (カメラダイヤル機能)」(P.310)

 Fn レバーの位置を切り換えて、フロント/リアダイヤルで設定できる機能の変更ができます。また、Fn レバーの機能も変更することができます。 「Fn レバーの機能を変える (カメラFnレバー機能)」(P.312)

適正露出が得られないときは

シャッター速度と絞り値が次のように点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例	状態と対処方法
絞り値が小さい値でシャッター速度が遅い場合  F2.8	被写体が暗すぎます。 • フラッシュを使ってください。
絞り値が大きい値でシャッター速度が速い場合  F22	被写体が明るすぎます。 • カメラの測光範囲を超えています。市販の ND フィルター（光量調節用）が必要です。 • [♥]（静音撮影）に設定すると、シャッター速度を 1/32000 まで上げることができます。🔊 「シャッター音を立てずに撮影する（静音 [♥] 撮影設定）」（P.104）、「連写する／セルフタイマーを使う」（P.100）

📷 [ISO 感度] を [AUTO] 以外に設定しているときは、設定を変更することで適正露出が得られる場合があります。🔊 「感度を変更する（ISO 感度）」（P.97）

📷 点滅時の絞り値は、使用するレンズおよび焦点距離によって変わります。

プログラムシフトについて

自動的に設定された絞り値とシャッター速度の組み合わせを、露出を変えずに変更することができます。これをプログラムシフトといいます。

1. 使いたい絞り値、またはシャッター速度が表示されるまでリアダイヤルを回します。
 - プログラムシフトをすると、画面の撮影モードの **P** が **Ps** と表示されます。プログラムシフトを解除するには、表示が **P** になるまで、リアダイヤルを逆に回します。



①

①プログラムシフト

🔗 画面の表示に露出補正の設定を反映するか、常に見やすい明るさで表示するかを選ぶことができます。初期設定では、露出補正を反映した明るさで表示します。🔗 **カスタムメニュー D2 [LVブースト]** (P.273)

絞りを決めて撮影する（A 絞り優先撮影）

絞り値（F 値）を設定すると、被写体の明るさに応じてカメラが適正なシャッター速度を自動的に設定します。絞り値の数値を小さくする（絞りを開く）ほど、ピントの合う範囲（被写界深度）が狭くなり、背景のボケが強くなります。絞り値の数値を大きくする（絞りを絞る）ほど、ピントの合う範囲が前後に広がります。



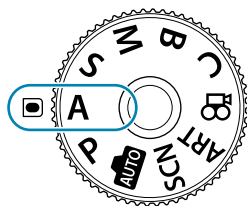
① 絞り値を小さくする

ピントの合う範囲が狭くなり、ボケが強くなる

② 絞り値を大きくする

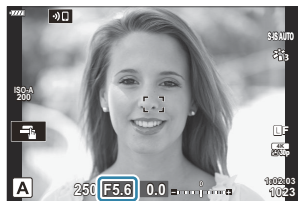
ピントの合う範囲が広がる

1. モードダイヤルを **A** に合わせます。



2. 絞り値を設定します。

- フロントおよびリアダイヤルで次の機能を設定できます。
フロントダイヤル：露出補正（P.88）
リアダイヤル：絞り値



① 絞り値

- 適正なシャッター速度が自動的に設定され画面に表示されます。
- 露出補正は、 ボタンでも設定できます。 ボタンを押してからフロント／リアダイヤルを回します。



3. 撮影します。

✪ フロント／リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。📷 「フロント／リアダイヤルの機能を変える（📷 ダイヤル機能）」（P.310）

- ☞ Fn レバーの位置を切り換えて、フロント/リアダイヤルで設定できる機能の変更ができます。また、Fn レバーの機能も変更することができます。☞ 「Fn レバーの機能を変える (Fn レバー機能)」 (P.312)
- ☞ 画面の表示に露出補正の設定を反映するか、常に見やすい明るさで表示するかを選ぶことができます。初期設定では、露出補正を反映した明るさで表示します。☞ **カスタムメニュー D2 [LV ブースト]** (P.273)
- ☞ 設定した値まで実際に絞りを動作させて、ピントの合う範囲を確認できます(プレビュー)。☞ 「ボタンの機能を変える (ボタンの設定)」 (P.163)

適正露出が得られないときは

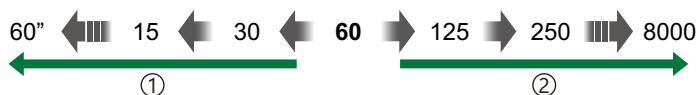
シャッター速度が次のように点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例	状態と対処方法
シャッター速度が遅い場合 	露出アンダー（露出不足）です。 <ul style="list-style-type: none"> 絞りを小さくしてください。
シャッター速度が速い場合 	露出オーバー（露出過度）です。 <ul style="list-style-type: none"> 絞りを大きくしてください。 絞りを大きくしても解消されないときは、カメラの測光範囲を超えています。市販のND フィルター（光量調節用）が必要です。 【♥】（静音撮影）に設定すると、シャッター速度を 1/32000 まで上げることができます。☞ 「シャッター音を立てずに撮影する（静音【♥】撮影設定）」 (P.104)、 「連写する/セルフタイマーを使う」 (P.100)

- ☞ 【ISO 感度】を【AUTO】以外に設定しているときは、設定を変更することで適正露出が得られる場合があります。☞ 「感度を変更する (ISO 感度)」 (P.97)

シャッター速度を決めて撮影する (S シャッター優先撮影)

シャッター速度を設定すると、被写体の明るさに応じてカメラが適正な絞り値を自動的に設定します。シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体でも止まっているように撮影できます。シャッター速度を遅くすると、動いているものはぶれて撮影されますが、躍動感や動きのある仕上がりになります。



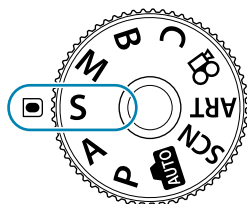
① シャッター速度を遅くする

躍動感や動きのある仕上がりになる

② シャッター速度を速くする

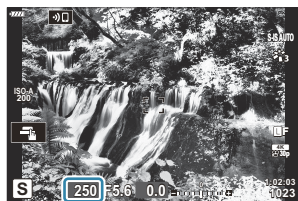
動きの速い被写体を止まったように撮影する

1. モードダイヤルを **S** に合わせます。



2. シャッター速度を設定します。

- フロントおよびリアダイヤルで次の機能を設定できます。
フロントダイヤル：露出補正 (P.88)
リアダイヤル：シャッター速度
- シャッター速度は、1/8000 ~ 60 秒に設定できます。
- 静音撮影に設定時は、1/32000 秒まで設定できます。
🔇 「シャッター音を立てずに撮影する (静音 [♥] 撮影設定)」 (P.104)、「連写する/セルフタイマーを使う」 (P.100)



① シャッター速度

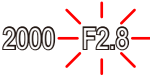
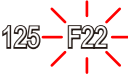
- 絞り値が自動的に設定され画面に表示されます。
- 露出補正は、 ボタンでも設定できます。 ボタンを押してからフロント/リアダイヤルを回します。

3. 撮影します。

- ✪ フロント/リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。🔍 「フロント/リアダイヤルの機能を変える (📷 ダイヤル機能)」 (P.310)
- ✪ Fn レバーの位置を切り換えて、フロント/リアダイヤルで設定できる機能の変更ができます。また、Fn レバーの機能も変更することができます。🔍 「Fn レバーの機能を変える (📷 Fn レバー機能)」 (P.312)
- ✪ 画面の表示に露出補正の設定を反映するか、常に見やすい明るさで表示するかを選ぶことができます。初期設定では、露出補正を反映した明るさで表示します。🔍 ⚙️ カスタムメニュー 02 [LV ブースト] (P.273)
- ✪ 低速のシャッター速度が使えない明るい環境でも、長秒時シャッターで撮影したような効果を得ることができます。🔍 「明るい環境下でスローシャッター撮影をする (ライブ ND 撮影)」 (P.209)
- ✪ 蛍光灯や LED 光源の環境では、設定したシャッター速度によっては、光源のちらつき (フリッカー) の影響で、モニターに縞模様やちらつきが発生する場合があります。撮影時のちらつきを抑えたり、記録する画像に写るのを防ぐことができます。🔍 「シャッターが切れるタイミングを設定する (フリッカーレス撮影)」 (P.318)、LED 照明による明るさのちらつきを抑えて撮影する (📷 フリッカーキャン) (P.334)

適正露出が得られないときは

絞り値が次のように点滅しているときは、適正露出が得られません。

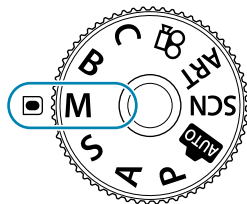
警告表示例	状態と対処方法
絞り値が小さい場合 	露出アンダー (露出不足) です。 <ul style="list-style-type: none"> • シャッター速度を遅くしてください。
絞り値が大きい場合 	露出オーバー (露出過度) です。 <ul style="list-style-type: none"> • シャッター速度を速くしてください。静音撮影に設定すると、シャッター速度の上限が 1/32000 になります。 • シャッター速度を速くしても解消されないときは、カメラの測光範囲を超えています。市販の ND フィルター (光量調節用) が必要です。

- ✪ [📷 ISO 感度] を [AUTO] 以外に設定しているときは、設定を変更することで適正露出が得られる場合があります。🔍 「感度を変更する (ISO 感度)」 (P.97)
- ✪ 点滅時の絞り値は、使用するレンズおよび焦点距離によって変わります。

絞りとシャッター速度を自分で決めて撮影する (M マニュアル撮影)

絞り値とシャッター速度を自分で設定します。被写体に合わせて速いシャッター速度にしつつ、絞り込んで被写界深度を確保するといった、狙いに合わせた撮影ができます。

1. モードダイヤルを **M** に合わせます。



2. 絞り値とシャッター速度を設定します。

- フロントおよびリアダイヤルで次の機能を設定できます。
フロントダイヤル：絞り値
リアダイヤル：シャッター速度
- シャッター速度は、1/8000 ～ 60 秒に設定できます。
- 静音撮影に設定時は、シャッター速度を 1/32000 秒まで上げることができます。🔇 「シャッター音を立てずに撮影する（静音【♥】撮影設定）」(P104)
- 設定されている絞り値とシャッター速度による露出と、カメラが測った適正露出との差が画面に表示されます。差が±3 以上になると表示が点滅します。



① 適正露出との差

- [📷 ISO 感度] が [AUTO] (オート) のときは、設定した露出で適正露出になるように ISO 感度が設定されます。[📷 ISO 感度] は初期設定では [AUTO] です。🔗 「感度を変更する (ISO 感度)」(P97)



3. 撮影します。

🔗 フロント／リアダイヤルで設定できる機能を変更することができます。🔗 「フロント／リアダイヤルの機能を変える (📷 ダイヤル機能)」(P310)

- ☞ Fn レバーの位置を切り換えて、フロント/リアダイヤルで設定できる機能の変更ができます。また、Fn レバーの機能も変更することができます。☞ 「Fn レバーの機能を変える (Fn レバー機能)」 (P.312)
- ☞ 画面の表示に露出補正の設定を反映するか、常に見やすい明るさで表示するかを選ぶことができます。初期設定では、露出補正を反映した明るさで表示します。☞ ✨ カスタムメニュー D2 [LV ブースト] (P.273)
- ☞ 蛍光灯や LED 光源の環境では、設定したシャッター速度によっては、光源のちらつき (フリッカー) の影響で、モニターに縞模様やちらつきが発生する場合があります。撮影時のちらつきを抑えたり、記録する画像に写るのを防ぐことができます。☞ 「シャッターが切れるタイミングを設定する (フリッカーレス撮影)」 (P.318)、☞ 「LED 照明による明るさのちらつきを抑えて撮影する (フリッカーキャン)」 (P.334)

適正露出が得られないときは

【ISO 感度】が【AUTO】で、適正露出が得られないときは、ISO 感度表示が次のように点滅します。

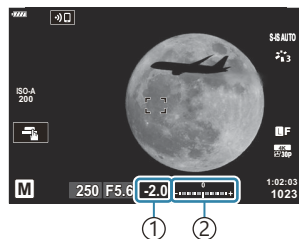
警告表示例	状態と対処方法
	<p>露出オーバー (露出過度) です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 絞り値を大きくするか、シャッター速度を速くしてください。
	<p>露出アンダー (露出不足) です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 絞り値を小さくするか、シャッター速度を遅くしてください。 それでも解消されないときは、ISO 感度を上げてください。☞ 「感度を変更する (ISO 感度)」 (P.97)、☞ ✨ カスタムメニュー E1 【ISO オート設定】の【上限/基準値設定】 (P.277)

Mモード時の露出補正について

Mモード時に【ISO感度】が【AUTO】（オート）のときは露出補正の設定ができます。ISO感度の変更によって露出補正を行うため、絞り値やシャッター速度の設定は変更されません。🔍 「感度を変更する（ISO感度）」（P.97）、⚙️ カスタムメニュー ① 【ISOオート設定】の【上限/基準値設定】（P.277）

1. 📌 ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回します。

- 露出補正を行うと、設定値と適正露出との差に、設定した補正値が加味されて画面に表示されます。



- ① 露出補正値
- ② 補正値を加味した露出設定値との差

長秒時撮影を行う（B BULB/TIME 撮影）

シャッターを長時間開いて露光をします。ライブビューの画面で仕上がりを確認しながら任意のタイミングで撮影を終了することもできます。夜景や打ち上げ花火のような長時間の露光が必要なときに設定します。

① 長秒時撮影の際は、カメラを三脚にしっかりと固定することをおすすめします。

バルブ撮影（BULB）、ライブバルブ撮影（LIVE BULB）

シャッターボタンを押している間、露光を続けます。シャッターボタンを離すと露光が終了します。

- 露光中の明るさは加算されます。
- ライブバルブ撮影のときは、露光中の画像をライブビュー表示で仕上がりを確認しながら、任意のタイミングで撮影を終了することができます。

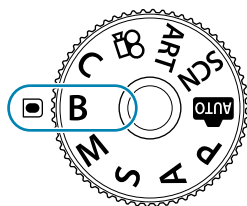
タイム撮影（TIME）、ライブタイム撮影（LIVE TIME）

シャッターボタンを全押しすると露光を始めます。露光を終了するときは、もう一度シャッターボタンを全押しします。

- 露光中の明るさは加算されます。
- ライブタイム撮影のときは、露光中の画像をライブビュー表示で仕上がりを確認しながら、任意のタイミングで撮影を終了することができます。

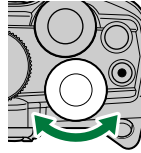
バルブ撮影／タイム撮影の設定方法

1. モードダイヤルを **B** に合わせます。



2. **[BULB]** (バルブ機能) または **[TIME]** (タイム機能) に設定します。

- 初期設定では、リアダイヤルで設定します。

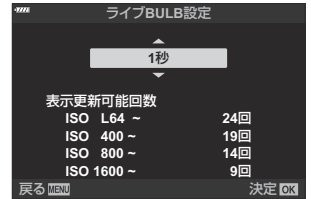


①

① バルブ撮影、タイム撮影

3. **MENU** ボタンを押します。

- 撮影中のライブビュー表示の間隔を設定するメニューが表示されます。



4. $\Delta \nabla$ で表示更新間隔を設定します。

5. **OK** ボタンを押して設定を確定します。

- メニュー画面が表示されます。

6. **MENU** ボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

- **[off]** 以外に設定したときは、画面に **[LIVE BULB]** または **[LIVE TIME]** と表示されます。

7. 絞り値を設定します。

- 初期設定では、フロントダイヤルで設定します。



①

① 絞り値

8. 撮影します。

- バルブまたはライブバルブ撮影の場合はシャッターボタンを押し続けます。シャッターボタンを離すと撮影は終了します。
- タイムまたはライブタイム撮影の場合はシャッターボタンを全押しして撮影を開始し、撮影を終えるときにもう一度シャッターボタンを全押しします。
- ライブタイムで撮影中にシャッターボタンを半押しすると、表示を更新できます。
- **[BULB/TIME リミッター]** で設定されている時間に達すると自動的に撮影を終了します。
☞ **カスタムメニュー 2 [BULB/TIME リミッター]** (P.278)
- 撮影後に **[長秒時ノイズ低減]** が働きます。ノイズ低減処理中は、画面に処理が終了するまでの時間が表示されます。**[長秒時ノイズ低減]** の動作は選択できます。☞ **カスタムメニュー 3 [長秒時ノイズ低減]** (P.277)

① 設定できる ISO 感度に制限があります。

① ライブバルブ撮影では、多重露出撮影/デジタルシフト撮影/フィッシュアイ補正撮影に設定するとバルブ撮影になります。

① ライブタイム撮影では、多重露出撮影/デジタルシフト撮影/フィッシュアイ補正撮影に設定するとタイム撮影になります。

① 撮影中は、次の撮影機能の設定に制限があります。

- 連写/セルフタイマー撮影/インターバル撮影/AE ブラケット撮影/フラッシュブラケット撮影/フォーカスブラケット撮影/深度合成撮影など

① **[手ぶれ補正]** (P.130) は自動的にオフになります。

① カメラの設定や温度や環境条件によっては、モニターに表示される画像にノイズや輝点が目立つ場合があります。また、これらは **[長秒時ノイズ低減]** が設定されていても撮影画像に写る場合があります。☞ **カスタムメニュー 3 [長秒時ノイズ低減]** (P.277)

☞ 星空を撮影する場合は、星空 AF も便利です。☞ 「ピントの合わせ方を設定する (AF 方式)」 (P.116)、**[星空 AF で撮影する]** (P.119)

☞ バルブ/タイム撮影中の画面の明るさは変更できます。☞ **カスタムメニュー 2 [BULB/TIME 輝度設定]** (P.278)

☞ バルブ/タイム撮影では、被写体が暗くても見やすい明るさで表示します。表示される画質を優先するか、表示速度を優先するかなどの設定をすることができます。☞ **カスタムメニュー D2 [LV ブースト]** (P.273)

☞ 撮影モードが **B** (バルブ) のとき、露光中にマニュアルでピント位置を変更することができます。露光中にピントを外したり、露光終わりのタイミングでピントを合わせるなどの技法を使った撮影ができます。☞ **カスタムメニュー A4 [BULB/TIME 中 MF]** (P.309)

画像のノイズについて

長秒時の撮影では、画面にノイズが多く発生する場合があります。これは撮像素子の温度上昇や、撮像素子内部の駆動回路が熱源となり、本来撮像素子に光のあたっていない部分にも電流を発生させてしまうためです。この現象は、高温の環境で ISO 感度を上げたり、長秒時の露出で顕著に表れます。これらのノイズを軽減するために、このカメラでは長秒時ノイズ低減が働きます。

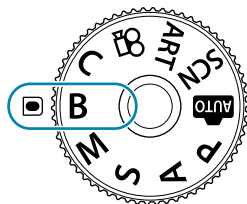
  カスタムメニュー  **【長秒時ノイズ低減】** (P.277)

比較明合成撮影を行う（B ライブコンポジット撮影）

シャッターを長時間開いて露光をします。背景の明るさを変えずに、花火や星などの明るい光跡の変化を観察しながら撮影できます。複数枚を合成し、1枚の画像として記録します。

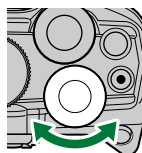
① 比較明合成撮影の際は、カメラを三脚にしっかりと固定することをおすすめします。

1. モードダイヤルを **B** に合わせます。



2. [LIVE COMP] に設定します。

- 初期設定ではリアダイヤルを回して設定します。

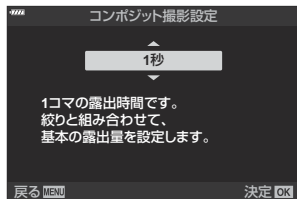


①

① ライブコンポジット撮影

3. MENU ボタンを押します。

- [コンポジット撮影設定] の設定画面が表示されます。



4. Δ ∇ で1コマの露出時間を設定します。

- 露出時間は、1/2 秒～ 60 秒の間で設定できます。

5. OK ボタンを押して設定を確定します。

- メニュー画面が表示されます。

6. MENU ボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

7. 絞り値を設定します。

- 初期設定では、フロントダイヤルで設定します。

8. 撮影準備のためにシャッターボタンを全押しします。

- モニターに【コンポジット撮影できます】の表示が出たら撮影できます。



9. シャッターボタンを押して撮影を開始します。

- ライブコンポジット撮影が始まります。設定した露出時間ごとにモニターの画像が更新されます。

10. もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了します。

- 【COMP リミッター】で設定されている時間に達すると自動的に撮影を終了します。設定は変更できます。☞ **★ カスタムメニュー E2 【COMP リミッター】** (P.278)
- 撮影可能時間は、撮影環境や充電状態などによって変わります。

① 設定できる ISO 感度に制限があります。

① 次の機能とは併用できません。

- 連写/セルフタイマー撮影/インターバル撮影/AE ブラケット撮影/フラッシュブラケット撮影/フォーカスブラケット撮影/HDR 撮影/ハイレゾショット/深度合成撮影/多重露出撮影/デジタルシフト撮影/ライブ ND 撮影/フィッシュアイ補正撮影

① 【**📷 手ぶれ補正**】 (P.130) は自動的にオフになります。

☞ 星空を撮影する場合は、星空 AF も便利です。☞ 「**ピントの合わせ方を設定する (AF 方式)**」 (P.116)、**「星空 AF で撮影する」** (P.119)

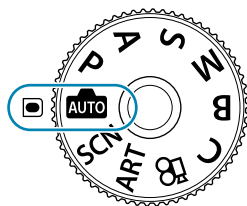
☞ ライブコンポジット撮影中の画面の明るさは変更できます。☞ **★ カスタムメニュー E2 【BULB/TIME 輝度設定】** (P.278)


☞ ライブコンポジット撮影の 1 コマの露出時間は、あらかじめメニューで設定しておくことができます。☞ **★ カスタムメニュー E2 【コンポジット撮影設定】** (P.278)

カメラまかせで撮影する（オートモード）

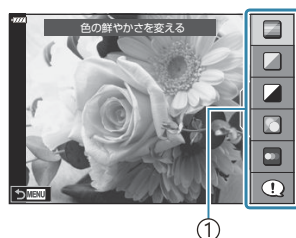
シャッターボタンを押すだけで、撮影シーンに適した撮影ができます。ライブガイドを使って、色合いや明るさ、ぼかし等の効果を簡単に設定できます。

1. モードダイヤルを  に合わせます。



- オートモードでは、シャッターボタンを半押しすると、撮影に適したシーンをカメラが自動的に判別します。シーンを判別すると、画面左下の  アイコンが判別したシーンモードのアイコンに変わります。

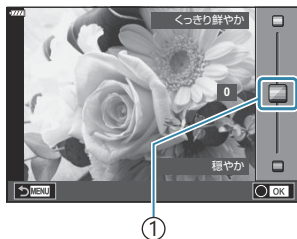
2. 撮影の設定を変更したい場合は、**OK** ボタンを押してライブガイドを表示します。



①ガイド項目

- **△▽** ボタンを押してガイド項目を選択し、**OK** ボタンを押すと、スライダーが表示されます。

3. △▽ ボタンでスライダーを動かしてレベルを調整します。



①スライダー

- **OK** ボタンを押して設定を確定します。
- ライブガイドの設定を解除するときは、**MENU** ボタンを押します。
- **【撮影のヒント】** を選んだときは、△▽ ボタンで項目を選択し、**OK** ボタンを押すと説明が表示されます。
- レベルを選択すると画面で効果を確認できます。
【背景をぼかす】、**【動きを表現する】** では設定を確定すると元の表示に戻りますが、撮影した画像に効果は反映されます。

4. 複数のライブガイドを設定する場合は、手順 2 と 3 を繰り返します。



- 設定済みのライブガイドには、ガイド項目にチェックが表示されます。
- **MENU** ボタンを押すとライブガイドは終了します。

① **【背景をぼかす】**、**【動きを表現する】** は同時に設定できません。

5. 撮影します。

👉 ライブガイドの設定はタッチで操作することもできます。

👉 画質モードが **【RAW】** のときは、自動的に RAW+JPEG に設定されます。

① ライブガイド設定は RAW 画像には適用されません。

① ライブガイドの設定レベルによっては、画像の粗さが強調される場合があります。

① ライブガイドの設定レベルを変えても、効果をライブビューであまり確認できない場合があります。

① **【動きを表現する】** でスライダーを **【動きを流す】** の方向へ動かすと、表示のフレームレートが遅くなります。

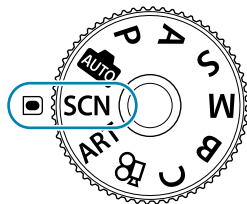
① ライブガイドではフラッシュは無効です。

① ライブガイドの設定がカメラの連動範囲外になると、白くとんだり暗い画像になる場合があります。

シーンモードを使う (SCN モード)

被写体や撮影シーンに合わせて適切な設定で撮影できます。

1. モードダイヤルを **SCN** に合わせます。



2. Δ ∇ \triangleleft \triangleright ボタンで撮影シーンを選択し、**OK** ボタンを押します。



3. \triangleleft \triangleright ボタンでシーンモードを選択し、**OK** ボタンを押して設定します。








4. 撮影します。





- 他のシーンを選ぶときは **OK** ボタンを押します。さらに **MENU** ボタンを押すと、撮影シーンの選択に戻ります。


シーンモードの種類

人を撮る




	ポートレート	人物撮影に適しています。肌の質感を強調します。
	ビューティー	肌をなめらかに整えます。効果適用前と適用後の2コマの画像が同時に記録されます。
	風景&人物	風景を背景にした人物の撮影に適しています。青・緑・肌の色を綺麗に再現します。
	夜景&人物	夜景を背景にした人物の撮影に適しています。専用外部フラッシュを取り付けてください (P.143)。三脚の使用と OM Image Share や別売のリモコンを使ったリモート撮影をおすすめします (P.357、P.371)。
	キッズ	活発な子供などの被写体を撮影するのに適しています。

夜景を撮る






	夜景	カメラを三脚で固定しての夜景撮影に適しています。三脚の使用と OM Image Share や別売のリモコンを使ったリモート撮影をおすすめします (P.357、P.371)。
	夜景&人物	夜景を背景にした人物の撮影に適しています。専用外部フラッシュを取り付けてください (P.143)。三脚の使用と OM Image Share や別売のリモコンを使ったリモート撮影をおすすめします (P.357、P.371)。
	手持ち夜景	三脚を使わない夜景撮影に適しています。手ぶれによる乱れを軽減します。1回の撮影で8枚撮影して合成します。
	打ち上げ花火	夜空の花火を撮影するのに適しています。三脚の使用と OM Image Share や別売のリモコンを使ったリモート撮影をおすすめします (P.357、P.371)。

	光跡撮影	<p>自動的に複数枚を撮影して明るく変化した部分だけを合成します。長時間露出では全体が明るくなってしまうシーンでも、仕上がりをモニターで確認しながら、建物や夜空などを背景にして星などの光跡を表現できます。シャッターボタンを押して撮影を開始し、モニターで画像が変化の様子を確認しながら最適な仕上がりでシャッターボタンを押して撮影を終了します（最長 3 時間）。三脚の使用と OM Image Share や別売のリモコンを使ったリモート撮影をおすすめします（P.357、P.371）。</p> <ul style="list-style-type: none"> • B モードのライブコンポジット（比較明合成）では、より詳細な設定ができます（P.62）。
--	-------------	---

動きのあるものを撮る

	スポーツ	<p>動きのある被写体の撮影に適しています。連写撮影になります。</p>
	キッズ	<p>活発な子供などの被写体を撮影するのに適しています。</p>
	流し撮り	<p>移動する被写体に対して、背景が流れるような撮影に適しています。カメラの動きを検出し、流し撮りに最適なシャッター速度で撮影します。</p>





風景を撮る



	風景	<p>風景撮影に適しています。</p>
	夕日	<p>夕日の撮影に適しています。</p>
	ビーチ&スノー	<p>晴天の海や雪山で撮影するのに適しています。</p>
	パノラマ	<p>パソコンでパノラマ合成するための画像が撮影できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 撮影方法は「パノラマ写真を撮影する」（P.70）をご覧ください。
	HDR 逆光補正	<p>明暗の差が大きい撮影に適しています。連写した画像を合成して適切な明るさに補正します。シャッターボタンを押すと、自動的に 4 枚の撮影を行います。撮影が終わると、自動的に 1 枚の画像が合成されます。</p>

室内で撮る

	キャンドルライト	キャンドルライトの光源下で撮影するのに適しています。温かみのある色が再現されます。
	静音 [♥] 撮影	カメラが発するシャッター音や光が気になる場所で、音や光を発しないで撮影できます。
	ポートレート	人物撮影に適しています。肌の質感を強調します。
	ビューティー	肌をなめらかに整えます。効果適用前と適用後の2コマの画像が同時に記録されます。
	キッズ	活発な子供などの被写体を撮影するのに適しています。
	HDR 逆光補正	明暗の差が大きい撮影に適しています。連写した画像を合成して適切な明るさに補正します。シャッターボタンを押すと、自動的に4枚の撮影を行います。撮影が終わると、自動的に1枚の画像が合成されます。

近づいて撮る


	マクロ	クローズアップ撮影に適しています。
	ネイチャーマクロ	クローズアップ撮影に適しています。花や昆虫を鮮やかに撮影するのに適しています。
	文書	書類や時刻表を撮影するのに適しています。文字と背景の明暗がはっきりと再現されます。
	マルチフォーカス撮影	1コマごとにピント位置を変えて最大8コマ撮影します。

🌀[流し撮り]では、流し撮り検出時に 、未検出時に  が表示されます。

①シーンの効果を最大限に引き出すため、撮影機能の設定変更には制限があります。

②[ビューティー]では、記録に時間がかかることがあります。また、画質モードが[RAW]のときは、RAW + JPEGで記録されます。

③[ビューティー]、[手持ち夜景]、[パノラマ]、[HDR 逆光補正]ではムービー撮影はできません。

④[光跡撮影]では、[画質モード]の画像サイズが  (ハイスピード) のときにはムービー撮影ができません。

⑤[手持ち夜景]では、画質モードが[RAW]のとき、1枚目のRAW画像と合成されたJPEG画像がRAW + JPEGとして記録されます。

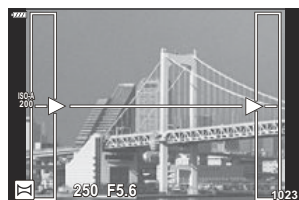
- ① [HDR 逆光補正] では、HDR 処理された画像は JPEG で記録されます。画質モードが [RAW] のときは RAW+JPEG で記録されます。
- ① [流し撮り] で手ぶれ補正機能切り換えスイッチがついているレンズを使う場合、手ぶれ補正機能切り換えスイッチをオフにしてください。
明るいシーンでは、流し撮り効果を十分に得られない場合があります。市販の ND フィルターを使うと、効果を得られやすくなります。
- ① [マルチフォーカス撮影] では、撮影中にズーム操作を行うと、撮影は終了します。
- ① [マルチフォーカス撮影] では、フォーサーズマウント規格のレンズ使用時は、撮影できません。

パノラマ写真を撮影する

撮った画像をつなぎ合わせて、パノラマ合成画像を作成できます。パノラマ合成をするには、お使いのパソコンに最新版の OM Workspace をインストールする必要があります。📄 「ソフトウェアのインストール」(P364)

1. シーンモード (P66) で [パノラマ] を選び、OK ボタンを押します。
2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで画像をつなぐ方向を選びます。

3. ガイド枠を目安に、1 コマ目を撮影します。
 - ピントや露出などは、1 コマ目の撮影で決定されます。



4. ガイド枠内が、前の画像と重なる構図で次のコマを撮影します。

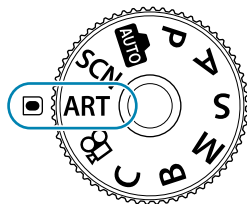


- 最大 10 枚までの撮影と合成が可能です。10 枚撮り終わると 📢 (警告) マークが表示されます。
- ① パノラマ撮影時には、前に撮影した位置合わせ用の画像は表示されません。画像に表示される枠や目印となる被写体を目安に、重なり合う画像の端が枠の中に重なるように構図を設定してください。

5. 最後のコマを撮影した後に **OK** ボタンを押して、パノラマ撮影を終了します。

アートフィルターを使う（ARTモード）

1. モードダイヤルを **ART** に合わせます。



2. <D> ボタンでフィルターを選びます。



3. ▽ ボタンを押して、<D> ボタンでエフェクト（効果）を設定し、**OK** ボタンを押します。

4. 撮影します。

- 他のアートフィルターを選ぶときは、**OK** ボタンを押します。エフェクトが表示されたときは **△** ボタンを押します。
- 設定できる効果はアートフィルターごとに異なります（ソフトフォーカス効果、ピンホール効果、枠（フレーム）効果、ホワイトエッジ効果、スターライト効果、フィルター効果、調色、ぼかし効果、シェード効果）。

アートフィルターの種類

ポップアートⅠ／Ⅱ	色の美しさを強調した仕上がりになります。
ファンタジックフォーカス	柔らかいトーンの中で空気感を表し、幻想的な仕上がりになります。
デイドリームⅠ／Ⅱ	全体的に光を散らし、露出をややオーバー気味にして、やさしい光に包まれた浮遊感を表現した仕上がりになります。
ライトトーン	シャドウ部もハイライト部も柔らかく描写し、上質で落ち着いた仕上がりになります。
ラフモノクロームⅠ／Ⅱ	モノクロならではの力強さ、荒々しさを表現した仕上がりになります。
トイフォトⅠ／Ⅱ／Ⅲ	画面周辺部を暗くして、古いカメラやトイカメラを使って撮ったときのような仕上がりになります。
ジオラマⅠ／Ⅱ	彩度やコントラストを強調し、ピントを合わせた位置以外をぼかし、ミニチュアのような雰囲気仕上がりになります。
クロスプロセスⅠ／Ⅱ	不安定で非現実的な雰囲気を表現した画像になります。クロスプロセスⅡは、マゼンタを強調した仕上がりになります。
ジェントルセピア	全体的に柔らかい描写で、落ち着いた雰囲気の中にもシャドウ部が引き締まった、しっとりとした上品な仕上がりになります。
ドラマチックトーンⅠ／Ⅱ	部分的にコントラストを強くし、明暗差を強調した仕上がりになります。
リーニユクレールⅠ／Ⅱ	エッジラインを強調し、イラストテイストを付加した仕上がりになります。
ウォーターカラーⅠ／Ⅱ	暗部を大胆に削除し、白いキャンパスに淡く明るい色彩をなじませ、さらに柔らかい輪郭線を載せて、ほんわりとした明るい雰囲気仕上がりになります。
ヴィンテージⅠ／Ⅱ／Ⅲ	フィルムプリントの変色や退色などの効果を加えることによって、日常のひとコマをノスタルジックなヴィンテージ調に表現します。
パートカラーⅠ／Ⅱ／Ⅲ	強調したい色を抽出し、それ以外はモノトーンに抑えることで、被写体を印象的に表現します。

ブリーチバイパス I / II	映画撮影などで用いられる「銀残し (ブリーチバイパス)」の効果を加えることで、街並みなどの情景や金属の質感をより印象的に表現します。
ネオノスタルジー	フィルム特有の人物の肌のトーンや暗部の色の変化を、現代風にアレンジして表現します。
ART BKT (アートフィルターブラケット)	1回の撮影で、選択したすべてのアートフィルター画像を記録します。選択画面で INFO ボタンを押すと、記録するフィルターの選択ができます。

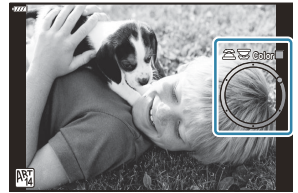
II、IIIは、オリジナル (I) に対して変化をつけたものです。

- ① アートフィルターの効果を最大限に引き出すため、撮影機能の設定変更には制限があります。
- ① 画質モード (P135) が **[RAW]** のときは、自動的に RAW+JPEG に設定されます。アートフィルターの効果は JPEG 画像にのみ適用されます。
- ① 撮影シーンによっては階調が崩れたり、補正の効きが弱くなったり、また画像の粗さが強調される場合があります。
- ① エフェクトの設定によっては、ムービー撮影に反映しないものもあります。
- ① フィルター、効果、ムービーの画質設定によっては、再生時の動きが異なります。

[パートカラー] で撮影する

特定の色のみを残した画像にできます。

1. モードダイヤルを **ART** に合わせます。
2. [パートカラー I/II/III] を選択します。
3. タイプや効果を選択し、**OK** を押します。
 - 画面にカラーリングが表示されます。



4. フロント/リアダイヤルを回して色を選択します。
 - 画面で効果を確認できます。
5. 撮影します。
 - 他の色を選ぶときは、フロント/リアダイヤルを回すとカラーリングが表示されます。

任意の設定をモードダイヤルに登録する（C カスタムモード）

撮影でよく使う機能の設定と撮影モードをカスタムモードとして登録しておき、必要なときにモードダイヤルの操作だけで呼び出して使うことができます。また、メニューから直接設定を呼び出すこともできます。

- C～C4 それぞれに設定を登録できます。
- 初期設定では、P モードの設定が登録されています。

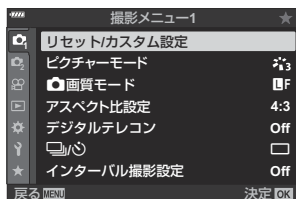
残しておきたい設定内容を登録する（カスタム登録）

1. 登録したい状態にカメラを設定します。

- モードダイヤルは、**AUTO**、**SCN**、**ART**、ムービー以外に設定してください。
- 設定を登録できる機能は、「機能と初期設定一覧」（P381）をご覧ください。

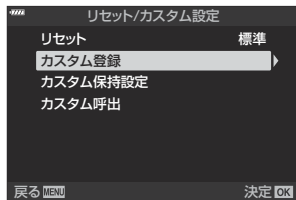
2. MENU ボタンを押して、メニューを表示します。

3. 撮影メニュー 1 で [リセット/カスタム設定] を選択し、▶ ボタンを押します。



- [リセット/カスタム設定] の画面が表示されます。

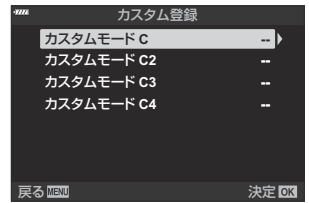
4. △▽ ボタンで [カスタム登録] を選択し、▶ ボタンを押します。



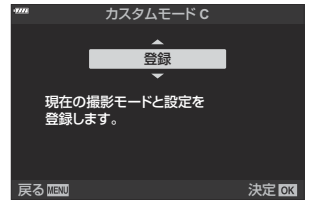
- [カスタム登録] の画面が表示されます。

5. Δ ∇ ボタンで設定したいモードを【カスタムモード C】～【カスタムモード C4】から選択し、 \triangleright ボタンを押します。

- 選択したカスタムモードの画面が表示されます。



6. Δ ∇ ボタンで【登録】を選択し、OK ボタンを押します。



- 設定が登録されて【カスタム登録】の設定画面に戻ります。
- すでに登録されている内容があるときは、現在の設定内容が上書きされます。
- 【クリア】を選択して OK ボタンを押すと、初期設定に戻ります。

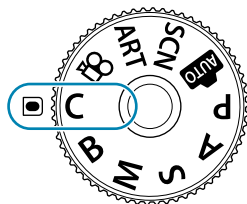
7. MENU ボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

カスタムモードを使う（C カスタムモード）

カメラの設定を撮影モードも含めて、登録した設定内容にします。

モードダイヤルで設定を呼び出す

1. モードダイヤルを **C** に合わせます。




- 撮影メニュー1の【リセット/カスタム設定】の【カスタム登録】(P.76)で、【カスタムモード **C**】に登録した設定が呼び出されます。

2. 撮影する。

- 各種機能の設定は変更できますが、初期設定では登録されている内容には反映されません。モードダイヤルを回すと登録された内容に戻ります。
- 【カスタム保持設定】を【保持する】に設定しておくと、カスタムモードを呼び出した状態でカメラの設定を変更したとき、変更した内容をカスタムモードに自動で登録することができ、モードダイヤルを回しても変更した設定が残ります。通常の **P/A/S/M/B** と同じように使うことができます。

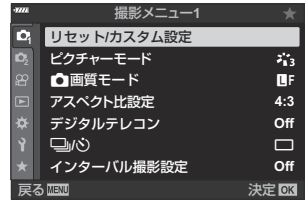
登録されている設定を呼び出す

撮影モードが **AUTO**、**SCN**、**ART**、 以外のときに、【カスタムモード **C**】～【カスタムモード **C4**】に登録された機能設定だけを呼び出すことができます。撮影モードはモードダイヤルで設定されているモードのまま変更されません。

- モードダイヤルが **C** のときに設定を呼び出すと、撮影モードも登録されているモードに切り換わります。

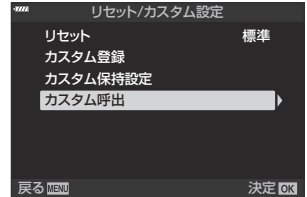
1. **MENU** ボタンを押して、メニューを表示します。

2.  撮影メニュー 1 で **リセット/カスタム設定** を選択し、▷ ボタンを押します。



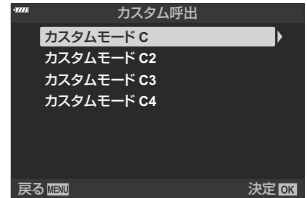
- **リセット/カスタム設定** の画面が表示されます。

3. △▽ ボタンで **カスタム呼出** を選択し、▷ ボタンを押します。

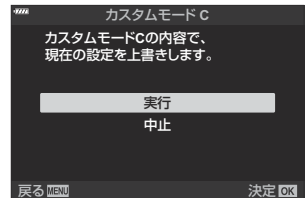



- **カスタム呼出** の画面が表示されます。

4. △▽ ボタンで呼び出すカスタムモードを選択し、▷ ボタンを押します。



5. △▽ ボタンで **実行** を選択し、OK ボタンを押します。



-  撮影メニュー 1 の画面に戻ります。

① 選択したカスタムモードの内容で現在の設定が上書きされます。

6. MENU ボタンを押して、メニューを終了します。

🔗 ボタンによって登録された設定を呼び出しているとき、次の操作で呼び出しが解除されます。

- カメラの電源をオフにしたとき
- モードダイヤルを切り換えたとき
- 撮影状態で **MENU** ボタンを押したとき
- リセットが実行されたとき
- カスタム設定が登録/呼び出されたとき

カスタムモード呼び出し時に変更した設定を自動で登録する

カスタムモードを呼び出した状態でカメラの設定を変更したとき、変更した内容をカスタムモードに自動で登録することができます。

1. 📷 撮影メニュー 1 で、**[リセット/カスタム設定]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
2. **[カスタム保持設定]** を選択し、**▷** ボタンを押します。
3. **[カスタムモード C]** ~ **[カスタムモード C4]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
4. **[保持する]** を選択し、**OK** ボタンを押します。


ムービーを撮る

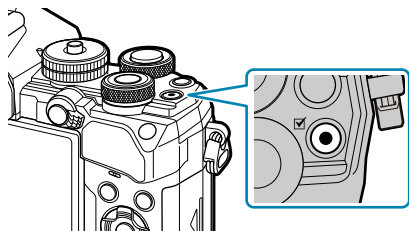
- ① ムービー撮影の場合は、SDスピードクラス 10 以上に対応したカードをご使用ください。
- ② 次の場合は、UHS-II または UHS-I の UHS スピードクラス 3 以上をご使用ください。
 - **[画質モード]** の画像サイズが **[4K]** または **[C4K]** のとき / **[画質モード]** のビットレートが **[A-I]** (All-Intra) のとき
- ③ カメラを長時間使用すると撮像素子の温度が上昇し、画像にノイズや色むらが発生します。その場合はしばらく電源を切ってください。また、ISO 感度が高い設定の画像でもノイズや色むらが発生します。さらに温度が上がると、カメラの電源が切れます。
- ④ フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、ムービー撮影中の AF は動作しません。
- ⑤ **[画質モード]** の画像サイズが **60FPS** (ハイスピード) のときは、ピクチャーモードを **[i-Finish]**、**[e ポートレート]**、またはアートフィルターに設定していても **[Natural]** で撮影されます。
- ⑥ このカメラは撮像素子に CMOS を搭載しているため、ローリングシャッターによる「動体歪み」という現象が発生します。動体歪みは、動きの速い被写体や手ぶれのときに撮影画像に歪みが発生する現象です。特に長焦点で使用するとこの現象が顕著になります。
- ⑦ SDXC カード使用時は、撮影中のムービーの記録時間が 2 時間を超えると、ファイルは自動的に分割して記録されます (撮影条件によっては、2 時間未満で分割される場合があります)。
- ⑧ SD/SDHC カード使用時は、撮影中のムービーのファイルサイズが 4GB 以上になると、ファイルは自動的に分割して記録されます (撮影条件によっては、4GB 未満で分割される場合があります)。
- 📷 カメラを縦位置にしてムービー撮影すると、縦位置の情報を記録します。ムービーをパソコンやスマートフォンで再生したとき、撮影したときと同じ向きで再生されます。


静止画撮影時にムービーを撮る

モードダイヤルを **[M]** 以外に設定している場合も、**[M]** ボタンを押すとムービーを撮影できます。

- ① AF フレームの形状は、ムービーモードで設定されている形状になります。モードダイヤルを **[M]** (ムービーモード) に設定して、あらかじめ AF ターゲット選択画面で AF フレームの形状を設定してください (P.90)。

1.  ボタンを押してムービー撮影を始めます。
 - 撮影中は「●REC」、録画時間、赤枠が表示されます。
 - ファインダーをのぞくと、ファインダーに撮影中の画像が表示されます。
 - 撮影中にモニターにタッチして、ピントを合わせる位置を変えることができます。



2. 再度  ボタンを押してムービー撮影を終了します。
 - 終了すると「●REC」、録画時間、赤枠の表示が消えます。
 - タッチ操作やボタンの操作音が録音されることがあります。

① 次の場合、 ボタンを押してもムービー撮影はできません。


- 多重露出撮影中（静止画撮影も終了します。）/シャッターボタン半押し中/**B**（バルブ）モード / 連写中 / インターバル撮影中 / デジタルシフト撮影中 / フィッシュアイ補正撮影中 / ライブ ND 撮影

 AF 方式など一部の設定は、静止画撮影時の設定とは別にムービー撮影用の設定ができます。

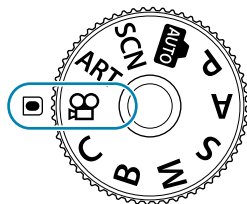
 「動画メニューの機能」(P.229)

 赤枠の表示 / 非表示は  動画メニュー [ 表示設定] の [動画撮影中の赤枠表示] (P.229) で設定できます。

ムービーモードを使って撮る ()

モードダイヤルを  (ムービーモード) に設定すると、**P/A/S/M** モードの効果を活かしたムービー撮影が可能です (P.234)。

1. モードダイヤルを  に合わせます。



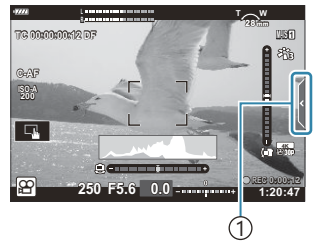
2. ㊦ ボタンを押して、ムービー撮影を開始します。

- シャッターボタンを押してムービーを撮影するには、[**㊦ シャッターボタン機能**] の設定が必要です。[**㊦ 動画メニュー**] [**㊦ シャッターボタン機能**] (P.229)
- ムービーモードでは、合焦時でもピピッと音はしません。
- モニターに撮影中の画像が表示されます。
- 撮影中は、画面に赤枠が表示されます。
- ファインダーをのぞくと、ファインダーに撮影中の画像が表示されます。
- 撮影中にモニターをタッチして、ピントを合わせる位置を変えることができます。
- 録画時間がカウントされ画面に表示されます。




㊦ ムービー撮影中の赤枠の表示／非表示は [**㊦ 動画メニュー**] [**㊦ 表示設定**] の [**動画撮影中の赤枠表示**] (P.229) で設定できます。

タッチ操作で設定する（静音操作）

ムービー撮影中のカメラの操作による操作音が録音されるのを防ぐことができます。静音操作タブにタッチすると次の機能のアイコンが表示されます。項目にタッチした後、表示される矢印にタッチして設定します。



① 静音操作タブ

	(電動ズーム)	電動ズームのレンズ使用時にズーム操作をします。
	(録音レベル)	録音音量の調節をします。
SS	(シャッター速度)	[㊦ モード] (ムービー露出モード) (P.234) が [S] (シャッター速度優先 AE) または [M] (マニュアル) のときに、シャッター速度の設定をします。
FNo	(絞り値)	[㊦ モード] (ムービー露出モード) (P.234) が [A] (絞り優先 AE) または [M] (マニュアル) のときに、絞り値の設定をします。
	(露出補正)	露出補正值の設定をします。[㊦ モード] (ムービー露出モード) (P.234) が [M] のときは、[㊦ ISO 感度] (P.97) が [AUTO] のときに使えます。



ISO	(ISO 感度)	[ISO 感度] (P.97) の設定をします。[モード] (ムービー露出モード) (P.234) が [M] のときに表示されます。
-----	----------	---

ⓘ ハイスピードムービー撮影時 (P.140) は静音操作を使用できません。

撮影機能を設定する

撮影機能の設定操作方法

カメラにはたくさんの撮影機能が搭載されています。設定を変更する機会がどの程度多いかなどによって、ボタン操作で設定する方法、モニター上で機能を選択して設定する方法、メニューを開いて細かい設定をする方法を使い分けることができます。

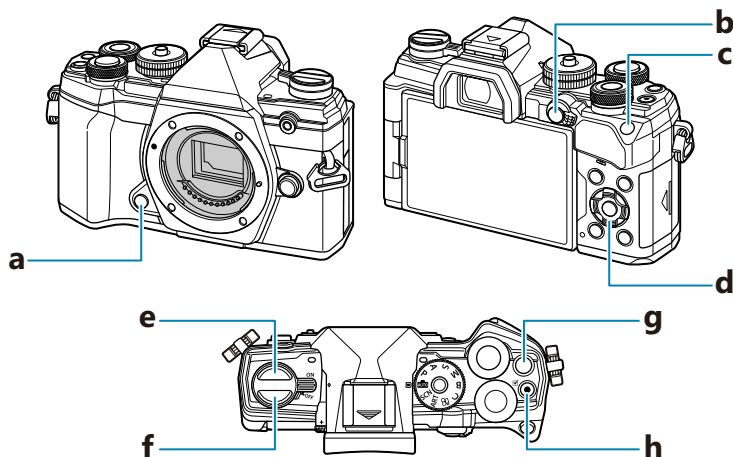
設定方法	説明
ダイレクトボタン	ボタン操作で直接機能を設定します。ファインダーをのぞきながらでも操作できるように、よく使う機能が割り当てられています (P.86)。 •  ボタン、  ボタン、ISO ボタンなど
LV スーパーコンパネ/スーパーコンパネ	設定状態を一覧で表示する機能パネルで設定します。撮影機能の設定状態を確認できます (P.109)。
LV コントロール	モニターで被写体を確認しながら設定します (P.322)。
メニュー	モニターにメニューを表示して設定します (P.196)。

ダイレクトボタンで設定する



ダイレクトボタンで設定できる機能

撮影によく使う機能はボタンに割り当てられています（ダイレクトボタン）。被写体に合わせて、こまめに設定を変更する場合などに便利です。

機能が割り当てられているダイレクトボタンは、次の通りです。



ダイレクトボタン		割り当てられている撮影機能
a	プレビューボタン	プレビュー (P.163)
b	AEL/AFL ボタン	AEL/AFL (P.99)
c	ISO ボタン	ISO 感度 (P.97)
d	十字ボタン	[∴] (AF ターゲットの選択) (P.90)
e	 ボタン	連写/セルフタイマー (P.100)
f	 (LV) ボタン	モニター/ファインダー切り換え (P.40)

ダイレクトボタン		割り当てられている撮影機能
g	 ボタン	露出補正 (P.88)
h	 ボタン	ムービー (P.81)

※それぞれのボタンは、他の機能に変更することができます。🔗 [【📷 ボタン機能】 \(P.163\)](#)

画像の明るさを変えて撮影する（露出補正）

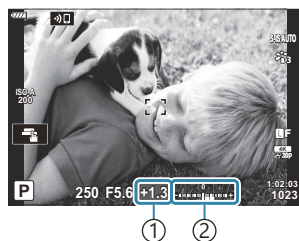
カメラが自動的に設定した露出を、自分のイメージした明るさに調整します。+補正にするとより明るく、-補正にするとより暗く表現できます。撮影モードが **P/A/S/ART/☞** のときに設定できます。

📷 **M** モードで使用するには、**[ISO感度]** (P.97) を **[AUTO]** に設定しておく必要があります。



- ①-補正
- ②補正 0
- ③+補正

- 静止画撮影では、 $\pm 5.0\text{EV}$ の範囲で補正できます。ファインダー、ライブビューの表示は、 $\pm 3.0\text{EV}$ までしか変化しません。露出補正バーは $\pm 3.0\text{EV}$ を超えると点滅します。
- ムービー撮影では、 $\pm 3.0\text{EV}$ の範囲で補正できます。




- ① 露出補正值
- ② 露出バー

- 露出補正の設定をライブビュー画面に反映するには、**カスタムメニュー 02** の **[LVブースト]** (P.273) が **[Off]** に設定されている必要があります。
- ムービー録画中に露出補正するときは、フロント/リアダイヤルやタッチ操作を使います。

露出補正を設定する


撮影モードが P/A/S のとき

ムービーモードでは、**[露出モード]**（ムービー露出モード）が **[P]** / **[A]** / **[S]** のときに設定できます。 「静止画撮影の効果を使って撮影する（**[露出モード]**（ムービー露出モード）」（P.234）

1. フロントダイヤルを回して設定します。
 -  ボタンを押して、**<▷** で設定することもできます。
2. 撮影します。

撮影モードが M のとき

ムービーモードでは、**[露出モード]**（ムービー露出モード）が **[M]** のときに設定できます。[動画メニュー](#) **[画質設定]** の **[MISO オート設定]** にある **[MISO オート有効]**（P.229）を **[On]** に設定して、**[ISO 感度]**（P.97）を **[AUTO]** に設定しておく必要があります。

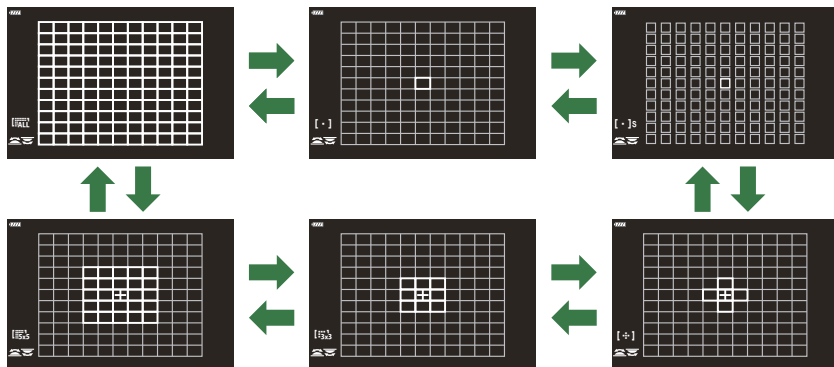
1.  ボタンを押しながら、フロント/リアダイヤルを回して設定します。
2. 撮影します。

露出補正をリセットする

OK ボタンを長押しすると調整値をリセットできます。

ピント合わせの範囲を選ぶ (AF ターゲットモード)

1. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンを押して、AF ターゲットを表示します。
2. AF ターゲット選択中にフロントダイヤルでサイズや形状を選びます。

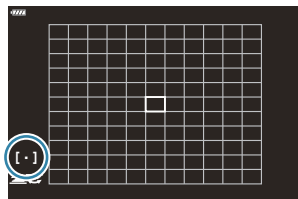


AF ターゲットモードの種類

- \square AF のときは、シングルターゲット、グループターゲット (3×3)、グループターゲット (5×5) のみ選択できます。
- ムービー撮影時は、シングルターゲット、グループターゲット (3×3)、グループターゲット (5×5)、オールターゲット (11×9) のみ選択できます。
- 表示する AF ターゲットモードは \star カスタムメニュー A2 の $\left[\text{カメラアイコン} \right] \text{Mode 表示設定}$ (P.266) で設定できます。

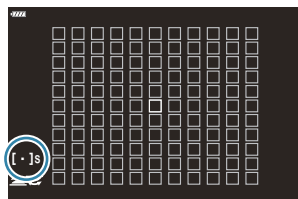
[・] シングルターゲット

1つのAFターゲットを選びます。



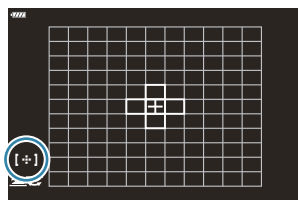
[・]s スモールターゲット

シングルターゲットよりサイズの小さいAFターゲットに変更できます。被写体が小さいときやより狭い範囲にピントを合わせたいときに使います。



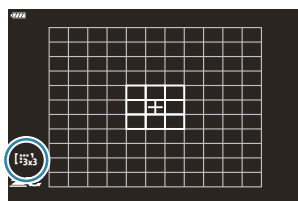
[+・] グループターゲット (5点)

十字に配置された5点のAFターゲットを使います。5点の中からカメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。



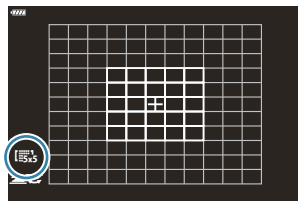
[+・]x3 グループターゲット (3x3)

9点のAFターゲットを使います。9点の中からカメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。



グループターゲット (5×5)

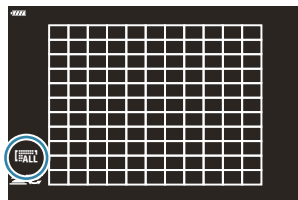
25 点の AF ターゲットを使います。25 点の中からカメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。





オールターゲット


すべての AF ターゲットの中から、カメラが自動的にピントを合わせる位置を選びます。



- AF ターゲットは、静止画撮影モードでは 121 点 (11×11)、ムービーモードでは 99 点 (11×9) になります。



カスタムターゲット




★ カスタムメニュー **A2** の **[  Mode 表示設定]** (P.266) でいずれかのカスタムターゲットに ✓ (チェック) を付けると表示できるようになります。



★ カスタムメニュー **A2** の **[ ターゲットモード設定]** (P.266) で設定されている AF ターゲットを使います。初期設定では、シングルターゲットになっています。

🔗 AF ターゲットモードの設定は、カメラの縦位置と横位置で別々に設定できます。🔗 ★ カスタムメニュー **A2** **[  縦位置/横位置切換]** (P.302)

🔗 **Fn** レバーの操作だけで、次の AF 機能の設定を同時に変更することができます。**Fn** レバー 1 と 2 のそれぞれの位置で、別々の設定を記憶させておくことができます。撮影状況に合わせて簡単に AF の機能設定を変えることができます。

- **[AF 方式]** (P.116) / **[AF ターゲットモード]** (P.90) / **[AF ターゲット位置]** (P.94)

★ カスタムメニュー **B** **[ Fn レバー機能]** (P.312) または **🔗 動画メニュー [ ボタン/ダイヤル/レバー]** の **[ Fn レバー機能]** (P.229) で **Fn** レバーの働きを設定します。

🔗 **[C-AF]** で撮影時の AF ターゲットエリアに関する設定ができます。🔗 ★ カスタムメニュー **A1** **[ C-AF 中央スタート]** (P.295)、**[ C-AF 中央優先]** (P.296)

🔗 静止画撮影モードとムービーモードで別々に設定できます。

🔗 撮影時の設定によっては、表示される AF ターゲットの数が少なくなります。

🎯 [ALL] (オールターゲット) で、[📷 AF 方式] (P.116) が [S-AF]、[S-AF MF]、[C-AF]、[C-AF MF] または [👁 AF 方式] が [C-AF] で、⚙️ カスタムメニュー 42 の [AF ターゲット表示] (P.266) が [On2] のとき、AF ターゲットはクラスター表示になります。ピントの合っている箇所の AF ターゲットが表示されます。



ピント合わせの位置を自分で決める (AF ターゲット位置)

ピントを合わせる位置や範囲を示す枠を AF ターゲットと呼びます。ピントを合わせたい位置に AF ターゲットを移動することができます。

1. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンを押して、AF ターゲットを表示します。
2. AF ターゲット選択中に $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで AF 位置を選択します。



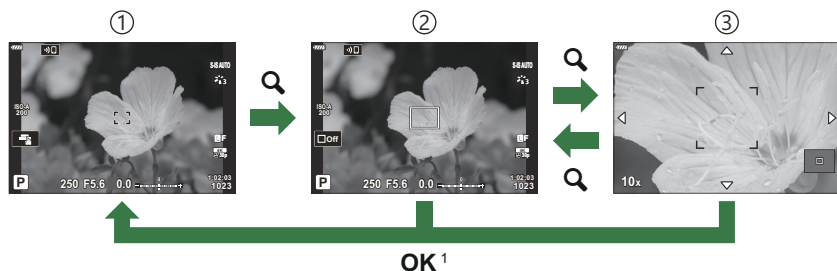
- **OK** ボタンを長押しすると、AF ターゲットを中央に戻すことができます。
- AF ターゲットの位置を移動するとき、上下左右の端で AF ターゲットを循環させるかどうかを設定できます (P.300)。

- 🔗 静止画撮影モードの **[C-AF]** および **[C-AF MF]** でピントを合わせ続けている場合でも、AF ターゲット位置を動かすことができます。
- 🔗 ムービー録画中も、AF ターゲット位置を動かすことができます。
- 🔗 **[AF ターゲットパッド]** (P.267) が **[On]** のときは、ファインダーをのぞきながらモニターにタッチして AF ターゲットを移動することができます。
- 🔗 **[デジタルテレコン]** (P.204)、**[アスペクト]** (P.134)、グループターゲット (P.90) の設定により、AF ターゲットの数や大きさが変わります。
- 🔗 **★ カスタムメニュー A2 の [[:]] 選択画面設定** (P.299) で、AF ターゲット選択画面のダイヤルと十字ボタンの機能を変更できます。

拡大枠 AF / 拡大 AF を使う (スーパースポット AF)

画面の一部を拡大して表示できます。ピント合わせを行う範囲を拡大表示することによって、より正確にピントを合わせることができます。拡大倍率を高くすると、通常の AF ターゲット枠よりも小さい範囲でオートフォーカスをすることができます。拡大する範囲は任意で移動できます。

① いずれかのボタンに【Q】を割り当てておく必要があります。☞ 「ボタンの機能を変える (ボタン機能)」 (P.163)、「ボタンに割り当てられる機能と働き」 (P.165)



1 OK ボタンの代わりに【Q】(拡大) を割り当てたボタンを長押ししても、撮影画面に戻ることができます。

① 撮影画面

③ 拡大画面

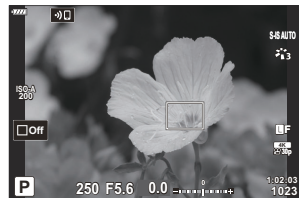
② 拡大枠画面

1. 【Q】(拡大) を割り当てたボタンを押します。

- 画面に拡大枠が表示されます。



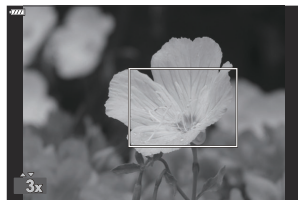
2. Δ ∇ < ∠ ボタンを押して拡大枠を移動します。



- OK ボタンを長押しすると拡大枠が中央に戻ります。

3. 拡大枠の大きさ（倍率）を変更します。

- **INFO** ボタンを押してから、**△▽** ボタンを押すか、フロント／リアダイヤルを回すと拡大枠の大きさを変更できます。



- **OK** ボタンを押すと、設定を確定して設定画面を終了します。

4. [Q] の機能を割り当てたボタンをもう一度押します。

- 拡大枠の部分が画面全体に拡大表示されます。
- フロント／リアダイヤルを回すと拡大の倍率を変更できます。
- **△▽<▷** ボタンで拡大範囲の変更をすることもできます。



- 撮影モードが **M**（マニュアル）または **B**（バルブ）の場合、拡大表示時に **INFO** ボタンを押すと絞りやシャッター速度の設定ができます。



M、B モード時の露出設定画面

- **Q** ボタンを押すと、拡大枠に戻ります。
- **OK** ボタンを押すと、拡大表示を終了します。
- **Q** ボタンを長押ししても拡大表示を終了できます。

5. シャッターボタンを半押ししてオートフォーカスをします。



① 拡大表示はモニター上の表示のみです。実際に撮影される画像には反映されません。

☞ 拡大枠 AF は、タッチ操作でも使用できます。☞ 「タッチパネルを使って撮る」(P46)





☞ 拡大表示中、拡大領域を見やすい明るさで表示して正確なピントの確認をしたり、シャッターボタンを半押ししたときに、拡大表示を終了してもとの表示に戻す設定もできます。☞ **カスタムメニュー D2 [LV 拡大設定] (P273)**



感度を変更する (ISO 感度)

被写体の明るさに応じて設定します。数値を大きくすると暗い環境での撮影が可能になりますが、画像のノイズ（ざらつき）が多くなります。【AUTO】の設定では、明るさに応じて自動的に設定が変わります。

- ムービー撮影時、【 モード】（ムービー露出モード）が【P】 / 【A】 / 【S】のときは、ISO 感度が【AUTO】に固定されます。【 モード】（ムービー露出モード）を【M】に設定すると、ISO 感度を設定できます。

1. ISO ボタンを押し、フロント/リアダイヤルを回して設定値を選択します。

AUTO	撮影状況に応じて自動的に感度が変わります。 静止画撮影時、ISO 感度が変わるときの上限やシャッター速度を、  カスタムメニュー の【  ISO オート設定】(P.277) で設定することができます。 ムービー撮影時には ISO200~6400 の範囲で設定されます。ISO 感度の上限や基準値も設定することができます。
L64、L100、200~25600 (静止画撮影時)	ISO 感度を手動で設定します。ISO200 はノイズと画像の階調のバランスが最もとれる設定です。【L100】や【L64】は、絞り値を小さくしたいときや、できるだけシャッター速度を遅くしたいときに設定します。【L64】は ISO64 相当、【L100】は ISO100 相当です。 <ul style="list-style-type: none">【L64】および【L100】は、露出ステップの設定に関わらず選択ができます。【L64】または【L100】に設定しているときは、画像の階調が低下します。
200~6400 (ムービー撮影時)	【  ISO 感度】を手動で設定します。ISO200 はノイズと画像の階調のバランスが最もとれる設定です。【  モード】（ムービー露出モード）が【M】のときに設定できます。

- ① 電子シャッターを使った撮影（静音撮影、フォーカスブラケットなど）のときに【 ISO 感度】が 8000 以上の場合、フラッシュの同調秒時は 1/20 秒になります。
- ② ISO ブラケット撮影を静音撮影で行うときは、ISO 感度の設定に関わらず同調秒時は 1/20 秒になります。
- ③ 【 モード】（ムービー露出モード）が【M】のときは、録画中でもタッチ操作 (P.83) またはフロント/リアダイヤルを回して ISO 感度を変更することができます。

- ① 静止画撮影のときに、ISO 感度を **[AUTO]** にしてピクチャーモードの **[ドラマチックトーン]** または **[ウォーターカラー]** を選ぶと、ISO 感度の上限が ISO1600 になります。
- ② **[M モード]** (ムービー露出モード) が **[M]** のときは、ピクチャーモードの設定によって次の制限があります。
- **[OM-Log400]** :
 - **[画質モード]** のフレームレートが 24p/25p/30p の場合、**[AUTO]** の範囲は ISO400～3200 です。
 - **[画質モード]** のフレームレートが 50p/60p の場合、**[AUTO]** の範囲は ISO400～6400 です。
 - マニュアル設定のときは、ISO400 が下限です。
 - **その他のピクチャーモード** :
 - **[画質モード]** のフレームレートが 24p/25p/30p の場合、**[AUTO]** の範囲は ISO200～3200 です。

露出を固定する (AE ロック)

AEL/AFL ボタンを押して、露出だけを固定することができます。ピントと露出を別々に決めたいときや、同じ露出で何枚も撮影するときに使います。

① 静止画撮影時に AE ロックの機能を使うためには、**[AEL/AFL モード]** (P.291) の設定が、**[mode1]** または **[mode2]** に設定されている必要があります (AF 方式が **[AF]** または **[AF MF]** のときは **[mode1]** のみ)。

- **AEL/AFL** ボタンに他の機能を割り当てているときは、いずれかのボタンに **[AEL/AFL]** の機能を割り当てておく必要があります。☞ 「ボタンの機能を変える (ボタン機能)」 (P.163)、「ボタンに割り当てられる機能と働き」 (P.165)
- 一度ボタンを押すと露出が固定され **[AEL]** が表示されます。☞ 「**AEL/AFL** ボタンを使ってピント合わせや測光を行う (**AEL/AFL** モード)」 (P.291)
- AE ロックを解除するには、もう一度ボタンを押します。
- モードダイヤル、**MENU** ボタンや **OK** ボタンの操作をするとロックは解除されます。

連写する／セルフタイマーを使う

連続撮影やセルフタイマーの方法を設定します。被写体に合わせて撮影方法を選択します。




①セルフタイマー撮影の際は、カメラを三脚にしっかりと固定してください。

1.  ボタンを押します。






2. フロント／リアダイヤルを回して項目を選択します。

- カスタムセルフタイマーでは、**INFO** ボタンを押して詳細設定ができます。

	単写	1コマ撮影です。1回のシャッターボタンの全押しで、1コマだけ撮影されます。
	連写 H	シャッターボタンを全押ししている間、最大約 10 コマ/秒で連続撮影できます。連写中、ピント・露出・ホワイトバランスは、最初の 1 コマで固定されます。
	連写 L	シャッターボタンを全押ししている間、最大約 6 コマ/秒で連続撮影できます。連写の速度や連写枚数の上限を設定できます (P.313)。連写中のピントと露出は、 [AF 方式] (P.116)、 [AEL/AFL モード] (P.291) に従います。 [AF 方式] が [C-AF] / [C-AF+TR] のときは、1 コマごとにピント合わせをします。
	セルフタイマー 12s	シャッターボタンを全押しすると 12 秒後に撮影されます。セルフタイマーランプが、約 10 秒点灯した後、約 2 秒間点滅して撮影されます。ピントはシャッターボタンを半押ししたときに合わせます。
	セルフタイマー 2s	シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーランプが約 2 秒間点滅した後、撮影されます。ピントはシャッターボタンを半押ししたときに合わせます。
	カスタムセルフタイマー	セルフタイマー撮影で、撮影までの時間や撮影するコマ数などを変更することができます (P.102)。
 (表示例)	低振動 [♦] 撮影	シャッター動作による微小なぶれを低減した撮影ができます。単写/連写 L/セルフタイマーと組み合わせた設定が選べます (P.103)。

 (表示例)	静音 [♥] 撮影	電子シャッターによる撮影をします。1/8000 秒より高速のシャッター速度に設定するときや、シャッター音が出せない環境下で撮影するときには使用します。単写／連写 L／連写 H／セルフタイマーと組み合わせた設定が選べます。♥  では、ピント／露出／ホワイトバランスは最初の 1 コマで固定されます。
Pro CapH	プロキャプチャー H¹	シャッターボタンを半押しすると連続撮影を開始します。全押しで、半押し時の画像を含めた撮影画像をカードへ記録開始します (P.105)。Pro CapH では、ピント／露出／ホワイトバランスはシャッターボタンを半押ししたときに固定されます。
Pro CapL	プロキャプチャー L¹	
	ハイレゾショット¹	より解像度の高い静止画を撮影できます (P.107)。🔊 撮影メニュー 2 の【ハイレゾショット】 (P.208) で、 【撮影方法】 を設定することができます。

1 ピクチャーモードのアートフィルターは設定できません。

- 🔊 セルフタイマー作動中に撮影を中止するには、▽ ボタンを押します。
- 🔊 セルフタイマー撮影時に、カメラの前に立ってシャッターボタンを押すとピントがボケる原因になります。
- 🔊 連写の速度や連写枚数の上限を設定できます (P.313)。
- 🔊 、Pro CapL では、撮影中にライブビューを表示します。、Pro CapH では、直前に撮影した画像を撮影中に表示します。
- 🔊 使用するレンズやズームの位置により、連写速度は変わります。
- 🔊 連写中、電池の消耗により電池残量マークが点滅すると、撮影を中止してカードに記録を始めます。電池の状態によっては、すべての画像を記録できない場合があります。
- 🔊 ⚙️ **カスタムメニュー 01** の **【/🔊 表示設定】** (P.272) で表示/非表示の設定ができます。
- 🔊 、 で **【ISO 感度】** が 8000 以上の場合、連写速度が低下します。
- 🔊 **【静音 [♥] 撮影】** に設定したときのフラッシュの同調秒時は 1/50 秒です。**【ISO 感度】** が 8000 以上の場合は 1/20 秒になります。
- 🔊 静音撮影およびプロキャプチャー撮影時に、動きの速い被写体を撮影したりカメラを激しく動かして撮影すると、画像が歪んで写ることがあります。
- 🔊 **【静音 [♥] 撮影】** でフラッシュ撮影をするときは、🔊 **撮影メニュー 2 【低振動 [♦]/静音撮影 [♥】** の **【静音 [♥] 撮影時動作】** で **【フラッシュ】** を **【許可】** にしておく必要があります。
- 🔊 LV ブーストの設定を **【On1】【On2】** に設定した場合、連写速度が低下することがあります。連写速度を確保したい場合は LV ブーストの設定を **【Off】** にしてください。🔊 ⚙️ **カスタムメニュー 02 【LV ブースト】** (P.273)

セルフタイマーの待ち時間や枚数を設定する (📷 カスタムセルフタイマー)

セルフタイマー撮影時の、撮影までの時間や撮影するコマ数などを変更することができます。

1. 📷📷 ボタンを押します。
2. フロント/リアダイヤルを回して 📷 (カスタムセルフタイマー) を選択し、INFO ボタンを押します。




3. <> ボタンで項目を選択し、△▽ ボタンで設定を変更します。



セルフタイマー時間	シャッターボタンを全押ししてから撮影されるまでの時間を設定します。
コマ数	1回の撮影で撮影するコマ数を設定します。
撮影間隔	2コマ以上撮影するときの撮影間隔を設定します。
各コマ AF	[Off] : 2コマ以上撮影するとき、最初の1コマでピントが固定されません。 [On] : 1コマごとに AF します。

シャッター動作時の振動を防いで撮影する（低振動 [◆] 撮影）

シャッター動作による微小なぶれを低減した撮影ができます。
マクロ撮影や超望遠レンズでの撮影などの場面で使います。


①あらかじめ  カスタムメニュー 01 の [/🔊 表示設定] (P.272) で を付けておく必要があります。

1.  🔊 ボタンを押します。
2. フロント/リアダイヤルを回して◆の付いた項目を選択し、**OK** ボタンを押します。
3. 撮影します。
 - 設定された時間が経過すると、シャッターが切れて撮影されます。


 シャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を  撮影メニュー 2 【低振動 [◆]/静音 [♥] 撮影】 の【低振動 [◆] 撮影】で変更できます (P.228)。

シャッター音を立てずに撮影する (静音 [♥] 撮影)

シャッター音が気になる場所で、音を立てずに撮影できます。電子シャッターを使って撮影するので、低振動撮影と同様にシャッター動作による微小なぶれを低減することができます。

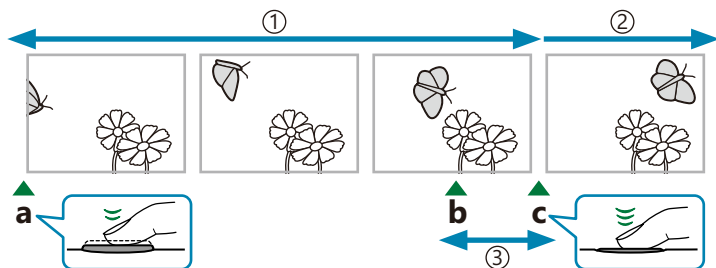
1.  ボタンを押します。
2. フロント/リアダイヤルを回して♥の付いた項目を選択し、OK ボタンを押します。
3. 撮影します。
 - シャッターが切れるとモニターの画面は一度暗くなります。シャッター音はしません。
 - シャッター速度の上限は 1/32000 です。

① 被写体の大きな動きや蛍光灯や LED 照明などのフリッカーにより、画像に乱れが出ることがあります。

🔊 シャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を  撮影メニュー 2 【低振動 [♦]/静音 [♥] 撮影】 の【静音 [♥] 撮影】で変更できます (P228)。

レリーズタイムラグを防いで撮影する（プロキャプチャー撮影）

シャッターボタンの半押しで画像の取り込みを開始して、シャッターボタンを全押しした瞬間からあらかじめ設定した枚数までさかのぼって画像を記録します。さらにシャッターボタンを押し続けている間、設定した枚数まで撮影を続けます。人の反応やカメラの動作のタイムラグにより撮り逃していた瞬間を記録することができます。



- ①最大 14コマ
- ②連写継続
- ③タイムラグ

- a シャッターボタン半押し
- b 撮りたい瞬間
- c シャッターボタン全押し

プロキャプチャー L (Pro CapL)


撮影距離が変化する被写体の撮影に適しています。10コマ/秒で連続撮影し、シャッターボタンを全押しする前の画像を最大 14コマ記録できます。【 AF 方式】(P.116) が【C-AF】 / 【C-AF+TR】のときは、1コマごとにピント合わせをします。

- ① Pro CapL (プロキャプチャー L) では絞り値が開放から F8.0 の間に制限されます。
- ② フォーサーズレンズおよび他社製マイクロフォーサーズレンズでは、Pro CapL (プロキャプチャー L) は使用できません。

プロキャプチャー H (Pro CapH)

撮影距離の変化が少ない被写体の撮影に適しています。最大 30コマ/秒で連続撮影し、シャッターボタンを全押しする前の画像を最大 14コマ記録できます。【 AF 方式】(P.116) の【C-AF】および【C-AF+TR】は【S-AF】に設定されます。


プロキャプチャー撮影の設定方法

1.  ボタンを押します。
2. フロント/リアダイヤルを回して **Pro CapH** (プロキャプチャー H) または **Pro CapL** (プロキャプチャー L) を選択し、**OK** ボタンを押します。
3. シャッターボタンを半押しして撮影を始めます。

- 半押しすると、画像取り込み中のアイコン (📷) が表示されます。そのまま全押ししないで1分経過すると、撮影終了して📷が消えます。撮影するためにはもう一度半押ししてください。



4. シャッターボタンを全押ししてカードへの記録を開始します。
 - シャッターボタンを押し続けている間、**【枚数リミッター】** で設定した枚数まで撮影を続けます。

🔗 **カスタムメニュー**  の **【L設定】**、**【H設定】** の **【Cap】** で、**【連写速度】** (**Pro CapH** (プロキャプチャー H) のみ)、**【プリ連写枚数】**、**【枚数リミッター】** を設定できます。🔗 **「連写時の速度や枚数の上限を設定する (L設定/H設定)」** (P.313)

- ① 被写体の大きな動きや蛍光灯などのフリッカーにより、画像に乱れが出ることがあります。
- ① 連写中は、表示のブラックアウトやシャッター音は発生しません。
- ① シャッター速度の低速側には制限があります。
- ① スマートフォン接続 (Wi-Fi) 時にプロキャプチャー撮影はできません。

より解像度の高い静止画を撮影する（ハイレゾショット撮影）




撮像素子の画像サイズ以上の高解像の写真を生成します。撮像素子を動かしながら撮影した複数枚の画像をもとに1枚の高解像の画像にします。通常の画像サイズでは拡大しても見分けられないような細かい部分も精細に再現した画像を得ることができます。

1.  ボタンを押します。

2. フロント/リアダイヤルを回して  を選択します。

- **INFO** ボタンを押すと、三脚か手持ちかの撮影方法をフロント/リアダイヤルで切り換えられます。



3. **OK** ボタンを押します。



- 画面に  が表示されます。カメラが安定していないときは、 が点滅します。カメラを安定させて  が点灯に変わったら準備完了です。





- ハイレゾショットの画質に変更されているので、画質設定を確認してください。変更するときは、LV スーパーコンパネを開いて設定します（P.135）。

4. 撮影します。

- カメラぶれにより画像がぶれる可能性が高いときは、 が点滅します。カメラをしっかり固定してください。
- 緑色の  が消えると撮影終了です。
- 撮影後、自動的に画像が合成されます。合成中を示す表示がされます。

  撮影メニュー 2 の【ハイレゾショット】で、シャッターボタンを全押ししてから実際にシャッターが切れるまでの時間と、ハイレゾショット撮影でフラッシュを使用するときの充電待ち時間、および三脚か手持ちかの撮影方法を設定できます（P.208）。

⑦ 選択可能な画質モードは JPEG（ または  ）と RAW + JPEG です。画質を RAW+JPEG にしたときは、ハイレゾショットの RAW 以外に合成前の RAW 画像（拡張子「.ORI」）を1枚保存します。合成前の RAW 画像は最新版の OM Workspace で再生できます。

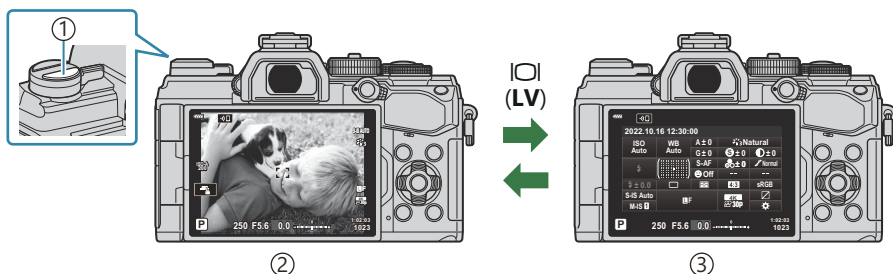
- ① **[📷 手ぶれ補正] (P.130)** は、**[撮影方法]** が **[三脚]** のときは自動的に **[S-IS Off]** に、**[手持ち]** のときは **[S-IS AUTO]** (オート) に設定されます。
- ① **[撮影方法]** が **[手持ち]** のときは、撮影待ち時間の設定は最大 1 秒に制限されます。
- ① RC フラッシュ撮影のときは、撮影待ち時間の設定は最大 4 秒に制限され、フラッシュの発光方式は MANUAL に固定されます。
- ① **P/A/S/M** モードで使用できます。
- ① ハイレゾショット撮影時は、次の機能は使用できません。
 - インターバル撮影/多重露出撮影/デジタルシフト撮影/ブラケット撮影/フィッシュアイ補正撮影/HDR 撮影/ライブ ND 撮影
- ① ピクチャーモードが **[e ポートレート]** またはアートフィルターに設定されているときは、**[Natural]** に設定されます。
- ① 蛍光灯や LED 照明などの光源下では画質が粗くなる場合があります。
- ① 画像のぶれなどで合成ができない場合、画質モードが **[JPEG]** のときは 1 枚目の画像を JPEG で記録します。**[RAW+JPEG]** のときは 1 枚目の RAW (.ORF) と JPEG を記録します。

LV スーパーコンパネ／スーパーコンパ ネで設定する

LV スーパーコンパネ／スーパーコンパネについ て

LV スーパーコンパネおよびスーパーコンパネは、撮影に関する機能とその設定内容をモニターに一覧表示できる機能設定パネルです。ライブビュー撮影時（モニターに被写体を表示して撮影するとき）はLV スーパーコンパネ、ファインダー撮影時はスーパーコンパネが使えます。

- ライブビュー撮影で **|O| (LV)** ボタンを押すとファインダー撮影に切り換わり、モニターにスーパーコンパネが表示されます。



① **|O| (LV)** ボタン

② ライブビュー撮影時

③ ファインダー撮影時（ファインダー点灯中、モニターは消灯します）

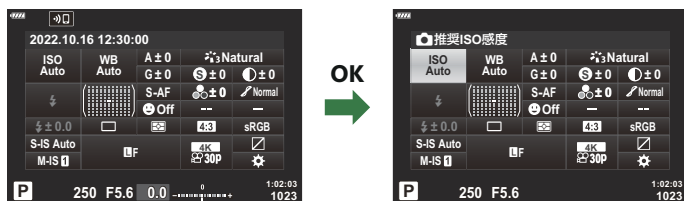
LV スーパーコンパネ（ライブビュー撮影時）

ライブビュー撮影時に **OK** ボタンを押すと、モニターに LV スーパーコンパネが表示されます。



スーパーコンパネ（ファインダー撮影時）

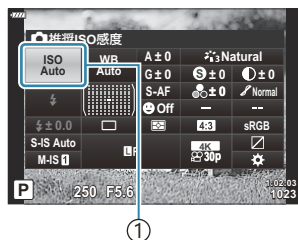
モニターに被写体を表示していないファインダー撮影で、常時表示しておくことができます。**OK** ボタンを押すと、カーソルが表示されます。



LV スーパーコンパネ/スーパーコンパネの設定方法

1. OK ボタンを押します。

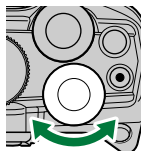
- ライブビュー撮影時は、LV スーパーコンパネが表示されません。
- 前回操作した機能にカーソルが表示されます。



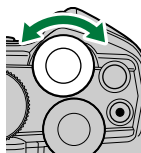
①カーソル

2. Δ ∇ \triangleleft \triangleright ボタンを押すか、リアダイヤルを回して設定する機能を選択します。

- 選択した機能にカーソルが移動します。
- 機能を直接タッチして選択することもできます。



3. フロントダイヤルを回して設定を変更します。



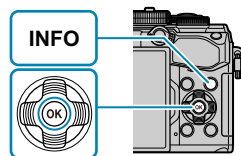
4. シャッターボタンを半押しすると、設定を確定してLV スーパーコンパネを終了します。

- スーパーコンパネの場合は、カーソルが消えて設定を終了します。

詳細設定をする

手順 2 で機能を選択し **OK** ボタンを押すと、選択メニューが表示され、設定値を確認しながら設定できます。

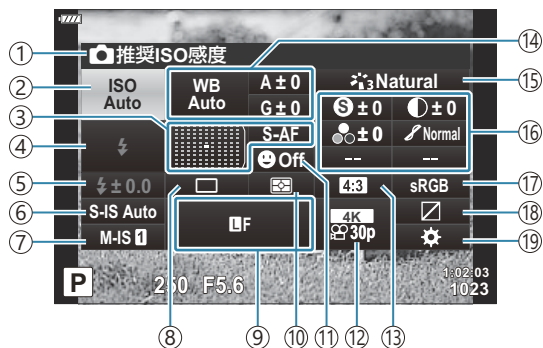
機能によっては、選択メニューからさらに詳細な設定が可能です。



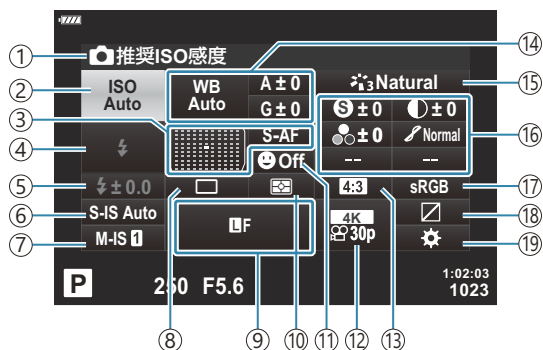
- **OK** ボタンの代わりにタッチ操作も使えます。選択した機能の位置を軽く 2 回タップすると選択メニューが表示されます。

LV スーパーコンパネ/スーパーコンパネで設定できる機能

LV スーパーコンパネ



スーパーコンパネ



- ① 現在選択している機能
- ② ISO 感度 (P.115)
- ③ AF 方式 (P.116)
 - AF ターゲット (P.121)
- ④ フラッシュモード (P.145)
- ⑤ フラッシュ補正值 (P.149)
 - マニュアル発光量 (P.145)
- ⑥  手ぶれ補正 (P.130)
- ⑦  手ぶれ補正 (P.130)
- ⑧ 連写/セルフタイマー (P.133)
- ⑨  画質モード (P.135)
- ⑩ 測光方式 (P.122)
- ⑪  顔優先 (P.123)
- ⑫  画質モード (P.137)
- ⑬ アスペクト比 (P.134)
- ⑭ WB モード (P.125)
 - ホワイトバランス補正 (P.129)
 - 色温度¹ (P.125)
- ⑮ ピクチャーモード (P.150)
- ⑯  シャープネス (P.154)
 -  コントラスト (P.155)
 -  彩度 (P.156)
 -  階調 (P.157)
 -  フィルター効果 (P.158)
 -  調色 (P.159)
 -  効果 (P.160)
 -  Color² (P.73)
 -  Color/Vivid³ (P.153)
 - Effect⁴ (P.72)
- ⑰ 色空間 (P.161)
- ⑱ ハイライト&シャドウコントロール (P.162)
- ⑲ ボタン機能割り当て (P.163)

1 WB モードが CWB (カスタムホワイトバランス) の設定時に表示されます。

2 パートカラー設定時に表示されます。

3 カラークリエイター設定時に表示されます。

4 アートフィルター設定時に表示されます。

感度を変更する (ISO 感度)

ISO 感度を設定します。🔍 「感度を変更する (ISO 感度)」 (P.97)

- 静止画撮影モードとムービーモードで別々に設定できます。

1. OK ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。


2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで [ISO 感度] を選択します。



3. フロントダイヤルで設定値を選択します。

ピントの合わせ方を設定する (AF 方式)

ピント合わせの方法 (フォーカスモード) を選択します。

- 静止画撮影モードと  モードで別々に設定できます。


1. OK ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。




2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで [AF 方式] を選択します。



3. フロントダイヤルで項目を選択します。

<p>S-AF (シングル AF)</p>	<p>シャッターボタンを半押しすると 1 回だけピント合わせを行います。静止画撮影モードでは、ピントが合うと、ピピッと音がして、画面に合焦マークと AF ターゲットが点灯します。ムービー撮影モードでは、ピントが合うと画面に合焦マークと AF ターゲットが表示されます。静物や動きの激しくない被写体を撮影するのに適しています。</p>
<p>C-AF (コンティニュアス AF)</p>	<p>静止画撮影モードでは、シャッターボタンを半押ししている間、被写体との距離を検出しながら、ピントを合わせ続けます。被写体にピントが合うと、画面に合焦マークが点灯します。また、1 回目の合焦時には、ピピッと音がします。ムービー撮影モードでは、撮影前も録画中も被写体に繰り返しピントを合わせ続けます。撮影距離が絶えず変化する被写体の撮影に適しています。</p>
<p>MF (マニュアルフォーカス)</p>	<p>レンズのフォーカスリングを操作することで任意の位置に手でピントを合わせることができます。</p> <div data-bbox="820 1145 1013 1289"></div> <div data-bbox="804 1305 1002 1396"><p>① 至近 ② ∞ ③ フォーカスリング</p></div>

<p>C-AF+TR (追尾 AF)</p>	<p>シャッターボタンの半押しでピントの合った被写体を、半押ししている間追尾してピント合わせの動作を繰り返します。</p> <p>ムービー撮影モードでは、撮影前はボタンを離しても追尾 AF を継続します。OK ボタンを押すと停止します。追尾 AF 中に録画を開始すると、追尾 AF はそのまま継続して動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 追尾被写体を見失うと、AF ターゲットが赤く表示されます。シャッターボタンを離して、もう一度被写体に合わせてシャッターボタンを半押ししてください。 • AF ターゲットが赤い表示のときは、被写体を追尾していても AF は動作しません。 • 次の機能では追尾 AF は使用できません。 <ul style="list-style-type: none"> - デジタルシフト撮影/ハイレゾショット/深度合成/フォーカスブラケット撮影/インターバル撮影/HDR 撮影/ライブ ND 撮影/イッシュアイ補正撮影
<p>PreMF (プリセット MF)</p>	<p>選択すると、プリセットしたピント位置に自動で設定します。</p>
<p> AF (星空 AF) (静止画撮影時のみ)</p>	<p>夜空の星を撮影するためのフォーカスモードです。AEL/AFL ボタンを押して星にピント合わせを行います。🔍 「星空 AF で撮影する」(P.119)</p>

- 明るさが不足している、霧などで被写体がはっきり見えないなど、被写体のコントラストが弱い場合はピントが合わないことがあります。
- フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、ムービー撮影中の AF は動作しません。
-  カスタムメニュー **A4** の [【MF クラッチ】](#) (P.268) が **【有効】** で、レンズのフォーカスリングが MF の位置になっている場合は **【AF 方式】** が設定できません。🔍 「[MF クラッチを搭載したレンズについて](#)」(P.420)
- **Fn** レバーの切り換えで、**Fn** レバー 1 と 2 のそれぞれの位置で設定した **【AF 方式】** に変更できます。🔍  カスタムメニュー **B** [【Fn レバー機能】](#) (P.269)、 動画メニュー [【ボタン/ダイヤル/レバー】](#) の [【Fn レバー機能】](#) (P.229)

オートフォーカス時にマニュアルフォーカスでピントを調整して撮影する

- あらかじめ **★ カスタムメニュー A1** の **[AF+MF]** (P.290) で **[On]** を選択しておきます。**[S-AF]** / **[C-AF]** / **[C-AF+TR]** / **[AF]** に **MF** が表示されます。

1. **MF** が表示されたフォーカスモードを選択します (P.116)。
 - ムービー撮影時は、**動画メニュー AF/手ぶれ補正設定** の **[AF方式]** (P.229) で **[S-AF MF]** を選択します。
2. シャッターボタンを半押ししてオートフォーカスでピントを合わせます。
 - **[AF MF]** では、**AEL/AFL** ボタンを押して、星空 AF を開始します。
3. シャッターボタンを半押ししたまま、フォーカスリングを操作して、マニュアルでピント位置を調整します。
 - 再度オートフォーカスを行うときは、シャッターボタンを半押しし直してください。
 - **[AF MF]** では、オートフォーカス動作中のマニュアルフォーカスはできません。
 - M.ZUIKO PRO (マイクロフォーサーズ PRO) レンズを使用しているとき、オートフォーカス中にフォーカスリングを操作してマニュアルフォーカスができます。その他のレンズでの対応は当社ホームページをご覧ください。
4. シャッターボタンを全押しして撮影します。

星空 AF で撮影する

1. AF 方式で **[AF]** を選択し、OK ボタンを押します。

2. AEL/AFL ボタンを押して、星空 AF を開始します。

- 再度 AEL/AFL ボタンを押すと星空 AF を中止します。
- 初期設定では、シャッターボタンの半押しで星空 AF を開始しません。✳️ **カスタムメニュー A1** の **[AEL/AFL モード]** (P.291) で、シャッターボタン半押しによる星空 AF 開始を設定することができます。
- 星空 AF 中は **[星空 AF 動作中です]** が表示されます。ピントが合うと合焦マーク (●) が約 2 秒間表示され、ピントが合わなかった場合は合焦マークが約 2 秒間点滅します。

3. シャッターボタンを全押しして撮影します。

✳️ **カスタムメニュー A4** の **[星空 AF 設定]** (P.268) で **[精度優先]** と **[速度優先]** を選択できます。**[精度優先]** を選択した場合は、三脚でカメラを固定して撮影してください。

✳️ ターゲットモードは、シングルターゲット、グループターゲット (3×3)、グループターゲット (5×5) のみ選択できます (P.90)。

✳️ 周囲が明るい撮影環境ではピントが合いません。

✳️ プロキャブチャージャー撮影では使用できません。

✳️ **[縦位置/横位置切換]** (P.302)、**[循環設定]** (P.300)、**[AF リミッター]** (P.303)、✳️ **カスタムメニュー A3** の **[AF 補助光]** (P.267) は **[Off]** に、✳️ **カスタムメニュー A3** の **[顔優先]** (P.267) は **[顔優先 Off]** に、✳️ **カスタムメニュー A1** の **[AF スキャン]** (P.265) は **[mode1]** に固定されます。

✳️ 星空 AF を設定すると、ピント位置が自動で無限遠に移動します。

✳️ ✳️ **カスタムメニュー G1** の **[レリーズ優先 S]** (P.270) を **[On]** に設定すると、ピントが合わなくてもシャッターを切ることができます。

✳️ フォーサーズレンズを取り付けると、マニュアルフォーカスになります。

✳️ 星空 AF は、OM デジタルソリューションズ製またはオリンパス製のマイクロフォーサーズレンズで動作します。ただし、開放 F 値が 5.6 より大きいレンズでは、星空 AF を使用できません。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

プリセット MF にピント位置を設定する

1. AF 方式で **[PreMF]** を選択し、**INFO** ボタンを押します。

2. シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。
• フォーカスリングを回して、ピントを微調整できます。

3. **OK** ボタンを押します。

- **★ カスタムメニュー A4** の **[プリセット MF 距離]** (P.268) で、ピント位置の距離を設定できます。
- 次のときにもプリセットした位置にピントを移動します。
 - カメラの電源をオンにしたとき
 - メニュー画面を操作して撮影画面に戻ったとき

マニュアルフォーカスでピントを調整するときのヒント

AF 方式で **[S-AF MF]** / **[C-AF MF]** / **[MF]** / **[C-AF+TR MF]** / **[PreMF]** / **[AF MF]** を選択時、露光中または **[連写 L]** での連写中でもマニュアルフォーカスによるピントの調整ができます。

- 撮影モードが **B** (バルブ) のとき、露光中のマニュアルフォーカスは **[BULB/TIME 中 MF]** (P.309) の設定で動作します。

ピント合わせの範囲や位置を選ぶ (AF ターゲット選択)

AF ターゲットの設定をします。☞ 「ピント合わせの範囲を選ぶ (AF ターゲットモード)」 (P.90)、
「ピント合わせの位置を自分で決める (AF ターゲット位置)」 (P.94)

1. OK ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。

2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで [AF ターゲット選択] を選択し、OK ボタンを押します。



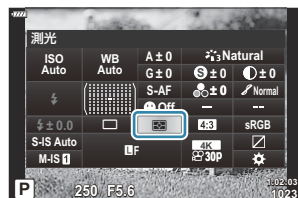
- AF ターゲット選択画面が表示されます。

3. フロント/リアダイヤルで AF ターゲットモードを選択します。 $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで AF ターゲット位置を移動します。

明るさを測る方法を選ぶ（測光）

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更します。

1. **OK** ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。
2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで **測光** を選択します。



3. フロントダイヤルで項目を選択します。

	デジタル ESP 測光	画面を 324 分割測光し、撮影シーンや顔（☺ 顔優先）が [OFF] 以外するときなどを考慮し最適な露出値を演算します。通常はこのモードをおすすめします。	
	中央重点平均 測光	画面の中央部に重点を置いて、画面全域を平均測光します。	
	スポット測光	測光したいポイントにカメラを向け、狭い範囲（約 2%）の明るさを測光するときに使います。測光した箇所が適正な明るさになります。	
	スポット測光 ハイライト	スポット測光したポイントがより明るくなります。明るいところを明るく表現します。	
	スポット測光 シャドウ	スポット測光したポイントがより暗くなります。暗いところを暗く表現します。	

☞ スポット測光位置を AF ターゲットに連動させることができます。🔧 **カスタムメニュー** **[[:]] 連動スポット測光** (P.279)

顔優先 AF / 瞳優先 AF を使う (☺ 顔優先)

カメラが自動的に人物の顔や瞳を検出してピントを合わせます。

1. OK ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。
2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで [☺ 顔優先] を選択します。

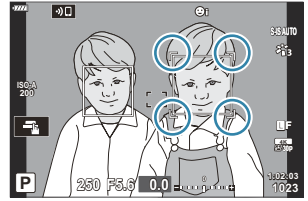


3. フロントダイヤルで設定値を選択します。

	顔優先 On	被写体の顔を検出してピントを合わせます。
	顔優先 Off	顔優先 AF を使いません。
	顔・瞳優先 On	被写体の顔を検出して、近いほうの瞳にピントを合わせます。
	顔・瞳 (左側) 優先 On	被写体の顔を検出して、左の瞳にピントを合わせます。
	顔・瞳 (右側) 優先 On	被写体の顔を検出して、右の瞳にピントを合わせます。

4. カメラを被写体に向けます。

- カメラが顔を検出すると、検出したすべての顔に白い枠が表示されます。ピントを合わせる顔には、四隅に白い二重枠が表示されます。瞳優先 AF のときは、瞳を検出すると、ピントを合わせる顔の瞳にも白い枠が表示されます。

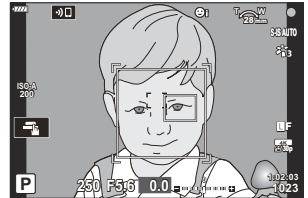


ピントを合わせる顔には四隅に白い二重枠が表示されます。

- カメラが複数の人物の顔や瞳を検出したときに、**[☺ 顔選択]** の機能を割り当てたボタンを操作して、ピントを合わせる顔を選択できます。ボタンを押すと、AF ターゲットに近い顔を選択します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、ピントを合わせる顔を切り換えます。ボタンを離すと確定します。**[🔧 ボタンの機能を変える (ボタン機能)]** (P.163)
- タッチ操作でも、ピントを合わせる顔を選択できます (P.46)。

5. シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。

- 検出された顔のピントが合った部分に、緑の枠が表示されます。
- 被写体の瞳を検出したときは瞳にピントを合わせます。



- [MF]** (P.116) でも顔や瞳の検出ができます。顔や瞳を検出すると白い枠が表示されます。その場合も、露出は顔を中心に設定されます。
- [☒]** (P.122) (デジタル ESP 測光) では顔を優先して測光します。
- 拡大枠を表示しているときは、拡大枠の位置にピントを合わせます。

6. シャッターボタンを全押しします。

- ① 被写体やアートフィルターの設定によっては、顔が検出できないことがあります。
- 🔊 静止画撮影モードでは、**[C-AF]** や **[C-AFMF]** で人物以外の被写体を撮影するときは、**[顔優先 Off]** をおすすめします。
- 🔊 顔や瞳を検出した場合でも、設定した AF ターゲットの位置を優先してピントを合わせるように設定できます。**[🔧 カスタムメニュー A1 [📷 AEL/AFL モード] の [顔優先 AF] (P.291)]**
- 🔊 ムービーモードでは、**[顔・瞳優先 On]**、**[顔・瞳 (左側) 優先 On]**、**[顔・瞳 (右側) 優先 On]** は設定できません。
- 🔊 AF ターゲットモード (P.90) がシングルターゲットで、測光方式 (P.122) が **[☐]** (スポット測光) のときに **[🔧 カスタムメニュー B3 の [:::] 連動スポット測光] (P.279)** を使用していると、この機能は無効になります。

画像の色合いを調整する（ホワイトバランス）

ホワイトバランス（WB）は白いものを白く写すための機能です。通常は【AUTO】（オート）で問題ありませんが、適切な白にならない場合や、逆に色合いを出したい場合は光源に合わせて、【AUTO】以外のホワイトバランスを手動で設定します。

- 静止画撮影モードとムービーモードで別々に設定できます。

1. OK ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。

2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで【ホワイトバランス】を選択します。



3. フロントダイヤルで項目を選択します。

- ワンタッチホワイトバランスやカスタムホワイトバランスを選択したときは、OK ボタンを押した後、INFO ボタンを押して調整値の取得や変更ができます。

WB モード		設定される色温度	適した撮影シーン
オートホワイトバランス	AUTO	—	一般的なほとんどの撮影シーン（画面内に白に近い色が存在する撮影シーン） <ul style="list-style-type: none">• 通常はこのモードをお使いください。• 電球下での色合いを設定できます（P.128）。

WB モード		設定される色温度	適した撮影シーン
プリセットホワイトバランス		5300K	晴天の日に屋外で撮るとき、夕焼けを赤く撮るとき、花火を撮るとき
		7500K	晴天の日に屋外の日陰で撮るとき
		6000K	曇天の日に屋外で撮るとき
		3000K	電球に照らされている被写体を撮るとき
		4000K	蛍光灯に照らされている被写体を撮るとき
		—	水中で撮るとき
		5500K	フラッシュの色温度相当の照明で撮るとき
ワンタッチホワイトバランス	   	ワンタッチホワイトバランスで設定した色温度	白に合わせたいものが特定できているとき <ul style="list-style-type: none"> 実際の撮影環境下で白に合わせたいものの色温度を測って設定します (P.127)。
カスタムホワイトバランス	CWB	2000K～14000K	色温度での特定ができるとき <ul style="list-style-type: none"> 色温度を選択し、設定します。

ワンタッチホワイトバランスの設定

撮影する光源下で白い紙などにカメラを向けて、ホワイトバランスを測定します。☀（晴天）や ☁（曇天）などの用意された設定値や微調整では合わせるのが難しい、微妙な色合いの設定ができます。取得した調整値を記憶させておき、使い分けることができます。

1. [☀₁], [☀₂], [☀₃] または [☀₄]（ワンタッチホワイトバランス 1、2、3 または 4）を選択します。
2. 白かグレーのように無彩色の紙を撮影します。
 - 紙が画面いっぱいに写るようにカメラを構えます。影の部分ができないようにしてください。
 - 静止画撮影モードの場合は、**INFO** ボタンを押してからシャッターボタンで撮影します。
 - ムービーモードの場合は、**INFO** ボタンを押します。
 - ワンタッチホワイトバランス画面が表示されます。
3. **[実行]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - ホワイトバランスがプリセットホワイトバランスの 1 つとしてカメラに登録されます。
 - 新しいワンタッチホワイトバランスを撮影するまで、カメラに記憶されます。電源をオフにしても消去されません。

WB オート電球色残し

ホワイトバランスがオートのとき、電球下で撮影時の色合いを設定できます。

1. [ホワイトバランス] を選択して、**OK** ボタンを押します。
2. [AUTO] を選択した後、**INFO** ボタンを押します。
 - [WB オート 電球色残し] の選択肢が表示されます。
3. $\Delta \nabla \langle \triangleright$ ボタンで項目を選択し、**OK** ボタンを押します。

OFF	電球下の色かぶりを抑えます。
ON	電球下の暖かい色味を残します。

ホワイトバランスを微調整する（ホワイトバランス補正）

ホワイトバランスの設定を微調整できます。個別に調整値を設定できます。次の補正ができます。

A	A 方向（アンバー - 青）	+方向で赤味がかかり、-方向で青味がかかった画像になります。
G	G 方向（緑 - 赤紫）	+方向で緑の色味が増し、-方向で赤紫がかかった画像になります。

1. **OK** ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。

2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで WB 補正（**[A±0]** または **[G±0]**）を選択し、フロントダイヤルで補正値を設定します。



- **OK** ボタンを押すと、色味の補正画面が表示されます。

🔗 すべてのホワイトバランスモードを一括で補正することもできます。🔗 **カスタムメニュー** **G** **【全 WB モード補正】** (P281)、🔗 **動画メニュー** **【画質設定】** の **【全 WB モード補正】** (P229)

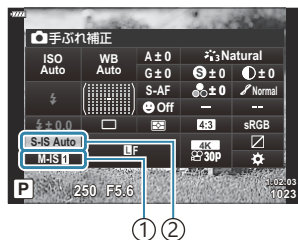
🔗 補正したホワイトバランスは、補正画面上のライブビューで確認できます。静止画撮影モードでは、撮影画像で確認できます。補正画面で **🔵**（ムービー）ボタンを押すと、設定したホワイトバランスの条件で試し撮りしたサンプル画像が表示されます。

手ぶれを抑えて撮影する（手ぶれ補正）

被写体が暗い場面や、高倍率撮影などで起きやすい手ぶれを抑えることができます。

1. OK ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。

2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで手ぶれ補正を選択します。



① 手ぶれ補正

② 手ぶれ補正

3. フロントダイヤルで項目を選択します。

静止画 (S-IS)

S-IS Off (静止画手ぶれ補正オフ)	手ぶれ補正をしません。三脚使用時にお使いください。
S-IS AUTO (手ぶれ補正オート)	カメラの全方向の動きに対して補正をします。流し撮りを検出すると、画像を流す方向の補正を自動的に停止します。
S-IS 1 (全方向補正)	カメラの全方向の動きに対して補正をします。
S-IS 2 (縦ぶれ補正)	カメラの縦方向の手ぶれに対して補正をします。横方向に流し撮りするときに適しています。
S-IS 3 (横ぶれ補正)	カメラの横方向の手ぶれに対して補正をします。縦位置で流し撮りするときに適しています。

ムービー (M-IS)

M-IS Off (動画手ぶれ補正オフ)	手ぶれ補正をしません。
M-IS 1 (全方向補正)	センサーシフト式と電子式の両方の補正を使用します。
M-IS 2 (全方向補正)	センサーシフト式補正のみ行います。電子式の補正は行いません。

- ① 手ぶれが大きすぎる場合やシャッター速度が極端に遅い場合は、手ぶれを補正しきれないことがあります。このときは三脚を使用して撮影してください。
 - ② 手ぶれ補正が作動していると、作動音や振動を感じることがあります。
 - ③ 手ぶれ補正機能切り換えスイッチのあるレンズでは、レンズ側の設定が優先されます。
- ☞ シャッターボタンを半押ししたときの、手ぶれ補正の動作のオンオフを選択できます。📷 ⚙️ カスタムメニュー 📺 [半押し中手ぶれ補正] (P.270)
- ☞ レンズの手ぶれ補正機能を優先して働かせることができます。📷 ⚙️ カスタムメニュー 📺 [レンズ手ぶれ補正優先] (P.270)

マイクロフォーサーズ／フォーサーズ以外のレンズを使うとき

マイクロフォーサーズ／フォーサーズ以外のレンズを使うときは、レンズの焦点距離情報を入力して設定します。

- **[手ぶれ補正]** 選択時に **OK** ボタンを押します。**INFO** ボタンを押して、**△▽◀▶** ボタンで焦点距離を設定し **OK** ボタンを押します。
 - 0.1mm～1000.0mm までの焦点距離が設定可能です。
 - レンズに記載の数値を設定してください。
- 🔗 **📷 撮影メニュー 1 [リセット/カスタム設定] の [リセット] (標準) (P.200)** でカメラの設定をリセットしても、登録したレンズの焦点距離は保持されます。

連写する／セルフタイマーを使う

シャッターボタンを押している間、連続撮影ができます。また、セルフタイマーによる撮影もできます。その他、低振動撮影や静音撮影などの設定もできます。📷 「連写する／セルフタイマーを使う」(P.100)

1. OK ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。
2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで連写／セルフタイマーを選択します。



3. フロントダイヤルで項目を選択します。

アスペクト比を設定する

撮影の意図やプリントなどの出力時の狙いに合わせて、画像の縦横比を設定します。通常のアスペクト比（横×縦）である【4:3】の他に【16:9】、【3:2】、【1:1】、【3:4】が設定できます。

1. OK ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。
2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで【アスペクト】を選択します。



3. フロントダイヤルで設定値を選択します。

🔗 アスペクト比は、静止画撮影時のみ設定できます。

🔗 JPEG の画像では、設定したアスペクト比の画像で記録されます。RAW 画像は、撮像素子のサイズである【4:3】のままの画像にアスペクト比の設定情報を付けて記録されます。再生時は、設定情報に合わせて枠が表示されます。

静止画撮影で記録する画像サイズを選択する(📷 画質モード)

静止画の画質モードを設定します。パソコンでの加工やホームページでの使用など用途に応じて選べます。

1. **OK** ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。
2. **△▽◀▶** ボタンで **📷 画質モード** を選択します。



3. フロントダイヤルで項目を選択します。
 - 次の設定項目から選択します。

設定項目	画像サイズ	圧縮率	ファイル形式
SF	5184×3888	SuperFine (1/2.7)	JPG
F	5184×3888	Fine (1/4)	JPG
N	5184×3888	Normal (1/8)	JPG
MN	3200×2400	Normal (1/8)	JPG
RAW	5184×3888	ロスレス圧縮	ORF
RAW+JPEG	RAW と上記の JPEG の組み合わせ		

🔗 画像サイズと圧縮率の組み合わせはメニューで変更することができます。🔗 **カスタムメニュー G 【画質設定】 (P.281)**

🔗 ハイレゾショット (P.107) が設定されているときは、**60m F**、**25m F**、**50m F+RAW**、**25m F+RAW** の選択ができます。

🔗 ハイレゾショットに設定すると、画質モードの設定も変更されるので、撮影前に確認してください。

🔗 RAW 画像とは、露出補正やホワイトバランスなどの撮影の設定が反映されていない未加工の状態のデータです。撮影後にあらためて絵作りをするための元データとして使います。

- 拡張子「.ORF」で記録されます。
- 他のカメラでの再生はできません。
- パソコンでの閲覧は画像編集・管理ソフトウェア OM Workspace をお使いください。
- このカメラの編集機能 [\[RAW 編集\]](#) (P.246) を使って、JPEG のデータにすることができます。

ムービーの画質を設定する (画質モード)

ムービーの画質モードを設定します。

パソコンでの加工やホームページでの使用など、用途に応じて設定できます。ムービーサイズやフレームレートなどの設定を変えた複数の設定を記憶させておき、使い分けることができます。また、スローモーションやクイックモーションのムービーやハイスピードムービーの選択もできます。☞「スローモーション/クイックモーション撮影をする (スロー/クイック撮影)」(P.142)、「ハイスピードムービーを撮影する」(P.140)

1. **OK** ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。

2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで [画質モード] を選択します。



3. フロントダイヤルで項目を選択します。

- **OK** ボタンを押してから **INFO** ボタンを押し、リアダイヤルを回すと、各画質モードの設定を変更できます。

画質モードの表記について

設定の変更は  画質モードのアイコンに反映されます。設定によって次のように表示が変わります。



- ①ムービーサイズ
- ②圧縮方式/ビットレート
- ③フレームレート
- ④設定の種類

ムービーサイズ

FHD	Full HD ¹	1920×1080
HD	HD ¹	1280×720
4K	4K ¹	3840×2160
C4K	4K デジタルシネマ ¹	4096×2160

¹ MPEG-4 AVC/H.264 形式で記録されます。

圧縮方式/ビットレート

①【ムービーサイズ】が【4K】および【C4K】のときは選択できません。

A-I	All Intra ¹
SF	Super Fine
F	Fine
N	Normal

¹ All-Intra はフレーム間の圧縮をしないで記録されるムービーです。編集に向いていますが、データの容量が大きくなります。




フレームレート

60p	60p : 59.94fps
50p	50p : 50.00fps
30p	30p : 29.97fps

25p	25p : 25.00fps
24p	24p : 23.98fps 24p : 24.00fps (C4K)

- 次のときは、**[60p]** および **[50p]** は選択できません。
 - **[ムービーサイズ]** を **[FHD]** (Full HD)、ビットレートを **[A-I]** に設定しているとき
 - **[ムービーサイズ]** が **[C4K]** または **[4K]** のとき
- **[ムービーサイズ]** が **[C4K]** のときは、**[フレームレート]** は **[24p]** に固定されます。

設定の種類

	設定 1/2/3/4 : 4 種類の組み合わせを記憶しておけます。
	カスタム : ムービーサイズで 4K/4K デジタルシネマが選択できます。また、スロー/クイック撮影をすることもできます (P.142)。
—	ハイスピードムービー  「ハイスピードムービーを撮影する」 (P.140)

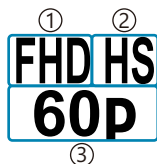
- ① 使用するカードによっては、最長時間まで記録されずに途中で撮影が終了する場合があります。
- ① 設定の組み合わせによってはビットレートの変更ができない場合があります。
- ① アスペクト比は、16:9 です。C4K の設定では、17:9 に設定されます。

ハイスピードムービーを撮影する

高速度撮影をします。撮影時は、120コマ/秒で撮影して60コマ/秒で再生するムービーとして記録します。時間を約2倍に延ばして再生することで、被写体の一瞬の動きをスローモーションで見ることができます（再生フレームレートが60pのとき）。

ムービー画質モードの選択肢の一つとして設定します。再生フレームレートの設定により、再生時の速度の倍率を変えることができます。

設定の変更は画質モードのアイコンに反映されます。設定によって次のように表示が変わります。



- ① ムービーサイズ
- ② 設定の種類
- ③ 再生フレームレート

ムービーサイズ


FHD	Full HD (1920×1080)
-----	---------------------

設定の種類

HS	ハイスピードムービー (120fps)
----	---------------------

再生フレームレート

60p	60p : 59.94fps 再生倍率 : ×0.5
50p	50p : 50.00fps 再生倍率 : ×0.42
30p	30p : 29.97fps 再生倍率 : ×0.25
25p	25p : 25.00fps 再生倍率 : ×0.21
24p	24p : 23.98fps 再生倍率 : ×0.2

- 1.**  (ハイスピード) を選択します。
 - 設定の内容で使用するときには **OK** ボタンを押します。設定が確定されメニューが消えます。
- 2.** 詳細設定をするときは手順 1 の設定メニューの表示で **INFO** ボタンを押します。
 - 詳細設定のメニューが表示されカーソルが移動します。

3. フレームレートを選択し、設定します。

- $\Delta \nabla$ ボタンで設定を変更します。

4. OK ボタンを押すと、設定を確定してメニューを終了します。

- ① 録画中は、ピント位置、測光、ホワイトバランスは固定されます。
- ① 音声は記録されません。
- ① 画角がやや狭く設定されます。
- ① 録画中は、絞り値やシャッター速度、露出補正、ISO 感度の変更はできません。
- ① タイムコードの表示や記録はできません。
- ① 録画中にズーム操作を行うと、明るさが変わる場合があります。
- ① SD/SDHC カード使用時、1 ファイルは 4GB に制限されます。SDXC カード使用時は、再生時間が 2 時間を超えないところまで録画が中止します。
- ① HDMI 機器接続中は、ハイスピードムービーの撮影はできません。
- ① $\left[\text{手ぶれ補正} \right]$ の $\left[\text{M-IS} \right]$ は設定できません。
- ① $\left[\text{ムービーテレコン} \right]$ は使用できません。
- ① ピクチャーモードの $\left[\text{i-Finish} \right]$ 、 $\left[\text{e ポートレート} \right]$ 、およびアートフィルターは設定できません。
- ① $\left[\text{階調} \right]$ は $\left[\text{階調標準} \right]$ に固定されます。
- ① スマートフォンと接続してリモート撮影を行っているとき、ハイスピードムービーの撮影は設定できません。

スローモーション/クイックモーションムービーを撮影する（スロー/クイック撮影）

スローモーションやクイックモーションのムービーを作ることができます。ムービー画質のムービーで録画速度を設定します。

1. **OK** ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。

2. $\Delta \nabla \langle \triangleright$ ボタンで [**画質モード**] を選択します。

3. フロントダイヤルで **54K** (カスタムの画質モード) (P.138) を選択し、**OK** ボタンを押します。



• **INFO** ボタンを押すと [**スロー/クイック効果**] を変更できます。 $\langle \triangleright$ ボタンで [**スロー/クイック効果**] を選んでから $\Delta \nabla$ ボタンで倍率を選び、**OK** ボタンを押します。倍率を大きくするとクイック撮影、小さくするとスロー撮影になります。フレームレートは倍率に合わせて変更されます。

4. **◎** ボタンを押して撮影を始めます。

- 撮影を終了するときにはもう一度 **◎** ボタンを押します。
- 再生時は決まった速度で再生されるので、スローモーションやクイックモーションに見えるムービーになります。

① 音声は記録されません。

① ピクチャーモードのアートフィルターは解除されます。

① [**画質モード**] の設定によっては、スロー撮影、クイック撮影の片方もしくは両方が設定できない場合があります。

① シャッター速度は 1/24 以上に制限されます。 [**フレームレート**] の設定により変わります。

フラッシュを使って撮影する（フラッシュ撮影）

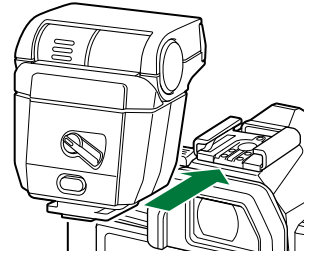
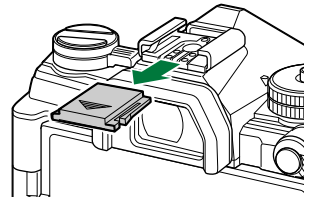
外部フラッシュを使うとカメラでフラッシュの発光モードを設定して撮影することができます。

外部フラッシュを取り付ける

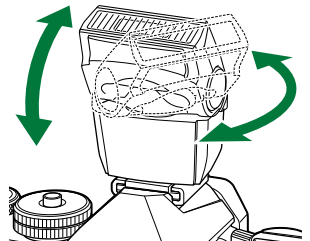
フラッシュのカメラへの固定方法や操作方法はフラッシュによって異なります。詳しくはフラッシュの取扱説明書をお読みください。ここでは FL-LM3 を使った場合の説明をします。

① カメラとフラッシュの電源が切れていることを確認してください。電源が入ったまま取り付け／取り外しをすると故障の原因となります。

1. ホットシューカバーを外して、フラッシュをカメラに装着します。
 - フラッシュが奥にカチッと突き当たるまでしっかりと差し込みます。



2. バウンス撮影時は、発光部の向きを調節します。
 - 上方向と左右に回すことができます。



- バウンス撮影ではフラッシュの光量不足にご注意ください。

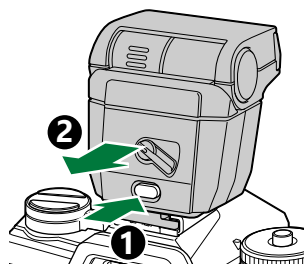
3. フラッシュの **ON/OFF** レバーを **ON** にして電源を入れます。



- フラッシュを使わないときは、レバーを **OFF** にして電源をオフにします。

外部フラッシュを取り外す

1. フラッシュの **UNLOCK** スイッチを押しながらホットシューからフラッシュを外します。



発光モードを設定する（フラッシュ）

外部フラッシュを使うときは、カメラでフラッシュの発光モードの設定ができます。フラッシュを装着して電源を入れたら、自動的にシャッター速度の上限は固定されます。

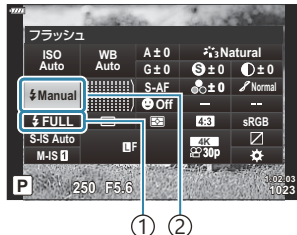
1. OK ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。

2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで【フラッシュ】を選択します。



3. フロントダイヤルで項目を選択します。

- LV スーパーコンパネでフラッシュ発光モードを選択し、設定します。





- ① マニュアル発光量（マニュアル発光選択時）
フラッシュ補正（マニュアル発光以外選択時）
- ② フラッシュ発光モード

フラッシュ発光モード


	発光	フラッシュを発光します。 ①シャッター速度は、 [ 低速制限] と [ 同調速度] で設定した値の間で設定されます。🔊  カスタムメニュー F [ 低速制限] 、 [ 同調速度] (P337)
	発光禁止	フラッシュを発光しません。 ①フラッシュの電源スイッチがオンになっていても発光しません。
	赤目軽減発光	人物の目が赤く写る現象を起こりにくくします。 フラッシュの発光は、  (発光) と同様に働きます。
	スローシンクロ (先幕シンクロ)	被写体も背景も適正露出となるように、遅いシャッター速度でフラッシュを発光します。 ① [ 低速制限] の設定に関わらず、測光値に合わせて遅いシャッター速度に設定されます。
	スローシンクロ + 赤目軽減発光	 (スローシンクロ) と赤目軽減発光を併用します。フラッシュは先幕シンクロで発光します。
	スローシンクロ (後幕シンクロ)	 (スローシンクロ) と同様にスローシンクロで発光します。 ①フラッシュはシャッターを閉じる直前で発光します。被写体の移動方向の後方に光跡が残る写真になります。 
 など	マニュアル発光	設定した光量で発光します。

①スーパー FP 発光の機能については、フラッシュ側で設定をしてください。

② (赤目軽減発光) では、最初の予備発光からシャッターが切れるまで約 1 秒かかります。撮影が終わるまでカメラを動かさないでください。

③撮影状況によっては、 (赤目軽減発光) の効果が得られないことがあります。

フラッシュ発光モードとシャッター速度

フラッシュの発光モードの設定に合わせて、使用できるシャッター速度の範囲が変わります。シャッター速度の上限と下限は、使用できる範囲の中で  カスタムメニューで変更することができます。

  カスタムメニュー  [ 低速制限]、 [ 同調速度] (P.337)

撮影モード : P/A

LV スーパーコンパネの表示	フラッシュ発光モード	発光タイミング	シャッター速度制限条件
	発光	先幕シンクロ	30 秒~1/250 秒
	赤目軽減		
	発光禁止	—	—
	スローシンクロ (赤目軽減)	先幕シンクロ	60 秒~1/250 秒
	スローシンクロ (先幕シンクロ)		
	スローシンクロ (後幕シンクロ)		
 FULL、  1/4 など	マニュアル発光	先幕シンクロ	30 秒~1/250 秒

撮影モード : S/M

LV スーパーコンパネの表示	フラッシュ発光モード	発光タイミング	シャッター速度制限条件
	発光	先幕シンクロ	60 秒~1/250 秒
	赤目軽減		
	発光禁止	—	—

LV スーパーコンパネの表示	フラッシュ発光モード	発光タイミング	シャッター速度制限条件
	スローシンクロ（後幕シンクロ）	後幕シンクロ	60 秒～1/250 秒
	マニュアル発光	先幕シンクロ	

撮影モード：B¹

LV スーパーコンパネの表示	フラッシュ発光モード	発光タイミング	シャッター速度制限条件
	発光	先幕シンクロ	—
	赤目軽減		
	発光禁止	—	—
	スローシンクロ（後幕シンクロ）	後幕シンクロ	—
	マニュアル発光	先幕シンクロ	—

1 **[LIVE COMP]** (P.62) では、後幕シンクロは使用できません。

① フラッシュ発光モードでの注意事項

- 赤目軽減発光では、最初の予備発光からシャッターが切れるまで約 1 秒かかります。撮影が終わるまでカメラを動かさないでください。また撮影状況によっては、効果が得られないことがあります。
- フラッシュ発光時、シャッター速度は 1/250 秒以下に設定されます。背景の明るい被写体では、発光すると背景が露出オーバーになることがあります。
- 静音撮影 (P.104)、ハイレゾショット撮影 (P.107) およびフォーカスブラケット撮影時 (P.212) は同調速度が 1/50 秒になります。また、電子シャッターを使った撮影（静音撮影、フォーカスブラケット撮影など）のときに **[ISO 感度]** が 8000 以上の場合、フラッシュの同調秒時は 1/20 秒になります。ISO ブラケット撮影時 (P.212) もフラッシュの同調秒時は 1/20 秒になります。
- 被写体が近いと発光量を最小にしても強すぎる場合があります。近距離撮影での露出オーバーを防ぐには、**A、M** モードで絞り値を大きくしたり、**[ISO 感度]** を低く設定して撮影してください。

フラッシュの発光量を調節する（フラッシュ発光量補正）

フラッシュの光で被写体が白くとんでしまったり、全体的にはちょうどよい明るさなのに被写体だけが暗い写真になってしまうときにフラッシュの発光量を調整します。【**⚡Manual**】（マニュアル発光）以外のフラッシュ発光モードに設定されているときに使用できます。

- 【**⚡Manual**】（マニュアル発光）を選択したときは、▽ ボタンで【**⚡FULL**】を選択し、フロントダイヤルを回すと、発光量を設定できます。

1. OK ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。

2. △▽◀▶ ボタンで【**フラッシュ補正**】を選択します。



3. フロントダイヤルで項目を選択します。

- 専用外部フラッシュ側でフラッシュ発光量を補正していると、カメラ側で設定した発光補正量に加算されて働きます。

画像の仕上がりを設定する（ピクチャーモード）

画像の色合いや階調を操作して仕上がりを調整します。被写体や写真表現に合わせて、用意された項目を選ぶだけで設定できます。それぞれの項目別に、コントラストやシャープネスなどの調整をすることができます。また、写真をアーティスティックな表現にするアートフィルターを使うこともできます。アートフィルターでは、フレーム効果などの効果の設定をすることもできます。調整したパラメータはピクチャーモード別に記憶されます。

ピクチャーモードの種類

	i-Finish	カメラが被写体を自動的に判別して、最適な色やコントラストを再現します (P.160)。
	Vivid	鮮やかな色合いになります。
	Natural	自然な色合いになります。
	Flat	素材性を重視した仕上がりになります。
	Portrait	肌色をきれいに仕上げます。
	モノトーン	モノクロ調に仕上げます。フィルター効果を使ったり全体的に色付けする調色をすることもできます (P.159)。
	カスタム	調整を加えたピクチャーモードを登録できます。
	eポートレート	肌を明るくなめらかに補正します。
	水中	水中写真にあった色鮮やかな色彩に仕上げます。 • [水中] を設定して撮影するときは、  カスタムメニュー F の [ +WB 連動] (P.280) を [Off] に設定することをおすすめします。
	カラークリエイター	印象に合わせて全体の色合いや彩度を調整します (P.153)。

ART 1	ポップアート	
ART 2	ファンタジックフォーカス	
ART 3	デイドリーム	
ART 4	ライトトーン	
ART 5	ラフモノクローム	
ART 6	トイフォト	
ART 7	ジオラマ	
ART 8	クロスプロセス	アートフィルターを設定します。それぞれのアートエフェクト機能が使えます。追加できる効果や調整できる効果はアートフィルターによって異なります。
ART 9	ジェントルセピア	
ART 10	ドラマチックトーン	
ART 11	リーニュクレール	
ART 12	ウォーターカラー	
ART 13	ヴィンテージ	
ART 14	パートカラー (P.75)	
ART 15	ブリーチバイパス	
ART 16	ネオノスタルジー	
 1	Flat ¹	
 2	OM-Log400 ¹	より自由度の高いカラーグレーディングに適した LOG カーブに合わせた階調で記録をします。

1  動画メニュー [ 画質設定] の [ ピクチャーモード] (P.229) を [On] にして、ムービーモードにしたときに表示されます。

- アートフィルターの効果は JPEG 画像にのみ適用されます。画質モードが **[RAW]** のときは、自動的に **[RAW+JPEG]** に設定されます。

① 撮影シーンによっては階調が崩れたり、補正の効きが弱くなったり、また画像の粗さが強調される場合があります。

🔗 **カスタムメニュー D1** の **【ピクチャーモード表示】** (P.272) で表示／非表示の設定ができます。

1. **OK** ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。

2. **△▽◀▶** ボタンで **【ピクチャーモード】** を選択します。



3. フロントダイヤルで項目を選択します。

- 項目によって、効果やシャープネスなどの関連する設定が調整できるように LV スーパーコンパネの項目が変わります。必要に応じてそれぞれの項目を設定してください。

- **🔍** シャープネス (P.154)
- **🔵** コントラスト (P.155)
- **🌈** 彩度 (P.156)
- **📏** 階調 (P.157)
- **🌀** フィルター効果 (P.158)
- **🎨** 調色 (P.159)
- **🎯** 効果 (P.160)



画像全体の色味を調整する(カラークリエイター)

色相と彩度を直感的な操作で調整できます。30段階の色相と8段階の彩度を設定できます。画面で確認しながら上げることができます。

1. **OK** ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。

2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで【ピクチャーモード】を選択します。

3. フロントダイヤルで【カラークリエイター】を選択します。

- LV スーパーコンパネに【 Color/Vivid】の項目が表示されます。



① ②

① ピクチャーモード

②  Color/Vivid

4. $\Delta \nabla$ ボタンで【 Color/Vivid】を選択し、**OK** ボタンを押します。

5. 色相と彩度を調整します。

- フロントダイヤルを回して色相を調整します。
- リアダイヤルを回して彩度を調整します。
- **OK** ボタンを長押しすると調整値をリセットできます。



6. **OK** ボタンを押して設定を確定します。

- シャッターボタンを半押しして設定を終了することもできます。

- 画質モード (P135) が【RAW】のときは、RAW+JPEG で記録されます。
- 【HDR 撮影】 (P.220)、【多重露出撮影】 (P.223) では、【Natural】で撮影されます。

鮮鋭さを微調整する（シャープネス）

画像の鮮鋭さを調整します。輪郭の強調をすることでシャープなはっきりした感じの画像にすることができます。それぞれのピクチャーモードで、個別に設定しておけます。

1. **OK** ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。
2. **△▽◀▶** ボタンで **【シャープネス】** を選択します。



3. フロントダイヤルで設定値を選択します。

明暗の差を微調整する（コントラスト）

画像の明暗差を調整します。明暗差を強調することではっきりした印象の強い画像にすることができます。それぞれのピクチャーモードで個別に設定しておけます。

1. **OK** ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。
2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで【コントラスト】を選択します。



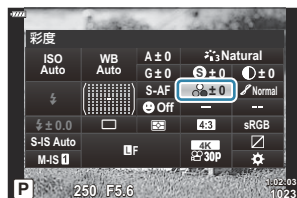
3. フロントダイヤルで設定値を選択します。

色の鮮やかさを微調整する（彩度）

画像の色合いや色の濃さを調整します。彩度を上げると色合いのはっきりした印象的な画像になります。それぞれのピクチャーモードで個別に設定しておけます。

1. OK ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。

2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで【彩度】を選択します。



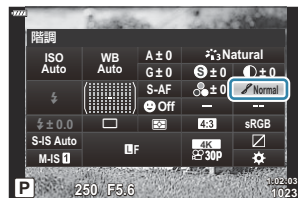
3. フロントダイヤルで設定値を選択します。

階調を微調整する（階調）





画像の色や明るさの濃淡を調整します。被写体のイメージに合わせて全体的に明るく表現したり暗く表現します。明暗差によって暗い階調と明るい階調のどちらも表現できます。それぞれのピクチャーモードで個別に設定しておけます。

1. OK ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。

2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで【階調】を選択します。



3. フロントダイヤルで項を選択します。

 Auto	階調オート	画像を細かい領域にわけて部分的に明るさを補正します。黒つぶれ・白とびの起きやすい明暗さの大きい画像に有効です。
 Normal	階調標準	適度な階調にします。通常は標準に設定してください。
 High	階調ハイキー	明るい被写体に適した階調にします。
 Low	階調ローキー	暗い被写体に適した階調にします。

モノトーンにフィルター効果をつける（フィルター効果）

ピクチャーモード (P.150) の【モノトーン】の設定に、カラーフィルターの効果をつけることができます。被写体の色によって明るく表現したりコントラストを強調することができます。黄、橙、赤の順にコントラストが強くなります。緑はポートレート撮影などにも効果的です。

1. OK ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。
2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで【ピクチャーモード】を選択します。
3. フロントダイヤルで【モノトーン】を選択します。
4. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで【フィルター効果】を選択します。



5. フロントダイヤルで項目を選択します。

N	N:無し	フィルター効果を使用しません。
Ye	Ye:黄	自然な青空にくっきりとした白い雲が再現されます。
Or	Or:オレンジ	青空らしさや夕日の輝きが少し強調されます。
R	R:赤	青空らしさや紅葉の輝きがよりいっそう強調されます。
G	G:緑	人物写真で使うと肌の色を落ち着かせます。また、口紅の赤い色が強調されます。

モノトーンの調色をする（調色）

ピクチャーモード (P.150) の【モノトーン】の設定に、色味の効果をつけることができます。

1. OK ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。
2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで【ピクチャーモード】を選択します。
3. フロントダイヤルで【モノトーン】を選択します。
4. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで【調色】を選択します。



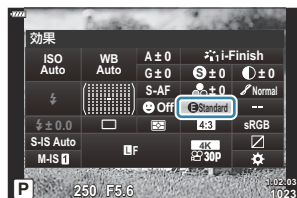
5. フロントダイヤルで項目を選択します。

N	N:無し	通常の白黒画像になります。
S	S:セピア	セピア調の画像にします。
B	B:青	青味がかった画像にします。
P	P:紫	紫味がかった画像にします。
G	G:緑	緑味がかった画像にします。

i-Finish の効果を調整する（効果）

ピクチャーモード (P.150) を [i-Finish] に設定したときの、効果の強さを設定します。

1. OK ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。
2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで [効果] を選択します。



3. フロントダイヤルで項目を選択します。

E Low	効果 弱	弱めの効果を画像に加えます。
E Standard	効果 標準	弱と強の中間程度の効果を画像に加えます。
E High	効果 強	強めの効果を画像に加えます。

色の再現方式を設定する（色空間）

撮影した画像をモニターやプリンターで再現する際、色再現を正しく行うための方式を選択します。

✳️ **カスタムメニュー G** の **【色空間】** (P.281) と同じ機能です。

1. **OK** ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。

2. **△▽◀▶** ボタンで **【色空間】** を選択します。



3. フロントダイヤルで項目を選択します。

sRGB	国際規格を統一する機関が決めた標準の規格です。標準的なディスプレイやプリンター、デジタルカメラ、各種のアプリケーションで使用されています。通常はこの設定にしてください。
AdobeRGB	sRGB より広い色域の再現ができます。正しく出力するためには、この規格に対応したソフトウェア、ディスプレイやプリンターなどの機器が必要です。ファイル名の初めの文字が、「_」（アンダーバー）で示されます（例：_xxx0000.jpg）。

① **AUTO**、**SCN**、**ART**、HDR 撮影、ムービーモード (📹) では、**【AdobeRGB】** を選択できません。

ハイライト部／シャドウ部の明るさを変えて撮影する（ハイライト&シャドウコントロール）

明部、暗部、中間部に分けて個別に明るさの調整をします。露出補正だけではできない光のコントロールができます。明部の明るさだけを落としたり、暗部を明るくするという調整ができます。

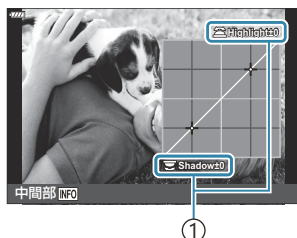
1. **OK** ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。

2. Δ ∇ \triangleleft \triangleright ボタンで【ハイライト&シャドウコントロール】を選択し、**OK** ボタンを押します。



3. **INFO** ボタンを押して調整する明るさの範囲を選択します。

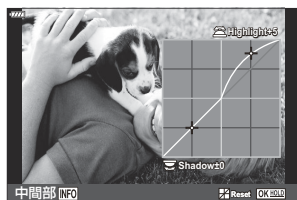
- **INFO** ボタンを押すたびに調整する範囲が切り換わります。



① 調整する明るさの範囲

4. ダイヤルを回して調整値を設定します。

- **【明部&暗部】** のとき
フロントダイヤルで明部、リアダイヤルで暗部の調整をします。
- **【中間部】** のとき
フロント／リアダイヤルで調整をします。
- **OK** ボタンを長押しすると調整値をリセットできます。



5. **OK** ボタンを押して設定を確定します。

- シャッターボタンを半押しして、設定を終了することもできます。

ボタンの機能を変える（ボタン機能）

あらかじめ割り当てられているボタンの機能を他の機能に変更します。

【📷 ボタン機能】の設定は、静止画撮影モードのときに有効になります。【🎞️ ボタン機能】の設定は、🎞️（ムービーモード）のときに有効になります。

カスタマイズできるボタンと初期設定

アイコン	ボタン	初期設定	
		📷	🎞️
	📷 ボタン	📷 (連写/セルフタイマー)	Off
	📺 ボタン	📺 (モニター/ファインダー切り換え)	
	📷 ボタン	📷 (露出補正)	
	📷 ボタン	📷 REC (ムービー録画)	
	AEL/AFL ボタン	📷 (AEL/AFL)	
	ISO ボタン	ISO 感度	
	十字ボタン ¹	📷 (AF ターゲット選択)	
	▶️ ボタン (右) ²	📷 (フラッシュ)	電動ズーム ⁴
	▼ ボタン (下) ²	📷 (連写/セルフタイマー)	WB (WB モード)
	🔍 ボタン	📷 (プレビュー)	🔍 (拡大)
	レンズに装備されている Fn ボタン ³	AF Stop (AF 停止)	

1 📷 ボタンが【ダイレクト機能】のときは、△▼◀▶ ボタンのそれぞれに機能を割り当てます。

2 【▶️ ボタン機能】および【▼ ボタン機能】を使うには、【📷 ボタン機能】を【ダイレクト機能】に設定しておく必要があります。

- 3 **Fn** ボタンは、一部のレンズに搭載されているボタンの機能を設定します。
- 4 電動ズーム機能つきレンズを使用時のみ。

各ボタンの割り当て機能を変更したい場合は、次の手順で変更できます。

1. **OK** ボタンを押して、LV スーパーコンパネを表示します。

2. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで **[カメラ ボタン機能]** または **[Fn ボタン機能]** を選択し、**OK** ボタンを押します。



- 撮影モードが静止画モードの場合はカスタムメニューの **[カメラ ボタン機能]** が、ムービーモードの場合は **[Fn ボタン/ダイヤル/レバー]** の **[Fn ボタン機能]** が表示されます。


3. $\Delta \nabla$ ボタンで設定するボタンを選択し、 \triangleright ボタンを押します。















4. $\Delta \nabla$ ボタンで割り当てる機能を選択し、**OK** ボタンを押します。

ボタンに割り当てられる機能と働き

 のみ：[ ボタン機能] でのみ設定できます。

 のみ：[ ボタン機能] でのみ設定できます。








 ボタンによって選択できる機能は異なります。

機能	ボタンに割り当てたときの働き
AF 停止 (AF Stop)	AF の動作を停止します。ボタンを押している間、AF は停止してピントは固定されます。L/Fn ボタンにのみ割り当てられます。
AEL/AFL ()	AE ロック、AF ロックボタンとして働きます。AE ロックのときは、一度押すと露出が固定され再度押すと解除されます。動作は  カスタムメニュー A1 の [ AEL/AFL モード] (P.291) で変更できます。
 (ムービー録画)	録画ボタンとして働きます。録画を開始/停止します。
ダイレクト機能 ()	十字ボタン (△▽◀▶) に機能を割り当てます。それぞれ次の機能が設定されます。 ◀ ボタン：[] (AF ターゲット選択) △ ボタン：  (露出補正) ▶ ボタン：  (フラッシュ) (静止画) / 電動ズーム (ムービー) ▽ ボタン：  (ドライブ) (静止画) / WB (ムービー) • ▶ ボタンと ▽ ボタンは他の機能を割り当てておくことができます。
プレビュー () ( のみ)	絞りを実際に絞り込みます。ピントが合っている範囲を確認できます。ボタンを押している間、絞り値まで絞り込みます。動作は  カスタムメニュー 02 の [ プレビュー設定] (P.273) で変更できます。
ワンタッチ WB () (ワンタッチホワイトバランス)	ワンタッチホワイトバランスの設定をします (P.127)。 静止画撮影の場合は基準とするもの (白い紙など) を撮影するように、ボタンを押しながらシャッターボタンを押します。撮影すると登録するワンタッチ WB を選択するメニューが表示されるので、選択して設定します。 ムービー撮影の場合は基準とするもの (白い紙など) を撮影するようにボタンを押します。登録するワンタッチ WB を選択するメニューが表示されるので、選択して設定します。





機能	ボタンに割り当てたときの働き
<p>[::] 選択 ([::]) (AF ターゲット選択)</p>	<p>AF ターゲットモード (P.90)、AF ターゲット位置 (P.94) の設定ができます。ボタンを押すと、AF ターゲット選択画面が表示されます。フロント/リアダイヤルで AF ターゲットモードの設定、十字ボタンで AF ターゲット位置の設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定に使う操作部は割り当てを変更できます。☞ カスタムメニュー A2 [::] 選択画面設定 (P.299)
<p>[::]Home ([::]H) (AF ホームポジション) (📷のみ)</p>	<p>[AF 方式]、[AF ターゲットモード]、[AF ターゲット位置] をあらかじめ登録した状態 (ホームポジション) にします。ボタンを押すと設定を変更して再度押すと元の設定に戻ります。ホームポジションは、カスタムメニュー A2 の [::]HOME 登録 (P.266) で設定しておきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> カメラが正位置、縦位置のときで別々のホームポジションを登録しておくことができます。☞ カスタムメニュー A2 [📷::] 縦位置/横位置切替 (P.302)
<p>MF 切換 (MF) (MF 切り換え)</p>	<p>AF 方式を MF に切り換えます。一度押すと MF に切り換わり再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらダイヤルを回して AF 方式を選択することもできます。</p> <p>静止画撮影では [📷Fn レバー機能] (P.312) が [mode2] のときは無効です。</p> <p>ムービー撮影では 📺 動画メニュー [📺 ボタン/ダイヤル/レバー] の [📺Fn レバー機能] (P.229) が [mode2] のときは無効です。</p>
<p>RAW 📷 (RAW 画質) (📷のみ)</p>	<p>[📷 画質モード] を RAW+JPEG と JPEG の間で変更します。元の画質モードが RAW または JPEG のときは、ボタンを押すと RAW+JPEG に、RAW+JPEG のときは JPEG に切り換わります。ボタンを押しながらダイヤルを回して画質モードを選択することもできます。</p>
<p>試し撮り撮影 (📷TEST) (📷のみ)</p>	<p>試し撮りができます。各機能の設定の結果を実際に撮影した結果で確認できます。ボタンを押しながらシャッターボタンを押すと、画像を記録せずにモニターに表示します。</p>
<p>カスタムモード撮影 C~カ スタムモード撮影 C4 (C~ C4) (📷のみ)</p>	<p>カスタムモードとして登録した設定を呼び出します。ボタンを押すとカスタムモードとして登録されている設定に切り換えます (P.76)。再度押すと、元の設定に戻ります。カスタムモードに切り換わったときも、このボタンの機能は変わりません。</p>

機能	ボタンに割り当てたときの働き
露出補正 (☒)	<p>露出の設定をします。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回して設定します。ボタンを押して設定状態にしてから設定することもできます。撮影モードにより設定できる内容が異なります。</p> <p>[P]: フロント/リアダイヤル、◀▷ ボタンで露出補正。△▽ ボタンでプログラムシフト。</p> <p>[A]: フロント/リアダイヤル、◀▷ ボタンで露出補正。△▽ ボタンで絞り。</p> <p>[S]: フロント/リアダイヤル、◀▷ ボタンで露出補正。△▽ ボタンでシャッター速度。</p> <p>[M]¹: リアダイヤル、△▽ ボタンでシャッター速度。フロントダイヤル、◀▷ ボタンで絞り。</p> <p>[B]: リアダイヤル、△▽ ボタンでバルブ/タイム撮影、ライブコンポジット撮影の切り換え。フロントダイヤル、◀▷ ボタンで絞り。</p> <p>1 [ISO 感度] (P.97、P.115) が [AUTO] に設定されている場合の動作は「露出補正を設定する」(P.89) をご覧ください。</p>
デジタルテレコン (☒)	<p>デジタルテレコンの設定をします (P.204)。一度押すと拡大し、再度押すと元の表示に戻ります。</p>
デジタルシフト撮影 (☒) (📷のみ)	<p>ボタンを押すとデジタルシフト撮影の設定ができます (P.226)。もう一度ボタンを押すと設定画面を終了します。ボタンを長押しすると、デジタルシフト撮影が解除されます。</p>
フィッシュアイ補正 (☒) (📷のみ)	<p>フィッシュアイ補正撮影の設定をします (P.344)。一度押すとフィッシュアイ補正撮影で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと [画角] の設定を 1、2、3 で切り換えられます。</p>
拡大 (Q)	<p>一度押すと拡大枠が表示され、再度押すと枠の部分が拡大表示されます (P.95)。再度押すと、元の表示に戻り、ボタンを長押しして枠を消します。拡大枠はタッチ操作や △▽◀▷ ボタンで位置を移動できます。</p>
HDR 撮影 (HDR) (📷のみ)	<p>HDR 撮影の設定をします (P.220)。一度押すと HDR 撮影で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと HDR BKT の設定を含む [HDR 撮影] の設定を変更できます。</p>

機能	ボタンに割り当てたときの働き
BKT 切換 (BKT)  のみ	BKT (ブラケット) 撮影の設定をします (P.212)。一度押すと BKT 撮影で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと 【ブラケット撮影】 の設定を変更できます。
ISO 感度	【ISO 感度】 の設定をします (P.97)。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回して設定します。ボタンを押して設定状態にしてから設定することもできます。フロント/リアダイヤルや <D> ボタンで設定します。
WB モード (WB) (ホワイトバランス)	【ホワイトバランス】 の設定をします (P.125)。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回して設定します。ボタンを押して設定状態にしてから設定することもできます。フロント/リアダイヤルや <D> ボタンで設定します。
マルチ Fn (Multi Fn) (マルチファンクション)	マルチ Fn ボタンに設定します (P.172)。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回して、複数の機能から一つの機能を選択し、使うことができます。ボタンを押して、選択した機能を使用します。
ピーキング (PEAK)	ピーキング表示をします (P.308)。一度押すとピーキング表示をして再度押すと元の表示に戻ります。ピーキング表示中に INFO ボタンを押すと詳細設定の画面が表示され、色や強度の変更ができます。
 水準器表示 ()	デジタル水準器を表示します。ファインダーの露出バー表示を水準器表示に切り換えます。再度押すと戻ります。 ★ カスタムメニュー 1 の 【EVF 表示スタイル】 (P.340) が 【スタイル 1】 、 【スタイル 2】 のときに有効です。
IOI 切換 (IOI) (EVF 切り換え)	ファインダー撮影とライブビュー撮影を切り換えます。 ★ カスタムメニュー 1 の 【EVF 自動切換設定】 (P.286) が 【Off】 のときは、モニターとファインダーの表示を切り換えます。ボタンを長押しすると 【EVF 自動切換設定】 のメニューを表示します。
OVF シミュレーション  のみ	★ カスタムメニュー 1 の 【OVF シミュレーション】 (P.286) の設定をします。一度押すと 【On】 に設定されます。もう一度ボタンを押すと 【Off】 に戻ります。
AF リミッター (AF Limit)  のみ	【AF リミッター】 の設定をします (P.303)。一度押すと 【AF リミッター】 で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと記憶されている 3 つの設定の間で変更ができます。

機能	ボタンに割り当てたときの働き
プリセット MF (PreMF)	<p>【AF 方式】を【プリセット MF】に切り換えます (P.120)。一度押すとプリセット MF に切り換わり、再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらダイヤルを回して【AF 方式】を選択することもできます。</p> <p>静止画撮影では  Fn レバー機能 (P.312) が【mode2】のときは無効です。</p> <p>ムービー撮影では  動画メニュー  ボタン/ダイヤル/レバーの  Fn レバー機能 (P.229) が【mode2】のときは無効です。</p>
レンズ情報登録 (Exif Lens)	<p>レンズの登録情報の選択ができます (P.339)。レンズ交換時などに、登録されているレンズ情報を選択します。</p>
手ぶれ補正 (IS)	<p>【手ぶれ補正】設定をオフにします (P.130)。一度押すと【Off】に設定され再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、【手ぶれ補正】のメニューが表示され設定の変更ができます。</p>
フリッカーキャン (Flicker Scan)	<p>【フリッカーキャン】 (P.334、P.236) を設定します。ボタンを押すと【On】になります。画面でスジの発生を確認しながら適切なシャッター速度を選んで撮ることができます。再度ボタンを押すと、情報表示が切り換わりシャッター速度以外の設定ができます。ボタンを長押しすると、【フリッカーキャン】を【Off】にします。</p>
ライブ ND 撮影 (ND) (カメラのみ)	<p>ライブ ND 撮影の設定をします (P.209)。一度押すと【ライブ ND 撮影】で設定されている状態に切り換わります。もう一度ボタンを押すと終了します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと【ND 段数】の設定を変更できます。</p>
顔選択 (顔)	<p>カメラが複数の人物の顔を検出したとき、ピントを合わせる顔を選択します。ボタンを押すと、設定した AF ターゲット位置に近い顔を選択します。AF ターゲットモードが  (オールターゲット) のときは、中央に近い顔を選択します。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、ピントを合わせる顔を切り換えます。ムービー録画中にも使えます。</p>
顔優先設定 (顔)	<p>【 顔優先】 (P.123) が【顔優先 Off】以外のときに押すと【顔優先 Off】に設定され、再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、【 顔優先】のメニューが表示され設定を切り換えます。</p>

機能	ボタンに割り当てたときの働き
LVブースト切換 (Boost)  のみ	現在の  カスタムメニュー D2 の [LVブースト] (P.273) の設定が [Off] のときに押すと、 [On1] に切り換わります。 [Off] 以外のときに押すと、 [Off] に切り換わります。再度押すと元の設定に戻ります。ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、 [LVブースト] の設定を切り換えます。
フォーカスリングロック  のみ	ボタンを押すとレンズのフォーカスリングの操作を無効にします。再度押すと操作が有効になります。 [AF方式] が [S-AF MF] / [C-AF MF] / [MF] / [C-AF+TR MF] / [Pre MF] / [*AF MF] の場合に動作します。 レンズのフォーカスリングの操作が無効になっている間は、AF方式のアイコンの MF 部分がグレーで表示されます。 MFクラッチ (マニュアルフォーカスクラッチ) 機構を搭載したレンズでフォーカスリングがMF位置 (カメラボディ側) にある場合、このボタンは動作しません。 フォーカスリングロックは、カメラの電源をオフにしたとき、新しいレンズを取り付けたときなどに解除されます。
フラッシュ (🔚)  のみ	フラッシュの設定をします (P.145)。一度押すと設定メニューが表示されます。フロント/リアダイヤルや  ボタンで設定します。 <ul style="list-style-type: none"> この機能は  または  ボタンにのみ割り当てられます。あらかじめ  (十字ボタン) を [ダイレクト機能] に設定しておく必要があります。
 (連写/セルフタイマー)  のみ	ドライブ (連写やセルフタイマー) の設定をします (P.133)。一度押すと設定メニューが表示されます。フロント/リアダイヤルや  ボタンで設定します。
 ロック () (タッチパネルロック)	タッチ操作を無効にします。ボタンを長押しするとタッチ操作が無効になり、再度長押しすると有効になります。 <ul style="list-style-type: none"> この機能は  または  ボタンにのみ割り当てられます。あらかじめ  (十字ボタン) を [ダイレクト機能] に設定しておく必要があります。
電動ズーム (W⇄T)	電動ズームレンズを使用時にズーム動作ができます。ボタンを押したあと、十字ボタンでズーム操作します。  または  ボタンで望遠側、  または  ボタンで広角側へズームします。 <ul style="list-style-type: none"> この機能は  または  ボタンにのみ割り当てられます。あらかじめ  (十字ボタン) を [ダイレクト機能] に設定しておく必要があります。

機能	ボタンに割り当てたときの働き
ムービーテレコン () ( のみ)	ムービーテレコンの設定をします (P.173)。一度押すと拡大枠が表示され再度押すと枠の部分が拡大表示されます。再度押すと、元の表示に戻り、ボタンを長押しして枠を消します。拡大枠はタッチ操作や十字ボタン () で位置を移動できます。
S-AF ( のみ)	AF 方式の [S-AF] の動作をします。ボタンを押すと被写体にピント合わせをします。ボタンを押している間はその位置でピントを固定します。
Off	ボタンを使用しません。

マルチファンクションを使う（マルチ Fn）

一つのボタンで複数の機能の設定ができる機能です。

🔗 マルチファンクションを使うには、いずれかのボタンに **【マルチ Fn】** を割り当てておく必要があります。🔗 **「カスタマイズできるボタンと初期設定」** (P.163)

呼び出す機能を切り換える

1. **【マルチ Fn】** を割り当てたボタンを押しながら、フロント/リアダイヤルを回します。





- ダイヤルを回して、設定したい機能にカーソルを合わせます。設定したい機能を選択したらボタンを離します。

2. **【マルチ Fn】** を割り当てたボタンを一度押します。



3. 設定します。

【マルチ Fn】 で切り換えることができる機能は次の通りです。

	ハイライト&シャドウコントロール	フロント/リアダイヤルで設定します。 INFO ボタンを押すと調整する範囲（明部、暗部、中間部）の変更ができます。
	カラークリエイター	フロントダイヤルで色合い、リアダイヤルで彩度を設定します。
ISO	ISO 感度	フロント/リアダイヤルで設定を変更します。
WB	ホワイトバランス	
	拡大	拡大枠が表示されます。


	アスペクト比設定	フロント/リアダイヤルで設定を変更します。
	OVF シミュレーション	ボタンを押すたびにオンオフを切り換えます。
PEAK	ピーキング	

- 表示される機能を選択することができます。  **カスタムメニュー 01** **[マルチ Fn 表示設定]** (P.272)

 **[ハイライト&シャドウコントロール]** は撮影画面で  (露出補正) ボタンを押した後に **INFO** ボタンを押しても設定できます。

撮影しながら被写体を拡大して撮影する (ムービーテレコン)

レンズのズーム操作をすることなく、画面の一部を拡大して記録します。瞬時に、被写体のアップや引いた映像に切り換えることができます。録画中でも切り換え位置の移動や切り換え操作ができ、ボタンのほかタッチ操作も使えます。

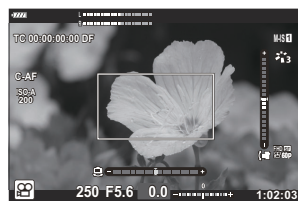
[ムービーテレコン] は **[ボタン機能]** の一つです。機能のオンオフはボタンを使うので、**[ボタン機能]** でボタンに機能を割り当てておく必要があります。  **[カスタマイズできるボタンと初期設定]** (P.163)

- **[画質モード]** の **[ムービーサイズ]** が **[4K]** または **[C4K]** のときは、使用できません。
- ハイスピードムービー撮影では使用できません。
- **[デジタルテレコン]** (P.204) との併用はできません。

[ムービーテレコン] の機能を使う

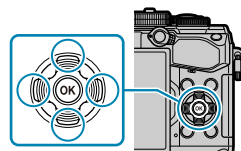
1. **[ムービーテレコン]** を割り当てたボタンを押します。

- 画面中央に拡大枠が表示されます。



2. 拡大枠を拡大したい位置に移動します。

- 拡大枠の移動には、タッチ操作、十字ボタン (△▽◀▶) が使えます。
- **OK** ボタンを長押しすると、拡大枠が中央に戻ります。



3. **【ムービーテレコン】** を割り当てたボタンをもう一度押します。
 - 拡大枠の部分が画面全体に拡大表示されます。
 - **【ムービーテレコン】** を割り当てたボタンをもう一度押すと拡大枠に戻ります。

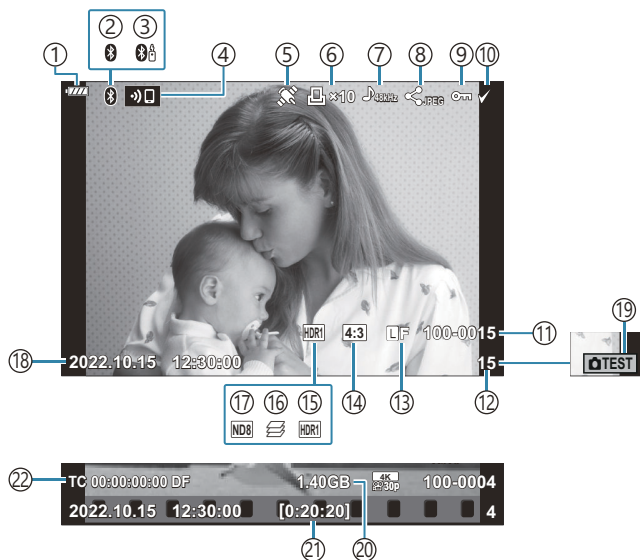
4. ムービーテレコンを終了するときは、**OK** ボタンを一度押すか、**【ムービーテレコン】** を割り当てたボタンを長押しします。

再生する

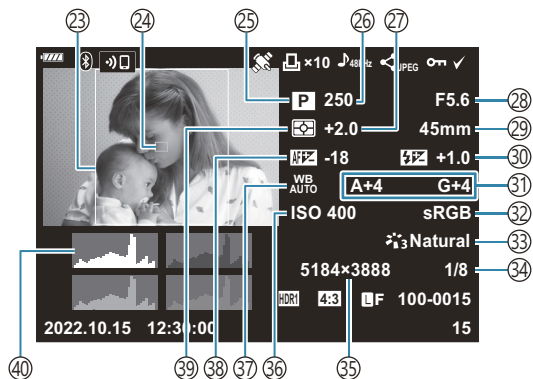
再生時の情報表示










再生画像情報

簡易表示



総合表示

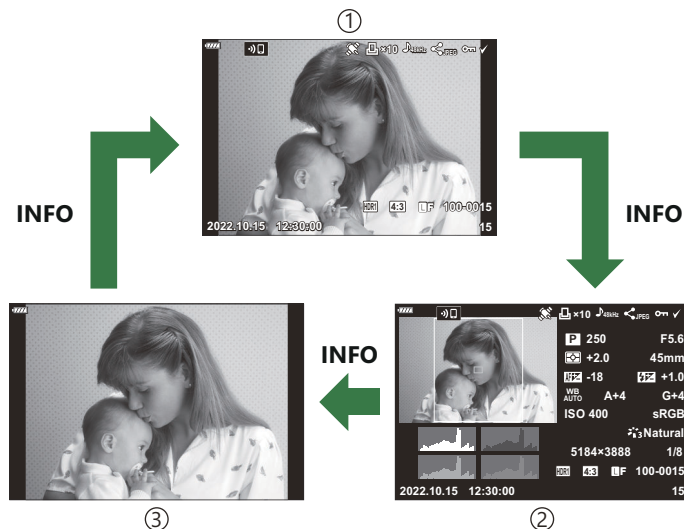
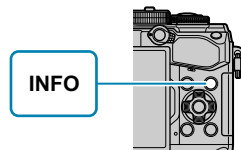


- ① 電池残量 (P.32)
- ② Bluetooth® 接続中 (P.350、P.368)
- ③ リモコン (P.368)
- ④ 無線 LAN 接続 (P.350)
- ⑤ GPS 位置情報あり (P.359)
- ⑥ プリント予約
 - プリント枚数 (P.189)
- ⑦ 録音 (P.192)
- ⑧ シェア予約 (P.186)
- ⑨ プロテクト (保護) (P.184)
- ⑩ 画像選択 (P.188)
- ⑪ ファイル番号
 -   カスタムメニュー  **[ファイルネーム]** (P.283)
- ⑫ コマ番号
- ⑬ 画質モード (P.135、P.137)
- ⑭ アスペクト比 (P.134)
- ⑮ HDR 画像 (P.220)
- ⑯ 深度合成 (P.212)
- ⑰ ライブ ND (P.209)
- ⑱ 日時 (P.34)
- ⑲ 試し撮り撮影 (P.165)
- ⑳ ムービーファイルサイズ¹ (P.415)
- ㉑ ムービー記録時間¹ (P.415)
- ㉒ タイムコード¹
 -   動画メニュー  **[表示設定]** の **[タイムコード設定]** (P.229)
- ㉓ アスペクト枠 (P.134)
- ㉔ AF ターゲット表示 (P.121)
- ㉕ 撮影モード (P.43)
- ㉖ シャッター速度 (P.48、P.51、P.53、P.55)
- ㉗ 露出補正 (P.88)
- ㉘ 絞り値 (P.48、P.51、P.53、P.55)
- ㉙ 焦点距離
- ㉚ フラッシュ補正 (P.149)
- ㉛ ホワイトバランス補正值 (P.129)
- ㉜ 色空間 (P.161)
- ㉝ ピクチャーモード (P.150)
- ㉞ 圧縮率 (P.338)
- ㉟ ピクセルサイズ (P.338)
- ㊱ ISO 感度 (P.97、P.115)
- ㊲ WB モード (P.125)
- ㊳ AF 微調節
 -   カスタムメニュー  **[AF 微調節]** (P.304)
- ㊴ 測光方式 (P.122)
- ㊵ ヒストグラム

1 ムービー再生時のみの表示です。

情報表示を切り換える

INFO ボタンを押すたびに再生時の情報表示の切り換えができます。



- ① 簡易表示
- ② 総合表示
- ③ 表示 Off

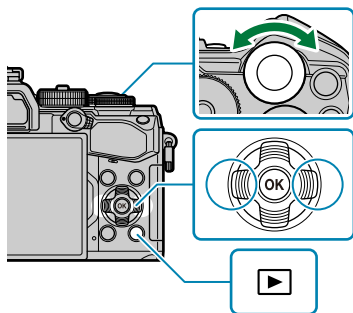
再生時の情報表示に、ヒストグラム表示、ハイライト&シャドウ表示を追加できます。設定メニュー **カ** スタムメニュー **D1** **【Info 表示設定】** の **【Info】** (P.323)

撮った画像／ムービーを見る

静止画を見る

1. 再生ボタンを押します。

- 最後に撮影した画像が表示されます。
- フロントダイヤル (📷) や十字ボタンで画像が切り換わります。
- シャッターボタンを半押しすると撮影モードに戻ります。



静止画

リアダイヤル (📷)	表示の拡大 (📷) (P.182) / インデックス (📷) (P.181)
フロントダイヤル (📷)	コマ戻し (📷) (P.179) / コマ送り (📷) (P.179) クローズアップ再生中も操作できます。
十字ボタン (△▽◀▶)	1コマ再生：コマ送り (▶) (P.179) / コマ戻し (◀) (P.179) / 再生音量調節 (△▽) (P.193) クローズアップ再生：クローズアップ位置の変更 INFO ボタンを押すとクローズアップしたままコマ送り (▶) 戻し (◀) ができます。 もう一度 INFO ボタンを押すと拡大枠が表示され、△▽◀▶ ボタンで拡大枠の位置を変更できます。 インデックス再生／カレンダー再生：画像の選択
INFO ボタン	画像情報の表示 (P.177)
☑ (📷) ボタン	画像の選択 (P.188)
🔒 (AEL/AFL) ボタン	画像のプロテクト (P.184)

🗑️ ボタン	画像の消去 (P.185)
OK ボタン	メニューの表示 (カレンダー再生中に押すと1コマ再生に戻ります。)

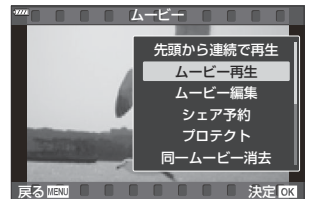
ムービーを見る

1. 📺 ボタンを押します。
 - 最後に撮影した画像が表示されます。



ムービー


2. ムービーを選んで OK ボタンを押します。
 - 再生メニューが表示されます。



3. [ムービー再生] を選択し、OK ボタンを押します。
 - ムービー再生が始まります。
 - ◀/▶ で早送り、早戻しします。
 - OK ボタンを再度押すと一時停止します。一時停止中は、△ ボタンで先頭のフレーム、▽ ボタンで最後のフレームを表示します。◀▶ ボタンまたはフロントダイヤル (🕒) でコマ戻し/コマ送りします。
 - MENU ボタンを押すと再生を終了します。



分割されたムービーの連続再生

長時間撮影したムービーは、ファイルサイズが4GBを、もしくは撮影時間が2時間を超えると、自動的にファイルを分割して記録を続けます (P.81)。自動的に複数に分割されたムービーは、一つのムービーとして連続して再生することもできます。

1.  ボタンを押します。
 - 最後に撮影した画像が表示されます。
2. 再生したい長時間ムービーコマを表示して **OK** ボタンを押します。
 - 次のメニューが表示されます。
 - 【先頭から連続で再生】：分割されたムービーを通して再生
 - 【ムービー再生】：ファイル別に再生
 - 【同一ムービー消去】：分割されたムービーをすべて消去
 - 【1コマ消去】：ファイル別に消去

① パソコンでのムービー再生には最新版の OM Workspace をおすすめします (P.364)。はじめてソフトウェアをお使いになる際は、カメラをパソコンに接続してからソフトウェアを起動してください。

画像をすばやく探す（インデックス再生／カレンダー再生）

- 1コマ再生でリアダイヤルを  に回すとインデックス再生します。さらに回すと、カレンダー再生に変わります。
- リアダイヤルを  に回すと1コマ再生に戻ります。



- ① 1コマ再生
- ② インデックス再生
- ③ カレンダー再生

🔗 インデックス再生のコマ数を変更できます。🔗  カスタムメニュー  [ /Info 表示設定] の [ 表示] (P.325)

画像を拡大して見る（クローズアップ再生）

1コマ再生でリアダイヤルを 🔍 に回すと表示を拡大し、📐 に回すと1コマ再生に戻ります。



① 1コマ再生

② 2倍拡大


③ 14倍拡大

④ クローズアップ再生

画像を回転する（回転）

撮影した画像を回転させることができます。

1. 回転させたい画像を再生し、**OK** ボタンを押します。
2. **【回転】** を選択し、**OK** ボタンを押します。
3. **△** ボタン（反時計回り）、**▽** ボタン（時計回り）を押すたびに画像が回転します。
 - **OK** ボタンを押して、設定を終了します。
 - ムービーやプロテクトされている画像は回転できません。

🔄 カメラを縦位置で撮影した画像を、再生時に自動的に回転して表示することができます。🔊 

再生メニュー **【回転再生】** (P.245)

【回転再生】 が **【Off】** のときは、**【回転】** は選択できません。

画像を保護する（プロテクト）

画像を誤って消さないように保護します。

1. 保護したい画像を再生し、**ON**（AEL/AFL）ボタンを押します。

- 画像に **ON**（プロテクトマーク）が付きます。再度 **ON**（AEL/AFL）ボタンを押すと解除されます。



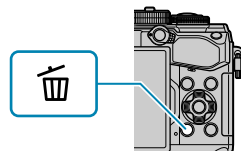
あらかじめプロテクトしたい画像を選んで、一括してプロテクトすることもできます。📄 「複数の画像を一括で処理する（選択コマシェア予約・プロテクト・選択コマ消去）」（P.188）

🕒 カードを初期化した場合は、プロテクトされている画像も消去されます。

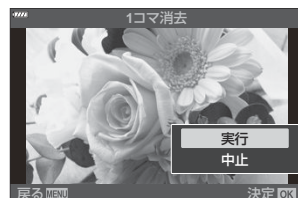
- プロテクトされていない画像を表示して、**ON**（AEL/AFL）ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと、その間に表示される画像にプロテクトがかかります。その間のプロテクトされた画像は、変更されません。
- プロテクトされた画像を表示して、**ON**（AEL/AFL）ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回したときは、その間に表示される画像のプロテクトが解除されます。プロテクトされていない画像は、そのまま変更されません。
- インデックス再生やクローズアップ再生で画像を選択したときも同様の操作ができます。

画像を消去する（1コマ消去）




1. 消去したい画像を再生し、 ボタンを押します。



2. **【実行】** を選択し、**OK** ボタンを押します。



- 画像が消去されます。

 ボタンの設定を変更して、確認手順なしで消去することもできます。  **カスタムメニュー H2** **【ワンタッチ消去】** (P.284)

 RAW+JPEG の画質モードで記録されている RAW 画像と JPEG 画像を同時に消去するか、一方だけを消去するかを選択することができます。  **カスタムメニュー H2** **【RAW+JPEG 消去】** (P.284)

画像の転送予約をする（シェア予約）

スマートフォンに転送したい画像をあらかじめ選択しておくことができます。

1. 転送したい画像を再生し、**OK** ボタンを押します。
 - 再生メニューが表示されます。
2. **[シェア予約]** を選び **OK** ボタンを押した後、**△** または **▽** を押します。
 - 画像にシェア予約がつき、**←** とファイルの種類が表示されます。
 - シェア予約できるコマは 200 コマです。
 - シェア予約を解除するには **△** または **▽** を押します。

① ファイルサイズが 4GB を超えるムービーはシェア予約できません。

☞ あらかじめ転送したい画像を選んで、一括してシェア予約をつけることもできます。☞ **「複数の画像を一括で処理する（選択コマシェア予約・プロテクト・選択コマ消去）」** (P.188)、**「スマートフォンに画像を転送する」** (P.355)

☞ あらかじめ **[▶⊙ ボタン機能]** で **[←]** を割り当てておくことで、シェア予約することもできます。☞ **★ カスタムメニュー B [▶⊙ ボタン機能]** (P.269)

- 1 コマ再生中/インデックス再生中/拡大再生中にシェア予約されていない画像を表示して、**[←]** ボタンを押します。
- **[←]** ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、その間に表示される画像はシェア予約されます。その間のシェア予約された画像は、変更されません。
- シェア予約された画像を表示して、**[←]** ボタンを押しながらフロント/リアダイヤルを回すと、その間に表示される画像のシェア予約が解除されます。シェア予約されていない画像は、そのまま変更されません。

RAW+JPEG で記録した画像をシェア予約する

画質モードを **[RAW+JPEG]** に設定して記録した画像の場合、JPEG 画像のみ、RAW 画像のみ、または両方をシェア予約できます。

1. **MENU** ボタンを押して、メニューを表示します。
2. **⌵** セットアップメニューで **[Wi-Fi/Bluetooth 設定]** を選択し、**▷** ボタンを押します。
3. **△▽** ボタンで **[RAW+JPEG シェア予約]** を選択し、**▷** ボタンを押します。


4. △▽ ボタンで項目を選択し、OK ボタンを押します。

JPEG	JPEG 画像のみシェア予約します。
RAW	RAW 画像のみシェア予約します。
RAW+JPEG	RAW 画像と JPEG 画像の 2 コマをシェア予約します。

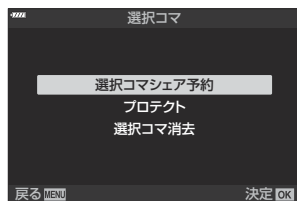
- ① [RAW+JPEG シェア予約] の設定を変更しても、すでに設定しているシェア予約が変更されることはありません。
- ① シェア予約を解除する場合は、メニューの設定に関わらず、RAW 画像と JPEG 画像が両方とも解除されます。



複数の画像を一括で処理する（選択コマシェア予約・プロテクト・選択コマ消去）

複数の画像を選択し、一括して【選択コマシェア予約】・【プロテクト】・【選択コマ消去】をすることができます。

1. 選択する画像を再生し、（) ボタンを押します。
 - 画像が選択され、 が表示されます。
もう一度押すと解除されます。
 - 1コマ再生／インデックス再生のどちらでも選択可能です。

2. OK ボタンを押してメニューを表示し、【選択コマシェア予約】・【プロテクト】・【選択コマ消去】から選択します。



- の付いていない画像を表示して、（) ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回すと、その間に表示される画像に が付きます。その間の がついた画像は、変更されません。
- がついた画像を表示して、（) ボタンを押しながらフロント／リアダイヤルを回したときは、その間に表示される画像の は消えます。 の付いていない画像は、そのまま変更されません。

プリント予約 (DPOF)

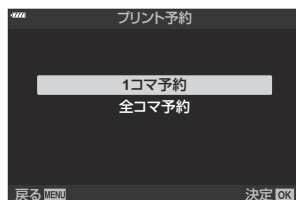
プリントしたい画像にあらかじめ枚数や日時の印刷などの条件を指定しておくことができます。プリント予約した画像は、DPOF 対応のプリントショップでプリントできます。プリント予約の情報 (DPOF) はカードに記録されます。

プリント予約する

1. 画像を再生中に、**OK** ボタンを押して **【プリント予約】** を選択します。
2. **【1コマ予約】** または **【全コマ予約】** を選択し、**OK** ボタンを押します。

1 コマ予約の場合

◀▶ ボタンを押してプリント予約したいコマを選択し、△▽ ボタンを押してプリントする枚数を設定します。

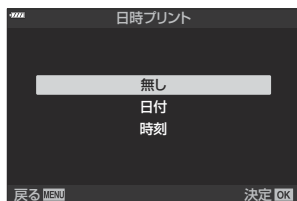


- 複数の画像をプリント予約する場合は、この手順を繰り返します。予約が終わったら **OK** ボタンを押します。

全コマ予約の場合

【全コマ予約】 を選択し、**OK** ボタンを押します。

3. 日時の種類を選択し、**OK** ボタンを押します。



無し	画像のみプリントされます。
日付	画像と撮影年月日がプリントされます。
時刻	画像と撮影時刻がプリントされます。

① 複数の画像をプリントする場合、1 コマごとに設定を変えることはできません。

4. **【予約する】** を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 再生中のカードに保存されている画像に、設定が反映されます。

① 他の機器で予約した内容を、このカメラで変更することはできません。また、このカメラで新たに予約を行うと、他の機器で予約した内容は消去されます。

② RAW データおよびムービーはプリント予約できません。

プリント予約を選択して解除する／すべて解除する

すべてのプリント予約を解除する方法と、選択した画像のプリント予約だけを解除する方法があります。

1. 画像を再生中に、**OK** ボタンを押して **【プリント予約】** を選択します。

2. **【1コマ予約】** を選択し、**OK** ボタンを押します。

- すべてのプリント予約を解除する場合は、**【解除する】** を選択し、**OK** ボタンを押します。そうでない場合は **【解除しない】** を選択し、**OK** ボタンを押します。
- 全てのプリント予約を解除するときは、**【全コマ予約】** を選択して **【解除する】** を実行することもできます。

3. **<|>** ボタンを押してプリント予約を解除したいコマを選択します。

- **▽** ボタンでプリント枚数を 0 に設定します。すべて解除したら **OK** ボタンを押します。

4. 日時の種類を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - プリント予約の設定が残っている画像に、選択した設定が適用されます。
 - 再生中のカードに保存されている画像に、設定が反映されます。

5. **【予約する】** を選択し、**OK** ボタンを押します。

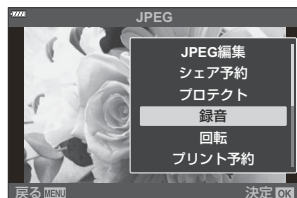
記録した画像に音声をつける（録音）

カメラのステレオマイクや外部機器を使って、カードに記録した画像にあとから音声を加えます。簡単なメモ代わりに使えます。最長 30 秒の録音ができます。

1. 音声を録音する画像を表示し、**OK** ボタンを押します。

- プロテクトされた画像には録音できません。
- 音声録音は再生メニューの **【編集】** から設定できます。**【編集】** の **【画像選択】** で音声を録音する画像を選択して **OK** ボタンを押し、**【録音】** を選択します。

2. **【録音】** を選択し、**OK** ボタンを押します。



- 録音を中止する場合は、**【中止】** を選択してください。

3. **【録音スタート】** を選択し、**OK** ボタンを押すと、録音を開始します。



4. **OK** ボタンを押して、録音を終了します。

- 音声を録音した画像には **♪** と録音レートが表示されます。
- 録音した音声を消去する場合は、手順 3 で **【消去】** を選択してください。

🔗 録音レートはムービーの録音機能の設定が適用されます。🔗 [動画メニューの【ムービー録音】\(P.242\)](#) で設定を変更できます。

音声を再生する

音声のついた画像は、画像を再生すると同時に音声を再生します。再生をするときの音量の調節をします。

1. 音声を再生したい画像を表示します。

2. △ または ▽ ボタンを押します。

- △ ボタン：音量が上がります。
- ▽ ボタン：音量が下がります。



タッチパネルを使って見る

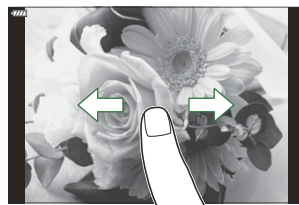
タッチ操作で、画像を拡大してスクロールしたり、コマ送りやコマ戻しをすることができます。

- ① 先のとがったものや爪で操作しないでください。
- ② モニター保護シートや手袋を使っていると、うまく操作できない場合があります。


1 コマ再生で使う

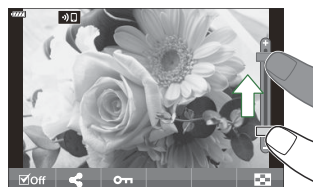
コマ送り／コマ戻し



- タップした状態で、指を左に動かすとコマ送りし、右に動かすとコマ戻しします。



拡大

- モニターに軽くタップすると、スライダーと  が表示されます。
- モニターを軽く 2 回タップすると、[【再生拡大倍率設定】](#) (P.326) で設定した倍率で拡大表示されます。
- バーのスライダーを指で上下に動かすと拡大表示します。

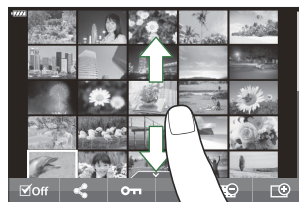


- 拡大中に、タップした状態で指を動かすとスクロールできます。
-  にタップするとインデックス再生になります。さらに  にタップすると、カレンダー再生になります。

インデックス再生／カレンダー再生で使う

ページを送る／戻す

- タップした状態で、指を上にかかすとページを送り、下にかかすとページを戻します。



- または で表示するコマ数を切り換えられます。 [カスタムメニュー](#) [\[Info 表示設定\]](#) の [\[表示\]](#) (P.325)
- に何度かタップすると1コマ再生に戻ります。

画像を見る

- 見たい画像にタッチすると1コマ表示します。

その他の機能







1コマ再生画面でモニターを軽くタップするか、インデックス再生画面で をタップすると、タッチメニューが表示されます。タッチメニューのアイコンにタッチするとそれぞれの操作ができます。

	画像を選択します。複数を選択してから一括して削除などができます。
	スマートフォンにシェアしたい画像を予約できます。 「画像の転送予約をする (シェア予約)」 (P.186)
	画像のプロテクトをします。

メニューの機能

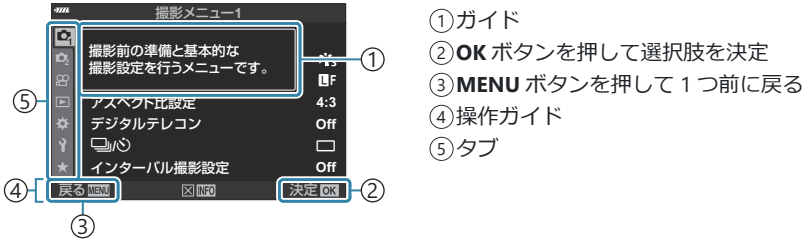
メニューの基本操作

メニューでは、LV スーパーコンパネなどに表示されない撮影／再生時の機能やカメラを使いやすくカスタマイズできる機能を設定します。

タブ	タブ名	説明
	撮影メニュー 1	静止画撮影に関するメニューです。撮影前の準備や基本的な撮影機能の設定を行います。
	撮影メニュー 2	静止画撮影に関するメニューです。一歩進んだ撮影機能の設定を行います。
	動画メニュー	ムービー撮影に関するメニューです。基本的な設定やカスタマイズの設定を行います。
	再生メニュー	画像の再生や編集に関するメニューです。
	カスタムメニュー	カメラのカスタマイズに関するメニューです。
	セットアップメニュー	日時や表示言語などの設定に関するメニューです。
	マイメニュー	自分が使う項目だけを集めることができるメニューです。

- マイメニューは、初期設定では何も登録されていません。メニュー項目の中から、よく使う機能を集めてグループ化します。メニュー機能から必要な項目を選んで登録してお使いください (P.261)。

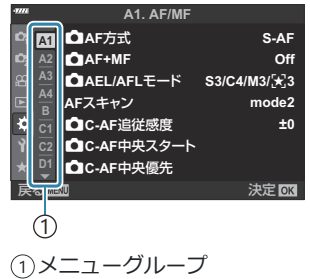
1. MENU ボタンを押して、メニューを表示します。



- 機能を選択すると、約 2 秒後にガイドが表示されます。INFO ボタンを押すと、ガイドの表示/非表示を切り換えることができます。

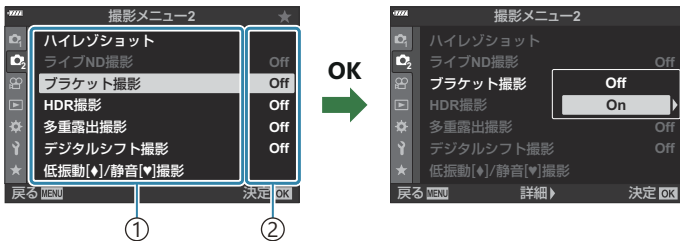
2. △▽ ボタンでタブを選択し、OK ボタンを押します。

- **★** カスタムメニューを選択したときは、メニューグループのタブが表示されます。△▽ ボタンでメニューグループを選択し、OK ボタンを押します。



①メニューグループ

3. △▽ ボタンで機能を選択し OK ボタンを押して、各設定画面に進みます。



- ①機能
- ②現在の設定

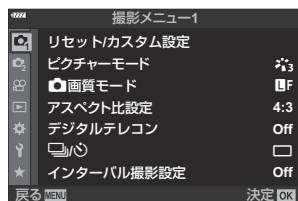
4. △▽ ボタンで項目を選択し OK ボタンを押して、設定内容を確定します。

- 繰り返し MENU ボタンを押して、メニューを終了します。

- ① カメラの状態や他の機能の設定内容によって、設定できない項目があります。設定できない項目は、グレーで表示されていて選択することができません。
- 🔗 各機能の初期設定については、「[機能と初期設定一覧](#)」(P.381)をご覧ください。
- 🔗 メニューの操作には、十字ボタンのほかにフロント/リアダイヤルが使えます。

撮影メニュー 1 / 撮影メニュー 2 を使う

撮影メニュー 1 / 撮影メニュー 2 の機能



1 撮影メニュー 1


- リセット/カスタム設定 (P.76、P.200)
- ピクチャーモード (P.150、P.202)
- 画質モード (P.135、P.203)
- アスペクト比設定 (P.134)
- デジタルテレコン (P.204)
- [] / [] (ドライブ) (P.100、P.102)
- インターバル撮影設定 (P.205)

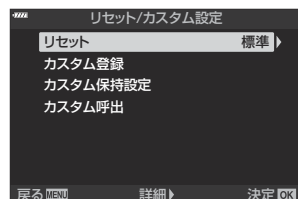
2 撮影メニュー 2

- ハイレゾショット (P.208)
- ライブ ND 撮影 (P.209)
- ブラケット撮影 (P.212)
- HDR 撮影 (P.220)
- 多重露出撮影 (P.223)
- デジタルシフト撮影 (P.226)
- 低振動 [] / 静音 [] 撮影 (P.228)


カメラの設定を初期状態に戻す（リセット）

カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。ほぼすべての設定に戻すか、撮影に関する機能のみに戻すかの選択ができます。

1.  撮影メニュー 1 で、**[リセット/カスタム設定]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
2. **[リセット]** を選択し、**▷** ボタンを押します。



3. **[フル]** または **[標準]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - リセットされる機能については、「[機能と初期設定一覧](#)」(P381) をご覧ください。
4. **[リセット/カスタム設定]** の画面で **OK** ボタンを押します。
5. **[実行]** を選択し、**OK** ボタンを押します。

 OM Workspace や OM Image Share を使って、設定を保存することができます。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

残しておきたい設定内容を登録する（カスタム登録）

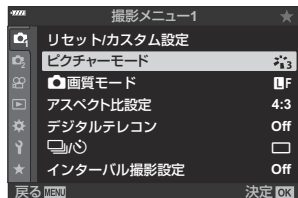
撮影でよく使う機能の設定と撮影モードをカスタムモード（**C**～**C4**）として登録しておき（[P.76](#)）、必要なときにモードダイヤルの操作だけで呼び出して使うことができます（[P.78](#)）。また、メニューから直接設定を呼び出すこともできます（[P.78](#)）。

- 初期設定では、**P**モードの設定が登録されています。

画像の仕上がりを設定する（ピクチャーモード）

【ピクチャーモード】 (P.150) の設定に、個別にコントラストやシャープネスなどの微調整をしておくことができます。調整したパラメータは仕上がり項目ごとに記憶されます。

1. **撮影メニュー 1** で、**【ピクチャーモード】** を選択し、**OK** ボタンを押します。



- 撮影モードの設定に応じて選択できるピクチャーモードが表示されます。

2. **△▽** ボタンで項目を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 各項目でさらに **▷** ボタンを押すと、選択したピクチャーモードに応じて詳細設定ができます。詳細設定ができないピクチャーモードもあります。

① **【標準】** 以外の階調ではコントラスト調整は反映されません。

☞ メニューに表示されるピクチャーモードの選択肢を少なくすることができます。 **カスタムメニュー D1 【ピクチャーモード表示】** (P.272)

静止画撮影で記録する画像サイズを選択する(📷 画質モード)

🔍 「静止画撮影で記録する画像サイズを選択する (📷 画質モード)」 (P.135)

⚠️ JPEG 画像の画像サイズと圧縮比の組み合わせ、[M]、[S] のピクセルサイズは変更することができます。🔍 「JPEG の画像サイズと圧縮率の組み合わせ (画質設定)」 (P.338)、⚙️ カスタムメニュー G [ピクセルサイズ] (P.281)


被写体を拡大して記録する（デジタルテレコン）

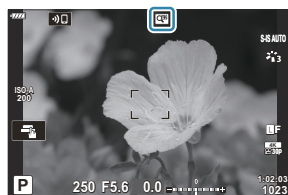
画像の中央部を切り出して、設定されている画質モードのサイズまで拡大して記録します。被写体を約2倍に拡大して記録できます。レンズの焦点距離以上の倍率で撮影できるため、レンズ交換ができないときや被写体に近づきにくいときなどに便利です。

1.  撮影メニュー1で【デジタルテレコン】を選択し、OKボタンを押します。

2. [On] を選択し、OKボタンを押します。

3. MENU ボタンを押して、メニューを終了します。

- [On] に設定すると、モニターの表示は2倍に拡大され、が表示されます。AF ターゲット (P.90) のサイズが大きくなり数も少なくなります。




- JPEG の画像では、実際に拡大した画像で記録されます。RAW 画像では、表示した部分を示す枠が表示されます。画像再生時に拡大部分に枠が表示されます。

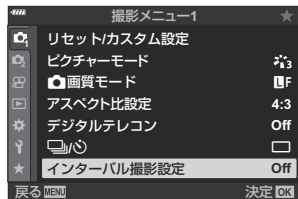
① SCN モードのパノラマ、多重露出撮影、デジタルシフト撮影、フィッシュアイ補正撮影では、使用できません。

①【ムービーテレコン】との併用はできません。

一定時間ごとに自動的に撮影する（インターバル撮影設定）

設定した間隔で自動的に撮影できます。また撮影した一連のコマを1つのムービーとして記録することもできます。**P/A/S/M** モードでのみ設定できます。

1.  撮影メニュー1で、**【インターバル撮影設定】**を選択し、**OK** ボタンを押します。




2. **[On]** を選択し、**▷** ボタンを押します。
3. 次の設定をして **OK** を押します。

コマ数	撮影するコマ数を設定します。
撮影開始待ち時間	インターバル撮影を開始して、最初のコマが撮影されるまでの待ち時間を設定します。 [00:00:00] ~ [24:00:00]
撮影間隔	撮影開始後の各コマの撮影間隔を設定します。 [00:00:01] ~ [24:00:00]
撮影動作	撮影時に撮影間隔を優先するか、撮影コマ数を優先するかを設定します。 [撮影間隔優先] / [撮影コマ数優先] [撮影間隔優先] を設定すると、撮影タイミングになっても前の撮影が終わっていない場合があります。 [撮影間隔] が短い場合や、長秒時の撮影などでは、[コマ数] で設定した枚数よりも、記録される画像が少なくなります。
露出平準化	コマ間の露出を平準化します。タイムラプス動画で露出変化が滑らかになります。 [Off] / [On]

タイムラプス動画	静止画のみの記録か、撮影後に一連のコマでムービーを生成するかを設定できます。 [Off] : 各コマを静止画として記録します。 [On] : 静止画とともに、一連のコマで1つのムービーを生成して記録します。
タイムラプス動画設定	[タイムラプス動画] で記録するムービーの [ムービーサイズ] と [フレームレート] を設定します。 [ムービーサイズ] は次の選択肢から設定します。 [4K] / [FullHD] / [HD] [フレームレート] は次の選択肢から設定します。 [30fps] / [15fps] / [10fps] / [5fps]

① **[撮影開始待ち時間]** **[撮影間隔]** **[開始予定時間]** は設定によってずれる場合があります。目安としてお使いください。


4. 撮影メニュー 1 に戻るまで、繰り返し **OK** ボタンを押します。


- **MENU** ボタンを押して、メニューを終了します。
- 撮影画面に戻ると、画面に  が表示されます (アイコンには設定したコマ数が表示されます)。



5. 撮影します。

- 自動的に設定したコマ数を撮影します。

- 撮影開始後に次の操作をするとインターバル撮影は、終了します。
 - モードダイヤル/**MENU** ボタン/ ボタン/レンズ取り外しボタン/USB ケーブルを接続
- 電源を切るとインターバル撮影を終了します。

①  が緑で表示され、残り撮影枚数を表示します。


② AF 後、ピントが合わなくても撮影されます。ピント位置を固定したいときは MF で撮影してください。


③  **セットアップメニューの [撮影画像の確認時間]** (P.257) は 0.5 秒で動作します。

- ① 撮影開始待ち時間、撮影間隔の設定を 1 分 31 秒以上にすると、1 分でモニターを消灯してカメラの電源がオフになります。撮影 10 秒前に自動的に復帰します。またモニター消灯中は、シャッターボタンを押しても復帰します。
- ① AF 方式 (P.116) が **[C-AF]**、**[C-AF+TR]** では **[S-AF]** に設定され、**[C-AF MF]**、**[C-AF+TR MF]** では **[S-AF MF]** に設定されます。
- ① AF 方式を **[AF]** にしている場合、最初にピント合わせを行い、撮影が開始してからはピントを固定して撮影します。
- ① インターバル撮影中は、タッチ操作は受け付けません。
- ① HDR 撮影、ハイレゾショット、ブラケット撮影、多重露出撮影、ライブ ND 撮影とは併用できません。
- ① 撮影間隔より、フラッシュの充電時間が長いときは、フラッシュは発光しません。
- ① **[コマ数]** の設定が 1000 枚以上のときは、**[タイムラプス動画]** は **[Off]** になります。
- ① 撮影した静止画が正しく記録されていない場合は、タイムラプスムービーは生成されません。
- ① カード残量が不足した場合、タイムラプスムービーは記録されません。
- ① 電池残量が少なくなると途中で撮影を終了します。十分に充電した電池をお使いください。
- ① **[4K]** で生成されたタイムラプスムービーは、パソコンの環境によって再生できない場合があります。再生条件については当社ホームページをご確認ください。

ハイレゾショット撮影の設定をする（ハイレゾショット）

ハイレゾショット撮影（P107）の各項目を設定します。

1.  撮影メニュー 2 で、**[ハイレゾショット]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
2. $\Delta \nabla$ ボタンで項目を選択し、 \triangleright ボタンを押します。
 - $\Delta \nabla$ ボタンで設定を選択し、**OK** ボタンを押します。

ハイレゾショット	シャッターボタンを全押ししてから実際にシャッターが切れるまでの時間（撮影開始までの時間）を設定します。シャッターボタンを押したときのカメラのぶれの影響を避けるときに設定します。 [Off] に設定するとハイレゾショット撮影はせず通常の撮影になります。
 充電待ち時間	ハイレゾショット撮影でフラッシュを使用するときの、フラッシュの充電を待つための間隔を設定します。専用外部フラッシュを使うときには、設定の必要はありません。
撮影方法	[三脚] ：カメラを三脚などで固定して撮影します。RAW 画像は、80M（10368×7776）で記録されます。 <ul style="list-style-type: none">• フラッシュの同調秒時は、1/50 秒です。• [ISO 感度] の上限は、1600 です。 [手持ち] ：カメラを手持ちで撮影します。 [三脚] の設定より 1 枚の撮影に少し時間がかかります。RAW 画像は、50M（8160×6120）で記録されます。 <ul style="list-style-type: none">• フラッシュは発光しません。• [ISO 感度] の上限は、6400 です。

- ハイレゾショットは、電子シャッターで動作します。

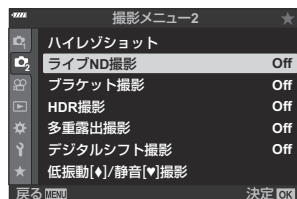
明るい環境下でスローシャッター撮影をする（ライブ ND 撮影）

複数枚の撮影をして合成をすることで、長秒時シャッターで撮影したような効果を得ることができます。

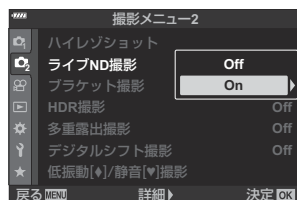
① **S** または **M** モードのときに設定できます。

② **[LV シミュレーション]** による表示は、露出補正やシャッター速度の変更を行うと、一旦リセットされます。

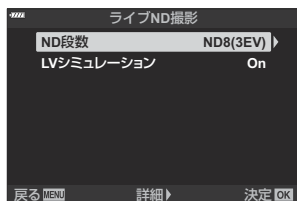
1.  撮影メニュー 2 で **[ライブ ND 撮影]** を選択し、**OK** ボタンを押します。



2. $\Delta \nabla$ ボタンで **[On]** を選択し、 \triangleright ボタンを押します。



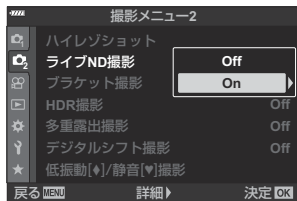
3. $\Delta \nabla$ ボタンで項目を選択し、 \triangleright ボタンを押します。



- $\Delta \nabla$ ボタンで設定を選択し、**OK** ボタンを押します。

ND 段数	露出を落とす段数を設定します。1EV ずつシャッター速度を遅く設定できます。 [ND2 (1EV)] / [ND4 (2EV)] / [ND8 (3EV)] / [ND16 (4EV)]
LV シミュレーション	シャッター速度の設定による画像の仕上がり具合をライブビューで確認することができます。 [On] : シャッター速度の設定に合わせた写り方で表示されます。 [Off] : 通常の表示をします。

4. 設定完了後すぐにライブ ND 撮影を行う場合は [On] を、行わない場合は [Off] を選択して、**OK** ボタンを押します。



- MENU 撮影メニュー 2 の画面に戻ります。

5. **MENU** ボタンを押してメニューを終了します。

- [ライブ ND 撮影] が [On] の場合は、ライブ ND 撮影が開始されます。
- ライブ ND 撮影中は、画面に ND8 が表示されます (アイコンの表示は設定内容によって変わります)。



- ライブ ND 撮影を終了するとき、手順 2 の [ライブ ND 撮影] の設定画面で [Off] を選択します。

6. 画面で仕上がりを確認しながら、シャッター速度を設定します。

- リアダイヤルで設定します。
- シャッター速度の上限は、ND 段数により次のように変わります。
 - [ND2 (1EV)] : 1/30 秒
 - [ND4 (2EV)] : 1/15 秒
 - [ND8 (3EV)] : 1/8 秒
 - [ND16 (4EV)] : 1/4 秒
- [LV シミュレーション] が [On] のときは、シャッター速度の設定に応じた写り方で画面に表示されます。



① シャッター速度

7. 撮影します。

- [LV シミュレーション] で仕上がりに近い表示をするためには、設定しているシャッター速度と同じ時間がかかります。

① ピクチャーモードのアートフィルターは設定できません。

① ライブ ND 撮影中は、[ISO 感度] が 800 までに制限されます。[ISO 感度] が [AUTO] に設定されている場合でも上限は 800 までになります。

① ライブ ND 撮影中は、ドライブの機能が に設定されます。

① 次の機能は併用できません。

- HDR 撮影 / ハイレゾショット撮影 / 多重露出撮影 / デジタルシフト撮影 / ブラケット撮影 / インターバル撮影 / フリッカーキャン / フリッカーレス撮影 / フィッシュアイ補正撮影

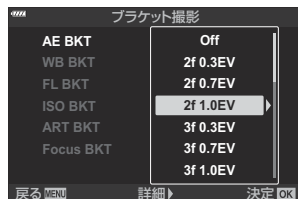
① ライブ ND 撮影は、撮像素子に届く光量を調節する ND フィルターとは異なるため、高輝度の被写体が露出オーバーで写ることがあります。

条件を少しずつ変化させて撮影する（ブラケット撮影）

露出の設定やホワイトバランスなど、撮影の設定を自動的に変更して複数枚の撮影を行います。ブラケットの種類によっては、いくつかのブラケット撮影を併用することができます。設定に迷うときや1枚ずつ設定を変更して撮影している余裕がないときに有効です。ブラケット撮影の設定を記憶させておき、ブラケット撮影をオンオフするだけで切り換えて使うことができます。

AE BKT（AEブラケット撮影）

1コマごとに露出を変えて撮影するAEブラケット撮影の設定を行います。補正量を0.3EV、0.7EV、1.0EVから選択します。単写モードでは、シャッターボタンを全押しするごとに、連写モードでは、シャッターボタンを全押し続けている間に、適正露出、-補正、+補正の順番で撮影します。



- 撮影枚数は2枚/3枚/5枚/7枚から設定できます。
- 設定枚数の撮影が終了していないときは、**[BKT]** が緑で表示されます。
- **P**モードでは絞り値とシャッター速度、**A**モードではシャッター速度、**S**モードでは絞り値を、**M**モードではISO感度を制御して補正を行います。
- **M**モードで**[ISO感度]** (P97、P115) が**[AUTO]**以外に設定されている場合は、シャッター速度を制御して補正を行います。
- 露出補正を行っている場合、すでに補正されている値を中心としたAEブラケット撮影が行われます。
- **★ カスタムメニュー** **[i]** の**[露出ステップ]** (P277) を変更すると、補正量も変化します。

① FLブラケット撮影、フォーカスブラケット撮影との併用はできません。

WB BKT (WB ブラケット撮影)

1回の撮影で、1つの補正方向に対して色合い（ホワイトバランス）を変えた3枚の画像を自動的に作成します。カメラの設定で撮影された画像、その画像から色合いを変更した画像の順番で記録されます。

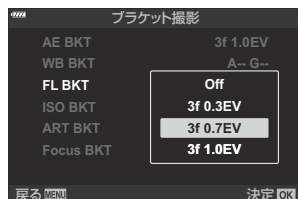


- 補正する方向 A-B（アンバー-青）、および G-M（緑-赤紫）のそれぞれのステップを2ステップ、4ステップ、6ステップから選択します。
- ホワイトバランスの補正を行っている場合、すでに補正されている値を中心とした WB ブラケット撮影が行われます。

① アートフィルターブラケット撮影、フォーカスブラケット撮影との併用はできません。

FL BKT (FL ブラケット撮影)

1コマごとにフラッシュの発光量を変えて撮影するフラッシュブラケット撮影の設定を行います。補正量を 0.3EV、0.7EV、1.0EV から選択します。単写モードでは、シャッターボタンを全押しすること、連写モードでは、シャッターボタンを全押し続けている間に、適正発光量、-発光量、+発光量の順番で3コマを撮影します。



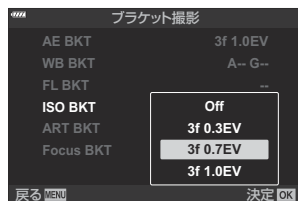
※ 設定枚数の撮影が終了していないときは、**[BKT]** が緑で表示されます。

- **カスタムメニュー G1** の **[露出ステップ]** (P.277) を変更すると、補正量も変化します。

① AE ブラケット撮影、フォーカスブラケット撮影との併用はできません。

ISO BKT (ISO ブラケット撮影)

撮影時のシャッター速度と絞り値を固定したまま、1コマごとにISO感度を変えて撮影するISOブラケット撮影の設定を行います。補正量を0.3EV、0.7EV、1.0EVから選択します。1回の撮影で、ISO感度を設定したISO感度(オート設定時は適正ISO)−補正、+補正の順番で3コマを撮影します。



- ① **カスタムメニュー** の **[ISO 感度ステップ]** (P.277) を変更しても、補正量は変化しません。
- ① **カスタムメニュー** の **[ISO オート設定]** (P.277) で設定した上限値とは関係なくブラケット撮影が行われます。
- ① 静音撮影時は、フラッシュの同調秒時は 1/20 秒になります。
- ① アートフィルターブラケット撮影、フォーカスブラケット撮影との併用はできません。

ART BKT (アートフィルターブラケット撮影)

複数のアートフィルターの設定を適用した画像を同時に記録します。設定を適用するアートフィルターを選択し、(✓) を付けます。



- ① 適用するアートフィルターが多いと撮影後に画像の記録に時間がかかる場合があります。
- ① AE ブラケット撮影、FL ブラケット撮影以外のブラケット撮影との併用はできません。

Focus BKT（フォーカスブラケット撮影）

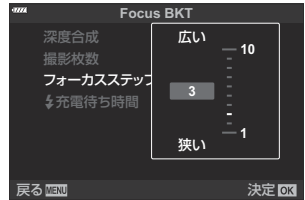
1コマごとにピント位置を変えて撮影するフォーカスブラケット撮影の設定を行います。撮影開始時のピント位置から、遠くに向かってピントを移動させながら撮影します。



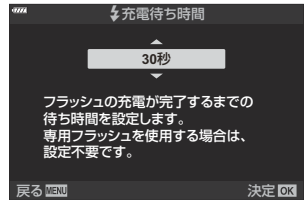
【撮影枚数】で1回の撮影枚数を、【フォーカスステップ】でピント位置の間隔を設定できます。



【フォーカスステップ】の設定値を小さくするとピント位置の間隔が狭くなり、大きくすると広がります。



専用フラッシュ以外のフラッシュを使う場合に、【充電待ち時間】でフラッシュが充電完了するまでの待ち時間を設定します。

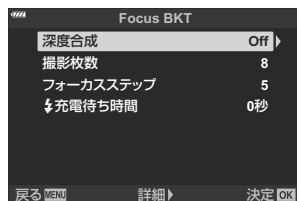


シャッターボタンを全押ししてすぐに指を離すと、設定した枚数まで撮影し続けます。途中で撮影を終了するには、もう一度シャッターボタンを全押しします。

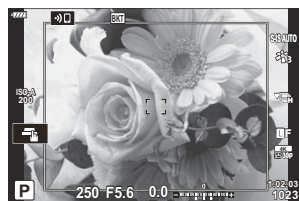
- ① フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、フォーカスブラケット撮影はできません。
- ① フォーカスブラケット撮影中にズーム操作を行うと、撮影は終了します。
- ① ピント位置が ∞ に達すると撮影が終了します。
- ① フォーカスブラケット撮影は、静音シャッターで動作します。
- ① 他のブラケット撮影との併用はできません。
- ① フラッシュの同調秒時は、1/50 秒です。【ISO感度】が8000 以上の場合、1/20 秒になります。

Focus BKT（深度合成）

ピント位置を自動的に変えて 3~8 コマ撮影して合成し、手前から奥まで広い範囲にピントが合った 1 枚の JPEG 画像を作成します。



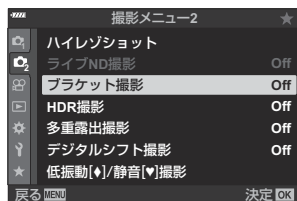
- ① 合成に失敗した場合は、合成画像は生成されずに、設定した撮影枚数の画像のみが保存されます。
- ① シャッターボタンを全押しして撮影中に、ズーム操作を行うと、撮影は終了します。
- ① 合成画像は、画角が狭くなります。
- ① 画面に、合成後の画像に写る範囲を示す枠が表示されます。枠内に被写体が収まるように調整してください。




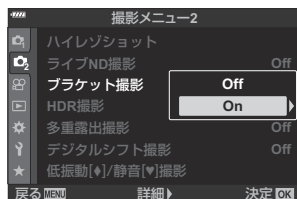
- ① **カスタムメニュー** **D3** **【ガイド線表示設定】** (P.274) の **【表示罫線選択】** で設定した罫線は表示されません。
- ① ピクチャーモードが **[e ポートレート]** またはアートフィルターに設定されているときは、**[Natural]** に設定されます。
- ① 深度合成対応のレンズ使用時のみ、この機能が使えます。使用可能なレンズについては、当社ホームページをご覧ください。
- ① 他のブラケット撮影との併用はできません。

ブラケット撮影を設定する




1.  撮影メニュー 2 で、[ブラケット撮影] を選択し、OK ボタンを押します。



2. [On] を選択してから  ボタンを押します。



- ブラケット撮影のメニュー画面が表示されます。

3.   ボタンで設定するブラケット撮影を選択し、 ボタンを押します。

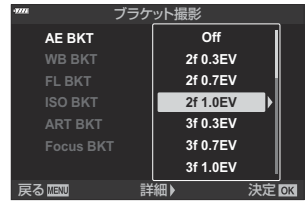


- それぞれのブラケット撮影の詳細設定に関するメニューが表示されます。

4. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで設定または [On] を選択します。

• AE BKT を選択したとき

撮影枚数で2枚(2f)を選択し、 \triangleright ボタンを押すと、基準コマに対して明るい補正か暗い補正かを設定するメニューが表示されます。 $\Delta \nabla$ ボタンで設定を変更して **OK** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



• WB BKT を選択したとき

色調整 (A-B、G-M) の設定画面が表示されます。 $\triangleleft \triangleright$ ボタンで色合いを選択し、 $\Delta \nabla$ ボタンで補正量を設定します。設定を終えたら **OK** ボタンを押して前の画面に戻ります。



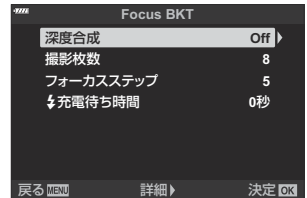
• ART BKT を選択したとき

[On] を選択し、 \triangleright ボタンを押すと、使用するアートフィルターやピクチャーモードの選択画面が表示されます。 $\Delta \nabla$ ボタンで使用する項目を選択し、**OK** ボタンを押してチェックを入れます。設定を終えたら **MENU** ボタンを押して前の画面に戻ります。



• Focus BKT を選択したとき

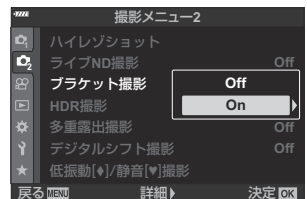
[On] を選択し、 \triangleright ボタンを押すと、Focus BKT 設定の画面が表示されます。 $\Delta \nabla$ ボタンで項目を選択し、 \triangleright ボタンを押すと、各項目の設定画面が表示されます。 $\Delta \nabla$ ボタンで設定して **OK** ボタンを押すと、Focus BKT 設定に戻ります。設定を終えたら **OK** ボタンを押してブラケット撮影のメニュー画面に戻ります。[深度合成] を使うときも [Focus BKT] 設定画面で設定できます。



5. 項目または [On] を選択した状態で **OK** ボタンを押して、それぞれのブラケット撮影の設定を終了します。

6. [ブラケット撮影] が [On] の設定の状態では **OK** ボタンを押します。

- このとき [Off] を選択し、**OK** ボタンを押したり、**MENU** ボタンを押すと、ブラケット撮影の詳細設定を残したままで通常の撮影を行うことができます。



7. 撮影します。

- ブラケット撮影を設定すると、画面に **BKT** が表示されます。

① ブラケット撮影では次の機能は使用出来ません

- HDR 撮影／多重露出撮影／インターバル撮影／デジタルシフト撮影／ハイレゾショット／フィッシュアイ補正撮影／ライブ ND 撮影

① ブラケット撮影では、カメラのメモリーカードに設定枚数以上の空きがないと撮影できません。

① **B** モードでは、AE ブラケット撮影、FL ブラケット撮影、フォーカスブラケット撮影はできません。

HDR(ハイダイナミックレンジ)撮影をする(HDR撮影)

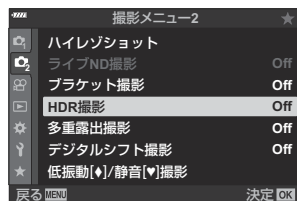
露出を変えて撮影した複数枚の画像を、それぞれの画像の階調が失われている部分を補うように合成することで、階調を拡大したかのような画像にします。通常だと一方の階調が失われるような輝度差の大きい被写体でも黒つぶれや白とびを防いだ画像にすることができます。

①三脚などでカメラを固定して撮影してください。

• P/A/S/M モードで使用できます。

1. MENU ボタンを押して、メニューを表示します。

2.  撮影メニュー 2 で [HDR 撮影] を選択し、▶ ボタンを押します。



3. △▽ ボタンで設定を変更します。



Off	HDR 撮影をしません。
HDR1	1 回の撮影で自動的に露出を変えながら複数枚の撮影をしてカメラ内で合成した画像を生成します。【HDR1】にすると自然な風合いの仕上がりに、【HDR2】にすると絵画のようなアート性を強くした仕上がりになります。
HDR2	<ul style="list-style-type: none"> • 【ISO 感度】は、200 に固定されます。 • 設定できるシャッター速度は 4 秒までです。撮影は 15 秒まで動作します。 • ピクチャーモードは【Natural】に、色空間は【sRGB】に固定されます。 • HDR 合成された画像は JPEG で記録されます。画質モードが【RAW】のときは RAW+JPEG で記録されます。
3f 2.0EV	1 回の撮影で自動的に露出を変えながら複数枚の撮影をします。合成画像の生成は行いません。パソコンなどで HDR 合成のできるソフトウェアを使って合成してください。
5f 2.0EV	
7f 2.0EV	
3f 3.0EV	
5f 3.0EV	

3f 2.0EV


① ②

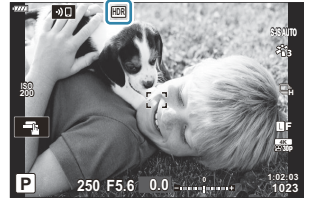
- ① 撮影枚数
- ② 露出の変化量

4. OK ボタンを押して設定を確定します。

- 撮影メニュー 2 に戻ります。

5. MENU ボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

- 撮影画面に戻ります。画面に **HDR** が表示されます。
- ドライブ機能が  (連写 H) に固定されます。



6. 撮影します。

- シャッターボタンを押すと、自動的に設定した枚数の撮影を行います。
- **[HDR1]** および **[HDR2]** に設定したときは、撮影後自動的にカメラ内で画像が合成されます。
- **P/A/S** モードでは露出補正ができます。
- **M** モードでは、設定した絞り値とシャッター速度を基準にして HDR 撮影します。

① 撮影中にモニターやファインダーに表示される画像は、HDR 処理された画像とは異なります。

① **[HDR1]** および **[HDR2]** でシャッター速度を遅くして撮影すると、合成画像にノイズが目立つ場合があります。


① 次の機能とは併用できません。

- フラッシュ撮影/ブラケット撮影/多重露出撮影/インターバル撮影/デジタルシフト撮影/ライブ ND 撮影/フィッシュアイ補正撮影/ハイレゾショット

複数の画像を重ね合わせて撮影する（多重露出撮影）

撮影した画像にもう一度撮影した画像を重ねて1つの画像に合成します。カードに保存されている画像を表示して重ねて撮影することもできます。

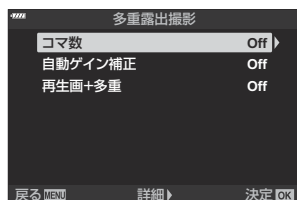
合成した画像は、撮影した画像の画質モードと同じ設定で保存されます。保存されている画像を表示して合成できるのは、RAW で記録されている画像のみです。

【 画質モード】をRAW の設定で撮影すると、【再生画+多重】を繰り返し使うことで、3コマ以上の撮影画像を合成することもできます。

• P/A/S/M/B モードで使用できます。

1.  撮影メニュー 2 で【多重露出撮影】を選択し、OK ボタンを押します。

2. $\Delta \nabla$ で項目を選択し、 \triangleright ボタンを押します。



3. $\Delta \nabla$ ボタンで設定を変更します。

コマ数	[Off] : 多重露出撮影をしません。 [2 コマ] : 2 コマの多重露出撮影をします。
自動ゲイン補正	[On] : 合成する各コマの明るさを 1/2 にして合成します。 [Off] : 各コマの明るさのまま合成します。

再生画+多重

[On] : カードに保存されている RAW 画像と多重露出撮影します。

[Off] : 2 コマ続けて撮影した画像を合成します。

- **【再生画+多重】** を設定するには **【コマ数】** を **【2 コマ】** に設定してください。
- **【再生画+多重】** を **【On】** に設定すると、合成する画像一覧が表示されます。△▽◀▶ ボタンで画像を選択し、**OK** ボタンを押します。



- 選択できる画像は RAW 画像のみです。

4. **OK** ボタンを押します。

5. 多重露出設定画面で **OK** ボタンを押して、設定を確定します。

- 撮影メニューに戻ります。





6. **MENU** ボタンを押して、メニューを終了します。

- モニターに  が表示されます。



- **【再生画+多重】** を設定したときは、選択した画像がモニターに半透過で表示されます。

7. 撮影します。

- 1コマ目を撮影または**【再生画+多重】**に設定したときは、撮影画面に合成する画像が半透過で表示されます。
- 1コマ目を撮影すると  が緑で表示されます。
- 通常の多重露出撮影では、2コマ目を撮影すると画像が合成されます。
-  ボタンを押すと再度1コマ目の撮影ができます。
- **【再生画+多重】** のときは、同じ再生画像を使って繰り返し多重露出撮影ができます。
- 多重露出を終了するときは、**MENU** ボタンか  ボタンを押します。
- **MENU** ボタンを押したときは、メニューで**【コマ数】**を**【Off】**に設定します。
- 多重露出撮影を終了するとモニターの  が消えます。

① 多重露出撮影を設定すると、スリープモードには入りません。

① 他のカメラで撮影された画像を使った合成はできません。

① ハイレゾショットのRAW画像は使用できません。

① **【再生画+多重】** を**【On】**に設定し、RAW形式の画像を選択するときに表示される画像は、撮影時の設定で現像されたものです。

① 撮影に関する設定は、多重露出撮影を解除してから行ってください。一部設定できない機能があります。

① 次の場合は1枚目以降の多重露出が自動的に解除されます。

- 電源をオフにする /  ボタンを押す / **MENU** ボタンを押す / 撮影モードを変更する / 電池残量がなくなる / 各コネクタへのケーブルの挿入

① **【再生画+多重】** でRAW形式の画像を選択するとき、RAW+JPEGで記録した画像はJPEG画像が表示されます。

① **B**モードの**【LIVE COMP】**（ライブコンポジット撮影）では使用できません。

① 多重露出撮影時は、次の機能は使用できません。

- HDR撮影 / ブラケット撮影 / インターバル撮影 / デジタルシフト撮影 / ライブND撮影 / フィッシュアイ補正撮影 / ハイレゾショット

①  **【画質モード】** (P.135) をRAWの設定で撮影した画像は、再生モードで合成することもできます。 「画像を合成する (画像合成)」 (P.252)

台形補正をする／遠近感を強調する（デジタルシフト撮影）


建物などを撮影したとき、レンズの焦点距離や距離の影響で台形に歪んで写るのを正しい形に補正したり、正しい形状を歪めて遠近感を強調した画像を撮影できます。画面で効果を見ながら、補正量を設定します。補正した画像は元の画像から切り出されるので、少し拡大されます。

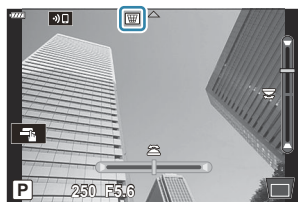
• P/A/S/M/B モードで使用できます。

1.  撮影メニュー 2 で【デジタルシフト撮影】を選択し、OK ボタンを押します。





2. [On] を選択し、OK ボタンを押します。

3. MENU ボタンを押し、メニューを終了します。


- デジタルシフト撮影の撮影画面が表示されます。画面にスライダーと  が表示されます。







4. 画面を見ながら補正をして構図を決めます。

- フロントダイヤルで左右方向、リアダイヤルで上下方向の補正をします。
- 画面を見ながら補正をして構図を決めます。
-    ボタンで画像の切り出す範囲を決めます。切り出しできる方向に  が表示されます。
- OK ボタンを長押しすると、設定がキャンセルされます。

5. 絞りやシャッター速度などの撮影機能を設定するときは、INFO ボタンを押します。

- 撮影画面に戻ります。
- デジタルシフトがオンになっている間は、画面に  が表示されています。デジタルシフトの補正が設定されているときは緑色の表示になります。
- デジタルシフトの設定に戻るときは、繰り返し INFO ボタンを押して手順 4 の画面を表示します。

6. 撮影します。

- ① 補正の度合いによっては、画像が粗くなります。また、切り出し時の倍率は大きくなったり、切り出し位置の移動ができなくなります。
- ① 補正量によっては、切り出し範囲の移動ができない場合があります。
- ① 補正の度合いによっては、AF ターゲットが表示範囲内に収まらない場合があります。ピントの合った AF ターゲットが表示範囲の外にあるときは、画面に 、、、 が表示されます。
- ① 画質モードが **[RAW]** のときは、RAW+JPEG で記録されます。
- ① デジタルシフト撮影時は、次の機能は使用できません。
 - コンボジット撮影／連写／ブラケット撮影／HDR 撮影／多重露出撮影／ライブ ND 撮影／フィッシュアイ補正撮影／デジタルテレコン／ムービー撮影／AF 方式の **[C-AF]**、**[C-AFMF]**、**[C-AF+TR]**、**[C-AF+TRMF]** / ピクチャーモードの **[e ポートレート]** またはアートフィルター／カスタムセルフタイマー／ハイレゾショット撮影
- ① コンバーターレンズをお使いの場合は、意図どおりに補正できない場合があります。
- ① マイクロフォーサーズ／フォーサーズ以外のレンズを使うときは、**[📷 手ぶれ補正]** で焦点距離設定をしてください (P130)。
- ① **[📷 手ぶれ補正]** (P130) で焦点距離を設定しているとき、または **[レンズ情報登録]** (P339) で焦点距離が設定されたレンズを使用するときは、設定値に従って補正されます。

低振動撮影／静音撮影を設定する（低振動 [◆]／静音 [♥] 撮影）

低振動撮影（P.103）と静音撮影（P.104）を設定すると、連写／セルフタイマー（P.100）で低振動撮影または静音撮影の項目を選択して撮影できます。

1. 撮影メニュー 2 で **【低振動 [◆] / 静音 [♥] 撮影】** を選択し、**OK** ボタンを押します。
2. **△▽** で項目を選択し、**▷** ボタンを押します。
3. **△▽** ボタンで設定を変更します。

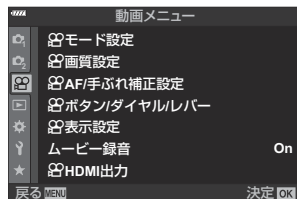
低振動 [◆] 撮影	低振動撮影時のシャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を設定します。シャッター動作による微少なぶれを低減したいときに設定してください。低振動モードは連写やセルフタイマー撮影（P.100）にも有効です。低振動撮影を使わないときは 【Off】 にします。
静音 [♥] 撮影	静音撮影時のシャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの時間を設定します。シャッター音が出せない環境下で撮影するときを設定してください。静音モードは連写やセルフタイマー撮影（P.100）にも有効です。静音撮影を使わないときは 【Off】 にします。
静音 [♥] 長秒時 ノイズ低減	【オート】 に設定すると、静音撮影での長時間露光時に発生するノイズを低減します。ノイズ低減処理時に、シャッターの動作音がします。
静音 [♥] 撮影時 動作	静音撮影時に 【電子音】 / 【AF 補助光】 / 【フラッシュ】 の動作の設定を許可するかどうかを設定します。 【許可】 に設定すると各機能の設定に従って動作し、 【禁止】 に設定すると各機能の設定に関わらず静音撮影時に動作を禁止します。

4. **OK** ボタンを押します。

動画メニューを使う

動画メニューの機能

動画メニューでは、ムービー撮影の機能を設定します。



🔗 モード設定

ムービー撮影に関する動作の設定を行います。

🔗 モード	ムービー撮影時の撮影モードを設定しておくことができます (P.234)。
🔗 フリッカースキャン	[On] にすると、LED 照明による明るさのちらつきを抑えます。フロントダイヤル/リアダイヤルまたは Δ ∇ ボタンで、フリッカーが軽減されるシャッター速度に設定します (P.236)。

🔗 画質設定

ムービーの画質を設定します。

🔗 画質モード	画質モードの画像サイズやビットレートなどの組み合わせを設定します (P.137)。
🔗 MISO オート設定	<p>[🔗 ISO 感度] を [AUTO] (オート) に設定したときの、カメラの ISO 感度の動作を設定します。 (P.97)。</p> <p>[上限値/基準値設定]: [🔗 モード] (ムービー露出モード) が [M] で [🔗 ISO 感度] が [AUTO] のときの、ISO 感度の上限値と基準値を設定します。</p> <p>[🔗 MISO オート有効]: [🔗 モード] (ムービー露出モード) が [M] のときに、[🔗 ISO 感度] の [AUTO] の設定が使えます。変化の仕方は [上限/基準値設定] で設定できます。</p>
🔗 高感度ノイズ低減	高感度ムービー撮影時のノイズ低減レベルを選択します。

☞ WB モード	ムービー撮影時の WB モードを設定できます (P.125)。
☞ 全 WB モード補正	ホワイトバランスの設定を一括で微調整します (P.129)。 [All Set] : 全てのホワイトバランスの設定を微調整します。 [All Clear] : 設定した微調整をリセットします。
☞ WB オート電球色残し	[On] にすると、ホワイトバランスが [AUTO] のとき、ムービー撮影で電球色の色合いを残します (P.128)。
☞ ピクチャーモード	[On] にすると、ムービー撮影専用のピクチャーモードを設定できるようになります (P.150)。













☞ AF/手ぶれ補正設定

ムービー撮影時のピントの合わせ方や手ぶれ補正に関する設定を行います。

☞ AF 方式	ムービー撮影の AF 方式を選択します (P.116)。
☞ C-AF 動作速度	[C-AF] や [C-AF+TR] で被写体にピントを合わせ続けているときの、ピント合わせの速度を設定します。
☞ C-AF 追従感度	[☞AF 方式] が [C-AF] や [C-AF+TR] で被写体にピントを合わせ続けているときの、オートフォーカスの追従性を設定します。速い動きの被写体にオートフォーカスを追従させたいときや、被写体の前を障害物が出入りしてピントが移動してしまうときなどに有効です。 <ul style="list-style-type: none"> • 3 段階の感度が設定できます。 • +1 に設定すると感度は上がります。前後に動いたり動きの速さが不規則に変化する被写体や、見えない位置から急に現れる被写体に対応するときに設定します。 • -1 に設定すると感度は下がります。被写体との間の障害物にピントが移動してしまったり、被写体の動きが速く AF ターゲットが外れてピントが背景に移動してしまうときに設定します。
☞ 手ぶれ補正	ムービー撮影の手ぶれ補正を設定します (P.130)。



ボタン/ダイヤル/レバー

ムービーモード時のボタン/ダイヤル/レバーの機能を設定しておくことができます。

 ボタン機能	ムービーモード時のボタンに機能を設定します (P.163)。
 ダイヤル機能	ムービーモード時のリアダイヤルとフロントダイヤルの機能を変更できます (P.240)。
 Fn レバー機能	ムービーモード時に Fn レバーで切り換える機能を設定します。 [mode1] を設定すると、 Fn レバーで、 [ ダイヤル機能] で設定されている機能を切り換えます。 [mode2] を選択し、 ▷ ボタンを押すと、 Fn レバーで切り換える機能を選択できます (AF 方式/AF ターゲットモード/AF ターゲット位置)。 [ Fn レバー機能] (P.312) が [mode3] に設定されているときや、 [ カスタムメニュー B の [Fn レバー/電源レバー] (P.269) が [PW1] または [PW2] に設定されているときは無効です。
 シャッターボタン機能	ムービーモード時のシャッターボタンの機能を選択できます。 [] を設定すると、シャッターボタンで、AF 操作を行います。静止画撮影はできません。 [ REC] を設定すると、シャッターボタン全押しで、ムービー撮影の開始と停止を行います。 [ REC] のときは、 [] ボタンで録画の操作はできません。
 電動ズーム速度	電動ズームを搭載したレンズでズームするときの、ズームの動作速度を変更します。ゆっくりと被写体をアップにするなど、ムービーの一つの効果として使用することができます。 [低速] 、 [標準] 、 [高速] から選択できます。

表示設定

ムービーモード時の表示に関する設定を行います。

 Control 表示	ムービーモード時の LV コントロール (P.322) / LV スーパーコンパネ (P.109) の表示/非表示を設定できます。表示しないときは項目を選択し、 OK ボタンを押してチェックを外します。
 Info 表示	ムービー撮影画面での情報表示の内容を選択できます。表示しないときは項目を選択し、 OK ボタンを押してチェックを外します。
動画撮影中の赤枠表示	ムービーの撮影中であることが分かりやすいように、画面の外周に赤枠を表示させることができます。

タイムコード設定	<p>ムービーモード時に記録するタイムコードを設定します。</p> <p>記録時間との誤差を補正して記録するときは、【タイムコードモード】を【DF】（ドロップフレーム）に、誤差を補正しないときは【NDF】（ノンドロップフレーム）に設定します。</p> <p>タイムコードを録画中のみカウントするときは、【カウントアップ方式】を【ロックラン】に、電源 OFF 時を含む録画停止中もカウントするときは【フリーラン】に設定します。</p> <p>【タイムコード値設定】で、タイムコードの開始時間を設定します。【現在時刻】に設定すると、現在の時刻でフレームが 00 になります。00:00:00:00 に設定するときは【リセット】を選択します。【手動入力】でも設定できます。</p>
ピクチャービューアシスト	<p>ピクチャーモードがムービー専用の【ピクチャーFlat】や【ピクチャーOM-Log400】に設定されているとき、モニターに表示する映像を見やすい画質に調整します。【On】にすると、映像を見やすい色合いに調整して表示します。</p>

ムービー録音

【Off】にすると、ムービー撮影中に音声を録音しません (P.242)。

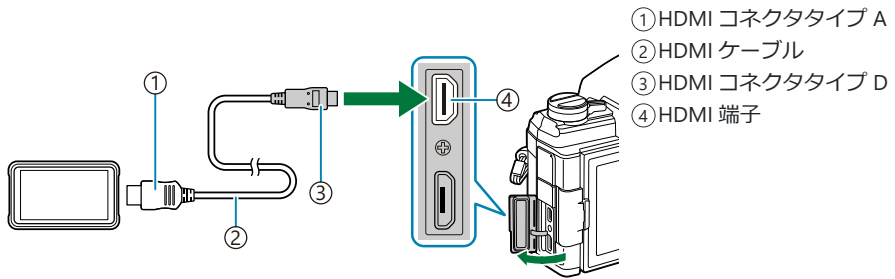
HDMI 出力

本機と外部機器を HDMI 接続してムービーを撮影するときの出力設定を行います。

出力モード設定	<p>出力映像モードを設定します。【モニターモード】を設定すると、映像とカメラの情報を出力します。このときカメラ側には情報表示されません。</p> <p>【記録モード】を設定すると、映像のみを出力します。このときカメラ側には情報表示されます。</p> <p>① 【画質設定】の【画質モード】(P.137)で、選択している画像サイズが【4K】または【C4K】のときは設定できません。</p>
REC トリガー	<p>【On】にすると、接続した外部機器に、カメラから REC トリガーを通知します。</p>
タイムコード	<p>【On】にすると、接続した外部機器に、カメラからタイムコードを通知します。</p> <p>① 次の場合、タイムコードをトリガーとする外部機器の録画が停止する場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 処理の重いムービーの撮影 - ファインダーとモニターの表示切り換え時など


カメラと HDMI 機器を接続する




HDMI ケーブルでカメラと HDMI 機器を接続します。







- HDMI 機器の設定については、ご使用の HDMI 機器の取扱説明書をご覧ください。


静止画撮影の効果を使って撮影する（ モード （ムービー露出モード））

P/A/S/M モードの効果を活かしたムービー撮影が可能です。
モードダイヤルを  にして撮影しているときに有効です。

1.  動画メニューで、**【 モード設定**】を選択し、**OK** ボタンを押します。
2. **【 モード**】（ムービー露出モード）を選択し、**▷** ボタンを押します。
3. **△▽** ボタンで設定を選択します。

P	被写体の明るさに応じて、最適な絞り値を自動的に設定します。 フロントダイヤルまたはリアダイヤルで露出補正を設定できます。
A	絞り値を設定することで、背景の描写に変化がつけられます。 フロントダイヤルで露出補正、リアダイヤルで絞り値を設定できます。
S	シャッター速度を設定することで、被写体の写り方に変化がつけられます。フロン トダイヤルで露出補正、リアダイヤルでシャッター速度を設定できます。 設定可能なシャッター速度は 1/24~1/32000 秒です。
M	絞りとシャッター速度を活かして自由に表現できます。 フロントダイヤルで絞り値を設定し、リアダイヤルでシャッター速度を設定しま す。 <ul style="list-style-type: none">• シャッター速度は 1/24~1/32000 秒に設定できます。【 ISO 感度】のマニユア ル設定時は、200~6400 です。• 設定されている絞り値とシャッター速度による露出と、カメラが測った適正露 出との差が画面に表示されます。差が±3 以上になると表示が点滅します。•  動画メニュー 【 画質設定】の 【 M ISO オート設定】（P.229）が有効にな ります。

4. **OK** ボタンを押します。

 露光中のぶれ（被写体ぶれなど）が発生する撮影状況では、シャッター速度を高速側（速くする）
にすることでぶれを軽減できる場合があります。

① シャッター速度の低速側は、ムービー画質のフレームレートの設定によって変わります。

LED 照明による明るさのちらつきを抑えて撮影する (フリッカーキャン)

LED 照明の環境下では、撮影した画像にすじが写ることがあります。【フリッカーキャン】では、画面ですじの発生を確認しながら適切なシャッター速度を選んで撮ることができます。

- ① この機能は、【モード】(ムービー露出モード)が【S】または【M】のときに使用できます。
- ② 設定できるシャッター速度の範囲が狭くなります。

1. 【モード】(ムービー露出モード)を【S】または【M】に設定します (P234)。
2. 動画メニューで、【モード設定】を選択し、OK ボタンを押します。
3. 【フリッカーキャン】を選択し、▶ ボタンを押します。
4. △▽ ボタンで【On】を選択し、OK を押します。
5. MENU ボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

- フリッカーキャン中は、画面に **Flicker Scan** が表示されます。






6. 画面を見ながらシャッター速度を設定します。




① シャッター速度

- フロント/リアダイヤル、または △▽ ボタンで設定できます。△▽ ボタンを長押しすることもできます。

- フロントダイヤルでは、 カスタムメニュー  の【露出ステップ】で設定した露出ステップでシャッター速度を変更できます。
- 画面に発生するすじが見えなくなるようにシャッター速度を調整してください。
- **INFO** ボタンを押すと画面が切り換わり、 が消えます。このとき、絞りや露出補正の設定ができます。フロント/リアダイヤルまたは、十字ボタンを使って設定してください。
- **INFO** ボタンを繰り返し押すと、フリッカースキャンの設定画面に戻ります。

7. 設定を終えたら撮影します。

 フリッカースキャンの画面では、ピーキング表示や、LV スーパーコンパネ、LV コントロールの表示はできません。表示するときは **INFO** ボタンを押して画面の情報表示を切り換えてください。

ムービーの画質を設定する (🔗 画質モード)

ムービーの画像サイズやビットレートなどの組み合わせを設定できます。設定後、ムービーの画質モード (P.137) で選択できます。

1. 🔗 動画メニューで、[🔗 画質設定] を選択し、OK ボタンを押します。
2. [🔗 画質モード] を選択し、▷ ボタンを押します。
3. △▽ ボタンで項目を選択し、▷ ボタンを押します。
4. △▽ ボタンで設定を変更します。

画像サイズ	[C4K] (カスタムのみ) / [4K] / [FHD] (Full HD) / [HD] を設定できます。
ビットレート	[A-I] (All-Intra) / [SF] (Super Fine) / [F] (Fine) / [N] (Normal) を設定できます。 <ul style="list-style-type: none">• 画像サイズで [4K]、[C4K] を設定しているときは、ビットレートは選択できません。
フレームレート	[60p] / [50p] / [30p] / [25p] / [24p] を設定できます。 <ul style="list-style-type: none">① 次のときは、[60p] / [50p] は選択できません。<ul style="list-style-type: none">- 画像サイズで [FHD] (Full HD)、ビットレートで [A-I] (All-Intra) を設定しているとき- 画像サイズで [C4K] または [4K] を設定しているとき② 画像サイズが [C4K] に設定されているときは、フレームレートは 24p に固定されます。③ テレビでムービーを再生する場合、テレビとムービーのフレームレートが合っていないとなめらかに再生されません。ムービーを撮影する前に、各国/地域のテレビ映像信号に合わせてフレームレートを設定してください。<ul style="list-style-type: none">- NTSC 地域 : 60p (30p)- PAL 地域 : 50p (25p)
スロー/クイック効果	スロー/クイック効果を設定できます。選択できる設定は、設定しているフレームレートによって異なります。 <ul style="list-style-type: none">• スロー効果、クイック効果が制限される画質モードがあります。

5. OK ボタンを押します。

フロント/リアダイヤルの機能を変える (📷 ダイヤル機能)

📷 (ムービー) モードのときのフロント/リアダイヤルに割り当てられているそれぞれの機能を変更することができます。撮影の状況や使い勝手に合わせて、フロントとリアのダイヤルの機能を入れ換えたり、他の機能を割り当てることができます。また、[📷 Fn レバー機能] が [mode1] のときには、Fn レバーの位置によって機能が変わります。[📷 モード] (ムービー露出モード) 別に設定することができます。

① このメニューで設定するダイヤル機能は、📷 (ムービー) モードのときに有効になります。P/A/S/M/B (静止画撮影) モードでは、🌟 カスタムメニューで設定するダイヤル機能が有効になります。

機能	動き	撮影モード			
		P	A	S	M
シャッター速度	シャッター速度を設定します。	—	—	○	○
絞り	絞り値を設定します。	—	○	—	○
露出補正	露出補正を設定します。	○	○	○	○
ISO 感度	ISO 感度を設定します。	—	—	—	○
WB モード	ホワイトバランスを設定します。	○	○	○	○
CWB 色温度	ホワイトバランスが CWB (カスタム WB) のときの色温度設定を変更します。	○	○	○	○
🎧 VOL	録音の音量を調整します。	○	○	○	○
Off	機能を設定しません。	○	○	○	○


1. 📷 動画メニューで [📷 ボタン/ダイヤル/レバー] を選択し、▷ ボタンを押します。
2. △▽ ボタンで [📷 ダイヤル機能] を選択し、▷ ボタンを押します。





3. 設定する項目を選択し、▷ ボタンを押します。

- ◀▷ ボタンでダイヤルを選択し、△▽ ボタンで設定を変更します。
- **INFO** ボタンを押すと、レバー 1 とレバー 2 の間でカーソルの位置を切り換えられます。
- 設定が完了したら、**OK** ボタンを押します。

録音の設定をする（ムービー録音）

録画時の音声の記録について設定します。カメラに外部レコーダーやマイクを接続して使うときの設定もできます。

1.  動画メニューで、**【ムービー録音】** を選択し、**OK** ボタンを押します。
2. **【On】** を選択し、**▷** ボタンを押します。
3. **△▽** ボタンで項目を選択し、**▷** ボタンを押します。
4. **△▽** ボタンで設定を変更します。

録音レベル調整	マイクの感度を設定します。内蔵のステレオマイク、外部マイクそれぞれの感度を設定できます。 【内蔵 】 ：カメラのステレオマイクの設定をします。 【MIC 】 ：マイク端子に接続した外部マイクの設定をします。
 入力リミッター	マイクが拾う音量に制限をかけます。一定量より大きいときは自動的に音量を抑えることができます。
風切り音低減	録音時の風による雑音を低減します。
録音レート	音声の記録フォーマットを設定します。 【96kHz/24bit】 ：高音質の音声フォーマット 【48kHz/16bit】 ：標準の音声フォーマット
 プラグインパワー	コンデンサー型マイクのように通電が必要なマイクを使用するときに設定します。 【Off】 ：通電しません（一般的なダイナミック型マイク）。 【On】 ：通電します（コンデンサー型マイク）。

5. **OK** ボタンを押します。

 ムービー録音が **【Off】** のときは、 が表示されます。

📷ムービー撮影中の録音では、レンズの駆動音やカメラの操作音が入ることがあります。気になるときは、**AF方式** (P.116) を **[S-AF]**、**[MF]** または **[PreMF]** にして撮影したり、ボタンをなるべく押さないようにするなど、音の発生を抑えてください。

① 次の場合には録音できません。

- ハイスピードムービー撮影/スロー/クイック撮影/ピクチャーモードが **ART** (ジオラマ) のとき

① 音声は設定した **録音レート** に対応した機器以外では再生されません。

再生メニューを使う

再生メニューの機能

再生メニュー

回転再生 (P.245)

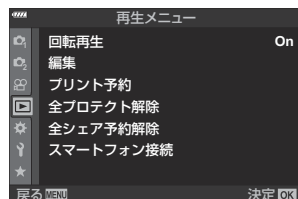
編集 (P.246)

プリント予約 (P.189)

全プロテクト解除 (P.255)

全シェア予約解除 (P.256)

スマートフォン接続 (P.350)



縦位置で撮影した画像を自動で回転表示する（回転再生）

設定が **[On]** のとき、縦位置で撮影した画像が自動的に回転して再生されます。

撮影した画像を加工する（編集）

撮影した画像を編集して別の画像として保存します。RAW 画像は、ホワイトバランスや、アートフィルターを含むピクチャーモードなどの撮影時に使うような処理を加えることができます。JPEG 画像は、トリミングやリサイズなどの簡単な加工ができます。

RAW 編集	編集をして JPEG 画像を作ります（P246）。編集は次の方法でできます。 【 現設定 】：現在のカメラの設定を反映した処理をします。 【 詳細設定 1 】 / 【 詳細設定 2 】：画面上で処理の結果を確認しながら、設定を選択します。設定した内容を【 詳細設定 1 】【 詳細設定 2 】として残しておけます。 【 ART BKT 】：アートフィルターの処理をした JPEG 画像を作ります。複数のアートフィルターを選択して同時に複数の画像を作れます。
JPEG 編集	JPEG 画像をもとに加工をして、新たに JPEG 画像を作ります（P249）。

RAW 画像を編集する（RAW 編集）

【**RAW 編集**】では次の内容が編集できます。【**現設定**】で有効な編集内容も同じです。

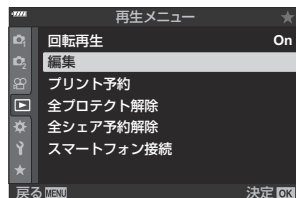
- 画質モード
- ピクチャーモード
- ホワイトバランス
- 露出補正
- 明部トーン補正
- 暗部トーン補正
- 中間部トーン補正
- アスペクト比
- 高感度ノイズ低減
- 色空間
- デジタルシフト

①ピクチャーモードをアートフィルターに設定すると、【**色空間**】は【**sRGB**】に固定されます。

②次の場合は RAW 編集できません。

- カードの空き容量が不足している場合 / 他のカメラで撮影した画像

1.  再生メニューで【**編集**】を選び  を押します。



2. △▽で【画像選択】を選びOKボタンを押します。



- カードに記録されている画像が表示されます。

3. ◀▶で編集する静止画を選択し、OKボタンを押します。



- 編集メニューが表示されます。

4. △▽で【RAW編集】を選び、OKボタンを押します。



- 編集方法のメニューが表示されます。

① 選択した画像がRAW画像でない場合、【RAW編集】は選択できません。別の画像を選択してください。

5. $\Delta \nabla$ で編集方法を選択します。

- **[現設定]** を選んだときは **OK** ボタンを押します。画像に現在のカメラの設定が反映されます。
 - $\Delta \nabla$ で **[実行]** を選択して **OK** ボタンを押すと、現像が施された画像が記録されます。
- **[詳細設定 1]** または **[詳細設定 2]** を選んだときは \triangleright を押します。
 - 編集項目メニューが表示されます。 $\Delta \nabla$ で項目を選択し、 $\triangleleft \triangleright$ で設定を変更します。項目を選択して繰り返します。
 - ◎ を押すと設定が画面に反映されます。



- 設定を終えたら **OK** ボタンを押します。画像に処理が施されます。
- $\Delta \nabla$ で **[実行]** を選択して **OK** ボタンを押すと、現像が施された画像が記録されます。
- **[ART BKT]** を選んだときは、 \triangleright を押すと、画像にかけるアートフィルターを選択するメニューが表示されます。使用するアートフィルターを選択し、**OK** ボタンを押して \checkmark を付けます。設定を終えたら **MENU** ボタンで前の画面に戻ります。
 - **OK** ボタンを押すと選択したアートフィルター処理が施された画像が記録されます。

6. 同じ元画像で再度編集するときは、**[再設定]** を選択して **OK** ボタンを押します。現像を終了するときは、**[中止]** を選択して **OK** ボタンを押します。

- **[再設定]** を選択したときは、画面に編集方法のメニューが表示されます。手順 5 から繰り返します。

🔗 RAW 編集したい画像を再生して編集をすることもできます。

▶ ボタン → 編集したい画像を選択 → **OK** ボタンを押してメニューを表示 → **[RAW 編集]**

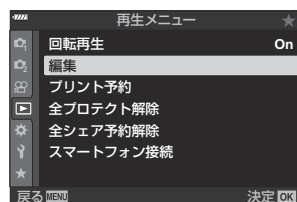
JPEG 画像を加工する (JPEG 編集)

[JPEG 編集] では次の内容が編集できます。

階調オート	逆光時に暗く写った被写体を明るくします。
赤目補正	フラッシュ撮影で目が赤く写った部分を軽減させます。
トリミング	画像をトリミングします。フロント/リアダイヤルでトリミングサイズ、 $\Delta \nabla \langle \triangleright$ でトリミング位置を指定します。
アスペクト	アスペクト比が 4:3 (基準) の画像を、[3:2]、[16:9]、[1:1]、または [3:4] に変更します。アスペクト比選択後、 $\Delta \nabla \langle \triangleright$ でトリミング位置を指定します。
モノクロ作成	白黒に変換します。
セピア作成	セピア色に変換します。
鮮やかさ調整	画像の色をより鮮やかにします。画面で確認しながら鮮やかさを調整します。
リサイズ	画像サイズを 1280×960、640×480、または 320×240 に変換します。アスペクト比が 4:3 (基準) 以外の画像は、近い大きさの画像サイズに変換されます。
e ポートレート	なめらかな肌に補正します。顔が検出できないなど、画像によっては補正できない場合があります。

- ① 画像によっては赤目補正できないことがあります。
- ① 次の場合は JPEG 編集できません。
 - パソコンで編集した画像/カードの空き容量が不足している場合/他のカメラで撮影した画像
- ① [リサイズ] では、撮影時の画像サイズより大きなサイズには設定できません。
- ① 画像によっては [リサイズ] を使用できないことがあります。
- ① [トリミング] / [アスペクト] は、アスペクト比が 4:3 (基準) の画像のみ編集できます。

1.  再生メニューで [編集] を選び \triangleright を押します。



2. $\Delta \nabla$ で **[画像選択]** を選び **OK** ボタンを押します。



- カードに記録されている画像が表示されます。

3. $\triangleleft \triangleright$ で編集する静止画を選択し、**OK** ボタンを押します。



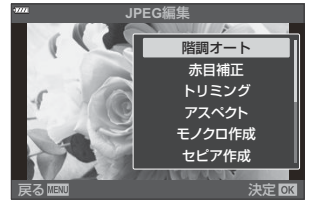
- 編集メニューが表示されます。

4. $\Delta \nabla$ で **[JPEG 編集]** を選択し、**OK** ボタンを押します。



- 編集方法のメニューが表示されます。
- 選択した画像が JPEG 画像でない場合、**[JPEG 編集]** は選択できません。別の画像を選択してください。

5. $\Delta \nabla$ で項目を選んで **OK** ボタンを押します。



- 設定が画像に反映されて確認できます。メニューが表示される項目では、 $\Delta \nabla$ で設定を選択します。
- **【トリミング】** を選択したときは、フロント/リアダイヤルでサイズを設定、 $\Delta \nabla \langle \rangle$ でトリミング位置を設定できます。
- **【アスペクト】** を選択したときは、 $\Delta \nabla$ で設定を選択した後、 $\Delta \nabla \langle \rangle$ で位置を設定できます。

6. $\Delta \nabla$ で **【実行】** を選択して **OK** ボタンを押します。



- 編集が施された画像が記録され、再生画面に戻ります。

🔗 JPEG 編集したい画像を再生して編集をすることもできます。

▶ ボタン → 編集したい画像を選択 → **OK** ボタンを押してメニュー表示 → **【JPEG 編集】**

画像を合成する（画像合成）

記録されている RAW 画像を重ねて合成して別の画像として保存します。2 コマまたは 3 コマの合成ができます。

合成するそれぞれの画像の明るさ（ゲイン）を調整して、見え方を変えることができます。

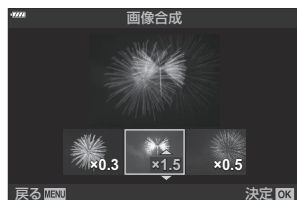
1. 再生メニューで **【編集】** を選び **OK** ボタンを押します。
2. $\Delta \nabla$ ボタンで **【画像合成】** を選び **OK** ボタンを押します。
3. 合成するコマ数を選択し、**OK** ボタンを押します。
4. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで合成する RAW 画像を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 選択したコマに \checkmark が表示されます。 \checkmark を外すときは再度 **OK** ボタンを押します。



- 手順 3 で選択したコマ数を選択すると、画像合成画面が表示されます。

5. 合成する各画像のゲインを選択します。
 - $\triangleleft \triangleright$ ボタンで画像を選択し、 $\Delta \nabla$ ボタンで数値を変更します。
 - ゲインは 0.1~2.0 まで選択できます。表示画像を見ながらゲインを調節してください。



6. **OK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。
 - **【実行】** を選択し、**OK** ボタンを押します。








合成後の画像は、カメラで設定されている画質モードで記録されます。設定が **【RAW】** のときは、**【 $\leftarrow \rightarrow$ 2】** と RAW で保存されます。 **カスタムメニュー** **【画質設定】** (P281)

合成画像を RAW 形式で保存すると、さらに他の RAW 画像と合成することができ、4 コマ以上の画像合成が可能になります。

ムービーから静止画を作る（静止画切り出し）

ムービー内のフレームを選択し、静止画として保存します。







① 本機で撮影された画像サイズが【4K】のムービーでのみ可能です。

1.  再生メニューで【編集】を選択し、OK ボタンを押します。
2.  ボタンで【画像選択】を選び OK ボタンを押します。
3.  ボタンでムービーを選択し、OK ボタンを押します。
4. 【ムービー編集】を選び OK ボタンを押します。
5.  ボタンで【静止画切り出し】を選び OK ボタンを押します。
6.  ボタンで静止画として保存するコマを表示して OK ボタンを押します。
 - 表示したコマが静止画として保存されます。
 -  ボタンでコマ戻し、 ボタンでコマ送りできます。

ムービーをトリミングする（トリミング）


ムービーの削除したい範囲を指定して削除します。特定の部分を残したいときは、この操作を繰り返します。

① 本機で撮影されたムービーでのみ可能です。

1.  再生メニューで **【編集】** を選択し、**OK** ボタンを押します。
2.  ボタンで **【画像選択】** を選び **OK** ボタンを押します。
3.  ボタンでムービーを選択し、**OK** ボタンを押します。
4. **【ムービー編集】** を選び **OK** ボタンを押します。
5.  ボタンで **【トリミング】** を選び **OK** ボタンを押します。
 - トリミング後のデータ保存についての選択肢が表示されます。
【新規作成】：トリミングしたデータを新しいムービーコマとして保存します。
【上書き保存】：元のムービーコマに上書きして保存します。
【中止】：トリミングを中止します。
 - 画像がプロテクトされている場合は、**【上書き保存】** は選択できません。
6. 項目を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - 編集状態に移ります。
7. トリミング編集をします。
 -  ボタンでムービーコマの先頭に、 ボタンで、ムービーコマの最後に移動できます。
 - フロント/リアダイヤルで削除する部分の最初のコマを選択し、**OK** ボタンを押します。
 - フロント/リアダイヤルで削除する部分の最後のコマを選択し、**OK** ボタンを押します。
8. **【実行】** を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - 編集が反映されてデータが保存されます。
 - 選択しなおすときは **【中止】** を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - **【上書き保存】** を選択しているときは、同じムービーにさらにトリミングするかの確認が表示されます。引き続き編集するときは、**【続行】** を選択し、**OK** ボタンを押します。


全てのプロテクトを解除する(全プロテクト解除)

プロテクトされている画像を一度に解除できます。

1.  再生メニューで **全プロテクト解除** を選択し、**OK** ボタンを押します。
2. **実行** を選択し、**OK** ボタンを押します。

全ての転送予約を解除する（全シェア予約解除）

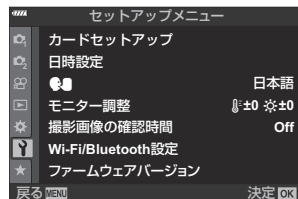
画像に設定されているシェア予約を解除します。

1.  再生メニューで **【全シェア予約解除】** を選択し、**OK** ボタンを押します。
2. **【実行】** を選択し、**OK** ボタンを押します。

セットアップメニューを使う

セットアップメニューの機能

カメラの基本的な設定をします。表示する言語やモニターの明るさの調整などがあります。カメラを使い始めるときに設定する項目を集めています。



メニュー項目	説明
カードセットアップ	カードの初期化や、カードに保存されている画像を一括で削除します (P.259)。
日時設定	日時を設定します (P.34)。
🗨️ (言語切り換え)	機能設定時に表示されるガイドやメニューの言語を選択します (P.36)。
モニター調整	モニターの明るさと色温度を調整します。色温度の調整は再生時のモニター表示に適用されます。◀▶ ボタンで 🌞 (色温度) と 🌟 (明るさ) を切り換え、△▽ ボタンで設定値を選びます。 INFO ボタンを押すたびにモニター表示の彩度が [Natural] と [Vivid] で切り換わります。
撮影画像の確認時間	撮影後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。また、表示する時間も設定できます。撮影した画像の簡単なチェックに便利です。撮影確認中でもシャッターボタンを半押しするとすぐに次の撮影に入れます。 [0.3 秒] ~ [20 秒] : 画像を表示する時間を指定します。 [Off] : 記録中の画像は表示されません。 [Auto ▶] : 記録中の画像を表示し、そのまま再生モードに切り換わります。画像を確認した後、消去したいときに便利です。
Wi-Fi/Bluetooth設定	本機の無線機能を使って、Wi-Fi/ Bluetooth 接続が可能なスマートフォンや別売のリモコンと接続するための設定をします (P.353、P.360、P.348)。



メニュー項目	説明
ファームウェアバージョン	カメラや接続しているレンズ、アクセサリーのファームウェアのバージョンを表示します。お問い合わせいただくときやカメラのファームウェアのアップデートなどの場合に確認してください。

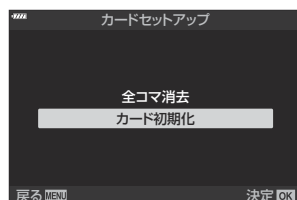
カードを初期化する（カードセットアップ）

新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途で使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

①初期化すると、プロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。すでに使用しているカードを初期化するときは、大切なデータが記録されていないことを確認してください。🔍「[カードについて](#)」(P.28)

1. 📌 セットアップメニューで、**【カードセットアップ】** を選択し、**OK** ボタンを押します。

- カードにデータが含まれている場合は、メニュー項目が表示されます。**【カード初期化】** を選択し、**OK** ボタンを押します。



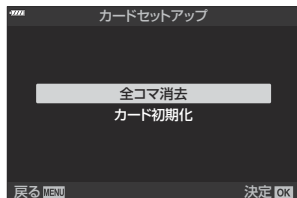
2. **【実行】** を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 初期化が実行されます。

全コマを消去する（カードセットアップ）

撮影した画像をすべて消去します。プロテクトした画像は消去されません。

1. **Y** セットアップメニューで、**【カードセットアップ】** を選択し、**OK** ボタンを押します。



2. **【全コマ消去】** を選択し、**OK** ボタンを押します。
3. **【実行】** を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - 全コマ消去が実行されます。

マイメニューを使う

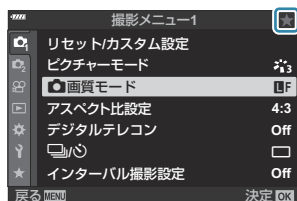
マイメニューについて

選んだメニュー項目を集めて、自分用のメニュータブに収録できます。マイメニューは、最大5タブ、1タブに最大7項目登録できます。登録した項目を解除したり、タブや項目の順序を入れ換えることもできます。

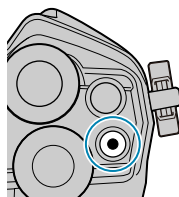
はじめてカメラを使うときには何も登録されていません。

マイメニューの登録方法

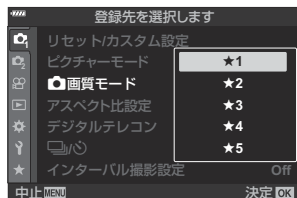
1. MENU ボタンを押して、メニューを表示します。
2. マイメニューに登録したい項目を選択します。
 - 登録できる項目のときは、画面右上に ★ が表示されます。



3. (ムービー) ボタンを押します。

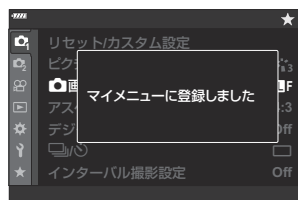


- 登録するマイメニューのページ選択画面が表示されます。
△▽ ボタンで登録するページを選択します。

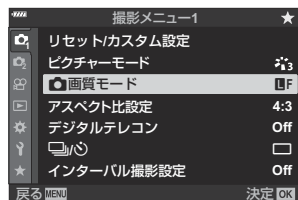


4. OK ボタンを押すと指定したページに登録されます。

- 登録を知らせるメッセージが表示されます。



- マイメニューに登録された項目は、★ が黄色で表示されます。
- タブに 7 項目登録されると、空きのあるタブに変更されます。
- ★ の付いた項目を選択して ● ボタンを押すと、マイメニューの登録から削除されます。【実行】を選択して OK ボタンを押します。
- 登録された項目は、メニューの ★ (マイメニュー) タブに収録されます。

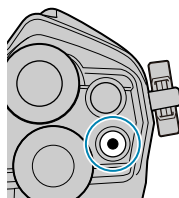


5. マイメニューを使うときは、メニューの ★ (マイメニュー) タブを選択します。

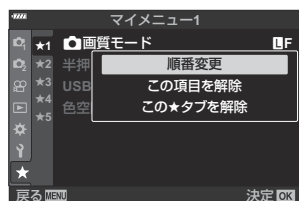
マイメニューの内容を整理する

マイメニューに登録した項目の順序を入れ換えたり、削除することができます。

1. MENU ボタンを押して、メニューを表示します。
2. 編集したいマイメニューの項目を選択し、**◎**（ムービー）ボタンを押します。



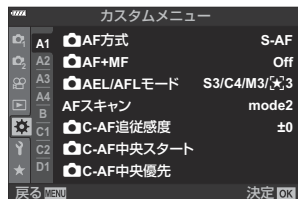
- 管理メニューが表示されます。
【**順番変更**】：項目順序やタブを移動します。△▽◀▶ ボタンで移動先を選択します。
【**この項目を解除**】：選択している項目を登録から解除します。【**実行**】を選択して **OK** ボタンを押します。
【**この★タブを解除**】：選択した項目が登録されているタブ内の、全項目の登録を解除します。【**実行**】を選択して **OK** ボタンを押します。



カスタムメニューを使う

カスタムメニューの機能

⚙️ カスタムメニューを使って、機能の拡張やカメラのカスタマイズができます。




カスタムメニュー

- A1/A2/A3/A4** AF/MF (P.265)
- B** ボタン/ダイヤル (P.269)
- C1/C2** レリーズ/連写/手ぶれ補正 (P.270)
- D1/D2/D3/D4** 表示/音/接続 (P.272)
- E1/E2/E3** 露出/ISO/BULB/測光 (P.277)
- F** フラッシュ (P.280)
- G** 画質/WB/色 (P.281)
- H1/H2** 記録/消去 (P.283)
- I** EVF (P.286)
- J1/J2** その他 (P.288)

A1 AF/MF




MENU → ⚙️ → A1









メニュー項目	説明
📷 AF 方式	静止画撮影時の AF の方式を選択できます (P.116)。
📷 AF+MF	オートフォーカスでピントを合わせた後、レンズのフォーカスリングを操作してピントを調整することができます (P.290)。
📷 AEL/AFL モード	シャッターボタンと AEL/AFL ボタンを操作したときの、オートフォーカスや測光の動作を設定します (P.291)。
AF スキャン	<p>AF 動作時に、被写体にピントが合っていないときやコントラストがはっきりしていないときの、AF のスキャン動作¹を設定します。</p> <p>1 被写体にピントが大きく合っていないときやコントラストがはっきりしていないときに、至近~∞までの全域にわたってピント位置を探す動作</p> <p>① この機能は、[📷 AF 方式] (P.116) が [C-AF]、[C-AF+TR]、[C-AF MF]、[C-AF+TR MF] で動作します。</p> <p>[mode1] : AF スキャンを行いません。</p> <p>[mode2] : AF スキャンを開始時に 1 回だけ行います。</p> <p>[mode3] : AF スキャンを行います。</p>
📷 C-AF 追従感度	[📷 AF 方式] が [C-AF] 、 [C-AF MF] 、 [C-AF+TR] または [C-AF+TR MF] のときの、被写体に対するオートフォーカスの追従性を設定します。速い動きの被写体にオートフォーカスを追従させたいときや、被写体の前を障害物が入りしてピントが移動してしまうときなどに有効です (P.294)。
📷 C-AF 中央スタート	シングルターゲット以外の設定で [C-AF] 、 [C-AF MF] 、 [C-AF+TR] 、 [C-AF+TR MF] でオートフォーカスするとき、最初のオートフォーカスを選択エリアの中央で行います。その後は、選択エリア内でオートフォーカスをします。広いエリアの AF ターゲット設定と組み合わせることで、動きの激しい被写体をとらえやすくなります (P.295)。

メニュー項目	説明
 C-AF 中央優先	グループターゲット/カスタムターゲットの設定で [C-AF] または [C-AF MF] でオートフォーカスするとき、常に選択エリアの中央を優先でオートフォーカスを繰り返します。中央でオートフォーカスできないときは、選択エリアの周辺の AF ターゲットを使います。速度は速くても、比較的動きの読める被写体をとらえやすくできます。一般的な撮影では中央優先でお使いください (P.296)。

A2 AF/MF





MENU → ⚙️ → A2

メニュー項目	説明
 [:::]Mode 表示設定	AF ターゲットモードを設定するときの選択肢をカスタマイズします。使用しないターゲットモードを非表示にすることで、すばやく設定ができます。表示しないときは項目を選択し、 OK ボタンを押して ✓ (チェック) を外します (P.90)。
AF ターゲット表示	<p>オートフォーカスでピントがあったとき、ピントが合った位置に緑色の AF ターゲットを表示します。この AF ターゲットの表示についての設定します。</p> <p>[Off] : ピントが合ったときも AF ターゲットを表示しません。</p> <p>[On1] : ピントが合ったとき、AF ターゲットを表示してすぐに消えます。</p> <p>[On2] : ピントが合ったとき、シャッターボタンを半押ししている間は、AF ターゲットを表示し続けます。</p> <p> [ALL] (オールターゲット) で、[CAM AF 方式] (P.116) が [S-AF]、[S-AF MF]、[C-AF]、[C-AF MF] のいずれか、または [AF 方式] が [C-AF] のとき、AF ターゲットはクラスター表示になります。ピントの合っている箇所の AF ターゲットが表示されます。</p> 
[:::]Home 登録	ホームポジションとして使う「AF 方式」、「AF ターゲットモード」、「AF ターゲット位置」を登録します。 [:::]Home 登録画面で OK ボタンを押してチェックを入れます (P.297)。

メニュー項目	説明
 選択画面設定	AF ターゲット選択の設定で使用するフロント/リアダイヤルや十字ボタンの役割を設定します (P.299)。
 循環設定	AF ターゲットの位置を動かすとき、上下左右の端で AF ターゲットを循環させるかどうかを設定できます。また、AF ターゲットを循環させるときに  (オルターターゲット) を経由するかも設定できます (P.300)。 <ul style="list-style-type: none"> •  AF 方式 が  AF または  AF/MF に設定されているときや、ムービーモードでは循環しません。
 ターゲットモード設定	AF ターゲットの位置を移動させるときの動きや AF ターゲットの数をカスタマイズできます (P.301)。
 縦位置/横位置切換	カメラの姿勢を検知して、AF ターゲット位置や AF ターゲットモードの設定を自動的に切り換えます (P.302)。

AF/MF

MENU → →

メニュー項目	説明
AF ターゲットパッド	[On] にすると、ファインダーをのぞきながらモニターをタッチして、AF ターゲットの位置を変更できます。モニターをタッチしたまま指を動かすと、AF ターゲットの位置が移動します。  [On] にすると、モニターのダブルタッチで、ドラッグ操作の有効/無効の切り換えができます。  [AF ターゲットパッド] は、拡大枠画面 (P.95) でも使用できます。
AF リミッター	[On] にすると、AF 動作範囲を制限します (P.303)。
AF 補助光	[Off] にすると AF 補助光を発光しません。静音撮影で使用するときには、 [静音]  撮影時動作 の設定が必要です (P.228)。
 顔優先	顔優先 AF や瞳優先 AF の方式を選択できます (P.123)。
AF 微調節	位相差 AF 時のピント位置を±20 ステップの範囲で微調節できます (P.304)。 <ul style="list-style-type: none"> • 通常はこの機能でピント位置を調整する必要はありません。また、調整により適切なピントで撮影できなくなる場合がありますのでご注意ください。

A4 AF/MF

MENU → ⚙️ → A4

メニュー項目	説明
星空 AF 設定	星空 AF の設定を行います (P.119)。 [精度優先] : ピント合わせの精度を優先します。三脚でカメラを固定して撮影してください。 [速度優先] : ピント合わせの速度を優先します。
プリセット MF 距離	プリセット MF のフォーカス位置を設定します。数値と単位 (m, ft) を設定します。距離は正確なものではなく目安です。
MF アシスト	マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回したとき、自動的に拡大表示したり、ピーキング表示することができます (P.308)。
MF クラッチ	レンズの MF クラッチの機能を無効にします。不用意に MF クラッチが操作されてオートフォーカスが動作しないなどの誤操作を防ぐことができます (P.420)。 [有効] : レンズのフォーカスリングの位置に従って動作します。 [無効] : レンズのフォーカスリングの位置に関わらず、カメラの AF 方式の設定に従って動作します。レンズのフォーカスリングを MF 側にしても、MF はできません。
フォーカスリング	フォーカスリングの回転方向とピントの移動方向を切り換えることができます。
BULB/TIME 中 MF	マニュアルフォーカス (MF) で露出中もピントの位置を変えられます。 [Off] にすると、フォーカスリングの回転を無効にします (P.309)。
レンズリセット	[Off] にすると、電源をオフにしてもフォーカス位置をリセットしません。 [On] のとき、電動ズームレンズはズームの位置もリセットします。 • [AF 方式] (P.116) が [PreMF] の場合は、 [Off] にしていても電源をオフにするとフォーカス位置をリセットします。

B ボタン/ダイヤル

B ボタン/ダイヤル

MENU → ⚙️ → B

メニュー項目	説明
📷 ボタン機能	あらかじめ割り当てられているボタンの機能を他の機能に変更します (P.163)。
📷 ダイヤル機能	リアダイヤルとフロントダイヤルの機能を変更できます (P.310)。
ダイヤル方向	シャッター速度や絞り値増減のダイヤル方向を切り換えます。プログラムシフトのダイヤル方向を切り換えます。
📷 Fn レバー機能	Fn レバーの機能を切り換えます (P.312)。
Fn レバー/電源レバー	Fn レバーをカメラの電源スイッチとして使用します。 [Fn] : Fn レバー機能の設定に従います。 [PW1] : Fn レバーの位置が 1 のときに電源オン、2 のときに電源オフになります。 [PW2] : Fn レバーの位置が 2 のときに電源オン、1 のときに電源オフになります。 [PW1] または [PW2] が設定されているときは、ON/OFF レバー (電源レバー)、[📷 Fn レバー機能]、[🔌 Fn レバー機能] は無効です。
📷 電動ズーム速度	電動ズームを搭載したレンズで、ズームリングを操作したときの、ズームの動作速度を変更します。ズーム動作が速くて狙った構図にしにくいなどのときに調節します。[低速]、[標準]、[高速] から選択できます。
📺 Ⓞ ボタン機能	再生時の Ⓞ ボタンの機能を変更できます。 [⏪] : スマートフォンに転送したい画像に転送予約 (シェア予約) をつけます。 [☑] : 複数の画像を選択できます。

C1 C2 レリーズ/連写/手ぶれ補正

C1 レリーズ/連写/手ぶれ補正

MENU → ⚙️ → C1

メニュー項目	説明
レリーズ優先 S	[On] に設定すると、ピントが合わなくてもシャッターを切ることができます。S-AF、C-AF それぞれの AF 方式で個別に設定できます (P.116)。
レリーズ優先 C	① AF 方式が [AF] の場合は [レリーズ優先 S] の設定で動作します。
📷L 設定	連写速度や撮影枚数制限を [📷] / [📷]、[📷] のそれぞれに設定できます。また、プロキャプチャーの連写速度、プリ連写枚数、撮影枚数制限を設定できます。連写速度の数値は最大値の目安です (P.313)。
📷H 設定	
フリッカー低減	蛍光灯などの照明の環境下で発生する画面のちらつき（フリッカー）を低減するための機能です (P.316)。 [フリッカーレス LV]: ライブビュー表示の蛍光灯などによるフリッカーの影響を低減します。[オート] で低減されないときは、地域の商用電源周波数に合わせて [50Hz] または [60Hz] に設定します。 [フリッカーレス撮影]: フリッカーによるちらつきの周期を自動的に判断して、シャッターを切るタイミングを制御します。

C2 レリーズ/連写/手ぶれ補正

MENU → ⚙️ → C2

メニュー項目	説明
📷 手ぶれ補正	静止画撮影時の手ぶれ補正を設定します (P.130)。

メニュー項目	説明
連写中手ぶれ補正	<p>連写中の優先機能を設定します。</p> <p>① Pro CapL (プロキャプチャー L) および Pro CapH (プロキャプチャー H) では、[連写速度優先] に固定されます。</p> <p>[連写速度優先] : 連写速度を優先します。連写中はセンサーを中央にリセットせずに撮影します。</p> <p>[IS 優先] : 手ぶれ補正を優先します。連写のコマごとにセンサーを中央にリセットし撮影します。連写速度が若干低下します。</p>
半押し中手ぶれ補正	<p>[Off] にすると、シャッターボタンの半押し中の手ぶれ補正機能が働きません。</p>
レンズ手ぶれ補正優先	<p>[On] にすると、他社製の手ぶれ補正機能付きレンズを使うときにレンズ側の機能を優先して働かせます。[📷 手ぶれ補正] の [S-IS AUTO] は [S-IS 1] で動作します (P.130)。</p> <p>① レンズに手ぶれ補正切り換えスイッチがある場合、本機能は無効です。</p>

D1 表示/音/接続



MENU → ⚙️ → D1

メニュー項目	説明
 Control 表示	操作画面の表示/非表示を、撮影モードごとに設定できます (P.320)。
 /Info 表示設定	<p>INFO ボタンを押したときに表示する情報画面の表示/非表示を設定します (P.323)。</p> <p>[ Info] : 再生情報画面の設定</p> <p>[ Q Info] : 拡大再生情報画面の設定</p> <p>[LV-Info] : 撮影情報画面の設定</p> <p>[LV OFF-Info] : 撮影情報画面表示の設定</p> <p>[ 表示] : インデックス表示/カレンダー表示の設定</p>
ピクチャーモード表示	ピクチャーモード (P.150) を選択するときに表示される項目を設定します。表示しないときは項目を選択し、OK ボタンを押してチェックを外します。
 /🕒 表示設定	連写/セルフタイマー機能 (P.100) を選択するときに表示される項目を設定します。表示しないときは項目を選択し、OK ボタンを押してチェックを外します。
マルチ Fn 表示設定	マルチファンクション (P.172) を選択するときに表示される項目を設定します。表示しないときは項目を選択し、OK ボタンを押してチェックを外します。

D2 表示/音/接続




MENU → ⚙️ → D2

メニュー項目	説明
LVブースト	<p>暗くて見えない環境でも見やすい明るさで表示することができます。Mモードやバルブ撮影、ライブコンポジット撮影など個別に設定できます。</p> <p>[Off]：露出設定を反映してライブビュー表示します。撮影結果をあらかじめ確認しながら撮影できます。 ①バルブ/タイム撮影では設定できません。</p> <p>[On1]：露出設定を反映せずに見やすい明るさで表示します。実際に撮影される画像とは明るさが異なります。</p> <p>[On2]：[On1]よりさらに明るく表示します。星空の撮影で星を確認しながら撮影するときなどに適しています。 ①実際に撮影される画像とは明るさが異なります。また、被写体の動きが少し粗くなります。</p> <ul style="list-style-type: none">▷ ボタンを押して、次の機能を選択します。 <p>[LV 画質優先]：画質を優先して表示します。 [LV 表示速度優先]：表示速度を優先して表示します。</p>
アート LV モード	<p>[mode1]：常にフィルター効果を反映して表示します。</p> <p>[mode2]：シャッターボタンを半押し中、モニターのスムーズな表示を優先して表示します。アート効果の表示は低減されることがあります。</p>
LV 拡大設定	<p>[LV 拡大モード]：[mode1]に設定しているときは、拡大ライブビュー中に半押しすると、拡大枠表示に戻ります。[mode2]に設定しているときは、拡大ライブビュー中に半押しすると、拡大 AF を行います。</p> <p>[LV ブースト]：[On]に設定すると、拡大ライブビュー中は見やすい明るさでライブビュー表示を行います。[Off]に設定すると、拡大前のライブビューの明るさを保持して拡大領域を表示します。逆光での撮影時に、ピントを確認するのに適しています。</p> <p>① ⚙️ カスタムメニュー D2 の [LV ブースト] が [Off] のとき、選択できません。</p>
再生拡大倍率設定	<p>画像を再生して拡大表示（クローズアップ再生）したとき、最初に表示される倍率の設定ができます（P326）。</p>

メニュー項目	説明
プレビュー設定	<p> ロック : [On] に設定すると、ボタンを離しても設定された絞り込み状態を保持します。</p> <p>[LVブースト] : [On] にすると、絞りプレビュー (P.165) 中は見やすい明るさでライブビュー表示を行います。</p> <p> カスタムメニュー D2 の [LVブースト] が [Off] のときに選択できません。</p>

D3 表示/音/接続

MENU → → **D3**

メニュー項目	説明
ガイド線表示設定	<p>撮影時に表示するガイド線表示を設定します。</p> <p>[表示色] : 表示する罫線の色や不透明度を設定します。2つの設定を記憶させておくことができます。</p> <p>[表示罫線選択] : 表示する罫線の種類を選択します。次の選択ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [方眼] / [黄金分割] / [三分割] / [目盛] / [対角線] / [動画罫線] <p> [動画罫線] は、撮影モードが静止画撮影のままムービー撮影する際に撮影される範囲がわかるように 16:9 の画面サイズで罫線を表示します。 [画質モード] の設定によっては、17:9 で表示されます。</p> <p>[EVF 反映] : [表示罫線選択] で設定されたガイド線表示を、ファインダー表示に反映するかどうかを設定します。</p> <p> カスタムメニュー 1 の [EVF ガイド線表示設定] (P.286) は無効になります。</p>

メニュー項目	説明
ピーキング表示	<p>輪郭のはっきりしている部分に色を付けて強調して表示します。マニュアルフォーカスでピント合わせをするなどのときに、ピントが合っているかどうかを確認しやすくなります。</p> <p>[ピーキング色] : ピーキング表示の色を設定します。</p> <p>[ピーキングレベル] : ピーキング表示の強度を設定します。</p> <p>[ピーキング背景の輝度調整] : ピーキング表示が見分けやすいように背景の明るさを調整します。</p> <p>🔊 [ピーキング背景の輝度調整] が [On] のときは、撮影される画像とは異なった明るさでライブビュー表示されます。</p>
ヒストグラム警告設定	<p>ヒストグラムとハイライト&シャドウの警告レベルを設定します (P.323)。</p> <p>[ハイライト表示] : ハイライト表示の下限値を設定します。</p> <p>[シャドウ表示] : シャドウ表示の上限値を設定します。</p>
モードガイド表示	<p>[On] にすると、モードダイヤルを切り換えたときにモードについてのガイドを表示します (P.43)。</p>
自分撮りアシスト	<p>[On] にすると、モニターを反転して自分撮り位置にしたとき、ライブビュー表示を左右反転して表示します (P.327)。</p>

D4 表示/音/接続

MENU → ⚙️ → D4






メニュー項目	説明
電子音	<p>[On] : AF で被写体に合焦したとき、ピピッと音が鳴ります。</p> <p>[Off] : AF で被写体に合焦したとき、ピピッと音は鳴りません。</p>

メニュー項目	説明
HDMI	<p>HDMI 接続に関する設定を行います (P.328)。</p> <p>[出力サイズ] : HDMI ケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選択します。</p> <p>[HDMI コントロール] : [On] にすると HDMI コントロール対応テレビのリモコン操作を許可します。撮影した画像をテレビで再生するときに使えます。 [On] に設定中は、再生以外のカメラ操作はできません。</p> <p>[出力フレームレート] : HDMI ケーブルでテレビに接続する場合に、[50p 優先] (PAL) で接続するか、[60p 優先] (NTSC) で接続するかを選択します。</p>
USB 接続モード	<p>カメラを USB ケーブルでパソコンや周辺機器と接続するときの動作を設定します (P.330)。</p>

E1 露出/ISO/BULB/測光

MENU → ⚙️ → E1

メニュー項目	説明
露出ステップ	シャッター速度、絞り値、露出補正値などの露出設定時の設定値の変更ステップを選択します。
ISO 感度ステップ	ISO 感度設定時の設定値の変更ステップを選択します。
📷 ISO オート設定	<p>静止画撮影時、ISO 感度が [AUTO] のときの動作を設定します。</p> <p>[上限/基準値設定] : ISO 感度を [AUTO] に設定したときの上限値と基準値を設定します。[上限値] で、ISO 感度の上限を設定します。[基準値] で、通常使用する ISO 感度を設定します。設定の上限は 6400 です。</p> <p>📌 次の撮影では、ISO 感度の上限設定は自動的に変更されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ライブ ND 撮影 : ISO800 - ハイレゾショット撮影 ([撮影方法] が [三脚] のとき) : ISO1600 - ピクチャーモードが [ドラマチックトーン] または [ウォーターカラー] のとき : ISO1600 <p>[低速限界設定] : P/A モードで、自動で ISO 感度を上げるシャッター速度を設定します。[オート] にするとカメラが自動的に設定します。</p>
📷 ISO オート有効	<p>ISO 感度の [AUTO] を有効にする撮影モードを設定します。</p> <p>[P/A/S] : P/A/S モードでのみ [📷 ISO 感度] の [AUTO] を有効にします。[AUTO] に設定した状態で M/B モードに切り換えたときは、[📷 ISO 感度] は 200 に設定されます。</p> <p>[P/A/S/M] : P/A/S/M モードで [📷 ISO 感度] の [AUTO] を有効にします。[AUTO] に設定した状態で B モードに切り換えたときは、[📷 ISO 感度] は 200 に設定されます。</p> <p>🔊 AUTO、SCN、ART モードでは [📷 ISO 感度] の [AUTO] は有効です。</p>

メニュー項目	説明
 高感度ノイズ低減	高感度撮影時のノイズ低減レベルを選択できます。
 低感度画像処理	ISO 感度が低い設定で撮影した画像にかける、画像処理の方法を設定します。 [連写優先] ：連写継続枚数に影響を与えないように画像処理をします。 [解像優先] ：解像を優先した画像処理をします。  単写の場合は、 [連写優先] を設定しても、 [解像優先] で動作します。
長秒時ノイズ低減	長時間露光時に発生するノイズを低減します。 <ul style="list-style-type: none"> ノイズ低減処理中は、画面に処理が終了するまでの時間が表示されます。  連写設定時は自動的に [Off] になります。  撮影条件や被写体により効果が出にくい場合があります。 [オート] ：長秒時、カメラ内部温度上昇時に、ノイズ低減処理を行います。 [On] ：常にノイズ低減処理を行います。 [Off] ：ノイズ低減処理を行いません。

露出/ISO/BULB/測光

MENU →  → 

メニュー項目	説明
BULB/TIME リミッター	バルブ撮影、タイム撮影の最長時間を設定します (P58)。
COMP リミッター	コンポジット撮影の最長時間を設定します (P62)。
BULB/TIME 輝度設定	B (バルブ) モードで撮影時のモニターの明るさを設定します。

メニュー項目	説明
ライブ BULB 設定	撮影中の画面表示の間隔を設定します。更新回数には制限があります。[Off] にすると表示しません (P331、P332)。
ライブ TIME 設定	
コンポジット撮影設定	コンポジット撮影時に基準となる露出時間を設定します (P333)。
📷 フリッカーキャン	LED 照明による明るさのちらつきを抑えます (P334)。

📷 露出/ISO/BULB/測光

MENU → ⚙️ → 📷

メニュー項目	説明
測光	撮影シーンに応じて測光方式を変更できます (P122)。
AEL 測光モード	<p>AEL/AFL ボタンを使って、AE ロックをするときの測光方式を設定します。シャッターボタンの半押しと AEL/AFL ボタンによる AE ロックを使い分けることができます。</p> <p>[オート] : [測光] (P122) の設定で測光します。</p>
[⋮] 連動スポット測光	<p>[スポット]、[スポットハイライト]、[スポットシャドウ] のそれぞれのスポット測光位置を AF ターゲットに連動させるかどうかを設定します。</p> <p>🕒 [☺ 顔優先] は [顔優先 Off] になります。</p> <p>🕒 AF ターゲットモードが、[・] (シングルターゲット)、[・]s (スモールターゲット) のときに機能します (P90)。</p> <p>🕒 拡大 AF 時は、拡大枠を表示した位置に連動します (P95)。</p>
露出基準調整	適正露出の基準値を測光方式ごとに調整できます (P336)。

F フラッシュ

F フラッシュ

MENU → ⚙️ → F

メニュー項目	説明
⚡ 同調速度	フラッシュ発光時の高速側のシャッター速度に対して制限値を設定します (P.337)。
⚡ 低速制限	フラッシュ発光時の低速側のシャッター速度に対して制限値を設定します (P.337)。
📷 + 📷 連動	[On] にすると、フラッシュ補正值に露出補正值が加算されます (P.88、P.149)。
⚡ + WB 連動	フラッシュ発光時のホワイトバランスの設定を選択できます。 [Off] : ホワイトバランスの設定に従って動作します。 [WB AUTO] : ホワイトバランスは [オート] に変更されます。 [WB 📷] : ホワイトバランスは [WB 📷] (フラッシュ撮影用 WB) に変更されません。
⚡ RC モード撮影	フラッシュと RC モード機能付き専用フラッシュを使ってワイヤレスフラッシュ撮影ができます (P.425)。

G 画質/WB/色

MENU → ⚙️ → G


メニュー項目	説明
画質設定	<p>JPEG の画質モードを変更できます。3 種類の画像サイズと 3 種類の圧縮率の組み合わせから選択します (P.135、P.203、P.338)。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ol style="list-style-type: none"> ◀▶ ボタンで [◀:1] ~ [◀:4] の画像サイズと圧縮率を選択し、△▽ ボタンで値を変更します。 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>① 画像サイズ</p> <p>② 圧縮率</p> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> OK ボタンを押すと確定されます。 </div>
ピクセルサイズ	<p>ピクセルサイズ 画像サイズ [M]、[S] のピクセルサイズを設定できます (P.135、P.203、P.338)。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ol style="list-style-type: none"> [Middle] または [Small] を選択し、▶ ボタンを押します。 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  </div> <ol style="list-style-type: none"> ピクセルサイズを変更して、OK ボタンを押すと設定が確定します。 </div>

メニュー項目	説明
シェーディング補正	<p>[On] に設定すると、レンズの特性による画面周辺の暗さを補正し、明るくします。</p> <p>①テレコンバーターやエクステンションチューブを装着しているときは補正されません。</p> <p>②高いISO感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。</p>
📷WBモード	<p>静止画撮影時のホワイトバランスの設定をします。それぞれの設定を微調整しておくこともできます (P.125)。</p>
📷全WBモード補正	<p>ホワイトバランスの設定を一括で微調整します (P.129)。</p> <p>[All Set] : 全てのホワイトバランスの設定を微調整します。</p> <p>[All Clear] : 設定した微調整をリセットします。</p>
📷WBオート電球色残し	<p>[On] にすると、ホワイトバランスが [AUTO] のとき、電球色の色味を残します (P.125、P.129)。</p>
色空間	<p>撮影した画像をモニターやプリンターで再現する際、色再現を正しく行うための方式を選択します (P.161)。</p>

H1 記録/消去

MENU → ⚙️ → H1

メニュー項目	説明
ファイルネーム	<p>ファイル番号の付け方を設定します。</p> <p>[オート] : カードを入れ換えても、ファイル番号は通し番号で付けられます。カード内に重複するファイル番号がある場合は、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。</p> <p>[リセット] : 新しいカードを入れると、フォルダ番号は 100、ファイル名は 0001 から始まります。すでに画像が記録されたカードでは、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。</p>
ファイルネーム編集	<p>撮影した静止画やムービーをカードに記録するときのファイル名を変更します。次の部分が編集できます。</p> <p>sRGB : Pmdd0000.jpg --- Pmdd AdobeRGB : _mdd0000.jpg --- mdd</p> <ul style="list-style-type: none">• [Off] を選択すると、初期設定の文字が使われます。
dpi 設定	プリントするときの解像度を設定します。

メニュー項目	説明
著作権情報	<p>最大 63 文字の撮影者／著作権者の名称を画像に付加します。</p> <p>【著作権情報記録】：【On】を選択すると撮影者／著作権者の名称を Exif 情報に付加します。</p> <p>【撮影者入力】：撮影者の名称を入力します。</p> <p>【著作権者入力】：著作権者の名称を入力します。</p> <div data-bbox="284 424 1028 879" style="border: 1px solid gray; padding: 10px;"> <p>1. a の中から文字を選択し、OK ボタンを押します。選択した文字は b に表示されます。</p> <p>2. 手順 1 を繰り返し、すべてを入力したら 【END】 を選択し OK ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字を消去するには、INFO ボタンを押し、カーソルを b に移動してから、消去したい文字を選んで 削除 ボタンを押します。  </div> <p>①【著作権情報】の使用によって生じたトラブルや損害などについては、当社は一切の責任を持ちません。お客様の責任で使用してください。</p>
レンズ情報登録	通信ができないレンズの情報を最大 10 本まで登録できます (P339)。

H2 記録/消去

MENU → * → H2



メニュー項目	説明
ワンタッチ消去	【On】に設定すると、再生画面で 削除 ボタンを押したとき、すぐに画像が消去されます。

メニュー項目	説明
RAW+JPEG 消去	<p>[1 コマ消去] を行う場合に、RAW+JPEG で記録した画像の消去方法を設定します (P.185)。</p> <p>① [全コマ消去] (P.260) や選択コマ消去の場合は、常に RAW と JPEG の両方が消去されます。</p> <p>[JPEG] : JPEG のみ消去します。</p> <p>[RAW] : RAW のみ消去します。</p> <p>[RAW+JPEG] : RAW と JPEG の両方を消去します。</p>
実行優先設定	<p>カーソルの初期位置を 【実行】 または 【中止】 にするかを選択できます。</p>

EVF

MENU → ⚙️ → EVF

メニュー項目	説明
EVF 自動切換設定	<p>[Off] : ファインダーに目を近づけても表示は切り換わりません。表示を切り換えるには O ボタンを押します (P.40)。</p> <p>[On1] : ファインダーに目を近づけると自動的に表示を切り換えます。 O ボタンを長押しすると [EVF 自動切換設定] の設定画面を表示します。</p> <p>[On2] : ファインダーに目を近づけると自動的に表示を切り換えます。モニターを開いているときは、表示は切り換わりません。 O ボタンを長押しすると [EVF 自動切換設定] の設定画面を表示します。</p>
EVF 調整	<p>ファインダー表示の明るさや色合いを調整します。</p> <p>[EVF 自動調光] が [On] のときは自動で明るさを調整します。また、情報表示の濃さも自動的に調整されます。</p>
EVF 表示スタイル	<p>ファインダー内の表示スタイルを変更できます (P.340)。</p>
Info 表示設定	<p>ファインダー表示中、INFO ボタンを押して表示する情報表示の内容を設定します。[EVF 表示スタイル] が [スタイル 1]、[スタイル 2] のときに有効です (P.342)。</p>
EVF ガイド線表示設定	<p>★ カスタムメニュー D3 [ガイド線表示設定] の [EVF 反映] が [Off] のときに、[EVF 表示スタイル] を [スタイル 1] または [スタイル 2] に設定した場合は、ファインダーに表示される罫線と罫線の色を選択できます。[方眼]、[黄金分割]、[三分割]、[目盛]、[対角線]、[動画罫線] から選択できます。</p> <p>① [動画罫線] は、撮影モードが静止画撮影のままでもムービー撮影する際に撮影される範囲がわかるように 16:9 の画面サイズで罫線を表示します。[画質モード] の設定によっては、17:9 で表示されます。</p>

メニュー項目	説明
 半押し中水 準器表示	<p>[EVF 表示スタイル] (P.340) が [スタイル 1] または [スタイル 2] の設定のときに、シャッターボタンを半押ししているときだけファインダーに水準器を表示します。</p> <p>[On] : シャッターボタンを半押し中、ファインダーに水準器を表示します。露出バーの位置に、水平方向の傾きを表示します。</p> <p>[OFF] : 水準器を表示しません。</p>
OVF シミュレーション	<p>[On] にすると、ファインダー表示のダイナミックレンジを拡大し、黒つぶれや白とびを抑えて光学ファインダーのような見えを再現します。逆光などの条件でも、被写体を容易に確認できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [OVF シミュレーション] を開始すると、ファインダー内に  が表示されます。 <p>① 露出やホワイトバランス、ピクチャーモードのアートフィルターなどの撮影の設定は表示に反映されません。</p>

J1 その他

MENU → ⚙️ → J1

メニュー項目	説明
ピクセルマッピング	撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います (P.435)。
ボタン長押し時間調整	ボタンに割り当てられている機能が動作するまでの、ボタン長押し時間を設定します (P.343)。
水準器調整	水準器の角度のずれを調整できます。 [リセット] : 工場出荷時の調整値に戻ります。 [キャリブレーション] : 現在のカメラの状態位置をゼロ点とします。
タッチパネル設定	モニターに触れてカメラを操作することができます。[Off] にするとタッチパネルの操作を禁止します。
メニューカーソル保持	[記憶する] に設定すると、メニューを表示したときに、前回操作したときのカーソル位置から表示します。カーソル位置は電源をオフにしても保持されません。
フィッシュアイ補正撮影	フィッシュアイレンズ使用時の画像の歪みを補正します (P.344)。

J2 その他

MENU → ⚙️ → J2

メニュー項目	説明
バックライト時間	<p>一定時間カメラを操作しないとき、モニターのバックライトの明るさを落とす設定をします。バックライトを減光することで電池の消費を抑えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none">• [Hold] / [8 秒] / [30 秒] / [1 分] から選択できます。[Hold] に設定したときは、モニターは減光しません。
スリープ時間	<p>一定時間カメラを操作しないとき、スリープ状態に移行する設定をします。スリープ状態では、カメラの動作を停止してモニターも消灯します。</p> <ul style="list-style-type: none">• [Off] / [1 分] / [3 分] / [5 分] から選択できます。 <p>ⓘ [Off] に設定したときは、スリープ状態には移行しません。</p> <ul style="list-style-type: none">• シャッターボタンを半押しするか、ボタンを動かすと再び動作し始めます。 <p>ⓘ 次の動作中は、スリープ状態に移行しません。</p> <ul style="list-style-type: none">- 多重露出撮影中 / HDMI 機器接続中 / スマートフォン接続中 (Wi-Fi) / パソコン接続中 (Wi-Fi, USB) / リモコン無線接続中
自動電源 Off	<p>カメラがスリープ状態に移行した後、さらに一定時間経過すると自動的に電源が切れます。ここでは、自動的に電源が切れるまでの時間を設定します (P.33)。</p> <ul style="list-style-type: none">• [Off] / [5 分] / [30 分] / [1 時間] / [4 時間] から選択できます。 <p>ⓘ [Off] に設定したときは自動的に電源を切りません。</p> <p>ⓘ 自動的に電源オフになった後、カメラを動作させるときは、ON/OFF レバーで電源を入れなおしてください。</p>
低消費電力撮影	<p>[On] にすると、モニターのライブビュー表示がオフのときに短時間で省電力状態に移行します。通常より短い [バックライト時間] と [スリープ時間] の設定ができます。低消費電力で動作しているときは、モニターに ECO が表示されます。</p> <p>ⓘ 次の動作中は、低消費電力撮影は働きません。</p> <ul style="list-style-type: none">- ライブビュー撮影中 / ファインダー点灯中 / 多重露出撮影中 / インターバル撮影中 / HDMI 機器接続中 / スマートフォン接続中 (Wi-Fi) / パソコン接続中 (Wi-Fi, USB) / Bluetooth 動作中
認証マーク表示	<p>認証マークを表示します。</p>

AF と MF を併用する (📷AF+MF)

MENU → ⚙️ → A1 → [📷AF+MF]

オートフォーカスでピントを合わせたまま、レンズのフォーカスリングを操作してピントを調整することができる設定です。合焦後にピント位置を調整したり、オートフォーカスを中断してマニュアルフォーカスをすることができます。

- AF 方式によって動作が異なります。
- 初期設定では、**[Off]** になっています。

On	<p>AF 設定時に、MF 操作を有効にします。[S-AF]、[C-AF]、[C-AF+TR]、[📷AF] に MF が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">• [S-AF MF] に設定すると、S-AF で合焦後、シャッターボタンを半押ししたままマニュアルフォーカスでピント位置の調整ができます。また、AF 動作中にフォーカスリングを動かして、マニュアルフォーカスに切り換えることができます。露光中や [連写 L] での連写中のマニュアルフォーカスも可能です。• [C-AF MF] または [C-AF+TR MF] に設定すると、C-AF または C-AF+TR で動作中、フォーカスリングを動かして、マニュアルフォーカスに切り換えることができます。再度オートフォーカスを行うときは、シャッターボタンを半押しし直してください。露光中や [連写 L] での連写中のマニュアルフォーカスも可能です。• [📷AF MF] に設定すると、📷AF の AF 開始前や AF 合焦後に、マニュアルフォーカスでピント位置の調整ができます。
Off	AF 設定時に、MF 操作を無効にします。

- AF 動作を他のボタンに割り当てているときも、同様の動作をします。🔗 ⚙️ **カスタムメニュー A1 [📷AEL/AFL モード]** (P.291)

🔗フォーカスリングを動かして AF を中断する動作は、M.ZUIKO PRO (マイクロフォーサーズ PRO レンズ) でのみ可能です。その他のレンズでの対応は当社ホームページをご覧ください。

🔗撮影モードが **B** では、露光中のマニュアルフォーカスは、**[BULB/TIME 中 MF]** の設定で動作します。

AEL/AFL ボタンを使ってピント合わせや測光を行う (📷AEL/AFL モード)

MENU → ⚙️ → A1 → [📷AEL/AFL モード]

シャッターボタンと **AEL/AFL** ボタンを操作したときの、オートフォーカスや測光の動作を設定します。通常は、シャッターボタンの半押しでオートフォーカスや露出の固定をしますが、被写体や撮影環境に合わせて変更することができます。

S-AF	
C-AF	シャッターボタンや AEL/AFL ボタンを押したときの AF 動作や測光を設定します。
MF	
📷AF	
半押し AF	
顔優先 AF	シャッターボタン半押しで AF 動作を許可するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">• [有効] : AEL/AFL ボタンで AF 動作を開始する設定のとき、シャッターボタンの半押しでも AF 動作を開始します。[C-AF] の設定のときは、後で押したボタンに、AF 動作を引き継ぎます。[MF] または [📷AF] では無効になります。• [無効] : AEL/AFL ボタンで AF 動作する設定のときは、シャッターボタンの操作では AF 動作をしません。
	顔が検出されているときにピント合わせを行う位置を、シャッターボタンと AEL/AFL ボタンで別々に設定します。 <ul style="list-style-type: none">• [On] のときは、検出されている顔や瞳の位置でピント合わせを行います。• [Off] のときは、顔が検出されていても設定した AF ターゲットの位置でピント合わせを行います。

それぞれの設定と **[半押し AF]** を組み合わせたときの、シャッターボタンと **AEL/AFL** ボタンの動きは動作は次の通りです。

シャッターボタンの動き

AEL/AFL 設定		半押ししたとき		全押ししたとき	
		AF 動作	測光	AF 動作	測光
S-AF	mode1	S-AF 動作	固定	—	—
	mode2	S-AF 動作	—	—	固定
	mode3	S-AF 動作 ¹	固定	—	—
C-AF	mode1	C-AF 開始	固定	停止	—
	mode2	C-AF 開始	—	停止	固定
	mode3	C-AF 開始 ¹	固定	停止	—
	mode4	C-AF 開始 ¹	—	停止	固定
MF	mode1	—	固定	—	—
	mode2	—	—	—	固定
	mode3	—	固定	—	—
[AF]	mode1	[AF] 動作	固定	—	—
	mode2	—	固定	—	—
	mode3	—	固定	—	—

1 [半押し AF] が [無効] のときは AF 動作をしません。

① [AF] は、**[星空 AF 設定]** (P.268) と組み合わせて動作をご確認ください。


AEL/AFL ボタンの働き

AEL/AFL 設定		押している間	
		AF 動作	測光
S-AF	mode1	—	固定
	mode2	—	固定
	mode3	S-AF 動作	—
C-AF	mode1	—	固定
	mode2	—	固定
	mode3	C-AF 開始	—
	mode4	C-AF 開始	—
MF	mode1	—	固定
	mode2	—	固定
	mode3	S-AF 動作	—
AF	mode1	—	固定
	mode2	AF 動作	—
	mode3	AF 開始/終了	—



① [AF] は、[\[星空 AF 設定\]](#) (P.268) と組み合わせて動作をご確認ください。

C-AF 動作時のピント合わせの感度を設定する (C-AF 追従感度)

MENU → → A1 → [C-AF 追従感度]

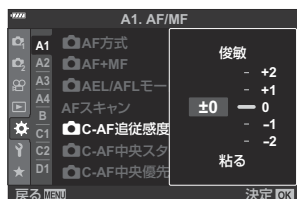
[ AF 方式] が [C-AF]、[C-AF MF]、[C-AF+TR] または [C-AF+TR MF] のときの、被写体に対するオートフォーカスの追従性を設定します。速い動きの被写体にオートフォーカスを追従させたいときや、被写体の前を障害物が出入りしてピントが移動してしまうときなどに有効です。


- 5段階の感度が設定できます。
- +側に設定するほど感度は上がります。見えない位置から急に現れる被写体、すばやく遠ざかる被写体など、前後に急加速、急停止する被写体に対応するときは+側に設定します。
- -側に設定するほど感度は下がります。被写体との間の障害物にピントが移動してしまったり、被写体が AF ターゲットから外れてピントが背景に移動してしまうときは-側に設定します。

1.  カスタムメニュー **A1** で、[ C-AF 追従感度] を選択し、OK ボタンを押します。



2. Δ ∇ ボタンで数値を選択します。



3. OK ボタンを押します。
 -  カスタムメニュー **A1** の画面に戻ります。

4. MENU ボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

C-AF 動作時のピント合わせ開始位置を設定する (📷C-AF 中央スタート)

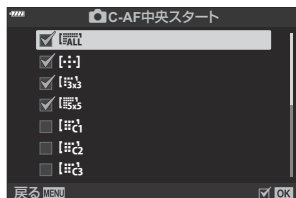
MENU → ⚙️ → A1 → [📷C-AF 中央スタート]

シングルターゲット以外の設定で [C-AF]、[C-AF MF]、[C-AF+TR] または [C-AF+TR MF] でオートフォーカスするとき、最初のオートフォーカスを選択エリアの中央で行います。その後は、選択エリア内でオートフォーカスします。広いエリアの AF ターゲット設定と組み合わせることで、動きの激しい被写体をとらえやすくなります。

1. ⚙️ カスタムメニュー A1 で、[📷C-AF 中央スタート] を選択し、OK ボタンを押します。



2. △▽ ボタンで [📷C-AF 中央スタート] を有効にする AF ターゲットモードを選択し、OK ボタンを押します。



- チェックボックスに ✓ (チェック) が表示されます。チェックを解除するときは再度 OK ボタンを押します。



3. MENU ボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

① [📷C-AF 中央優先] (P.296) が設定されているときは、[📷C-AF 中央優先] の設定が優先されます。

C-AF 動作時に中央優先でピント合わせをする (C-AF 中央優先)

MENU → → A1 → [C-AF 中央優先]

グループターゲットの設定で [**C-AF**] または [**C-AF MF**] でオートフォーカスするとき、常に選択エリアの中央を優先してオートフォーカスを繰り返します。中央でオートフォーカスできないときは、選択エリアの周辺の AF ターゲットを使います。速度は速くても、比較的動きの読める被写体をとらえやすくなります。一般的な撮影では中央優先でお使いください。

1.  カスタムメニュー **A1** で、[ C-AF 中央優先] を選択し、**OK** ボタンを押します。



2. Δ / ∇ ボタンで [ C-AF 中央優先] を有効にする AF ターゲットモードを選択し、**OK** ボタンを押します。



- チェックボックスに (チェック) が表示されます。チェックを解除するときは再度 **OK** ボタンを押します。

3. **MENU** ボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

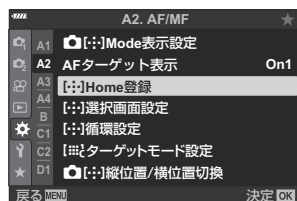
AF 機能のホームポジションを設定する ([:~:]Home 登録)

MENU → ⚙ → A2 → [:~:]Home 登録

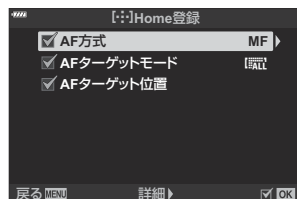
[[:~:]Home] で使うホームポジションを設定します。[[:~:]Home] は、ボタン操作一つで AF 機能をあらかじめ登録したホームポジションに設定する機能です。このときのホームポジションを設定します。[[:~:]Home] は、**[📷 ボタン機能]** でボタンに割り当てて使います (P.163)。**[📷[:~:]縦位置/横位置切換]** (P.302) が設定されているときは、縦位置/横位置それぞれのホームポジションを記憶させておくことができます。登録中のホームポジションに設定されている場合、AF ターゲット選択の画面で **HP** が表示されます。

AF 方式	ホームポジションの AF 方式を設定します。[📷AF] および [📷AF MF] は Home 登録できません。
AF ターゲットモード	ホームポジションの AF ターゲットモードを設定します。[📷[:~:]Mode 表示設定] (P.266) で表示設定されている項目から選択できます。
AF ターゲット位置	ホームポジションの AF ターゲットの位置を設定します。

1. ⚙ カスタムメニュー **A2** で、[[:~:]Home 登録] を選択し、**OK** ボタンを押します。

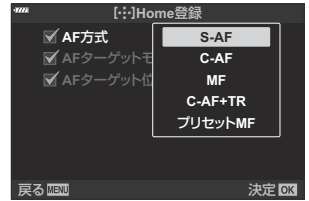


2. ホームポジションとして使用する項目を選択し **OK** ボタンを押します。



- チェックボックスに ✓ (チェック) が付きます。チェックが付いた項目はホームポジションとして使用されます。

3. ▷ ボタンを押して、選択した項目の詳細設定をします。



- ホームポジションに登録する設定を選択します。
- [📷] 縦位置/横位置切換 が設定されているときは、各項目を選択した上で、横位置、縦位置（左/右）を選択し、▷ ボタンを押して、それぞれの設定をします。

4. 各項目の設定をしたら **OK** ボタンを押して設定を確定します。

- [📷] Home 登録画面に戻ります。

5. 各項目の設定を終えたら、**MENU** ボタンを繰り返し押してメニューを終了します。

AF ターゲット選択設定時の操作方法を設定する ([:⋮:] 選択画面設定)

MENU → ⚙ → A2 → [:⋮:] 選択画面設定

AF ターゲット選択の設定で使用するフロント/リアダイヤルや十字ボタンの役割を設定します。使い方や好みに合わせて、機能の設定に使う操作部を割り当てておくことができます。2つの組み合わせを用意することができます。

- [セット2] を使うときは、[:⋮:] 選択画面設定 のメニューでチェックボックスに ✓ (チェック) を付けます。AF ターゲット選択画面で **INFO** ボタンを押すと、[セット2] に切り換わります。

設定できる操作部

フロントダイヤル、リアダイヤル、△▽ ボタン、◀▶ ボタン

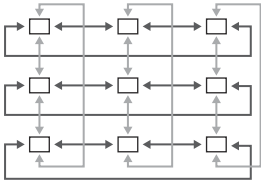
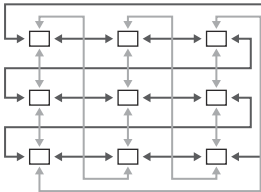
割り当てられる機能

- [⊙ Pos 変更] : AF ターゲットの位置 (P.94) を設定します。
- [[:⋮:] Mode 変更] : オール/スモール/グループなどのターゲットモード (P.90) を変更します。
- [☺ 変更] : 顔優先/瞳優先 AF (P.123) の設定をします。

AF ターゲットの循環方法を設定する ([:::] 循環設定)

MENU → ⚙ → A2 → [:::] 循環設定

AF ターゲットの位置を移動するとき、上下左右の端で AF ターゲットを循環させるかどうかを設定できます。AF ターゲットを循環させるときに、[ALL] (オールターゲット) を経由するかも設定できます。


[:::] 循環選択	<p>[Off] : AF ターゲットは循環しません。上下左右の端で AF ターゲットは止まります。</p> <p>[循環 1] : $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンを押して AF ターゲットを一番端まで移動させた状態で、さらに同じ方向に押すと、同じ行または同じ列の反対側の AF ターゲット位置に移動します。</p>  <p>循環 1 のイメージ</p> <p>[循環 2] : $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンを押して AF ターゲットを一番端まで移動させた状態で、さらに同じ方向に押すと、次の行または次の列の反対側の AF ターゲット位置に移動します。</p>  <p>循環 2 のイメージ</p>
[ALL] 経由	<p>[しない] : [ALL] (オールターゲット) を経由しないで循環します。</p> <p>[する] : [:::] 循環選択 で [循環 1] または [循環 2] を選択しているとき、反対側の端の AF ターゲットに移動する前に [ALL] (オールターゲット) を経由します。</p> <p>① [📷:::]Mode 表示設定 で [ALL] (オールターゲット) を非表示にしている場合は、[ALL] 経由 が [しない] に固定されます。</p>

① ムービー撮影やフォーカスモードで [AF] または [AF MF] を選択している場合は、[:::] 循環選択 が [Off] に固定されます。

AF ターゲットをカスタマイズする ([MENU] ターゲットモード設定)

MENU → → → [MENU] ターゲットモード設定

AF ターゲットの位置を移動させるときの動きや AF ターゲットの数をカスタマイズできます。グループターゲットよりも範囲を広くしたり、動きが予想できる被写体に合わせて範囲を設定したい場合に有効です。また、AF ターゲットの位置の移動量を設定できるので、位置の設定をする時の手間を少なくできます。4 種類のカスタム設定を記憶させておくことができます。

① 使用するときには、 [Mode 表示設定] (P.266) で使用するカスタムターゲットに ✓ (チェック) を付けます。


サイズ	AF ターゲットの範囲を設定できます。横方向／縦方向のサイズを設定します。それぞれ 1/3/5/7/9/11 点の範囲で設定できます。
移動ステップ	AF ターゲットを移動するときのステップ量を設定します。横および縦方向のステップを 1~3 ステップの間でそれぞれ設定できます。

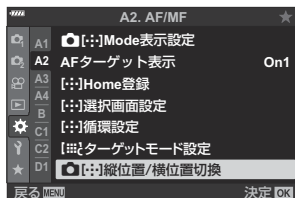
AF ターゲットの設定を横位置/縦位置で変える (縦位置/横位置切換)

MENU → → A2 → [縦位置/横位置切換]

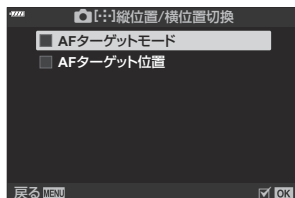
カメラの姿勢を検知して、AF ターゲット位置や AF ターゲットモードの設定を自動的に切り換えます。カメラの向きを変えると構図も変わるのでピントを合わせる位置も変わります。AF ターゲットモードや AF ターゲットの位置を向きに合わせて記憶させておくことができます。この機能が有効になっていると、[\[!\[\]\(5eb1325dfdc3f1cad8426726c0db51cd_img.jpg\) Home 登録\] \(P.297\)](#) のホームポジションも横位置、縦位置それぞれで設定することができます。

AF ターゲットモード	オール/スモール/グループなどのターゲットモードを、横位置/縦位置それぞれで記憶します。
AF ターゲット位置	AF ターゲットの位置を横および縦それぞれで設定します。

1.  カスタムメニュー A2 で、 縦位置/横位置切換] を選択して、 ボタンを押します。



2. 姿勢で切り換える機能を選択し、**OK** ボタンを押します。



- 選択した機能に (チェック) が付きます。

3. 各項目の設定をしたら繰り返し **MENU** ボタンを押します。

- **MENU** ボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

4. カメラを横位置、縦位置それぞれの状態にして AF ターゲットモードや AF ターゲットの位置を設定します。

- 横位置、縦位置 (右回転、左回転) それぞれの状態での設定を記憶しておけます。

オートフォーカス時のレンズの動作範囲を設定する (AF リミッター)

MENU → → **A3** → [AF リミッター]

オートフォーカス動作するときの動作範囲を設定します。オートフォーカス中に、被写体との間に障害物が入ってピントが大きく外れてしまうような撮影状況で有効です。フェンスや窓越しの撮影などで、ピントがフェンスや窓に合ってしまうのを防ぐことができます。

距離設定	距離範囲の設定をします。3種類の設定を記憶させ、使い分けることができます。数値は目安としてお使いください。
レリーズ優先	[AF リミッター] が [On] に設定されていてピントを合わせることができなくても、シャッターを切ることができます。

🔗 次の場合、AF リミッターは無効です。

- レンズ側のフォーカスリミッターが有効
- フォーカスブラケット使用中
- ムービーモードおよびムービー記録中
- フォーカスモードが **[AF]** または **[AF MF]**

AF によるピント位置を微調整する (AF 微調節)

MENU → ⚙️ → A3 → [AF 微調節]

位相差 AF でピントを合わせるときの、ピント位置を微調整できます。±20 ステップの範囲で調整できます。

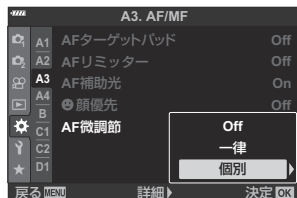
- ① 通常はこの機能でピント位置を調整する必要はありません。また、調整により適切なピントで撮影できなくなる場合がありますのでご注意ください。
- ① [S-AF]、[S-AF MF] では機能しません。
- ① この機能は、静止画撮影の機能です。

Off	登録されている調整値を使用しません。
一律	全てのレンズで一律に調整します。
個別	レンズごとに調整を行い、調整値をカメラに登録します。登録できるレンズは最大 20 本です。一つのレンズで画面上のエリア別に調整することもできます。ズームレンズの場合は、望遠側、広角側それぞれの調整値を登録できます。

1. ⚙️ カスタムメニュー A3 で、[AF 微調節] を選択して、▶ ボタンを押します。

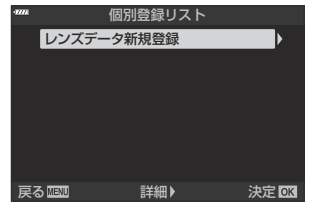


2. [一律] または [個別] を選択し、▶ ボタンを押します。



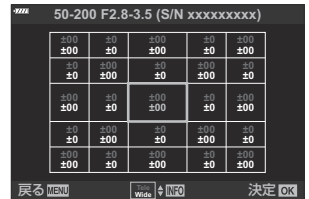
- [一律] を選択したときは手順 5 へ進みます。
- 使用しないときは [Off] を選択して、OK ボタンを押します。

3. [レンズデータ新規登録] を選択し、OK ボタンを押します。



- 調整するエリアを選択する画面が表示されます。

4. $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで調整するエリアを選択し、OK ボタンを押します。

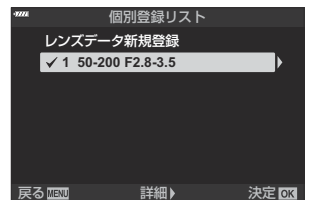


- ズームレンズの場合は、INFO ボタンを押して望遠側/広角側を切り換えます。

5. $\Delta \nabla$ ボタンで調整値を設定して OK ボタンを押します。

- 調整値が登録されます。【一律】を選んだときは、手順 2 の画面に戻ります。
- 【個別】を選んだときは、手順 3 の画面に戻ります。調整値が登録されてレンズの名称が画面に追加されます。
- フロントダイヤルで画面を拡大して確認することができます。
- OK ボタンを押す前にシャッターボタンを押して試し撮りをして確かめることができます。
- 同じレンズで別の調整値を登録するときは、 \triangleright ボタンを押して手順 4 を繰り返します。

6. 同じレンズでエリア別に調整値を登録するときは、 $\Delta \nabla$ ボタンでレンズの名称を選択して \triangleright ボタンを押します。



- 手順 4 の画面に戻るのでこの操作を繰り返します。

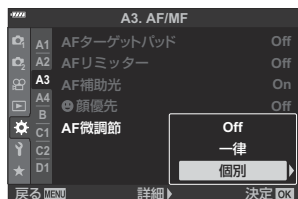
7. 登録を終了するときは、MENU ボタンを繰り返し押しメニューを終了します。

登録情報を削除する

1. **★** カスタムメニュー **A3** で、**[AF 微調節]** を選択して、**▷** ボタンを押します。



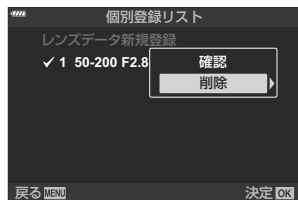
2. **△▽** ボタンで**[個別]** を選択し、**▷** ボタンを押します。



3. **△▽** ボタンで削除するレンズ名を選択し、**▷** ボタンを押します。

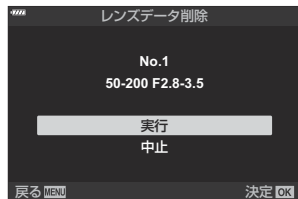


4. **△▽** ボタンで**[削除]** を選択し、**▷** ボタンを押します。



- 確認の画面が表示されます。

5. **△▽** ボタンで**[実行]** を選択し、**OK** ボタンを押します。



- 手順 3 の画面に戻ります。登録名が消えていることを確認してください。

① 登録情報を残したまま調整を使用しないときは、**【AF 微調節】**を**【Off】**に設定してください。
🔗 同じレンズで複数の登録をすることができます。


登録された調整値を使う

個別登録リストのメニューを表示して、使用する登録情報に ✓（チェック）をつけます。

マニュアルフォーカス時にピント合わせを補助する (MF アシスト)

MENU → → A4 → [MF アシスト]


MF (マニュアルフォーカス) でピント合わせをするときの操作を補助する機能です。レンズのフォーカスリングを回したとき、自動的に画面を拡大したり、ピントの山の部分に色をつけて見分けやすく表示します。

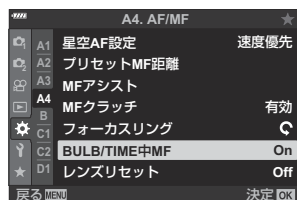
拡大	<p>画面の一部を拡大して表示します。 [Off]: 通常通り表示します。 [On]: 画面の一部を拡大して表示します。拡大する部分はあらかじめ AF ターゲットで決めることができます。🔍 「ピント合わせの位置を自分で決める (AF ターゲット位置)」 (P.94)</p> <ul style="list-style-type: none">• 拡大表示中に、フロント/リアダイヤルを回すと、拡大倍率が変更できません。• ムービー録画中や、AF 方式が [C-AF MF]、[C-AF+TR MF] に設定されているときは、拡大表示しません。
ピーキング	<p>画面内の輪郭のはっきりした箇所を強調表示します。 [Off]: 通常通り表示します。 [On]: 画面内の輪郭のはっきりした箇所を強調表示します。強調表示の色や強度を選択することができます。🔍  カスタムメニュー D3 [ピーキング表示] (P.274)</p> <p>🔍 ピーキング表示中は、INFO ボタンを押して、色や強度を変更することができます。</p> <p>① ピーキング表示は、細かい被写体ほど強く表示される傾向にあります。正確なピント位置を保証するものではありません。</p>
フォーカス距離指標	<p>マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回すと、フォーカスの移動方向や位置の目安を表示し、ピント合わせを補助します。 [Off]: 通常通り表示します。 [On]: マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回したとき、フォーカスの移動方向や位置の目安を表示します。</p> <p>① フォーカスクラッチ機構を搭載した他社レンズでは、ピントの移動方向とフォーカス距離指標の表示が反対になる場合があります。その場合は [フォーカスリング] (P.268) の設定を変更してください。</p> <p>① フォーサーズマウント規格レンズ使用時は、フォーカス距離指標は表示されません。</p>


ピントを操作しながら撮影する（BULB/TIME 中 MF）

MENU → → A4 → [BULB/TIME 中 MF]

撮影モードが **B**（バルブ）のとき、露光中にマニュアルでピント位置を変更することができます。露光中にピントを外したり、露光終わりのタイミングでピントを合わせるなどの技法を使った撮影ができます。

1.  カスタムメニュー **A4** で、[BULB/TIME 中 MF] を選択し、OK ボタンを押します。



2. Δ ∇ ボタンで設定を変更します。
[Off]：露光中、手動でのピント位置の操作はできません。
[On]：露光中に手動でピント位置を操作できます。
3. OK ボタンを押して設定を確定します。
 -  カスタムメニュー **A4** の画面に戻ります。
4. MENU ボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

フロント／リアダイヤルの機能を変える（ ダイヤル機能）


MENU → → **B** → [ダイヤル機能]

フロント／リアダイヤルで設定できる機能を変更できます。Fn レバーの位置によって切り換える機能も変更できます（P312）。メニュー表示中や画像再生時の操作についても変更できます。

- （ムービー）モードでは、 動画メニュー [ ボタン/ダイヤル/レバー] の [ ダイヤル機能]（P229）が有効になります。

撮影モードや （再生）モードで割り当てられる機能は次の通りです。

割り当てられる機能	動き	撮影モード				
		P	A	S	M	B
Ps	プログラムシフト（P.50）を設定します。	○	—	—	—	—
シャッター速度	シャッター速度を設定します。	—	—	○	○	○ ¹
絞り	絞り値を設定します。	—	○	—	○	○
露出補正	露出補正を設定します。	○	○	○	○	○
フラッシュ補正	フラッシュ補正を設定します。	○	○	○	○	○
ISO 感度	ISO 感度を設定します。	○	○	○	○	○
WB モード	ホワイトバランスを設定します。	○	○	○	○	○
CWB 色温度	ホワイトバランスが CWB（カスタム WB）のときの色温度設定を変更します。	○	○	○	○	○
Off	機能を設定しません。	○	○	○	○	○
 /Value	メニュー表示中にカーソル、設定値、選択肢を上下に移動させます。	—				
	メニュー表示中にカーソルを左右に移動させます。					

割り当てられる 機能	働き	撮影モード				
		P	A	S	M	B
 Q (インデックス/拡大)	画像再生中、画像を拡大、インデックス表示します。					
コマ送り/戻し	画像再生中、次の画像を表示、前の画像を表示します。			—		

1 BULB、TIME、LIVE COMP を切り換えます。

Fn レバーの機能を変える (📷Fn レバー機能)

MENU → ⚙️ → B → [📷Fn レバー機能]

Fn レバーの機能を変更します。

- P/A/S/M/B (静止画撮影) モードのときに有効になります。🎞️ (ムービー) モードでは、🎞️ 動画メニュー [🎞️ ボタン/ダイヤル/レバー] の [🎞️ Fn レバー機能] (P.229) が有効になります。



mode1	Fn レバーの位置に応じて、フロント/リアダイヤルの機能を切り換えます。[📷 ダイヤル機能] (P.310) の設定に従います。
mode2	Fn レバー 1、2 のそれぞれの位置で設定した [AF 方式]、[AF ターゲットモード]、[AF ターゲット位置] に変更します。 <ul style="list-style-type: none">• ▷ ボタンで切り換える対象を選択します。
mode3	Fn レバーの位置に応じて撮影モードを切り換えます。モードダイヤルを切り換えることなく、撮影モードを 🎞️ (ムービー) に切り換えます。 ① [🎞️ Fn レバー機能] の設定は無効になります。
Off	Fn レバー機能を使いません。

- ① この機能は、⚙️ カスタムメニュー B の [Fn レバー/電源レバー] (P.269) が [PW1] または [PW2] に設定されているときは使用できません。

連写時の速度や枚数の上限を設定する (L 設定 / H 設定)

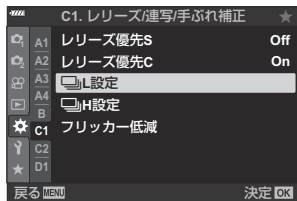
MENU → → → [L 設定] / [H 設定]

連続撮影をするときの、連写速度と撮影枚数などの上限を設定します。シャッターボタンを全押ししていても、設定した枚数に達すると自動的に撮影が終了します。

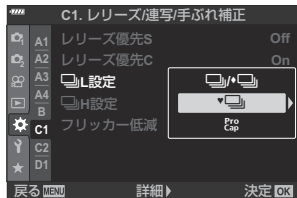
 (連写 L) と  (連写 H)、それぞれのメニューで次の設定を行います。

<p> L 設定 (連写 L 設定)</p>	<p> (連写 L)、 (低振動連写 L)、 (静音連写 L) の連写速度と連続撮影枚数の上限が設定できます。また、 (プロキャプチャー L) の詳細設定ができます (P.105)。</p> <ul style="list-style-type: none">•  または  のとき [連写速度]: 1~6fps [枚数リミッター]: 2~99 枚、Off (制限なし)•  のとき [連写速度]: 1~10fps [枚数リミッター]: 2~99 枚、Off (制限なし)•  のとき [プリ連写枚数]: 0~14 枚 [枚数リミッター]: 2~99 枚、Off (制限なし) プリ連写枚数を含みます。
<p> H 設定 (連写 H 設定)</p>	<p> (連写 H)、 (静音連写 H) の連写速度と連続撮影枚数の上限が設定できます。また、 (プロキャプチャー H) の詳細設定ができます (P.105)。</p> <ul style="list-style-type: none">•  のとき [連写速度]: 5~10fps [枚数リミッター]: 2~99 枚、Off (制限なし)•  のとき [連写速度]: 15/20/30fps [枚数リミッター]: 2~99 枚、Off (制限なし)•  のとき [連写速度]: 15/20/30fps [プリ連写枚数]: 0~14 枚 [枚数リミッター]: 2~99 枚、Off (制限なし) プリ連写枚数を含みます。

1. **★** カスタムメニュー **C1** で、**[L設定]** または **[H設定]** を選択し、**OK** ボタンを押します。



2. **△▽** ボタンで項目を選択し、**▷** ボタンを押します。

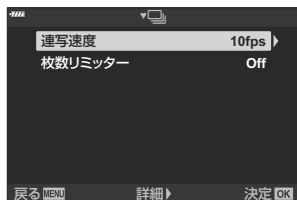


- それぞれの設定画面が表示されます。

3. **[プリ連写枚数]** または **[プリ連写枚数]** を設定します。

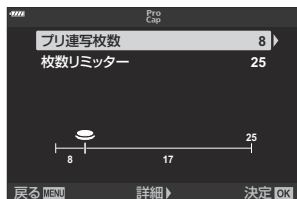
手順 2 で **[連写速度]**、**[連写速度]**、**[連写速度]** を選んだ場合

- **△▽** ボタンで **[連写速度]** を選択し、**▷** ボタンを押します。
- **△▽** ボタンで設定を変更し、**OK** ボタンを押して確認します。



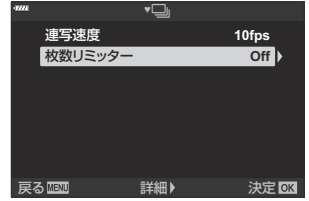
手順 2 で **[プリ連写枚数]** を選んだ場合

- **△▽** ボタンで **[プリ連写枚数]** を選択し、**▷** ボタンを押します。
- **△▽** ボタンで設定を変更し、**OK** ボタンを押して確認します。




4. [枚数リミッター] を設定します。

- △▽ ボタンで [枚数リミッター] を選択し、▷ ボタンを押します。



- 撮影枚数を制限しない場合は [Off] を選択します。
- 撮影枚数を制限するときは、数値を選択し、▷ ボタンを押すと、撮影枚数の設定画面が表示されます。◀▷ ボタンで桁を選択し、△▽ ボタンで数値を変更できます。
- プロキャプチャー撮影時は、制限する撮影枚数にプリ連写枚数も含まれます。🔗 「[レリーズタイムラグを防いで撮影する \(プロキャプチャー撮影\)](#)」(P.105)
- 設定を変更後、OK ボタンを押して確定します。

5. OK ボタンを押します。

- ⚙️ カスタムメニュー  の画面に戻ります。

6. MENU ボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

蛍光灯による明るさのちらつきを抑えて撮影する (フリッカー低減)

MENU → * → C1 → [フリッカー低減]

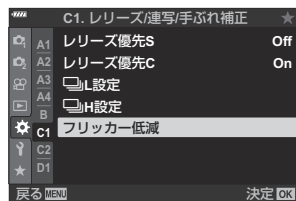
蛍光灯などの商用電源照明の環境下では、ライブビューの画面表示がちらついて見えたり、高速シャッター速度で連写した場合に露出がばらつくことがあります。このような影響を低減するための機能です。

撮影時の画面表示のちらつきを抑える (フリッカーレス LV)

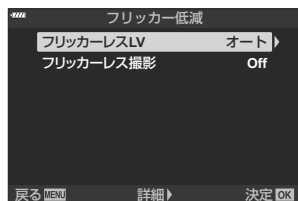
蛍光灯などの照明の環境下で発生する画面のちらつき (フリッカー) を抑えて表示します。画面がちらついて見えにくいなどのときに有効です。

オート	フリッカーを自動で検出して低減します。
50Hz	商用電源が 50Hz の地域での照明のちらつきを低減します。
60Hz	商用電源が 60Hz の地域での照明のちらつきを低減します。
Off	フリッカーの低減をしません。 • 【フリッカーレス撮影】 (P.318) が [On] のときは選択できません。

1. * カスタムメニュー C1 で、**[フリッカー低減]** を選択し、OK ボタンを押します。

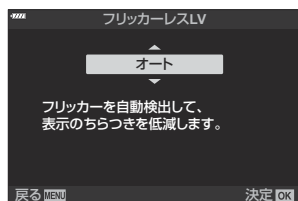


2. $\Delta \nabla$ ボタンで【フリッカーレス LV】を選択し、 \triangleright ボタンを押します。



- 【フリッカーレス LV】 の設定画面が表示されます。

3. $\Delta \nabla$ ボタンで項目を選択し、OK ボタンを押します。



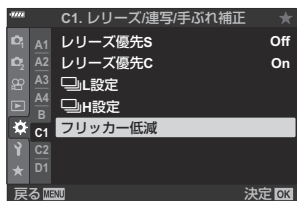
- 【フリッカー低減】 の設定画面に戻ります。

4. MENU ボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

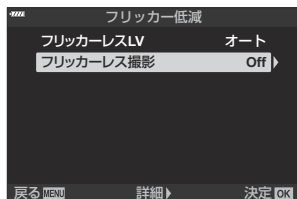
シャッターが切れるタイミングを設定する（フリッカーレス撮影）

照明のフリッカーのある環境下で撮影したときなど、明るさがばらついて写ることがあります。フリッカーによるちらつきの周期を自動的に判断して、シャッターを切るタイミングを制御します。この機能は、機械式シャッターによる撮影で有効な機能です。

1. **★** カスタムメニュー **C1** で、**【フリッカー低減】** を選択し、**OK** ボタンを押します。

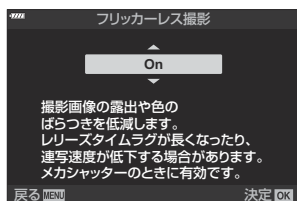


2. **△▽** ボタンで **【フリッカーレス撮影】** を選択し、**▷** ボタンを押します。



- **【フリッカーレス撮影】** の設定画面が表示されます。

3. **△▽** ボタンで **【On】** または **【Off】** を選択し、**OK** ボタンを押します。



- **【フリッカー低減】** の設定画面に戻ります。

4. **MENU** ボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

- **【On】** に設定すると、画面に **FLK** が表示されます。



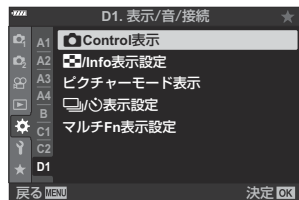
- ① 静音撮影やハイレゾショット撮影、プロキャプチャー撮影などの電子シャッターによる撮影時は動作しません。
- ① 環境によってはフリッカーが検出できないことがあります。その場合は、通常のタイミングでシャッターが切れます。
- ① シャッター速度が遅いときは、通常のタイミングで撮影されます。
- ① シャッターが切れる際にタイムラグが生じたり、連写速度が低下する場合があります。

操作画面の表示を選ぶ (📷Control 表示)

MENU → ⚙️ → D1 → [📷Control 表示]

撮影モードで機能を設定する各操作画面の表示、非表示を設定します。各撮影モードで、表示したい操作画面に **OK** ボタンを押してチェックを入れます。

1. ⚙️ カスタムメニュー **D1** で、[📷Control 表示] を選択し、**OK** ボタンを押します。

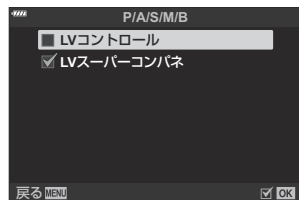


2. Δ / ∇ ボタンで設定したい撮影モードを選択し、 \triangleright ボタンを押します。



- 選択した撮影モードの設定画面が表示されます。

3. Δ / ∇ ボタンで項目を選択して **OK** ボタンを押します。
 - チェックボックスに (チェック) が付きます。チェックがついた項目は表示されます。



4. **MENU** ボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

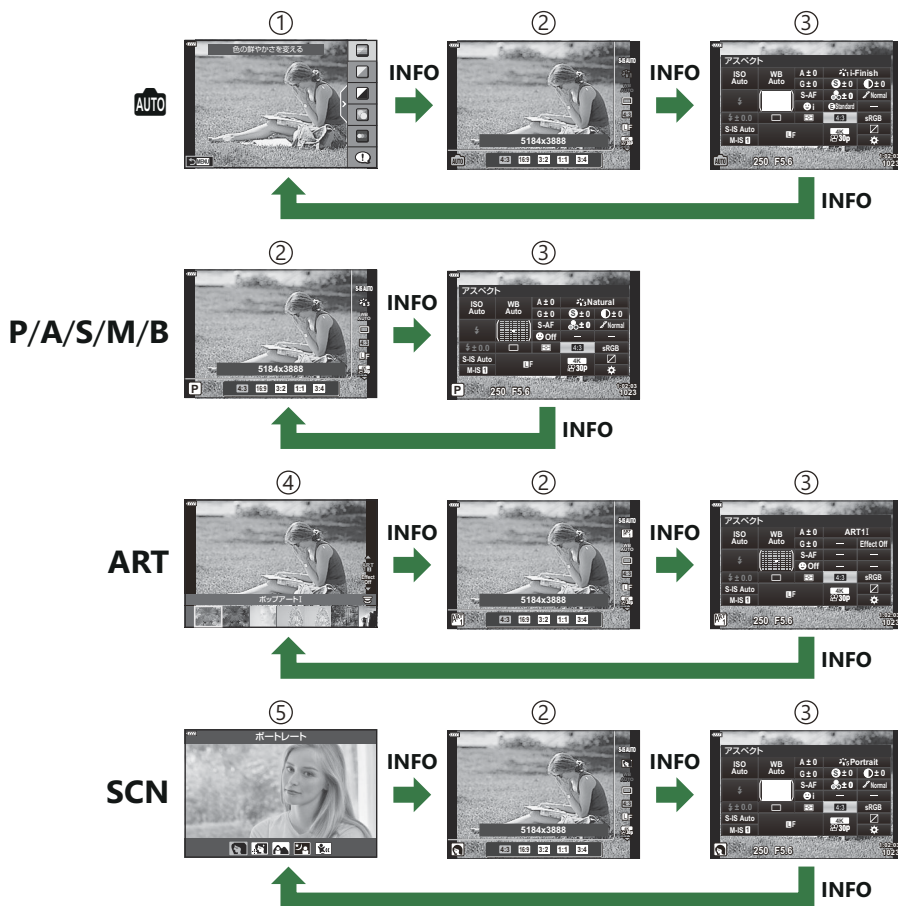
📹ムービーモードの場合は、📹 動画メニュー [📹 表示設定] の [📹 Control 表示] で設定します。

👉 📹 動画メニュー [📹 表示設定] の [📹 Control 表示] (P.229)

操作画面の表示のしかた

撮影待機状態で **OK** ボタンを押し、操作画面を表示した状態で、**INFO** ボタンを押すと表示が切り換わります。

① **[Control 表示]** でチェックを入れた操作画面のみ表示されます。



① ライブガイド (P.64)

② LV コントロール (P.322)

③ LV スーパーコンパネ (P.113)

④ **ART** メニュー (P.72)

⑤ **SCN** メニュー (P.66)

♪ムービーモードの場合は、**動画メニュー** [**表示設定**] の [**Control 表示**] で設定します。

👉 **動画メニュー** [**表示設定**] の [**Control 表示**] (P.229)

LV コントロール



- ① 設定機能
- ② 選択肢

使用可能な設定機能

- 手ぶれ補正 (P.130)
- ピクチャーモード (P.150、P.202)
- アートフィルターモード¹ (P.72)
- シーンモード² (P.66)
- ホワイトバランス (P.125)
- 連写/セルフタイマー (P.100)
- アスペクト比 (P.134)
- 画質モード
 - 静止画 (P.135)
 - ムービー (P.137)
- 3Dモード³ (P.234)
- フラッシュモード (P.145)
- フラッシュ補正 (P.149)
- 測光方式 (P.122)
- AF方式 (P.116)
- ISO感度 (P.115)
- 顔優先 (P.123)
- ムービー録音 (P.242)

1 ARTモード時に表示されます。

2 SCNモード時に表示されます。

3 ムービーモード時に表示されます。

① 撮影モードによっては選択できない機能があります。

🔗 [📷Control表示] で操作画面の [LVコントロール] を設定すると、📷/P/A/S/M/B/ART/SCNモードでもLVコントロールを使えます。🔗 ⚙️ カスタムメニュー 01 [📷Control表示] (P.320)

1. OK ボタンを押して LV コントロールを表示します。

- 再度 OK ボタンを押すと LV コントロールの表示が消えます。


2. △▽ ボタンでカーソルを設定したい機能に移動し、◀▶ ボタンで設定を選択し OK ボタンを押します。

- 何も操作せずに約 8 秒経過すると設定が確定します。

INFO ボタンによる情報表示の設定をする (/ Info 表示設定)

MENU → * → D1 → [ /Info 表示設定]

Info (再生情報表示)

[ Info] で次の再生情報表示画面を追加できます。追加した画面は、画像再生時に **INFO** ボタンを繰り返し押すと表示されます。また、初期設定で表示されている画面を非表示にすることもできます。




ヒストグラム表示



ハイライト&シャドウ表示

■ ハイライト&シャドウ表示

画像の明るさの上限値以上の部分を赤、下限値以下の部分を青で表示します。  * カスタムメニュー **D3** [ヒストグラム警告設定] (P.274)

▶ Q Info (再生拡大情報表示)

【▶ Q Info】で再生拡大情報表示画面を設定できます。あらかじめボタン機能 (P.163) で【Q】(拡大) をボタンに割り当てておくと、画像再生時に Q ボタンを繰り返し押し、設定した画面表示を切り換えることができます。初期設定で表示されている画面を非表示にすることもできます。



LV-Info (撮影情報表示)

撮影時のライブビュー画面に表示される情報表示の選択をします。🔍 「情報表示を切り換える」 (P.41)

【LV-Info】でハイライト&シャドウ表示画面を追加するには、【カスタム表示 1】または【カスタム表示 2】で▶ ボタンを押してチェックをつけます。追加した画面は、撮影時に INFO ボタンを繰り返し押すと表示されます。また、初期設定で表示されている画面を非表示にすることもできます。


【LV-Info】で【表示 Off】を選択したときは、▶ ボタンを押すと、シャッターボタン半押し中の情報表示の設定が選べます。

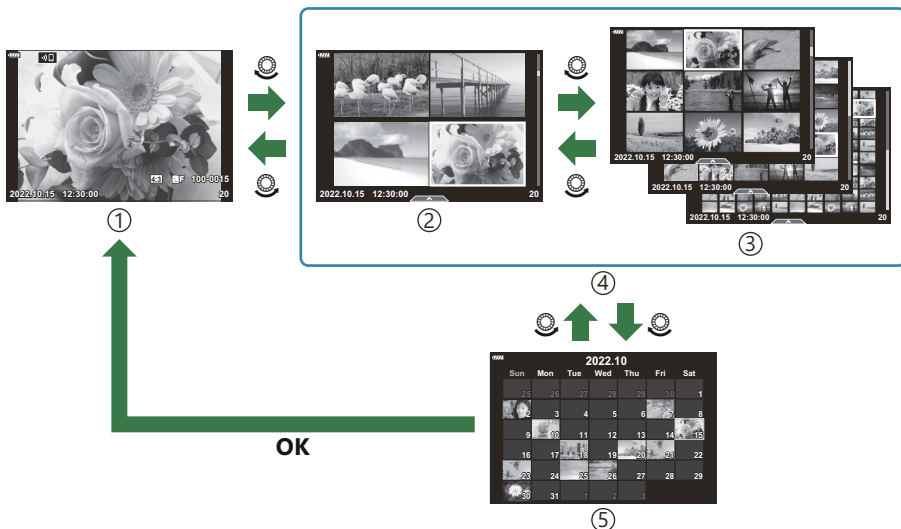
On	シャッターボタン半押し中は情報表示をします。
Off	シャッターボタン半押し中も情報表示をしません。

LV OFF-Info (撮影情報表示)

ファインダー撮影時の撮影情報画面の表示を設定します (P.41)。

表示（インデックス／カレンダー表示）

【 表示】で、インデックス表示画面の分割数を変更したり、初期設定で表示されている画面を非表示にできます。チェックを入れた画面は画像再生時にリアダイヤルを回して選択します。



① 1コマ再生

② 4分割

③ 9、25、100分割


④ インデックス再生

⑤ カレンダー再生

画像再生時の拡大倍率を設定する（再生拡大倍率設定）

MENU → ⚙️ → D2 → [再生拡大倍率設定]

画像を再生して拡大表示（クローズアップ再生）したとき、最初に表示される倍率の設定ができます。

前回倍率	前回、拡大再生したときに最後に表示した倍率で表示します。
等倍	拡大再生したとき、等倍で表示します。等倍表示にすると、モニターに  が表示されます。
x2 / x3 / x5 / x7 / x10 / x14	拡大再生したとき、選択した倍率で表示します。

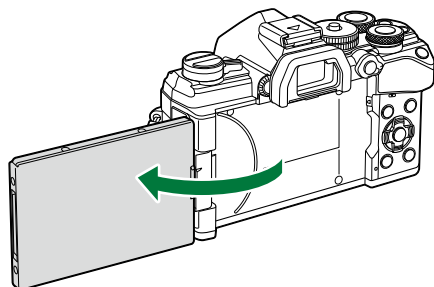
自分撮りに合わせた表示をする（自分撮りアシスト）

MENU → * → D3 → [自分撮りアシスト]

モニターを反転して自分撮りをするとき、撮影しやすいようにライブビュー表示を変更します。

On	モニターを反転して自分撮り位置にしたとき、左右反転して表示します。
Off	モニターを自分撮り位置にしても、表示は切り換わりません。

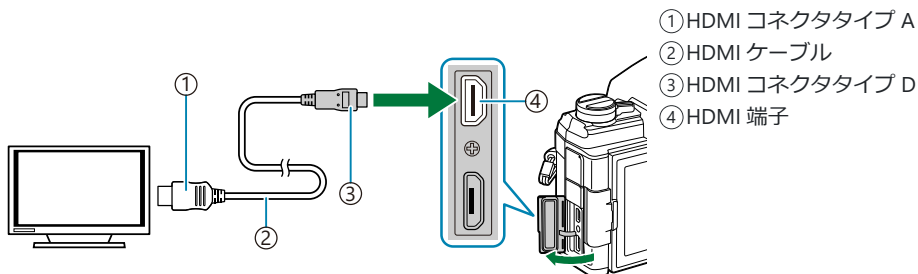
1. * カスタムメニュー D3 の [自分撮りアシスト] を [On] にします。
2. モニターを反転させます。



カメラの画像をテレビで見る (HDMI)

MENU → ⚙️ → D4 → [HDMI]

別売のケーブルを使ってテレビに接続して画像を再生します。また、撮影でも使用できます。HDMI ケーブルを使ってハイビジョン対応のテレビに接続すると、高画質な画像をテレビで見ることができます。



テレビとカメラを接続してテレビの入力を切り換えます。

- **[HDMI コントロール]** (P.379) が **[On]** のときは、HDMI ケーブルを接続するとカメラのモニターは消灯します。

※テレビの入力切り換えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。

※HDMI ケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選ぶことができます。テレビの入力設定に合わせて選択してください。

⑦テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。

C4K	4K デジタルシネマ画質 (4096×2160) で出力します。
4K 優先	4K 画質 (3840×2160) 優先で出力します。
1080p 優先	フルハイビジョン形式 (1080p) 優先で出力します。
720p 優先	ハイビジョン形式 (720p) 優先で出力します。
480p/576p	480p/576p 形式で出力します。

⑦他の HDMI 出力機器と接続しないでください。故障の原因となります。

⑦パソコンとの USB 接続中は、HDMI 出力は行われません。

⑦**[出力モード設定]** を **[記録モード]** にしていると、ムービー撮影状態のときに設定されているムービー画質モードで出力します。設定されている画質モードにテレビが対応していない場合は、画像は表示されません。🔍 **動画メニュー** **[HDMI 出力]** の **[出力モード設定]** (P.229)

- ① 静止画撮影状態のときは信号形式を **【4K 優先】** または **【C4K】** にしていても、1080p 優先で出力されます。

テレビのリモコンを使う

HDMI によるコントロールに対応したテレビに接続したとき、テレビのリモコンで操作することができます。🔗 「[テレビのリモコンで操作する \(HDMI コントロール\)](#)」 (P.379)
カメラのモニター表示は消灯します。

- テレビに表示された操作ガイドに従って操作できます。
- 1コマ再生のときに、リモコンの「赤」ボタンで情報表示の切り換え、「緑」ボタンでインデックス表示への切り換えができます。

- ① テレビによっては使用できない機能があります。

USB ケーブル接続時の動作を設定する (USB 接続モード)

MENU → ⚙️ → D4 → [USB 接続モード]

カメラを USB ケーブルでパソコンや周辺機器と接続するときの動作を設定します。

毎回確認	USB ケーブルを接続するたびに接続方法を設定するメニューが表示されます。
ストレージ	カメラをパソコン用の外部メモリーのように使います。カード内のデータをパソコンに移すことができます。
MTP	Windows の標準のソフトウェアを使った画像の取り込みや閲覧をすることができます (P.362)。
WEB カメラ	カメラをパソコンに接続して、オンライン会議やライブ配信用の Web カメラとして使用することができます (P.365)。特別なドライバーやアプリケーションが必要ないため、USB 接続するだけでカメラで取り込んだ映像や音声をパソコンに転送できます (USB ストリーミング)。

ライブバルブ撮影時の表示の更新時間を設定する (ライブ BULB 設定)

MENU → * → E2 → [ライブ BULB 設定]

B (バルブ) モードでライブバルブ撮影をしているとき、露光中の画像を表示する時間間隔を設定します。ライブバルブで撮影中、設定した時間間隔で表示を更新するため、撮影結果を確認しながら撮影できます。

☞ モードダイヤルを **B** に合わせシャッター速度を [**BULB**] に設定しているときに **MENU** ボタンを押すと直接、[ライブ BULB 設定] の設定画面を表示します。☞ 「長秒時撮影を行う (**B** BULB/TIME 撮影) 」 (P.58)

ライブタイム撮影時の表示の更新時間を設定する (ライブ TIME 設定)

MENU → * → E2 → [ライブ TIME 設定]

B (バルブ) モードでライブタイム撮影をしているとき、露光中の画像を表示する時間間隔を設定します。ライブタイムで撮影中に設定した時間間隔で表示を更新するため、撮影結果を確認しながら撮影できます。

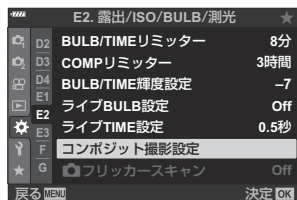
☞ モードダイヤルを **B** に合わせシャッター速度を [TIME] に設定しているときに **MENU** ボタンを押すと直接、[ライブ TIME 設定] の設定画面を表示します。☞ 「長秒時撮影を行う (B BULB/TIME 撮影)」 (P.58)

コンポジット撮影時のシャッター速度を設定する (コンポジット撮影設定)

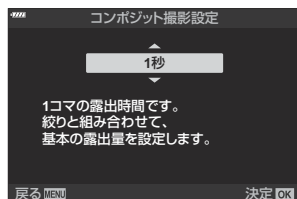
MENU → * → E2 → [コンポジット撮影設定]

ライブコンポジット撮影の1コマの露出時間は、あらかじめメニューで設定しておくことができます。

1. * カスタムメニュー E2 で、[コンポジット撮影設定] を選択し、OK ボタンを押します。



2. Δ▽ ボタンで設定を変更します。



- 露出時間は、1/2 秒～ 60 秒の間で設定できます。

3. OK ボタンを押して設定を確定します。
 - * カスタムメニュー E2 の画面に戻ります。

4. MENU ボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

- 最長の撮影時間は * カスタムメニュー E2 の [COMP リミッター] (P.278) で設定できます。初期設定では [3 時間] になっています。

この機能は、静止画撮影の B モードで使用する機能です。コンポジット撮影については、「[比較明合成撮影を行う \(B ライブコンポジット撮影\)](#)」(P.62) をあわせてお読みください。

モードダイヤルを B に合わせシャッター速度を [LIVE COMP] に設定しているときに MENU ボタンを押すと直接、[コンポジット撮影設定] の設定画面を表示します。☞ 「[比較明合成撮影を行う \(B ライブコンポジット撮影\)](#)」(P.62)

LED 照明による明るさのちらつきを抑えて撮影する (📷 フリッカーキャン)

MENU → ⚙️ → E2 → [📷 フリッカーキャン]

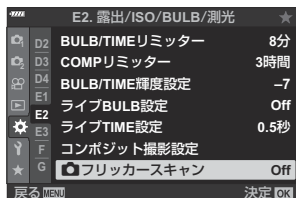
LED 照明的环境下では、撮影した画像にすじが写ることがあります。[📷 フリッカーキャン] では、画面ですじの発生を確認しながら適切なシャッター速度を選んで撮ることができます。

- ① 撮影モードが **S** または **M** で、静音撮影、ハイレゾショット撮影、プロキャブチャー撮影のときに使用できます。
- ② 設定できるシャッター速度の範囲が狭くなります。

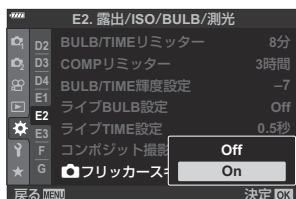
1. 撮影モードとドライブ機能の設定をします。

- 撮影モードを、**S** または **M** に設定します。
- ドライブ機能を、次のいずれかに設定します。
 - 静音撮影 (▼□、▼□L、▼□H、▼□2s、▼□2s、▼□c)
 - ハイレゾショット (📷)
 - プロキャブチャー撮影 (ProCapL、ProCapH)

2. ⚙️ カスタムメニュー E2 で、[📷 フリッカーキャン] を選択し、OK ボタンを押します。



3. △▽ ボタンで [On] を選択し、OK ボタンを押します。



- メニュー画面に戻ります。

4. MENU ボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

- 撮影画面に戻ります。画面に **Flicker Scan** が表示されます。



5. 画面を見ながらシャッター速度を設定します。

- フロント/リアダイヤル、または Δ ∇ ボタンで設定できます。 Δ ∇ ボタンを長押しすることもできます。
- フロントダイヤルでは、 \star カスタムメニュー **E1** の【露出ステップ】で設定した露出ステップでシャッター速度を変更できます。
- 画面に発生するすじが見えなくなるようにシャッター速度を調整してください。
- **INFO** ボタンを押すと画面が切り換わり、**Flicker Scan** が消えます。このとき、絞りや露出補正の設定ができます。フロント/リアダイヤルまたは、十字ボタンを使って設定してください。
- **INFO** ボタンを繰り返し押し、フリッカーキャンの設定画面に戻ります。

6. 設定を終えたら撮影します。

- ① フリッカーキャンの画面では、ピーキング表示や、LV スーパーコンパネ、LV コントロールの表示はできません。表示するときは **INFO** ボタンを押して画面の情報表示を切り換えてください。

露出の基準を微調整する（露出基準調整）




MENU → ⚙️ → → [露出基準調整]

露出の基準を微調整することができます。カメラの自動露出の結果を常にプラス方向、マイナス方向にずらして撮りたいときに設定します。

⚙️ 通常はこの機能で調整する必要はありません。必要な場合のみ設定してください。通常の撮影で露出の補正を目的とするときは、露出補正を行ってください（P.88）。

⚙️ 調整した方向（プラス/マイナス）の露出補正の範囲が狭くなります。

次の測光方式で個別に設定できます。

測光方式		調整値
	(デジタル ESP 測光)	-1EV~+1EV、1/6EV ステップ
	(中央重点平均測光)	
	(スポット測光)	

フラッシュ発光時のシャッター速度 (⚡ 同調速度 / ⚡ 低速制限)

MENU → ⚙ → F → [⚡ 同調速度] / [⚡ 低速制限]

フラッシュが発光するときのシャッター速度の条件を設定できます。

撮影モード	フラッシュ発光シャッター速度	上限	下限
P	カメラが自動的に設定	[⚡ 同調速度] 設定	[⚡ 低速制限] 設定
A			
S	シャッター速度設定による		制限無し
M			

JPEG の画像サイズと圧縮率の組み合わせ（画質設定）

MENU → ⚙️ → **G** → [画質設定]

画像サイズと圧縮率を組み合わせ、JPEG の画質モードを設定できます。



画像サイズ (ピクセルサイズ)	圧縮率			用途
	Super Fine	Fine	Normal	
Large (5184×3888) ¹	L SF ¹	L F ¹	L N ¹	プリントサイズに合わせて選択
Middle (3200×2400) ¹	M SF	M F	M N ¹	
Middle (1920×1440)				
Small (1280×960)	S SF	S F	S N	小さいプリントやホームページ用
Small (1024×768)				

1 初期設定

レンズ情報を登録する（レンズ情報登録）

MENU → → → [レンズ情報登録]

マイクロフォーサーズ、フォーサーズ規格以外のレンズの情報を最大 10 本まで登録できます。この設定は、手ぶれ補正やデジタルシフト撮影の焦点距離情報としても使用します。

1.  カスタムメニュー  の [レンズ情報登録] で、[レンズ情報新規登録] を選びます。
2. [レンズ名] を選び、レンズ名を入力します。最後に [END] を選び **OK** ボタンを押します。
3. [焦点距離] を $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで設定します。
4. [絞り値] を $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ ボタンで設定します。
5. [登録] を選んで、**OK** ボタンを押します。

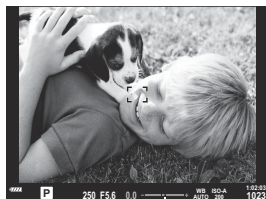
- 登録されたレンズがレンズ情報登録画面に表示されます。
- 非通信レンズを装着した際には、（チェック）が付いたレンズの情報が用いられます。 を付けたいレンズを選び、**OK** ボタンを押します。

ファインダー内表示のスタイルを選ぶ (EVF 表示スタイル)

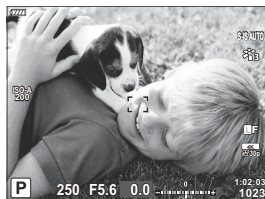
MENU → ⚙ → [EVF 表示スタイル]

スタイル 1/2 : フィルムカメラのファインダーのような表示スタイルにします。

スタイル 3 : モニターと同じ表示をします。

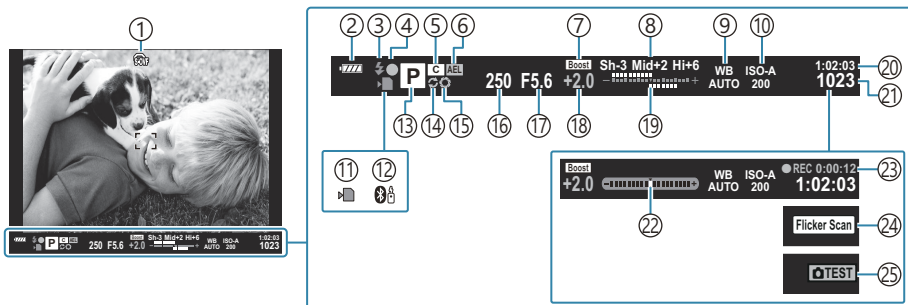


スタイル 1/スタイル 2



スタイル 3

ファインダー撮影時のファインダー内表示 (スタイル 1/スタイル 2)



- ① OVF シミュレーション¹
☰ カスタムメニュー 1 [OVF シミュレーション] (P.286)
- ② 電池残量 (P.32)
- ③ フラッシュ (点滅 : 充電中、点灯 : 充電完了) (P.143、P.145)
- ④ 合焦マーク (P.43)
- ⑤ カスタムモード (P.76、P.78)
- ⑥ AE ロック (P.99、P.291)
- ⑦ LV ブースト
☰ カスタムメニュー 02 [LV ブースト] (P.273)
- ⑧ ハイライト&シャドウコントロール (P.162)
- ⑨ WB モード (P.125)
- ⑩ ISO 感度 (P.97、P.115)
- ⑪ カード書き込み中 (P.23、P.28)
- ⑫ Bluetooth[®] 接続中 (P.350)
- ⑬ 撮影モード (P.43)
- ⑭ プロキャプチャー画像取り込み中 (P.105)
- ⑮ プレビュー (P.163)
- ⑯ シャッター速度 (P.48、P.51、P.53、P.55)
- ⑰ 絞り値 (P.48、P.51、P.53、P.55)
- ⑱ 露出補正值 (P.88)
- ⑲ 上 : フラッシュ補正 (P.149)
 下 : 露出補正 (P.88)
- ⑳ 録画可能時間 (P.415)
- ㉑ 撮影可能枚数 (P.413)
- ㉒ 水準器² (P.42)
- ㉓ 録画時間 (録画中) (P.82)
- ㉔ フリッカーキャン (P.236、P.334)
- ㉕ 試し撮り撮影 (P.165)

1 OVF シミュレーションアイコンはファインダー内のみの表示です。

2 シャッターボタンを半押し中に表示されます。☰ カスタムメニュー 1 [半押し中水準器表示] (P.286)

ファインダーの情報表示を設定する (Info 表示設定)

MENU → ⚙️ → ⓘ → [Info 表示設定]

ファインダー表示でもモニターの表示と同様に **INFO** ボタンで、ヒストグラムや水準器表示の画面の切り換えができます。ファインダー表示中、**INFO** ボタンを押して表示する情報表示の内容を設定します。この機能は、そのときに表示する内容を設定します。**[EVF 表示スタイル]** が **[スタイル 1]**、**[スタイル 2]** のときに有効です。

- (ムービー) モードでは、**動画メニュー [表示設定]** の **[Info 表示]** (P.229) が有効になります。

基本情報表示	撮影の機能設定状態を示すアイコンなどを表示します。
カスタム表示 1/ カスタム表示 2	基本情報表示に加えて次の内容の表示/非表示を選択します。 <ul style="list-style-type: none">• [ヒストグラム表示] : ヒストグラムを重ねて表示します。• [ハイライト&シャドウ] : ハイライトやシャドウ部を着色して表示します。• [水準器] : 水準器を表示します。







- チェックボックスに (チェック) を付けた項目が表示されます。
- **[カスタム表示 1]** または **[カスタム表示 2]** を選択したときは、▶ ボタンを押して情報表示の設定が選べます。

ボタン長押し操作のときの操作時間を設定する (ボタン長押し時間調整)

MENU → * → [M] → [ボタン長押し時間調整]

各機能で設定値のリセットなどで実行する、ボタンの長押し操作の操作時間の設定をします。使い勝手に合わせて機能別に設定できます。

時間調整できる機能

- LV 拡大枠/拡大表示
- LV 拡大枠位置
-  (ムービーテレコン拡大枠表示)
-  拡大枠 (ムービーテレコン拡大枠位置)
- 露出補正值
-  設定値 (フラッシュ補正)
-  設定値 (ハイライト&シャドウコントロール)
-  設定値 (カラークリエーター)
- AF ターゲット位置
- EVF 自動切換設定
- 再生拡大枠/拡大表示
- デジタルシフト
- デジタルシフト設定値
-  ロック (タッチパネル)
- BKT 撮影
- フリックースキャン

フィッシュアイレンズ使用時の画像の歪みを補正する（フィッシュアイ補正撮影）

MENU → * → [J1] → [フィッシュアイ補正撮影]

フィッシュアイレンズを使ったときの画面の歪みを補正して、超広角レンズを使ったような撮影ができます。3つの補正のレベルから選べます。また、水中撮影時に発生する歪みを同時に補正する設定もあります。

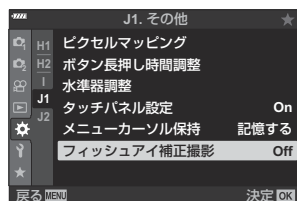
• P/A/S/M/B モードで使用できます。

① 対応するフィッシュアイレンズを装着した場合のみ設定できます。

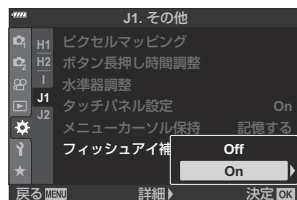
M.ZUIKO DIGITAL ED 8mm F1.8 Fisheye PRO（2022年10月現在）

画角	レンズによる歪みを補正した上で画面にけられがない範囲で切り出します。3つの切り出す範囲を選択できます。
水中補正	【画角】による補正に加えて、水中で撮影する際の画角に補正します。

1. * カスタムメニュー [J1] で、[フィッシュアイ補正撮影] を選択し、OK ボタンを押します。

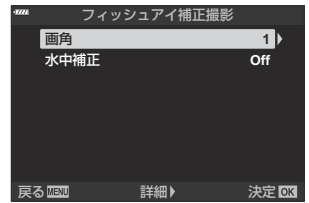


2. △▽ ボタンで [On] を選択し、▶ ボタンを押します。



• 【画角】 および 【水中補正】 のメニューが表示されます。

3. △▽ ボタンで設定を変更し、▶ ボタンを押します。





4. △▽ ボタンで設定を変更します。

① 水中撮影以外では、【水中補正】は【Off】に設定してください。

5. OK ボタンを押します。

- 【フィッシュアイ補正撮影】のメニュー画面に戻ります。

6. 繰り返し OK ボタンを押して、 カスタムメニュー **11** の画面に戻ります。

- 【フィッシュアイ補正撮影】が【On】になっていることを確認し、MENU ボタンを押して、メニューを終了します。
- フィッシュアイ補正撮影がオンになっている間は画面に  と選択した画角が表示されます。



7. 撮影します。

① 画質モードが【RAW】のときは、RAW+JPEG で記録されます。RAW 画像は補正なしで記録されます。

① フィッシュアイ補正撮影中は、ピーキング表示はできません。

① AF ターゲットは、シングルターゲット/スモルトターゲットのみになります。

① フィッシュアイ補正撮影時は、次の機能は使用できません。

- コンポジット撮影/連写/ブラケット撮影/HDR 撮影/多重露出撮影/ライブ ND 撮影/デジタルシフト撮影/デジタルテレコン/ムービー撮影/AF 方式の【C-AF】、【C-AF MF】、【C-AF+TR】、【C-AF+TR MF】/ピクチャーモードの【eポートレート】またはアートフィルター/カスタムセルフタイマー/ハイレゾショット撮影

外部機器と接続する

外部機器との接続について

このカメラは、パソコンやスマートフォンなどの外部機器と接続することによって、いろいろな使い方ができます。☞ 「スマートフォンとの接続について」(P.349)、「パソコンに画像を取り込んで保存する」(P.362)、「接続する」(P.368)、「カメラと外部モニター（テレビ）との接続について」(P.375)

Wi-Fi、Bluetooth®機能をお使いのときのご注意

使用が禁止されている国や地域、場所では、無線 LAN および Bluetooth®を停止させてください。

このカメラは無線 LAN および Bluetooth®を搭載しています。カメラを購入された地域以外での使用については、その国の電波管理規定に違反する恐れがあります。

国や地域により、位置情報を政府への申請なしに取得することは違法になる場合があります。そのため、あらかじめ、当社販売エリアにより位置情報を表示できないよう設定している場合があります。

国外へ持ち出す際には、持ち出す国や地域によって、定められた法律があります。あらかじめご確認の上、必ずそれに従ってください。当社では一切の責任は負えません。

飛行機内など Wi-Fi の使用を禁止されている場所では、機能を停止してください。🔇 「カメラの無線通信を停止する」(P348)

- ① 電波による通信は、傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- ① 送受信アンテナは、グリップ内にあります。金属類をなるべく近づけないでください。
- ① バッグなどにカメラを入れて運ぶ場合、バッグの素材やその他の内容物によってカメラの電波が遮蔽され、スマートフォンと通信できない場合があります。
- ① Wi-Fi 接続中は、バッテリーの消耗が早くなります。バッテリーの残量が少ないと通信中でも通信が途切れる場合があります。
- ① 電子レンジやコードレス電話機など、磁場、静電気、電波の発生するところでは通信しにくくなったり、速度が遅くなったりします。
- ① カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしていると、一部の無線 LAN 機能が使用できません。


カメラの無線通信を停止する




カメラの無線通信（Wi-Fi/Bluetooth®）を停止することができます。

1.  セットアップメニューで **【Wi-Fi/Bluetooth 設定】** を選択して  を押します。
2. **【通信機能】** を選択して  を押します。
3. **【Off】** を選択して **OK** ボタンを押します。

 次の機能が使用できなくなります。

- **【スマートフォン接続】** (P.350) / **【バックグラウンド通信】** (P.353) / **【Bluetooth】** (P.352)

 カメラの電源をオフにしている間のみ無線 LAN/Bluetooth® 機能を無効にする場合は、 セットアップメニュー **【Wi-Fi/Bluetooth 設定】** の **【バックグラウンド通信】** を **【Off】** に設定してください。 「電源オフ時の無線接続を設定する」(P.353)

 カメラの電源オン時に無線接続常時受け付けを解除し、無線信号の発信を停止する場合は、 セットアップメニュー **【Wi-Fi/Bluetooth 設定】** の **【Bluetooth】** を **【Off】** に設定してください。 「電源オン時の無線接続常時受け付けを設定する」(P.352)

スマートフォンと接続する

スマートフォンとの接続について

本機の無線 LAN 機能 (Wi-Fi) と Bluetooth® 機能を使ってスマートフォンと接続し、専用アプリを使用することで、撮影や撮影後の楽しみがもっと広がります。カメラとスマートフォンを接続しておくと、スマートフォンの操作で画像の転送やリモート撮影、画像に位置情報を付与できます。

- すべてのスマートフォンで動作を保证するものではありません。

専用アプリ OM Image Share を使ってできること

- **カメラの画像をスマートフォンへ転送**
カメラでシェア予約 (P.186) した画像をスマートフォンに取り込むことができます。
また、カメラ内の画像をスマートフォン側で選択して転送できます。
- **スマートフォンからリモート撮影**
スマートフォンでカメラをリモート操作し、撮影することができます。
- **写真をステキに加工**
スマートフォンに取り込んだ画像を直感的な操作で印象的な仕上がりにすることができます。
- **カメラの画像に GPS タグを追加**
スマートフォンの GPS 機能を使って、カメラに位置情報や GPS ログを転送し、撮影した画像に GPS タグを付与することができます。

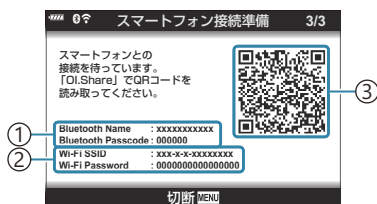
詳細は、当社ホームページをご参照ください。

スマートフォンとの接続設定をする

はじめてスマートフォンとカメラを接続する場合は、初期設定が必要です。

- 接続設定は、スマートフォンの OS の設定画面で行わず、アプリ（OM Image Share）の画面に従って行ってください。

1. あらかじめスマートフォンにインストールした専用アプリ OM Image Share を起動します。
2.  再生メニューで **【スマートフォン接続】** を選択して  を押します。
 - モニター画面の  にタッチしても接続できます。
3. モニターに表示される操作ガイドに従って、Wi-Fi/**Bluetooth** 接続の準備を進めます。
 - モニターに **Bluetooth** ローカルネームとそのパスコード、Wi-Fi SSID とそのパスワード、QR コードが表示されます。



- ① **Bluetooth** ローカルネーム
Bluetooth パスコード
- ② Wi-Fi SSID
Wi-Fi パスワード
- ③ QR コード

4. スマートフォンの OM Image Share の画面下部のカメラのアイコンをタップします。
 - **【かんたん接続設定】** のタブが表示されます。
5. OM Image Share に表示されるガイドに従って QR コードを読み取り、接続設定を進めます。
 - QR コードを読み取れない場合は、OM Image Share に表示されるガイドに従って手動で設定する必要があります。
 - **Bluetooth** : OM Image Share に表示される **Bluetooth** 設定画面でカメラのモニターに表示されているローカルネームを選択し、パスコードを入力します。
 - **Wi-Fi** : OM Image Share に表示される Wi-Fi 設定画面で、カメラのモニターに表示されている SSID とパスワードを入力して接続します。
 - 接続すると、画面に  1 が表示されます。
 - **Bluetooth** [®] のアイコンは次の状態を表しています。
 -  点灯 : 無線信号発信状態
 -  点灯 : 無線接続確立状態

6. Wi-Fi 接続を終了するには、カメラの **MENU** ボタンを押すか、モニター画面の **【切断】** にタッチします。
- OM Image Share でカメラの電源をオフにし、接続を終了することもできます。
 - 初期設定では、Wi-Fi 接続を終了しても **Bluetooth**[®] 接続が維持され、スマートフォンからリモート撮影ができる状態になります。Wi-Fi 接続を終了するときに **Bluetooth**[®] 接続も終了するように設定するには、**【Bluetooth】** を **【Off】** にします。

電源オン時の無線接続常時受け付けを設定する




カメラの電源をオンしている時に、常にスマートフォンや別売のリモコンとの無線接続が可能な状態にするかどうかを設定します。

1.  セットアップメニューで **【Wi-Fi/Bluetooth 設定】** を選択して **▷** を押します。


2. **【Bluetooth】** を選択して **▷** を押します。

ⓘ あらかじめカメラとスマートフォンまたは別売のリモコンの接続設定を完了させてください。完了していない場合、**【Bluetooth】** は選択できません。

3. 設定値を選択して **OK** ボタンを押します。

Off	カメラの電源がオンのときの無線接続常時受け付けを解除し、無線信号の発信を停止します。スマートフォンとの接続には、カメラの再生メニューから 【スマートフォン接続】 (P.350) を行います。
On 	カメラの電源がオンのとき、無線信号が発信され、カメラとスマートフォンは常に接続可能な状態になります。 OM Image Share の操作だけで、いつでもスマートフォンと無線接続し、リモート撮影や写真転送などが可能になります。
On  	カメラの電源がオンのとき、無線信号が発信され、カメラと別売のリモコン (P.368) とのペアリングが完了している場合、常に接続可能な状態になります。

• **【Bluetooth】** 設定の設定値は、カメラの **Bluetooth®** 通信の状態表示も兼ねていますので、設定値である **【Off】** **【On ** **【On ** 以外に、**【停止中】** **【動作中】** が表示されます。

📍 **【On ** 設定時、専用アプリ OM Image Share で GPS ログを取得していると、カメラは撮影時に位置情報をアプリから受け取り、画像に付与します。

電源オフ時の無線接続を設定する

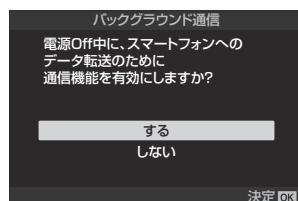
カメラの電源をオフにしているときも、スマートフォンと無線接続するかどうかを設定します。

1. ⓘ セットアップメニューで **[Wi-Fi/Bluetooth 設定]** を選択して ▶ を押します。
2. **[バックグラウンド通信]** を選択して ▶ を押します。
3. 設定値を選択して **OK** ボタンを押します。

毎回確認	カメラの電源をオフにすると、スマートフォンとの無線接続を有効にするかどうかを確認する画面が表示されます。
Off	カメラの電源をオフにしているとき、スマートフォンとの無線接続を無効にします。
On	カメラの電源をオフにしているときもスマートフォンとの無線接続を有効にして、カメラ内の画像をスマートフォンに転送したり、スマートフォンでカメラ内の画像を閲覧できます。

[毎回確認] について

[バックグラウンド通信] を [毎回確認] に設定し、次の条件がすべて満たされた場合、カメラの電源オフ時に次の確認画面が表示されます。



- [通信機能] が [On] になっている
- スマートフォンとの接続設定 (P350) が完了している
- カードが正しく差し込まれている

する	スマートフォンとの無線接続を有効にして、カメラの電源がオフになります。
しない	スマートフォンとの無線接続を無効にして、カメラの電源がオフになります。

- ① 確認画面の表示中に約1分経過すると、スマートフォンとの無線接続を無効にして、カメラの電源がオフになります。
 - ① スマートフォンとの無線接続を有効にしている場合も、次の場合は自動で無効になります。一度カメラの電源をオンにすると、再度有効になります。
 - スマートフォンとの通信がないまま12時間経過した場合
 - カードを抜き差しした場合
 - 電池交換をした場合
 - 電池の本体内存電中に充電エラーが発生した場合
- 🔗 [バックグラウンド通信] が [On] の場合、ON/OFF レバーを ON の位置に合わせてもカメラの電源がすぐにオンにならない場合があります。

スマートフォンに画像を転送する

スマートフォンでカメラ内の画像を選択して取り込むことができます。また、あらかじめシェアする画像をカメラで選択しておくこともできます。📷 「画像の転送予約をする (シェア予約)」 (P.186)

- **[Bluetooth]** (P.352) が **[Off]** または **[On🔴]** になっている場合は **[Bluetooth]** を **[On🟢]** にします。
- **[Bluetooth]** (P.352) が **[On🟢]** になっている場合は、カメラの電源オンと同時に無線通信が常時待機状態になります。

1. OM Image Share で **[写真転送]** をタップします。

- ①一部のスマートフォンでは Wi-Fi 接続の確認画面が表示されます。画面の指示に従って、カメラと接続します。
- カメラ内の画像が一覧で表示されます。

2. 転送したい写真を選択して保存ボタンをタップします。

- 保存が完了したらスマートフォンからカメラの電源をオフできます。
- **[Bluetooth]** (P.352) が **[Off]** または **[On🔴]** になっていても、**[スマートフォン接続]** からの操作で **[写真転送]** は可能です。

カメラの電源オフ時に自動で画像を転送する




次の準備をしておくと、カメラの電源オフ中に自動でスマートフォンに画像を転送します。

- カメラで画像にシェア予約を設定する (P186)。
- 電源オフ時の無線接続を有効にする (P353)。
- スマートフォンが iOS の場合、あらかじめスマートフォンで OM Image Share を起動しておく。

カメラで画像にシェア予約を設定し、カメラの電源をオフにすると、OM Image Share に通知が届きます。通知をタップすると、自動でスマートフォンに画像を転送します。

スマートフォンからリモート撮影する（ライブビューリモコン）

カメラをスマートフォンから操作して、スマートフォンでライブビューを確認しながらリモート撮影（ライブビューリモコン）ができます。

- カメラ側は接続画面になり、撮影操作はスマートフォン側からすべて行います。
- **Bluetooth** (P352) が **Off** または **On**  になっている場合は **Bluetooth** を **On**  にします。
- **Bluetooth** (P352) が **On**  になっている場合は、カメラの電源オンと同時に無線通信が常時待機状態になります。

1. OM Image Share を起動して、**リモコン** ボタンをタップします。

2. **ライブビュー** をタップします。

3. シャッターボタンをタップして撮影します。

- 撮影した画像はカメラ内のカードに記録されます。

- **Bluetooth** (P352) が **Off** または **On**  になっていても、**スマートフォン接続** (P350) からの操作で **ライブビュー** は可能です。
- 使用できる撮影機能に一部制限があります。

スマートフォンからリモート撮影する（ワイヤレスリリースリモコン）

カメラをスマートフォンから操作して、リモート撮影（ワイヤレスリリースリモコン）ができます。

- カメラは通常と全く変わらず撮影操作が可能です。加えて、スマートフォンの画面に表示されるシャッターボタンでも静止画撮影／ムービー撮影ができます。
- **[Bluetooth]** (P352) が **[Off]** または **[On🔒]** になっている場合は **[Bluetooth]** を **[On🔓]** にします。
- **[Bluetooth]** (P352) が **[On🔓]** になっている場合は、カメラの電源オンと同時に無線通信が常時待機状態になります。

1. OM Image Share を起動して、**[リモコン]** ボタンをタップします。

2. **[ワイヤレスリリース]** をタップします。

3. シャッターボタンをタップして撮影します。

- 撮影した画像はカメラ内のカードに記録されます。

- **[Bluetooth]** (P352) が **[Off]** または **[On🔒]** になっていても、**[スマートフォン接続]** (P350) からの操作で **[ワイヤレスリリース]** は可能です。

画像に位置情報をつける

スマートフォンの GPS 機能を使って、カメラが撮影する画像に位置情報を付与することができます。


- **[Bluetooth] (P352)** が **[Off]** または **[On📵]** になっている場合は **[Bluetooth]** を **[On📶]** にします。
- **[Bluetooth] (P352)** が **[On📶]** になっている場合は、カメラの電源オンと同時に無線通信が常時待機状態になります。

1. カメラで撮影を始める前に、スマートフォンで OM Image Share を起動して位置情報付与のスイッチをオンにします。
 - スマートフォンとカメラの時刻を同期する必要があると表示された場合は、OM Image Share のガイドに従ってください。
2. カメラで撮影します。
 - 位置情報の付与が可能になっているときは、撮影画面に 📍 が点灯します。📍 が点滅しているときは、位置情報を取得できていません。
 - カメラの電源を入れた直後や、カメラがスリープ状態から再開した直後は、位置情報の付与が可能になるまでに時間がかかる場合があります。
 - 撮影画面に 📍 が点灯しているときに撮影した画像には、位置情報が付与されます。
 - 位置情報が付与された画像には、📍 が表示されます。
 - ムービーには位置情報は付与されません。
3. カメラで撮影が終わったら、OM Image Share で位置情報付与のスイッチをオフにします。


無線 LAN/Bluetooth® 設定を初期化する

【Wi-Fi/Bluetooth 設定】の設定内容を初期化します。

1.  セットアップメニューで【Wi-Fi/Bluetooth 設定】を選択して ▶ ボタンを押します。
2. 【Wi-Fi/Bluetooth 設定リセット】を選択して ▶ を押します。
3. 【実行】を選択して OK ボタンを押します。

 次のメニュー項目が初期化されます。

- 【通信機能】(P.348) / 【Bluetooth】(P.352) / 【接続パスワード設定】(P.361) / 【バックグラウンド通信】(P.353)

 初期化すると、スマートフォンとの接続設定も初期化されます。スマートフォンと接続するには、再度初期設定を行ってください (P.350)。またリモコンとのペアリングも解除されず。リモコンと無線接続するには、再度ペアリングを行ってください (P.368)。

パスワードを変更する

スマートフォン接続で使うパスワードを変更します。

1. ⓘ セットアップメニューで **【Wi-Fi/Bluetooth 設定】** を選択して ▶ ボタンを押します。

2. **【接続パスワード設定】** を選択して ▶ を押します。

3. 操作ガイドに従って Ⓞ ボタンを押します。

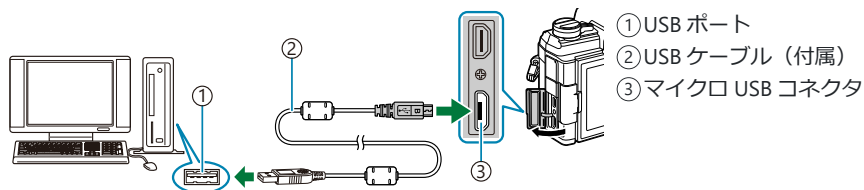
- 新しいパスワードに設定されます。

- スマートフォン接続のパスワードと **Bluetooth®** 接続のパスコードが両方とも変更されます。
- パスワード変更後は、再度スマートフォンとの接続設定を行ってください。🔗 [「スマートフォンとの接続設定をする」](#) (P350)

パソコンと接続する

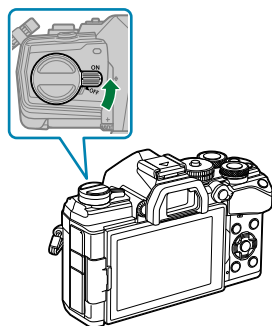
パソコンに画像を取り込んで保存する

1. カメラの電源がオフになっていることを確認し、カメラとパソコンを接続します。



⚠ USB ポートの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。

2. カメラの電源をオンにします。



- モニターに USB ケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。

- ⚠ 画面が表示されないときは、カスタムメニューの **[USB 接続モード]** (P330) を **[毎回確認]** に設定してください。
- ⚠ カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合、電池残量が著しく不足している可能性があります。充電した電池を使用してください。

3. △▽ を押して **【ストレージ】** または **【MTP】** を選択します。
OK ボタンを押します。

- **【ストレージ】** : パソコンにカードリーダーとして接続します。
- **【MTP】** : パソコンにポータブルデバイスとして接続します。



4. カメラが新しい機器としてパソコンに認識されます。

- ① USB 端子を装備していても、次の環境では正常な動作は保証いたしません。
 - 拡張カードなどで USB 端子を増設したパソコン / 工場出荷時に OS がインストールされていないパソコン / 自作パソコン
- ① パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。
- ① パソコンに認識されない場合は、一度 USB ケーブルを抜いてから、再度パソコンに接続してください。
- ① **【MTP】** を選択したときは、4GB を超える動画ファイルを取り込むことはできません。

ソフトウェアのインストール


カメラとパソコンを直接 USB 接続して使うときには、次のソフトウェアをインストールしてください。

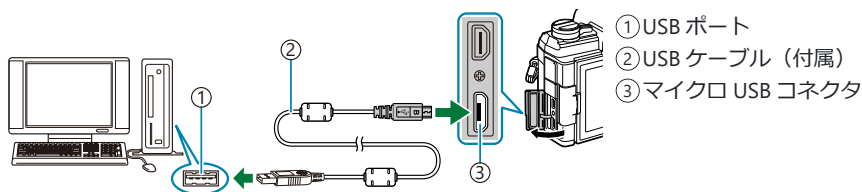
OM Workspace

カメラで撮影した静止画やムービーをパソコンに取り込んで、閲覧や編集を行うためのアプリケーションソフトウェアです。カメラのファームウェアのアップデートもできます。ソフトウェアのダウンロードについては当社ホームページをご覧ください。ソフトウェアのダウンロードにはご利用の製品のシリアル No を入力する必要があります。

カメラを Web カメラとして使用する (WEB カメラ)

カメラをパソコンに接続して、オンライン会議やライブ配信用の Web カメラとして使用することができます。特別なドライバーやアプリケーションが必要ないため、USB 接続するだけでカメラで取り込んだ映像や音声をパソコンに転送できます (USB ストリーミング)。

1. カメラの電源がオフになっていることを確認し、モードダイヤルを  に合わせます。
2. カメラとパソコンを接続します。



① USB ポートの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。

3. カメラの電源をオンにします。
 - ① 画面に表示されないときは、カスタムメニューの **[USB 接続モード] (P330)** を **[毎回確認]** に設定してください。
 - ② カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合、電池残量が著しく不足している可能性があります。充電した電池を使用してください。
4. **△▽** ボタンで **[WEB カメラ]** を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - カメラが撮影待機状態になります。
 - 画面に **ψ** のアイコンが表示されます。
 - カメラの操作で明るさやピントを調整します。
5. パソコン側で、ご利用になる Web 会議・配信サービスのアプリケーションを起動します。アプリケーションのデバイス設定で接続したカメラの機種名を選択します。
 - 映像および音声の転送が開始されます。
 - **[HD]** (1280×720) のムービーサイズで転送されます。
 - **[カメラアイコン] 画質モード** の **[フレームレート]** の設定が **[60p]**、**[30p]**、または **[24p]** のときは **[30p]** で転送され、**[50p]** または **[25p]** のときは **[25p]** で転送されます。

📷 カードが入っていない状態でも、Web カメラとして使用することができます。

📷 外部マイクを接続したときは、外部マイクからの音声を転送します。

① 次の場合は、パソコンに映像および音声を転送できません。

- 撮影モードが 📷 以外の場合／再生画面およびメニュー画面を表示している場合

これらの操作を行うと、ご利用のアプリケーションによっては映像や音声が一時的に乱れる場合があります。

① パソコンに映像および音声を転送中は、次の制限があります。

- 静止画撮影／ムービー撮影はできません。

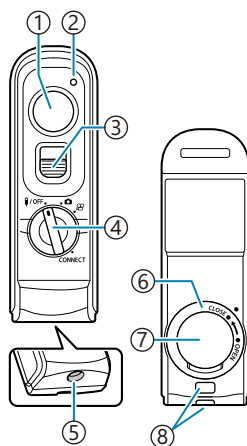
- 📷 画質モードの設定はできません。

- 📷 動画メニュー [📷 画質設定] の [📷 ピクチャーモード] (P.229) を [On] にしていても無効になります。

① 露出などカメラの設定をパソコン側で変更することはできません。

リモコンを使う

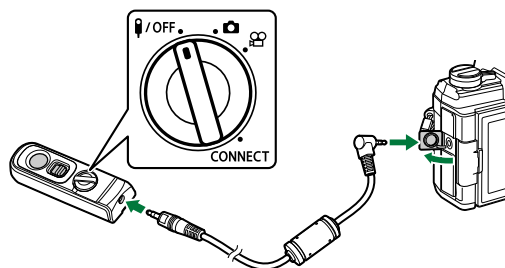
各部の名称



- ①シャッターボタン
- ②通信ランプ
- ③シャッターボタンロックレバー
- ④モードダイヤル (OFF / 照相机 / TV / CONNECT)
- ⑤ケーブル端子
- ⑥電池蓋
- ⑦電池カバー
- ⑧ストラップ取り付け部

接続する

有線で接続する



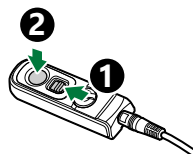
リモコンのモードダイヤルを **OFF** に合わせ、リモコンとカメラを付属のケーブルで接続します。シャッターボタンを押して静止画撮影します。

ムービー撮影時は、あらかじめ **シャッターボタン機能** を **REC** に設定してください。

動画メニュー **ボタン/ダイヤル/レバー** の **シャッターボタン機能** (P.229)

① 有線接続時には無線操作ができません。

② シャッターボタンロックレバーを上スライドさせてシャッターボタンを押すと、バルブ撮影などを行うことができます。

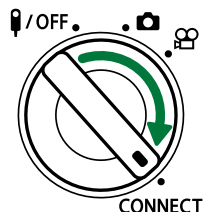
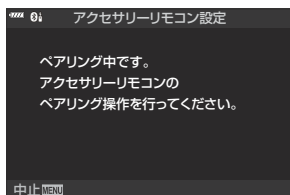


無線で接続する

リモコンを無線で接続するときは、まずカメラとリモコンのペアリング（機器同士の接続・登録）が必要です。

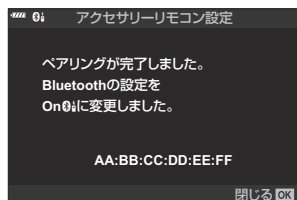
1. **セットアップメニュー**で **Wi-Fi/Bluetooth 設定** を選択して **▷** を押します。
2. **アクセサリリモコン設定** を選択して **▷** を押します。
3. **ペアリング開始** を選択して **OK** ボタンを押します。

4. [ペアリング中] のメッセージが表示されたら、リモコンのモードダイヤルを **CONNECT** に合わせて保持します。



- 3 秒間保持するとペアリングが開始されます。ペアリングが完了するまで **CONNECT** の位置で保持してください。完了する前にモードダイヤルを動かすとペアリングが中止され、通信ランプが高速で点滅します。
- ペアリングが開始すると通信ランプが点灯します。

5. 接続完了のメッセージが表示されたら、**OK** ボタンを押して終了します。



- ペアリングが完了するとリモコンの通信ランプが消灯します。
 - ペアリングが完了するとカメラの **[Bluetooth]** (P.352) が自動的に **[On]** に設定されます。
- ① 接続完了のメッセージが表示される前にリモコンのモードダイヤルを動かしたり、カメラの **MENU** ボタンを押したりすると、ペアリング動作は中止します。接続済みのペアリング情報は初期化されます。再度ペアリングを行ってください。
- ① ペアリングされていない状態でモードダイヤルを **CONNECT** の位置に合わせて 3 秒間保持したとき、またはペアリングに失敗したときは、接続済みのペアリング情報は初期化されます。再度ペアリングを行ってください。

ペアリングを解除する

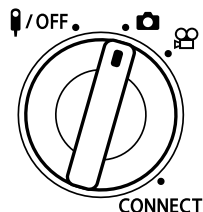
1. ⓘ セットアップメニューで **【Wi-Fi/Bluetooth 設定】** を選択して ▶ を押します。
2. **【アクセサリリモコン設定】** を選択して ▶ を押します。
3. **【ペアリング解除】** を選択して **OK** ボタンを押します。
4. **【実行】** を選択して **OK** ボタンを押します。

① 以前に接続したのとは違うリモコンとペアリングするときは、**【ペアリング解除】** を実行して以前のペアリング情報を初期化する必要があります。

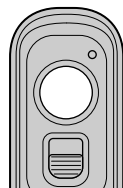
リモコンからリモート撮影する

カメラとリモコンを無線で接続するときは、**[Bluetooth] (P.352)** が **[On📶]** になっていることを確認してください。**[On📶]** のときは画面に 📶 が表示され、カメラの電源オンと同時にリモコンとの無線通信が常時待機状態になります。

1. リモコンのモードダイヤルを 📷 または 🎥 に合わせます。



2. リモコンのシャッターボタンを押して撮影します。



- リモコンのモードダイヤルが 📷 (静止画撮影モード) のとき、リモコンのシャッターボタンを1段目まで浅く押し込むと(半押し)、合焦マーク(●)が表示され、ピントの合ったところに緑色の枠(AFターゲット)が表示されます。
- リモコンのモードダイヤルを 🎥 (ムービー撮影モード) のとき、リモコンのシャッターボタンを押すと、ムービー撮影を開始します。ムービー撮影を終了するときは、再度リモコンのシャッターボタンを押します。

リモコンの通信ランプの表示

1 回点灯	リモコンの操作が正常にカメラに送信されています。
高速点滅 (1 秒)	リモコンの操作が正常にカメラに送信されていません。カメラとリモコンの距離を近づけてください。それでも解消しない場合は、カメラの設定を確認してください。
高速点滅 (3 秒)	カメラとリモコンのペアリングに問題があります。再度ペアリングを行ってください。
点灯しない	次の原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none">• リモコンの電池がない• リモコンのモードダイヤルが OFF の位置になっている• カメラとリモコンがケーブルで接続されている

- ① **[Bluetooth]** (P.352) が **[On]** になっているにもかかわらず、**[スマートフォン接続]** (P.350) からの操作でスマートフォンとの接続機能は動作可能です。ただし、スマートフォンとの接続中は、リモコンから操作できません。
- ① **[通信機能]** (P.348) が **[Off]** のときは、ペアリングやリモコンからのリモート撮影はできません。
- ① リモコンを無線で接続中はカメラはスリープモードには入りません。
- ① リモコンのモードダイヤルを **OFF** にすると、**[スリープ時間]** の設定に従ってスリープモードに入ります。☞ **カスタムメニュー** ② **[スリープ時間]** (P.289)
- ① **[Bluetooth]** (P.352) が **[On]** のときは、リモコンのモードダイヤルを **OFF** にしないと、カメラはスリープモードには入りません。
- ① カメラがスリープ状態のときにリモコン操作をした場合、カメラの動作再開まで時間がかかります。
- ① カメラがスリープ状態から動作再開までの間はリモコンの操作を受け付けません。カメラの動作再開後にリモコンの操作を行ってください。
- ① リモコン使用後はリモコンのモードダイヤルを **OFF** にしてください。

リモコンの MAC アドレスについて

リモコンの MAC アドレスは、リモコンに同梱の保証書に記載されています。

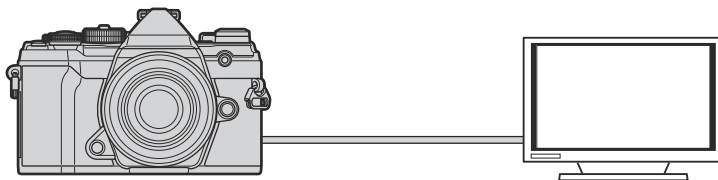
リモコンの使用上のご注意

- 電池カバーを引っ張ったり、電池カバーを持って電池蓋を回さないでください。
- 電池を尖ったもので突かないでください。
- ケーブルを持ってリモコンを振り回したり、落下させないでください。
- 付属のケーブルのプラグや、リモコンのケーブル端子が濡れていると無線操作が正常に動作しない、有線接続時の動作が不安定になることがあります。
- 電池蓋を閉めるときは、異物が付着していないことを確認してください。
- ケーブルを抜き差しするときはモードダイヤルを **⏻/OFF** にしてください。

外部モニター（テレビ）と接続する （HDMI）

カメラと外部モニター（テレビ）との接続について

カメラとテレビを HDMI ケーブルで直接接続して、画像を表示できます。再生画像をテレビに表示して、大勢で楽しむことができます。テレビに接続しているときは、テレビのリモコンで表示の操作をすることもできます。特別なアプリは必要ありません。



ムービー撮影のために HDMI ケーブルで外部モニターやレコーダーと接続して使うこともできます。

① HDMI ケーブルは、市販品を別途ご用意ください。また、HDMI 正規認証の HDMI ケーブルをお使いください。

カメラの画像やムービーをテレビで見る (HDMI)

カメラをハイビジョン対応のテレビに HDMI ケーブルで直接接続して、画像をテレビに表示します。テレビに接続しているときは、リモコンで表示の操作をすることもできます。

HDMI の出力信号を設定する

テレビに出力する信号の設定をします。テレビの性能やお使いの地域に合わせてムービーサイズやフレームレートを設定できます。テレビの入力設定に合わせて選択してください。

出力サイズ	HDMI 端子に出力する映像信号の形式を設定します。 [C4K] : 4K デジタルシネマ画質 (4096×2160) で出力します。 [4K 優先] : 4K 画質 (3840×2160) 優先で出力します。 [1080p 優先] : フルハイビジョン形式 (1080p) 優先で出力します。 [720p 優先] : ハイビジョン形式 (720p) 優先で出力します。 [480p/576p] : 480p/576p 形式で出力します。
HDMI コントロール	再生モードのとき、テレビのリモコンを使ってカメラの操作ができます (P379)。 [Off] または [On] を選択します。[On] に設定中は、再生以外のカメラ操作はできません。
出力フレームレート	NTSC 地域 (60p 優先) か PAL 地域 (50p 優先) に合わせて出力する信号のフレームレートを選択します。

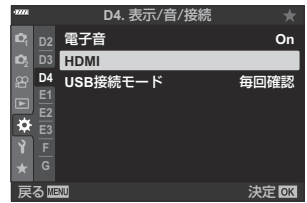
- HDMI 接続中に、[HDMI コントロール] および [出力フレームレート] の設定は変更できません。
- 記録されている音声フォーマットに対応している機器以外では、音声は再生されません。
- [HDMI コントロール] で対応可能な機能は、接続するテレビによって異なります。テレビの取扱説明書をご確認ください。

1. MENU ボタンを押して、メニューを表示します。

2.  カスタムメニュー **D4** (表示/音/接続) のメニューを表示します。



3. $\Delta \nabla$ ボタンで **[HDMI]** を選択し、 \triangleright ボタンを押します。



4. $\Delta \nabla$ ボタンで設定する項目を選択し、 \triangleright ボタンを押します。



5. $\Delta \nabla$ ボタンで項目を選択し、**OK** ボタンを押します。



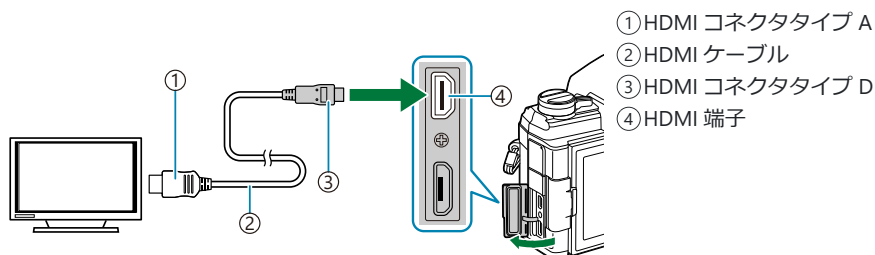
- 必要に応じて手順 4 と 5 を繰り返します。

6. **MENU** ボタンを繰り返し押し、メニューを終了します。

カメラをテレビに接続する

HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。

1. カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとテレビを HDMI ケーブルで接続します。



2. テレビの入力を切り換えてカメラの電源を入れます。

- テレビにカメラのモニターの映像が表示されます。撮影した画像を見るときは、▶ ボタンを押します。

- **[HDMI コントロール]** (P.379) が **[On]** のときは、HDMI ケーブルを接続するとカメラのモニターは消灯します。
- テレビの入力切り換えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。
- パソコンとの USB 接続中は、HDMI 出力は行われません。
- **🔗 動画メニュー** **[🔗 HDMI 出力]** の **[出力モード設定]** (P.229) が **[記録モード]** のときは、設定されているムービー画質モードで出力します。設定されている画質モードにテレビが対応していない場合は、画像は表示されません。**[🔗 画質モード]** で **[4K]**、**[C4K]** は設定できません。
- 静止画撮影状態のときは信号形式を **[4K 優先]** または **[C4K]** にしていても、1080p 優先で出力されます。

テレビのリモコンで操作する (HDMI コントロール)

カメラをテレビに HDMI ケーブルで直接接続しているときは、リモコンで表示の操作をすることもできます。

- テレビが HDMI コントロールに対応している必要があります。テレビの取扱説明書をご確認ください。

On	再生モードのとき、テレビのリモコンを使ってカメラの操作ができます。[On] に設定されていると、再生以外のカメラ操作はできません。
Off	テレビのリモコンでカメラの操作はできません。情報表示は、テレビの画面にのみ表示されます。

1. MENU ボタンを押して、メニューを表示します。

2. * カスタムメニュー **D4** (表示/音/接続) で [HDMI] を選択し、▷ ボタンを押します。



3. △▽ ボタンで [HDMI コントロール] を選択し、▷ ボタンを押します。



4. △▽ ボタンで [On] を選択し、OK ボタンを押します。



5. MENU ボタンを繰り返し押して、メニューを終了します。

6. カメラとテレビを HDMI ケーブルで接続します。

- テレビのリモコンを操作します。テレビに表示された操作ガイドに従って操作できます。
- 1 コマ再生で、リモコンの「赤」ボタンで情報表示の切り換え、「緑」ボタンでインデックス表示への切り換えができます。

① テレビによっては使用できない機能があります。

① テレビに表示中は、カメラのモニター表示は消灯します。

機能と初期設定一覧

機能と初期設定一覧

LV コントロール/LV スーパーコンパネ (P.382)

 撮影メニュー (P.387)

 動画メニュー (P.391)

 再生メニュー (P.395)

 セットアップメニュー (P.396)

 カスタムメニュー (P.397)

LV コントロール / LV スーパーコンパネ

*1 : [カスタム登録] が登録可能な機能

*2 : [リセット] (フル) で初期設定に戻る機能

*3 : [リセット] (標準) で初期設定に戻る機能



撮影モード : P/A/S/M/B

機能	初期設定	*1	*2	*3
ISO 感度	Auto	✓	✓	✓
フラッシュ		✓	✓	✓
フラッシュ補正	±0	✓	✓	✓
マニュアル発光量	 FULL (フラッシュを [ MANUAL] に設定時)	✓	✓	✓
 手ぶれ補正	S-IS Auto	✓	✓	✓
 手ぶれ補正	M-IS 	✓	✓	✓
ホワイトバランス	Auto ([WB オート電球色残し] は [On])	✓	✓	✓
WB 補正 A	±0	✓	✓	—
WB 補正 G	±0	✓	✓	—
色温度	5400K ([WB モード] を [CWB] に設定時)	✓	✓	—
AF ターゲット選択	中央 / シングル (1点)	✓	✓	✓
AF 方式	S-AF	✓	✓	✓
 顔優先	顔優先 Off	✓	✓	—
	<input type="checkbox"/>	✓	✓	✓
測光		✓	✓	✓



機能	初期設定	*1	*2	*3
 画質モード	 F (ハイレゾショット設定時：  F+RAW)	✓	✓	✓
 画質モード	 60p	✓	✓	✓
ピクチャーモード	Natural	✓	✓	✓
シャープネス	±0	✓	✓	—
コントラスト	±0	✓	✓	—
彩度	±0	✓	✓	—
階調	階調標準	✓	✓	—
効果	— ([ピクチャーモード] を [i-Finish] に設定時：  Standard)	✓	✓	—
フィルター効果	— ([ピクチャーモード] を [モノトーン] に設定時： N:無し)	✓	✓	✓
調色	— ([ピクチャーモード] を [モノトーン] に設定時： N:無し)	✓	✓	✓
アスペクト	4:3	✓	✓	✓
色空間	sRGB	✓	✓	✓
ハイライト&シャドウコントロール	<input checked="" type="checkbox"/> (±0)	✓	✓	✓
ムービー録音	On	✓	✓	✓

撮影モード： (ムービー)

機能	初期設定	*1	*2	*3
ISO 感度	<p> モード (ムービー露出モード) を [P] / [A] / [S] に設定時：Auto (固定)</p> <p> モード (ムービー露出モード) を [M] に設定時：200</p>	—	✓	✓
フラッシュ	発光禁止 (固定)	—	—	—
フラッシュ補正	±0 (固定)	—	—	—
 手ぶれ補正	S-IS Auto	✓	✓	✓
 手ぶれ補正	M-IS ¹	✓	✓	✓
ホワイトバランス	Auto ([WB オート電球色残し] は [On])	—	✓	✓
WB 補正 A	±0	—	✓	—
WB 補正 G	±0	—	✓	—
色温度	5400K ([WB モード] を [CWB] に設定時)	—	✓	—
AF ターゲット選択	中央/グループ (9点)	✓	✓	✓
AF 方式	C-AF	✓	✓	✓
 顔優先	顔優先 Off	✓	✓	—
 / 	 (固定)	—	—	—
測光	 (固定)	—	—	—
 画質モード	 F	✓	✓	✓
 画質モード		✓	✓	✓
ピクチャーモード	Natural	✓	✓	✓

機能	初期設定	*1	*2	*3
シャープネス	±0	✓	✓	—
コントラスト	±0	✓	✓	—
彩度	±0	✓	✓	—
階調	階調標準	✓	✓	—
アスペクト	16:9 (固定) 【  画質モード】を C4K に設定時： 17:9	—	—	—
色空間	sRGB (固定)	—	—	—
ハイライト&シャドウコントロール	<input checked="" type="checkbox"/> (±0)	✓	✓	✓
 モード	P	—	✓	—
ムービー録音	On	✓	✓	✓

撮影モード：RCモード

機能	初期設定	*1	*2	*3
 A グループ A	TTL	✓	✓	✓
 B グループ B	Off	✓	✓	✓
 C グループ C	Off	✓	✓	✓
 カメラ側フラッシュ	Off	✓	✓	✓
発光量補正值	±0 (TTL、Auto 時)	✓	✓	✓
発光量	1/1 (Manual 時)	✓	✓	✓
 /FP	 (通常発光)	✓	✓	✓
 レベル	Low	✓	✓	✓
チャンネル	1	✓	✓	✓

📷 撮影メニュー

*1 : [カスタム登録] が登録可能な機能

*2 : [リセット] (フル) で初期設定に戻る機能

*3 : [リセット] (標準) で初期設定に戻る機能

機能		初期設定	*1	*2	*3
リセット/ カスタム設定	リセット	標準	—	✓	—
	カスタム登録	撮影モード : P 画質モード : 📷 F+RAW	—	✓	—
	カスタム保持設定	保持しない	—	✓	—
	カスタム呼出	—	—	✓	—
ピクチャーモード		📷 Natural	✓	✓	✓
📷 画質モード		📷 F (ハイレゾショット設定時 : 50M F+RAW)	✓	✓	✓
アスペクト比設定		4:3	✓	✓	✓
デジタルテレコン		Off	✓	✓	✓
📷/📷		☐	✓	✓	✓

機能		初期設定	*1	*2	*3
インターバル撮影設定		Off	—	✓	✓
	コマ数	99	—	✓	✓
	撮影開始待ち時間	00:00:01	—	✓	✓
	撮影間隔	00:00:01	—	✓	✓
	撮影動作	撮影間隔優先	—	✓	✓
	露出平準化	On	—	✓	✓
	タイムラプス動画	Off	—	✓	✓
	タイムラプス動画設定	ムービーサイズ	FullHD	—	✓
フレームレート		10fps	—	✓	✓
ハイレゾショット	ハイレゾショット	📺0 秒	✓	✓	—
	⚡ 充電待ち時間	0 秒	✓	✓	—
	撮影方法	手持ち	✓	✓	—
ライブ ND 撮影		Off	✓	✓	✓
	ND 段数	ND8 (3EV)	✓	✓	—
	LV シミュレーション	On	✓	✓	—

機能		初期設定	*1	*2	*3	
ブラケット撮影		Off	✓	✓	✓	
	AE BKT	3f 1.0EV	✓	✓	✓	
	WB BKT	A-B	✓	✓	✓	
		G-M	Off	✓	✓	✓
	FL BKT	Off	✓	✓	✓	
	ISO BKT	Off	✓	✓	✓	
	ART BKT	Off	✓	✓	✓	
	Focus BKT	Off	✓	✓	✓	
		深度合成	Off	✓	✓	✓
		撮影枚数	[深度合成] を [Off] に設定時 : 99 [深度合成] を [On] に設定時 : 8	✓	✓	✓
		フォーカス ステップ	5	✓	✓	✓
⚡ 充電待ち 時間		0 秒	✓	✓	—	
HDR 撮影		Off	✓	✓	✓	
多重露出撮 影	コマ数	Off	—	✓	✓	
	自動ゲイン補正	Off	—	✓	✓	
	再生画+多重	Off	—	✓	✓	
デジタルシフト撮影		Off	✓	✓	✓	

機能		初期設定	*1	*2	*3	
低振動 [◆]/ 静音 [♥] 撮 影	低振動 [◆] 撮影	[◆]0 秒	✓	✓	—	
	静音 [♥] 撮影	[♥]0 秒	✓	✓	—	
	静音 [♥] 長秒時ノイズ低減	Off	✓	✓	—	
	静音 [♥] 撮影時動作	—	✓	✓	—	
		電子音	禁止	✓	✓	—
		AF 補助光	禁止	✓	✓	—
フラッシュ		禁止	✓	✓	—	

📷 動画メニュー

*1: [カスタム登録] が登録可能な機能

*2: [リセット] (フル) で初期設定に戻る機能

*3: [リセット] (標準) で初期設定に戻る機能

機能		初期設定	*1	*2	*3	
📷 モード設定	📷 モード	P	—	✓	—	
	📷 フリッカースキャン	Off	—	✓	✓	
📷 画質設定	📷 画質モード	MOV📷 4K 30p	✓	✓	✓	
	📷 MISO オート設定	上限/基準設定	上限値: 6400 基準値: 200	✓	✓	✓
		📷 MISO オート有効	On	—	✓	—
	📷 高感度ノイズ低減	標準	✓	✓	✓	
📷 AF/手ぶれ補正設定	📷 WB モード	オート	—	✓	✓	
	📷 全 WB モード補正	A±0、G±0	—	✓	—	
	📷 WB オート電球色残し	On	—	✓	✓	
	📷 ピクチャーモード	Off	✓	✓	—	
	📷 AF 方式	C-AF	✓	✓	✓	
📷 AF/手ぶれ補正設定	📷 C-AF 動作速度	±0	✓	✓	✓	
	📷 C-AF 追従感度	±0	✓	✓	✓	
	📷 手ぶれ補正	M-IS I	✓	✓	✓	

機能		初期設定	*1	*2	*3	
☰ ボタン/ ダイヤル/ レバー	☰ ボタン 機能	 電源	Off	—	✓	—
		 切り替え	Image 切り替え	—	✓	—
		 補正	露出補正	—	✓	—
		 REC	REC	—	✓	—
		 AEL/AFL	AEL/AFL	—	✓	—
		 ISO	ISO 感度	—	✓	—
		 拡大	[ZOOM IN]	—	✓	—
		 縮小	[ZOOM OUT] (電動ズーム)	—	✓	—
		 WB	[WB] (WB モード)	—	✓	—
		 拡大	拡大	—	✓	—
		 L-Fn	AF 停止	—	✓	—

機能		初期設定	*1	*2	*3	
ボタン/ ダイヤル/ レバー	ダイヤル機能	P:レバー 1  : 露出補正  : 露出補正	—	✓	—	
		P:レバー 2  : 露出補正  : 露出補正	—	✓	—	
		A:レバー 1  : 露出補正  : 絞り	—	✓	—	
		A:レバー 2  : 露出補正  : 露出補正	—	✓	—	
		S:レバー 1  : 露出補正  : シャッター速度	—	✓	—	
		S:レバー 2  : 露出補正  : 露出補正	—	✓	—	
		M:レバー 1  : 絞り  : シャッター速度	—	✓	—	
		M:レバー 2  : 露出補正  : ISO 感度	—	✓	—	
	Fn レバー機能		mode2	—	✓	—
		mode2	AF 方式/AF ターゲットモード/AF ターゲット位置	—	✓	—
シャッターボタン機能			—	✓	—	
電動ズーム速度		標準	—	✓	—	

機能		初期設定	*1	*2	*3	
表示設定	Control 表示	LV コントロール、LV スーパーコンパネ	—	✓	—	
	Info 表示	カスタム表示 1	—	✓	—	
	動画撮影中の赤枠表示		On	—	✓	—
	タイムコード設定	タイムコードモード	DF	—	✓	—
		カウントアップ方式	レックラン	—	✓	—
		タイムコード値設定	0:00:00	—	✓	—
ビューアシスト		Off	—	✓	—	
ムービー録音		On	✓	✓	✓	
録音レベル調整	録音レベル調整	内蔵 	±0	—	✓	—
		MIC 	±0	—	✓	—
	 入力リミッター		On	—	✓	—
	風切り音低減		Off	—	✓	—
	録音レート		48kHz/16bit	✓	✓	—
	 プラグインパワー		Off	—	✓	—
HDMI 出力	出力モード設定		モニターモード	—	✓	—
	REC トリガー		Off	✓	✓	—
	タイムコード		On	✓	✓	—

▶ 再生メニュー

*1 : [カスタム登録] が登録可能な機能

*2 : [リセット] (フル) で初期設定に戻る機能

*3 : [リセット] (標準) で初期設定に戻る機能

機能		初期設定	*1	*2	*3
回転再生		On	✓	✓	✓
編集	画像選択	RAW 編集	—	—	—
		JPEG 編集	—	—	—
		ムービー編集	—	—	—
		録音	—	—	—
	画像合成	—	—	—	
プリント予約		—	—	—	—
全プロテクト解除		—	—	—	—
全シェア予約解除		—	—	—	—
スマートフォン接続		—	—	—	—

👉 セットアップメニュー

*1: [カスタム登録] が登録可能な機能

*2: [リセット] (フル) で初期設定に戻る機能

*3: [リセット] (標準) で初期設定に戻る機能

機能		初期設定	*1	*2	*3
カードセットアップ		—	—	—	—
日時設定	日時	—	—	—	—
	タイムゾーン	—	—	—	—
		English	—	—	—
モニター調整		☺ ±0、☹ ±0、Natural	✓	✓	—
撮影画像の確認時間		Off	✓	✓	—
Wi-Fi/Bluetooth 設定	通信機能	On	—	✓	—
	Bluetooth	Off	—	✓	—
	アクセサリリモコン設定	—	—	—	—
	バックグラウンド通信	Off	—	✓	—
	RAW+JPEG シェア予約	JPEG	—	✓	—
	接続パスワード設定	—	—	—	—
	Wi-Fi/Bluetooth 設定リセット	—	—	—	—
ファームウェアバージョン		—	—	—	—

⚙️ カスタムメニュー

*1 : [カスタム登録] が登録可能な機能



*2 : [リセット] (フル) で初期設定に戻る機能

*3 : [リセット] (標準) で初期設定に戻る機能

A1 AF/MF

機能		初期設定	*1	*2	*3
 AF 方式		S-AF	✓	✓	✓
 AF+MF		Off	✓	✓	✓
 AEL/AFL モード	S-AF	mode3	✓	✓	✓
	C-AF	mode4	✓	✓	✓
	MF	mode3	✓	✓	✓
	 AF	mode3	✓	✓	✓
	半押し AF	有効	✓	✓	✓
	顔優先 AF	 : On  : On	✓	✓	✓
AF スキャン		mode2	✓	✓	✓
 C-AF 追従感度		±0	✓	✓	✓
 C-AF 中央スタート		 (オールターゲット)	✓	✓	✓
 C-AF 中央優先		5 点 / 9 点 / 25 点	✓	✓	✓

A2 AF/MF

機能		初期設定	*1	*2	*3
  Mode 表示設定		オール、スモール、グループ 5 点 / 9 点 / 25 点	✓	✓	✓

機能		初期設定	*1	*2	*3
AF ターゲット表示		On1	✓	✓	✓
[:::]Home 登録		AF ターゲットモード ([ALL]), AF ターゲット位置	—	✓	✓
[:::] 選択画面設定		セット1	✓	✓	✓
		[:::]Mode 変更	✓	✓	✓
		[:::]Mode 変更	✓	✓	✓
		☑ Pos 変更	✓	✓	✓
		☑ Pos 変更	✓	✓	✓
[:::] 循環設定	[:::] 循環選択	Off	✓	✓	✓
	[ALL] 経由	しない	✓	✓	✓
[:::] ターゲットモード設定		1×1/縦横 1Step	✓	✓	—
 [:::] 縦位置/横位置切換		Off	✓	✓	—

A3 AF/MF

機能		初期設定	*1	*2	*3
AF ターゲットパッド		Off	✓	✓	✓
AF リミッター		Off	✓	✓	✓
	距離設定	セット1	✓	✓	✓
	リリース優先	On	✓	✓	✓
AF 補助光		On	✓	✓	✓
 顔優先		Off	✓	✓	—
AF 微調節 ¹		Off	✓	✓	✓

1 記憶されている情報は、[リセット] (フル/標準) でも消去されません。



A4 AF/MF

機能		初期設定	*1	*2	*3
星空 AF 設定		速度優先	✓	✓	✓
プリセット MF 距離		999.9 m	✓	✓	✓
MF アシスト	拡大	Off	✓	✓	—
	ピーキング	Off	✓	✓	—
	フォーカス距離指 標	Off	✓	✓	—
MF クラッチ		有効	✓	✓	✓
フォーカスリング		↻	✓	✓	✓
BULB/TIME 中 MF		On	✓	✓	✓
レンズリセット		Off	✓	✓	✓

B ボタン/ダイヤル

機能		初期設定	*1	*2	*3
📷 ボタン 機能		連写/セルフタイマー	✓	✓	—
		I/O 切替	✓	✓	—
		露出補正	✓	✓	—
		REC	✓	✓	—
		AEL/AFL	✓	✓	—
		ISO 感度	✓	✓	—
		[AF-ON]	✓	✓	—
		[AF-ON] (フラッシュ)	✓	✓	—
		[AF-ON] (連写/セルフタイマー)	✓	✓	—
		プレビュー	✓	✓	—
		AF 停止	✓	✓	—

機能			初期設定	*1	*2	*3
📷 ダイヤル機能	P	レバー 1	: 露出補正 : Ps	✓	✓	—
		レバー 2	: ISO 感度 : WB モード	✓	✓	—
	A	レバー 1	: 露出補正 : 絞り	✓	✓	—
		レバー 2	: ISO 感度 : WB モード	✓	✓	—
	S	レバー 1	: 露出補正 : シャッター速度	✓	✓	—
		レバー 2	: ISO 感度 : WB モード	✓	✓	—
	M/B	レバー 1	: 絞り : シャッター速度	✓	✓	—
		レバー 2	: 露出補正 : ISO 感度	✓	✓	—
Menu		: ◀ : ▶/Value	—	✓	—	
		: コマ送り/戻し :	—	✓	—	
ダイヤル方向	露出設定	ダイヤル 1	✓	✓	—	
	Ps 設定	ダイヤル 1	✓	✓	—	
📷 Fn レバー機能		mode2	—	✓	—	
	mode2	AF 方式/AF ターゲットモード/AF ターゲット位置	—	✓	—	
Fn レバー/電源レバー		Fn	—	✓	—	
📷 電動ズーム速度		標準	✓	✓	—	

機能	初期設定	*1	*2	*3
  ボタン機能	<input checked="" type="checkbox"/>	—	✓	—

Q1 レリーズ/連写/手ぶれ補正

機能	初期設定	*1	*2	*3		
レリーズ優先 S	Off	✓	✓	✓		
レリーズ優先 C	On	✓	✓	✓		
 L 設定		連写速度	6fps	✓	✓	✓
		枚数リミッター	Off	✓	✓	✓
		連写速度	10fps	✓	✓	✓
		枚数リミッター	Off	✓	✓	✓
	Pro Cap	プリ連写枚数	8 枚	✓	✓	✓
		枚数リミッター	25 枚	✓	✓	✓

機能			初期設定	*1	*2	*3
 H 設定		連写速度	10fps	✓	✓	✓
		枚数リミッター	Off	✓	✓	✓
		連写速度	30fps	✓	✓	✓
		枚数リミッター	Off	✓	✓	✓
	Pro Cap	連写速度	30fps	✓	✓	✓
		プリ連写枚数	12 枚	✓	✓	✓
		枚数リミッター	25 枚	✓	✓	✓
	フリッカー低減	フリッカーレス LV	オート	✓	✓	—
		フリッカーレス撮影	Off	✓	✓	—

レリーズ/連写/手ぶれ補正

機能		初期設定	*1	*2	*3
	手ぶれ補正	S-IS AUTO	✓	✓	✓
	連写中手ぶれ補正	連写速度優先	✓	✓	—
	半押し中手ぶれ補正	On	—	✓	—
	レンズ手ぶれ補正優先	Off	✓	✓	✓

D1 表示/音/接続

機能		初期設定	*1	*2	*3
📷 Control 表示	 AUTO	ライブガイド	—	✓	—
	P/A/S/M/B	LV スーパーコンパネ	✓	✓	—
	ART	ART メニュー	—	✓	—
	SCN	SCN メニュー	—	✓	—
📷/Info 表示設定	 Info	表示 Off、総合表示	✓	✓	✓
	 Info	拡大枠表示、拡大位置スクロール、拡大コマ送り	—	✓	—
	LV-Info	表示 Off、カスタム表示 1、カスタム表示 2	✓	✓	—
	 半押し中の撮影情報表示	On	✓	✓	—
	LV OFF-Info	撮影情報表示	✓	✓	—
	 表示	25、カレンダー表示	✓	✓	—
ピクチャーモード表示		すべて On	✓	✓	—
 表示設定		 、  H、  H、  CapH、  L、  L、  CapL、  2s、  C、 	✓	✓	—
マルチ Fn 表示設定		WB、ISO 以外すべて On	✓	✓	—

D2 表示/音/接続

機能		初期設定	*1	*2	*3
LV ブースト	M	Off	✓	✓	✓
	BULB/TIME	On2、LV 表示速度優先	✓	✓	✓
	COMP	Off	✓	✓	✓
	その他	Off	✓	✓	✓
アート LV モード		mode1	✓	✓	—
LV 拡大設定	LV 拡大モード	mode2	✓	✓	—
	LV ブースト	Off	✓	✓	—
再生拡大倍率設定		前回倍率	—	✓	—
プレビュー設定	🔒 ロック	Off	✓	✓	—
	LV ブースト	Off	✓	✓	—

D3 表示/音/接続

機能		初期設定	*1	*2	*3
ガイド線表示設定	表示色	プリセット 1	✓	✓	—
	表示罫線選択	Off	✓	✓	—
	EVF 反映	On	✓	✓	—
ピーキング表示	ピーキング色	赤	✓	✓	—
	ピーキングレベル	標準	✓	✓	—
	ピーキング背景の輝度調整	Off	✓	✓	—
ヒストグラム警告設定	ハイライト表示	255	✓	✓	—
	シャドウ表示	0	✓	✓	—

機能	初期設定	*1	*2	*3
モードガイド表示	Off	✓	✓	—
自分撮りアシスト	On	—	✓	—


D4 表示/音/接続

機能	初期設定	*1	*2	*3
電子音	On	✓	✓	✓
HDMI	出力サイズ	4K 優先	—	✓
	HDMI コントロール	Off	—	✓
	出力フレームレート	60p 優先	—	—
USB 接続モード	毎回確認	—	✓	✓


E1 露出/ISO/BULB/測光

機能	初期設定	*1	*2	*3
露出ステップ	1/3EV	✓	✓	✓
ISO 感度ステップ	1/3EV	✓	✓	✓
📷 ISO オート設定	上限/基準値設定	上限値：6400 基準値：200	✓	✓
	低速限界設定	オート	✓	—
📷 ISO オート有効	P/A/S/M	✓	✓	—
📷 高感度ノイズ低減	標準	✓	✓	✓
📷 低感度画像処理	連写優先	✓	✓	✓
長秒時ノイズ低減	オート	✓	✓	✓

E2 露出/ISO/BULB/測光

機能	初期設定	*1	*2	*3
BULB/TIME リミッター	8分	✓	✓	✓
COMP リミッター	3時間	✓	✓	✓
BULB/TIME 輝度設定	-7	✓	✓	—
ライブ BULB 設定	Off	✓	✓	—
ライブ TIME 設定	0.5秒	✓	✓	—
コンポジット撮影設定	1秒	✓	✓	—
 フリッカースキャン	Off	✓	✓	✓

E3 露出/ISO/BULB/測光

機能	初期設定	*1	*2	*3	
測光		✓	✓	✓	
AEL 測光モード	オート	✓	✓	✓	
 連動スポット測光	スポット/スポットハイライト/スポットシャドウ	✓	✓	✓	
露出基準調整		±0	✓	✓	—
		±0	✓	✓	—
		±0	✓	✓	—

F フラッシュ

機能	初期設定	*1	*2	*3
⚡ 同調速度	1/250	✓	✓	✓
⚡ 低速制限	Off	✓	✓	✓
📷+📷 連動	Off	✓	✓	✓
⚡+WB 連動	Off	✓	✓	—
⚡RC モード撮影	Off	✓	✓	✓

G 画質/WB/色

機能	初期設定	*1	*2	*3	
画質設定	📷-1 : L SF 📷-2 : L F 📷-3 : L N 📷-4 : M N	✓	✓	✓	
ピクセルサイズ	M iddle	3200×2400	✓	✓	✓
	S mall	1280×960	✓	✓	✓
シェーディング補正	Off	✓	✓	✓	
📷WB モード	オート	✓	✓	✓	
📷全 WB モード補正	A±0、G±0	✓	✓	—	
📷WB オート 電球色残し	On	✓	✓	✓	
色空間	sRGB	✓	✓	✓	

H 記録/消去

機能	初期設定	*1	*2	*3
ファイルネーム	リセット	✓	✓	—

機能		初期設定	*1	*2	*3
ファイルネーム編集		Off	✓	✓	—
dpi 設定		350dpi	✓	✓	—
著作権情報 ¹	著作権情報記録	Off	✓	✓	—
	撮影者入力	—	—	—	—
	著作権者入力	—	—	—	—
レンズ情報登録 ¹		Off	—	✓	—

¹ 記憶されている情報は、【リセット】（フル/標準）でも消去されません。

H2 記録/消去

機能		初期設定	*1	*2	*3
ワンブッシュ消去		Off	✓	✓	✓
RAW+JPEG 消去		RAW+JPEG	✓	✓	✓
実行優先設定		中止優先	✓	✓	✓

I EVF

機能		初期設定	*1	*2	*3
EVF 自動切換設定		On2	—	✓	—
EVF 調整	EVF 自動調光	Off	✓	✓	—
	EVF 調整	☺ ±0、☺ ±0	✓	✓	—
EVF 表示スタイル		スタイル 3	—	✓	—
☰ Info 表示設定		基本情報表示、カスタム表示 1、カスタム表示 2	✓	✓	—

機能		初期設定	*1	*2	*3
EVF ガイド線表示設定	表示色	プリセット 1	✓	✓	—
	表示罫線選択	Off	✓	✓	—
 半押し中水準器表示		On	✓	✓	—
OVF シミュレーション		Off	✓	✓	✓

11 その他

機能	初期設定	*1	*2	*3
ピクセルマッピング	—	—	—	—

機能		初期設定	*1	*2	*3
ボタン長押し時間調整	LV 拡大枠/拡大表示	0.7 秒	✓	✓	—
	LV 拡大枠位置	0.7 秒	✓	✓	—
		0.7 秒	✓	✓	—
	 拡大枠	0.7 秒	✓	✓	—
	露出補正值	0.7 秒	✓	✓	—
	 設定値	0.7 秒	✓	✓	—
	 設定値	0.7 秒	✓	✓	—
	 設定値	0.7 秒	✓	✓	—
	AF ターゲット位置	0.7 秒	✓	✓	—
	EVF 自動切換設定	0.7 秒	✓	✓	—
	再生拡大枠/拡大表示	0.7 秒	✓	✓	—
	デジタルシフト	0.7 秒	✓	✓	—
	デジタルシフト設定値	0.7 秒	✓	✓	—
	 ロック	0.7 秒	✓	✓	—
	BKT 撮影	0.7 秒	✓	✓	—
フリッカーキャン	0.7 秒	✓	✓	—	
水準器調整	—	—	✓	—	
タッチパネル設定	On	—	✓	—	
メニューカーソル保持	記憶する	✓	✓	—	
フィッシュアイ補正撮影	Off	✓	✓	—	

J2 その他

機能		初期設定	*1	*2	*3
バックライト時間		Hold	✓	✓	✓
スリープ時間		1分	✓	✓	✓
自動電源 Off		4時間	✓	✓	✓
低消費電力撮影		Off	✓	✓	✓
	バックライト時間	8秒	✓	✓	—
	スリープ時間	10秒	✓	✓	—
認証マーク表示		—	—	—	—

画質設定と記録枚数／記録時間

静止画撮影枚数

SDXC カード 64GB、アスペクト比設定 4:3 の場合

画質モード	画像サイズ (ピクセルサイズ)	圧縮率	ファイル形式	ファイルサイズ (MB)	撮影可能枚数
50m F+RAW	(三脚) 10368×7776	ロスレス圧縮	ORF	(三脚) 約 168.2 (手持ち) 約 117.1	(三脚) 355 (手持ち) 489
	(手持ち) 8160×6120				
	8160×6120	1/4	JPEG		
	5184×3888	ロスレス圧縮	ORI		
25m F+RAW	(三脚) 10368×7776	ロスレス圧縮	ORF	(三脚) 約 157.4 (手持ち) 約 106.3	(三脚) 359 (手持ち) 542
	(手持ち) 8160×6120				
	5760×4320	1/4	JPEG		
	5184×3888	ロスレス圧縮	ORI		
50m F	8160×6120	1/4	JPEG	約 21.7	2529
25m F	5760×4320	1/4	JPEG	約 10.9	5033

画質モード	画像サイズ (ピクセルサイズ)	圧縮率	ファイル形式	ファイルサイズ (MB)	撮影可能枚数
RAW	5184×3888	ロスレス圧縮	ORF	約 21.5	2838
L SF		1/2.7		約 13.1	4209
L F		1/4		約 8.9	6180
L N		1/8		約 4.6	11909
M SF	3200×2400	1/2.7	JPEG	約 5.1	10614
M F		1/4		約 3.6	15258
M N		1/8		約 1.9	28721
M SF	1920×1440	1/2.7		約 2.0	27126
M F		1/4		約 1.4	37559
M N		1/8		約 0.9	61033
S SF	1280×960	1/2.7		約 1.0	54252
S F		1/4		約 0.8	69752
S N		1/8		約 0.5	97654
S SF	1024×768	1/2.7		約 0.8	69752
S F		1/4		約 0.6	97654
S N		1/8		約 0.3	244135

- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約の有無などによっても変わります。撮影や画像の消去を行ってもモニターに表示される枚数が変わらないことがあります。
- 実際のファイルサイズは被写体によって変わります。
- モニターに表示される撮影枚数は 9999 までです。

ムービー総記録時間

SDXC カード 64GB の場合

ムービーサイズ	圧縮方式	フレームレート	最大録画可能時間
C4K	—	24p	約 33 分
4K	—	30p / 25p / 24p	約 1 時間 18 分
FHD	A-I	30p / 25p / 24p	約 39 分
	SF	60p / 50p / 30p / 25p / 24p	約 2 時間 35 分
	F		約 4 時間 31 分
	N		約 7 時間 37 分
HD	A-I	60p / 50p / 30p / 25p / 24p	約 1 時間 18 分
	SF		約 5 時間 13 分
	F		約 9 時間 52 分
	N		約 13 時間 59 分

- 設定可能な最大フレームレート時。フレームレートの組み合わせや撮影シーンによって、実際に記録されるビットレートは異なります。
- SDXC カード使用時は、撮影中のムービーの記録時間が 2 時間を超えると、ファイルは自動的に分割して記録されます（撮影条件によっては、2 時間未満で分割される場合があります）。
- SD/SDHC カード使用時は、撮影中のムービーのファイルサイズが 4GB 以上になると、ファイルは自動的に分割して記録されます（撮影条件によっては、4GB 未満で分割される場合があります）。

ご注意

本製品の防塵/防滴性能について

- 本製品は保護等級 3 級 (IPX3) の防滴性能を有しています (当社の IPX3 以上の防滴レンズと組み合わせたときに防滴性能を発揮します)。
- 本製品は保護等級 5 級 (IP5X) の防塵性能を有しています (当社試験方法による)。

使用上のご注意

- 衝撃を加えた後は、防滴/防塵性能を保てない場合があります。
- 電池カバー/カードカバーおよび各端子/コネクタなどのカバーのバッキンとその接触面、カメラとレンズのマウント部、カメラとアクセサリなどの接続部にゴミや砂等の異物が付着していないことを確認し、異物が付着している場合は繊維くずの出ない清潔な布で取り除いてください。
- 防滴/防塵性能の確保のため、ご使用前に必ずフタ・カバーをしっかりと閉め、レンズを取り付けてください。
- 濡れた状態での操作やカバーの開閉、レンズの着脱はしないでください。
- 防滴性能を有するレンズ・アクセサリ装着時に防滴性能が確保されます。組み合わせにご注意ください。
組み合わせについては、当社ホームページをご確認ください。

お手入れ

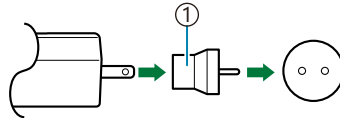
- 水がついた後は乾いた布で十分にふき取ってください。
- 砂などが付着した場合は十分に取り除いてください。

電池についてのご注意

- 電池は、当社製リチウムイオン電池 1 個を使用します。当社純正の充電電池以外は使用できません。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
- 次の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
 - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
 - 長時間、モニターで画像を表示する。
 - パソコンとの接続時。
 - 無線 LAN/Bluetooth[®] 機能を有効にする。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- 長期間（1ヶ月以上）カメラを使わない場合、カメラから電池を取り出して保管してください。長期間電池をカメラに入れたままにしておくと、電池の寿命が短くなったり、電池が使えなくなる可能性がありますので、ご注意ください。
- 付属の USB-AC アダプターによる充電電池の充電時間は、通常約 4 時間（目安）です。
- 付属の電池は専用の USB-AC アダプターまたは充電器以外は使用しないでください。また、付属の USB-AC アダプターは専用の電池（カメラ）以外に使用しないでください。
- 指定以外の電池を使用した場合、爆発（または破裂）の危険があります。
- 使用済み電池は取扱説明書の「[使用上のご注意](#)」(P455) に従って廃棄してください。

海外での使用について

- USB-AC アダプターは、世界中のほとんどの家庭用電源 AC100～240V（50/60Hz）でご使用になれます。ただし、国や地域によっては、コンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプター（市販）が必要になる場合があります。
- イラストの変換プラグアダプター（市販）は一例です。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。



① 変換プラグアダプター（市販）

- 市販の海外旅行用電子式変圧器（トラベルコンバーター）は、USB-AC アダプターが故障することがありますので使用しないでください。

交換レンズについて

撮影シーン、目的に合わせてレンズを交換します。M.ZUIKO DIGITAL という商品名、または次のマークのついている「マイクロフォーサーズシステム専用」の交換レンズが使えます。



また、フォーサーズシステムのレンズを使うこともできます。その場合は別売のアダプターが必要です。

- ボディキャップやレンズの着脱を行うときは、カメラ内部へのゴミや異物の侵入を防ぐため、レンズの装着部を下に向けて行ってください。
- ほこりの多い場所ではボディキャップの取り外しや、レンズの装着を行わないでください。
- カメラに取り付けられたレンズを、太陽に向けしないでください。太陽光が焦点を結んで故障や火災の原因になることがあります。
- ボディキャップ、リアキャップをなくさないようにご注意ください。
- カメラにレンズを取り付けていないときは、ほこりの侵入を防ぐためボディキャップを装着してください。

レンズとカメラの組み合わせ

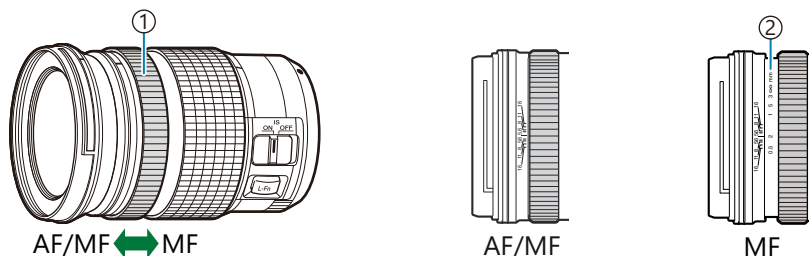
レンズ	カメラ	装着	AF	測光
マイクロフォーサーズマウント規格レンズ	マイクロフォーサーズマウント規格カメラ	可	可	可
フォーサーズマウント規格レンズ		マウントアダプター装着で可	可 ¹	可

1 星空 AF やムービー撮影中は動作しません。

MF クラッチを搭載したレンズについて

MF クラッチ（マニュアルフォーカスクラッチ）機構を搭載したレンズでは、フォーカスリングの位置を変えることによって、オートフォーカスとマニュアルフォーカスを簡単に切り換えることができます。

- お使いになる前に、フォーカスリングの状態を確認してください。
- フォーカスリングを AF/MF の位置（レンズ先端側）にするとオートフォーカスになり、MF の位置（カメラボディ側）にするとカメラの AF 方式の設定に関わらずマニュアルフォーカスになります。



- ① フォーカスリング
- ② 距離目盛が見える状態

- ① ⚙️ **カスタムメニュー A4** の **[MF クラッチ]** (P268) を **[無効]** にした場合、フォーカスリングを MF の位置にしてもマニュアルフォーカス操作することはできません。

SET 機能/CALL 機能を搭載しているレンズ装着時のモニター表示

SET 機能でピント位置を記憶したときに「SET ●」が、CALL 機能でピント位置を呼び出したときに「CALL ●」がカメラのモニターに表示されます。

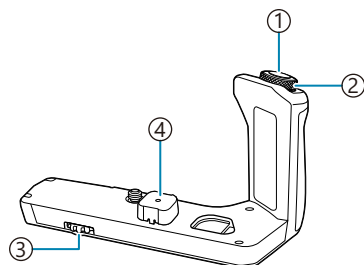
SET 機能/CALL 機能の詳細については、ご使用のレンズの取扱説明書をご覧ください。



カメラグリップ° (ECG-5)

大型のレンズを装着してもカメラを安定して保持することができます。
取り付け、取り外しは、必ずカメラの電源をオフにしてから行ってください。

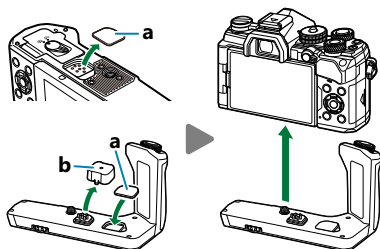
各部名称



- ① シャッターボタン
- ② フロントダイヤル
- ③ 着脱ノブ
- ④ 端子キャップ

取り付け

カメラ底面の端子カバー (a) と ECG-5 の端子キャップ (b) を外して ECG-5 を取り付けます。装着したら ECG-5 の着脱ノブをしっかりと閉めてください。ECG-5 を取り付けしていないときは、必ず端子カバーをカメラに、端子キャップを ECG-5 に取り付けてください。



端子カバー (a) は ECG-5 に収納できます。

主な仕様 (ECG-5)

大きさ	約 128.4 mm (幅) × 76 mm (高さ) × 60.2 mm (奥行き) (突起部を除く)
質量	約 121 g (端子キャップを除く)
防滴機能 (カメラ装着時)	種類 保護等級 1 級 (IPX1) : JISC0920/IEC60529

カメラグリップの使用上のご注意

- ・着脱ノブは、爪を使って回さないでください。けがをすることがあります。
- ・ご使用になるカメラの動作保証温度範囲内でご使用ください。
- ・本機をほこりや湿気の多い場所で使用、保管しないでください。
- ・本機の接点には触らないようにしてください。
- ・本体、端子等の汚れは乾いた柔らかい布で拭いてください。濡れた雑巾やシンナー、ベンジン等の有機溶剤で洗浄しないでください。

専用外部フラッシュ

別売の専用外部フラッシュを使うとカメラでフラッシュの発光モードを設定して撮影することができます。フラッシュの機能や操作については、それぞれのフラッシュの取扱説明書をお読みください。

発光量やマクロ撮影など、目的に合わせて選べます。専用外部フラッシュは、カメラとの通信機能により、TTL-AUTO、スーパー FP 発光など多彩な調光モードが使えます。カメラのホットシューに取り付ける以外にも、専用のブラケットケーブル (別売) とフラッシュブラケットを使って撮影することもできます。また、このカメラは次のワイヤレスフラッシュシステムに対応しています。

電波通信ワイヤレスフラッシュ : CMD、CMD、RCV、X-RCV モード

電波通信によるワイヤレスコントロールで複数のフラッシュをコントロールします。フラッシュの設置方法の自由度がひろがります。対応したフラッシュ同士または、電波コマンダー/レシーバーを使って非対応のフラッシュをコントロールすることもできます。

ワイヤレス RC フラッシュ : RC モード

光通信によるワイヤレスコントロールで複数のフラッシュをコントロールします。カメラでフラッシュの発光モードの設定ができます (P.145)。

専用フラッシュの機能比較

FL-700WR

調光モード	TTL-AUTO、MANUAL、FP TTL AUTO、FP MANUAL、MULTI、RC、SL MANUAL
GN (ガイドナンバー) (ISO100 時)	GN42 (75mm<150mm> ¹ 時) GN21 (12mm<24mm> ¹ 時)
対応ワイヤレスシステム	CMD、  CMD、RCV、X-RCV、RC

FL-900R

調光モード	TTL-AUTO、AUTO、MANUAL、FP TTL AUTO、FP MANUAL、MULTI、RC、SL AUTO、SL MANUAL
GN (ガイドナンバー) (ISO100 時)	GN58 (100mm<200mm> ¹ 時) GN27 (12mm<24mm> ¹ 時)
対応ワイヤレスシステム	RC

STF-8

調光モード	TTL-AUTO、MANUAL、RC ²
GN (ガイドナンバー) (ISO100 時)	GN8.5
対応ワイヤレスシステム	RC ²

FL-LM3

調光モード	カメラ設定による
GN (ガイドナンバー) (ISO100 時)	GN9.1 (12mm<24mm> ¹ 時)
対応ワイヤレスシステム	RC ²

1 カバーできるレンズ焦点距離 (<>の数値は 35mm フィルムカメラ換算)

2 コマンダー (発信側) としてのみ働きます。

ワイヤレス RC フラッシュ撮影

ワイヤレス RC フラッシュ対応の専用フラッシュを使うとワイヤレスフラッシュ撮影ができます。カメラに装着したフラッシュで他のフラッシュをリモート制御します。カメラに装着したフラッシュと3つのグループのフラッシュを別々に発光制御できます。

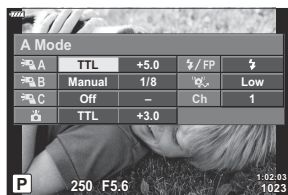
カメラとリモート操作するフラッシュの双方を RC モードに設定する必要があります (P423)。

RC モードの設定をする

1. ワイヤレス RC フラッシュを RC モードに設定して、配置します。
 - 専用外部フラッシュの電源を入れ **MODE** ボタンを押して、RC モードにします。
 - 専用外部フラッシュのチャンネルとグループを設定します。
2. **カスタムメニュー F** の [**RC モード撮影**] (P280) を [**On**] にし、**OK** ボタンを押します。
 - 撮影画面に戻ります。
 - 画面に **RC** が表示されます。



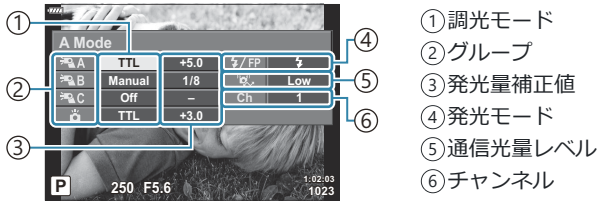
3. **OK** ボタンを押します。
 - RC モード用スーパーコンパネが表示されます。



- RC モードに設定されているときでも、**INFO** ボタンを押すと通常のスーパーコンパネを表示できます。表示は **INFO** ボタンを押すたびに切り換わります。

4. 発光の設定をします。

- △▽◀▶ ボタンで項目を選択し、フロントダイヤルで設定を選択します。



グループ	コントロールするグループを示しています。グループ別に同時に複数のフラッシュをコントロールできます。👤 はカメラに装着したフラッシュの設定です。
調光モード	調光モードを選択します。
発光量補正值	発光量の補正值を選択します。発光モードを MANUAL にしたときは発光量の選択をします。
通信光量レベル	通信をするためのフラッシュ光の強さを選択します。遠距離の場合は [HI] を選択します。全てのグループに共通の設定です。
発光モード/発光量	⚡ (通常の発光) か FP (スーパー FP 発光) かを選択します。スーパー FP 発光では、同調速度以上のシャッター速度でもフラッシュが使用できません。全てのグループに共通の設定です。
チャンネル	通信に使用するチャンネルを選択します。周囲に光るものなどがあり混信するときは、チャンネルを変更してください。

5. カメラに装着したフラッシュの設定を [TTL AUTO] にします。

- FL-LM3 をお使いのときは、カメラの設定のみです。

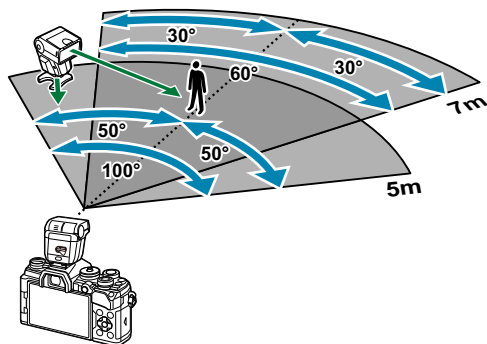
フラッシュを設置する

1. ワイヤレス RC フラッシュを RC モードに設定します。
 - 専用外部フラッシュの電源を入れ **MODE** ボタンを押して、RC モードに設定しておきます。
 - 専用外部フラッシュで制御するグループを設定して、通信のチャンネルをカメラの設定と合わせます。
2. フラッシュを配置します。
 - ワイヤレスフラッシュのリモートセンサーをカメラ側に向けて設置します。
3. カメラとフラッシュの充電完了を確認してから撮影します。

ワイヤレスフラッシュの制御可能範囲

図は設置範囲の目安です。カメラ側に装着したフラッシュや周辺環境により異なります。

FL-LM3 装着時



- ワイヤレスフラッシュの設置数は1グループ最大3台を推奨します。
- 4秒を超える後幕シンクロ撮影や低振動モードの場合は、ワイヤレスフラッシュ撮影できません。
- 低振動撮影時および静音撮影時の撮影待ち時間は4秒に制限されます。
- 被写体が近すぎる場合、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。カメラ側フラッシュをディフューザーなどで減光すると症状が緩和されます。

市販のフラッシュについて

市販のフラッシュをカメラのホットシューに接続して使用する場合は、次のことにご注意ください。

- X 端子に約 250V 以上の電圧がかかる古いタイプの市販フラッシュを接続すると故障します。
- 当社規格外の通信端子のあるフラッシュを接続すると故障する可能性があります。
- 撮影モードを **M** にして、シャッター速度をフラッシュの同調速度以下にして、**[ISO 感度]** を **[AUTO]** 以外でお使いください。
- フラッシュで調光する場合は、フラッシュにカメラの ISO 感度と絞り値を設定する必要があります。フラッシュによる明るさを調整するには、いずれかをシフトします。
- レンズにあった照射角のフラッシュをお使いください。通常、照射角は 35mm フィルムカメラ換算の焦点距離で表します。

主なアクセサリーについて

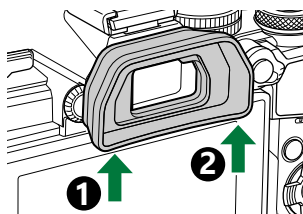
■ コンバーターレンズ

レンズに取り付けることで、手軽に魚眼撮影やマクロ撮影ができます。組み合わせ可能なレンズについては、当社ホームページをご覧ください。

■ アイカップ (EP-16)

大型のアイカップに交換することができます。

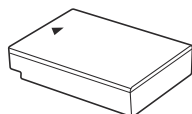
取り外し



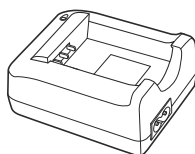
別売品について

最新情報は当社ホームページをご確認ください。

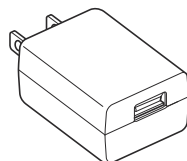
電源



リチウムイオン電池
BLS-50

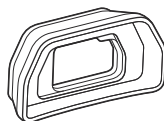


リチウムイオン充電器
BCS-5



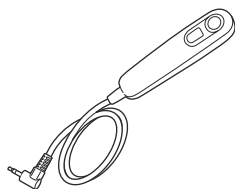
USB-AC アダプター
F-5AC

ファインダー

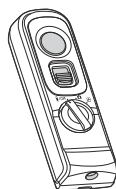


アイカップ
EP-16/EP-15

リモコン/レリーズ



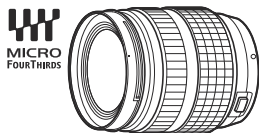
リモートケーブル
RM-CB2



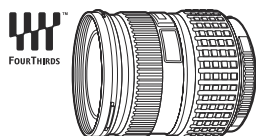
リモコン
RM-WR1

レンズ

マイクロフォーサーズシステムレンズ群



フォーサーズシステムレンズ群



- このカメラでフォーサーズシステムレンズを使用する場合は、フォーサーズアダプター MMF-2 または MMF-3 が必要です。
- アダプターと組み合わせて使用できるレンズには制限があります。詳しくは当社ホームページをご覧ください。



フォーサーズアダプター
MMF-2/MMF-3

コンバーターレンズ

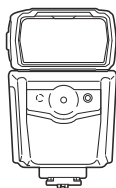
- **FCON-P01** (フィッシュアイ)
- **WCON-P01** (ワイド)
- **MCON-P01** (マクロ)
- **MCON-P02** (マクロ)

取り付け可能なレンズについては、当社ホームページをご覧ください。

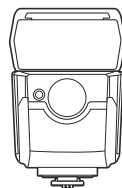
フラッシュ



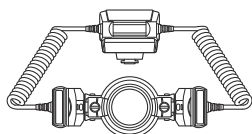
エレクトロニックフラッシュ
FL-LM3



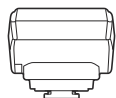
エレクトロニックフラッシュ
FL-900R



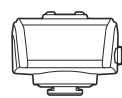
エレクトロニックフラッシュ
FL-700WR



マクロフラッシュ
STF-8

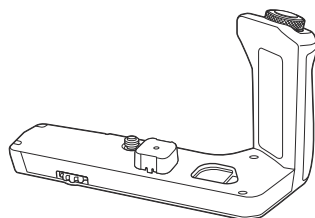


電波式ワイヤレスコマンダー
FC-WR



電波式ワイヤレスレシーバー
FR-WR

グリップ



グリップ
ECG-5

ケース/ストラップ

- カメラケース
- ショルダーストラップ

接続ケーブル

- USB ケーブル
- HDMI ケーブル（HDMI ケーブルは市販製品をお求めください。）

メモリーカード

- SD
- SDHC
- SDXC

メモリーカードは市販製品をお求めください。

マイク

マイクは市販製品をお求めください。

ソフトウェア

パソコン用画像管理・編集ソフトウェア

OM Workspace

スマートフォン用アプリケーション

OM Image Share

カメラのお手入れと保管

カメラのお手入れ

カメラのお手入れの際は、カメラの電源をオフにして、電池を取り外します。

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。

カメラの外側：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取ります。その後、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使った場合は、真水に浸した布を固く絞って拭き取ります。

モニター：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ：

- 市販のレンズブローアードでほこりを吹き払います。レンズはレンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

カメラの保管

- 長期間、カメラを使わないときは、電池とカードを外してください。風通しがよく、涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 電池は定期的に取り換えて、カメラの機能をテストしてください。
- ボディキャップ、リアキャップはゴミやほこりを落としてから装着してください。
- カメラにレンズを取り付けていないときは、ほこりの侵入を防ぐためボディキャップを装着してください。また、必ず前後のレンズキャップを取り付けて保管してください。
- 使用後は清掃して保管してください。
- 防虫剤のあるところに保管しないでください。
- 薬品を扱うような場所での保管は、腐食などの原因になるため避けてください。
- レンズを汚れたままにしておくと、カビがはえることがあります。
- 長期間使用しなかったカメラは、使用前に各部の点検をしてください。海外旅行などの大切な撮影の前には、必ず撮影をしてカメラが正常に動作することを確認してください。

撮像素子のクリーニングとチェック

このカメラは撮像素子にゴミが付着しない構造にするとともに、撮像素子前面に付着したゴミやほこりを超音波振動により、払い落とす機能を備えています（ダストリダクション機能）。ダストリダクション機能は、カメラの電源をオンにしたときに働きます。また撮像素子と画像処理回路のチェックを行うピクセルマッピングを働かせる際にも同時に作動します。カメラの電源をオンにするときはダストリダクションが働きますので、カメラをできるだけ正位置にしてください。

画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング

撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けた後に実行します。

1. **★ カスタムメニュー** **11** の【ピクセルマッピング】(P.288) を選択します。
 2. **▷** ボタンを押して、**OK** ボタンを押します。
 - ピクセルマッピング実行中の【処理中】バーが表示されます。終了するとメニューに戻ります。
- 誤って処理中にカメラの電源をオフにしてしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

アフターサービス

- 同梱の保証書は、日本国内向けに出荷された商品にのみ有効です。
- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書に従ったお取り扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 本製品の製造打ち切り後、7年間は本製品のアフターサービスについて対応いたします。但し、当該アフターサービス対応については、故障の状況、本製品に対応する補修用性能部品の有無、及び保有している場合はその期間（製造打ち切り後7年間を目安に保有いたします）等に応じ、当社の判断で、本製品の修理または同等品への交換（製品交換）のいずれかにて対応させていただきます。
- 交換が行われた部品（もしくは製品）の所有権は当社に帰属し、返却は致しません。
- 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等）については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

こんなときは？

電池を入れてもカメラが動かない

電池が充電されていない

- USB-AC アダプター／充電器で電池を充電してください。

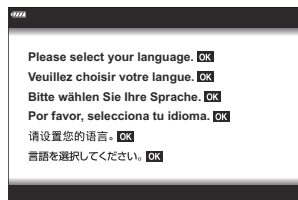
低温下にあり、一時的に電池の性能が低下した

- 電池は低温では性能が低下します。カメラから電池を取り出してポケットに入れるなどして少し温めてから使用してみましょう。

言語の設定を促す画面が表示される

次の場合に、図の画面が表示されます。

- 初めてカメラの電源を入れた
- 言語の設定が終了していない




「初期設定をする」(P.34) をご覧いただき、言語の設定を行ってください。

シャッターボタンを押しても撮影ができない

カメラが自動的に電源オフになっていた

- [低消費電力撮影] を [On] にすると、設定した時間何も操作しないとスリープモードになります。シャッターボタンを半押しすると復帰します。🔧 ⚙️ [カスタムメニュー 12](#) [低消費電力撮影] (P.289)
- カメラは何も操作しないと一定時間後にスリープモードと呼ばれる省電力状態に入ります。🔧 ⚙️ [カスタムメニュー 12](#) [スリープ時間] (P.289)
- さらに、スリープモード中に設定した時間が経過するとカメラの電源がオフになります。🔧 ⚙️ [カスタムメニュー 12](#) [自動電源 Off] (P.289)

フラッシュが充電中である

- モニターの  マークが点滅していたらフラッシュが充電中です。点滅が終わるまで待ってからシャッターボタンを押してください。

ピント合わせができなかった

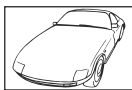
- 被写体に近すぎる場合やオートフォーカスの苦手な被写体の場合は、ピント合わせができません(モニターの合焦マークが点滅します)。被写体との距離を十分にとったり、被写体と同じ距離にあるコントラストのはっきりしたものでピントを合わせてから、構図を決めて撮影してください。

オートフォーカスの苦手な被写体

次のような場合、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。

- 合焦マーク点滅

このようなものにはピントが合いません。



コントラストがはっきりしない被写体

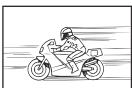


画面中央に極端に明るいものがある場合

- 合焦マークは点灯するが、写したいものにピントが合わない。



遠いものと近いものが混在する場合





動きの速いもの



被写体が AF ターゲット内にならない

長秒時ノイズ低減が作動している

- 夜景の撮影など、遅いシャッター速度で撮影する際、画像にはノイズが目立つようになります。このカメラは長秒時の撮影後にノイズを取り除く動作をしますが、この間、次の撮影はできません。


【長秒時ノイズ低減】は【off】に設定することもできます。  **カスタムメニュー**  【長秒時ノイズ低減】 (P277)

AF ターゲットの数が少なくなった

【デジタルテレコン】 (P204)、【アスペクト】 (P134)、グループターゲット (P90) の設定により、AF ターゲットの数や大きさが変わります。

日時設定がされていない



購入時のままで使用している

- お買い上げ時のカメラの状態では日時設定はされていません。日時設定をしてからご使用ください。 「初期設定をする」(P34)

カメラから電池を抜いていた

- 電池を抜いた状態で約1日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります（当社試験条件による）。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。大切なものを撮る前には日時の設定が正しいことを確認してください。


設定した機能が元に戻ってしまう

- 撮影モードが **AUTO** (📷)、**SCN** のときは、モードダイヤルを回したり電源をオフにすると設定した機能が初期設定に戻ります。
- カスタムモード (**C**~**C4**) を使用しているときに設定を変更しても、撮影モードを変更したりカメラの電源を切ると、登録されている設定内容に戻ります。 撮影メニュー1の【リセット/カスタム設定】の【カスタム保持設定】を【保持する】にすると、カスタムモードを呼び出した状態で設定を変更したとき、変更した内容を自動で登録することができます。 「カスタムモード呼び出し時に変更した設定を自動で登録する」(P80)

撮影した画像が全体的に白っぽい

逆光や半逆光で撮影すると起こる場合があります。フレアやゴーストといわれる現象によるものです。できるだけ画面内に強い光源が写らないように構図を考えましょう。画面内に光源がなくてもフレアは発生する場合があります。レンズフードを使って光源から直接レンズに光が当たらないようにします。レンズフードでも効果がない場合は手などをかざして光を遮ってみましょう。

被写体にない明るい点が写り込む

撮像素子のドット抜けの可能性があります。【ピクセルマッピング】を行ってください。また、消えないときは何度かピクセルマッピングを行ってみてください。 「画像処理機能をチェックするーピクセルマッピング」(P435)

メニューで選べない機能がある

メニューを表示したとき、十字ボタンを使っても選べない項目がある場合があります。

- 現在の撮影モードで設定できない項目の場合
- 設定済みの項目との組み合わせにより設定できない場合
 - **[📷]** (P.100) と **[長秒時ノイズ低減]** (P.277) の組み合わせなど

スーパーコンパネで設定できない機能がある

設定した機能の組み合わせによっては、設定できない場合があります。

メニューで同じ機能がグレーで表示されていないかご確認ください。

被写体が歪んで写る

次の機能では電子シャッターを使います。

- **ムービー撮影** (P.81) / **静音撮影** (P.104) / **プロキャプチャー撮影** (P.105) / **ハイレゾショット** (P.107) / **フォーカスブラケット撮影** (P.212) / **深度合成** (P.212) / **ライブ ND 撮影** (P.209)

動きの速い被写体の撮影やカメラを激しく動かした撮影をすると画像に歪みが出ます。カメラを激しく動かした撮影は避けるか、通常の連写で撮影してください。

画像にすじが写る

電子シャッターを使った次の機能では、蛍光灯や LED 照明の光源下では、フリッカーなどにより画像にすじが写ることがあります。

- **ムービー撮影** (P.81) / **静音撮影** (P.104) / **プロキャプチャー撮影** (P.105) / **ハイレゾショット** (P.107) / **フォーカスブラケット撮影** (P.212) / **深度合成** (P.212) / **ライブ ND 撮影** (P.209)

シャッター速度を遅くして撮影すると軽減できる場合があります。また、フリッカーキャンを使用すると軽減される場合があります。🔧 **カスタムメニュー** 📷 **[📷 フリッカーキャン]** (P.334)、📺 **動画メニュー** 📺 **[📺 モード設定]** の **[📺 フリッカーキャン]** (P.236)

モニターに被写体のみが表示され、撮影情報が何も表示されない


情報表示が「情報表示無し」に切り換わっています。**INFO** ボタンを押して、他の表示に切り換えてください。

MF（マニュアルフォーカス）から変更できない

お使いのレンズによっては、マニュアルフォーカスクラッチ機構が搭載されており、フォーカスリングが手前に引かれているとマニュアルフォーカスになります。レンズの状態を確認してください。

 [「MF クラッチを搭載したレンズについて」\(P.420\)](#)

モニターに何も表示されない

ファインダーに顔や手、ストラップなどが近づくと、自動的にモニターは消灯し、ファインダーの表示に切り換わります。 [「表示の切り換え」\(P.40\)](#)

エラーコード

モニター表示	原因/対処方法
 カードを認識できません	カードが入っていません。または認識できません。 カードを入れてください。またはカードを正しく入れなおしてください。
 このカードは使用できません	カードに問題があります。 もう一度カードを入れてください。それでもこの表示が消えないときはカードを初期化してください。初期化できない場合、このカードはご使用になれません。
 書き込み禁止になっています	カードが書き込み禁止になっています。 カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。スイッチを戻して解除してください (P.28)。
 撮影可能枚数が0です	カードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。 カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
 カード残量がありません	カードに十分な空き容量がありません。 カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
 画像が記録されていません	カードに記録画像がないため画像が再生できません。 カードに画像が記録されていません。 撮影してから再生してください。

モニター表示	原因/対処方法
 <p>この画像は再生できません</p>	<p>選択した画像に問題があり、再生できません。または、このカメラでは再生できない画像です。</p> <p>パソコンの画像ソフトなどで再生してください。 それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。</p>
 <p>この画像は編集できません</p>	<p>他のカメラで撮影した画像などを選択している場合は編集できません。</p> <p>パソコンの画像ソフトなどで編集してください。</p>
<p>日時を設定してください</p>	<p>日時が未設定です。</p> <p>日時を設定してください (P.34)。</p>
 <p>°C/°F</p>	<p>連写などによりカメラの内部温度が上昇しています。</p> <p>カメラの電源をオフにして、内部温度が下がるまでしばらくお待ちください。</p>
 <p>しばらく使用できません カメラの内部温度が下がるまでお待ちください</p>	<p>連写などによりカメラの内部温度が上昇しています。</p> <p>しばらくすると、自動的に電源が切れます。 カメラの内部温度が下がって撮影可能になるまでしばらくお待ちください。</p>
 <p>電池残量がありません</p>	<p>電池残量がありません。</p> <p>充電してください。</p>
 <p>接続されていません</p>	<p>カメラがパソコンや HDMI 機器に正しく接続されていません。</p> <p>正しく接続しなおしてください。</p>
<p>ズームリングを回し 繰り出してください</p>	<p>沈胴式レンズの、レンズが沈胴したままになっています。</p> <p>レンズを繰り出してください。</p>

モニター表示	原因/対処方法
レンズの状態を確認してください	レンズとの間でエラーが発生しています。 カメラの電源をオフにして、レンズとの接続状態を確認してから電源を入れなおしてください。

カメラ

型式	
型式	マイクロフォーサーズ規格準拠レンズ交換式カメラ
使用レンズ	M.ZUIKO DIGITAL・マイクロフォーサーズシステムレンズ
レンズマウント	マイクロフォーサーズマウント
35 mm フィルムカメラ換算焦点距離	レンズ焦点距離の約 2 倍
撮像素子	
型式	4/3 型 Live MOS センサー
総画素数	約 2177 万画素
カメラ部有効画素数	約 2037 万画素
画面サイズ	17.4 mm (H) × 13.0 mm (V)
アスペクト比	1.33 (4:3)
ファインダー	
形式	電子ビューファインダー、アイセンサー有り
画素数	約 236 万ドット
視野率	100%
アイポイント	約 27 mm (-1m-1 時)
ライブビュー	
センサー	Live MOS センサー使用
視野率	100%

モニター	
型式	3.0 型 TFT カラー液晶、可動式、タッチパネル
総画素数	約 104 万ドット（アスペクト比 3 : 2）
シャッター	
型式	電子制御式フォーカルプレーンシャッター
シャッター速度	1/8000～60 秒、バルブ撮影、タイム撮影
フラッシュ同調速度	1/250 秒以下
オートフォーカス	
型式	ハイスピードイメージャ AF
測距点	121 点
測距点選択	自動選択・任意選択
露出制御	
測光方式	TTL 測光方式（イメージャ測光） デジタル ESP 測光／中央重点平均測光／スポット測光
測光範囲	EV -2～20（F2.8 レンズ、ISO100 相当）
撮影モード	AUTO : オート／ P : プログラム AE（プログラムシフト可能）／ A : 絞り優先 AE／ S : シャッター優先 AE／ M : マニュアル／ B : バルブ（バルブ、タイム、コンポジット）／ C～C4 : カスタムモード／ ☞ : ムービー／ ART : アートフィルター／ SCN : シーンモード
ISO 感度	L64、L100、200～25600（1/3、1 ステップ）
露出補正	±5.0EV（1/3、1/2、1EV ステップ）
ホワイトバランス	
設定方式	オート／プリセット（7 種）／カスタム WB／ワンタッチ WB（4 件登録可）

記録	
記録媒体	SD/SDHC/SDXC UHS-II 対応
記録方式	デジタル記録、JPEG (DCF2.0)、RAW データ
対応規格	Exif 2.31、DPOF
静止画音声	Wave フォーマットに準拠
ムービー	MPEG-4 AVC/H.264 に準拠
音声	ステレオリニア PCM/16bit、サンプリング周波数 48kHz ステレオリニア PCM/24bit、サンプリング周波数 96kHz
再生	
表示形式	1 コマ表示/拡大表示/インデックス表示/カレンダー表示
ドライブ関係	
ドライブモード	1 コマ撮影/連写/低振動撮影/静音撮影/プロキャプチャー/セルフタイマー/ハイレゾショット
連写性能	最高 10 コマ/秒 (連写  時) 最高 30 コマ/秒 (静音  /プロキャプチャー  時)
セルフタイマー	12 秒後撮影/2 秒後撮影/カスタム
外部フラッシュ	
調光方式	TTL-AUTO (TTL プリ発光式) /MANUAL
同調速度	1/250 秒以下

無線 LAN	
対応規格	IEEE 802.11b/g/n
Bluetooth®	
対応規格	Bluetooth Version 4.2 BLE
外部コネクタ	
マイクロ USB コネクタ / HDMI マイクロコネクタ (タイプ D)	
電源	
電池	リチウムイオン電池 1 個
省電力機能	スリープモード移行 : 1 分、電源 OFF : 4 時間 (カスタマイズ可)
大きさ・質量	
大きさ	125.3 mm (幅) × 85.2 mm (高さ) × 49.7 mm (奥行き) (突起部を除く)
質量	約 414 g (電池 / カードを含む)
動作環境	
温度	-10℃ ~ 40℃ (動作時) / -20℃ ~ 60℃ (保存時)
湿度	30% ~ 90% (動作時) / 10% ~ 90% (保存時)
防滴性能	保護等級 3 級 (IPX3) : 当社の IPX3 以上の防滴レンズと組み合わせたときに防滴性能を発揮します。

リチウムイオン電池

MODEL NO.	BLS-50
形式	充電式リチウムイオン電池
公称電圧	DC7.2 V
公称容量	1210 mAh
充放電回数	約 500 回（使用する条件により異なります。）
使用周囲温度	0℃～40℃（充電時）
大きさ	約 35.5 mm（幅） × 12.8 mm（高さ） × 55 mm（奥行き）
質量	約 46 g

USB-AC アダプター

MODEL NO.	F-5AC-1/F-5AC-2
定格入力	AC100 V～240 V（50/60 Hz）
定格出力	DC5V、1500mA
使用周囲温度	0℃～40℃（動作時） / -20℃～60℃（保存時）

- 外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 最新の仕様は、当社ホームページをご覧ください。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。




HDMITM
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために

ご使用前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

危険

電池は誤った使い方をしない

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによる火災ややけど、けがの原因となります。

- 火の中に投下したり、電子レンジやホットプレート、高压容器で加熱しない
- 電磁調理器の上や傍らに置かない
- 端子を金属類で接続しない
- 電池とネックレスやヘアピン、鍵等の金属と一緒に持ち運んだり、保管しない
- 高温になる場所で使用・放置しない
 - 直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど
- 直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない
端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない
- 電池の液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流した後、直ちに医師の診断を受けてください。失明の恐れがあります。
- カメラから電池が取り出せなくなった場合、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。電池の外装にキズなどのダメージを加えますと、発熱・破裂のおそれがあります。

USB-AC アダプター/充電器は誤った使い方をしない

火災・破裂・発火・発煙・発熱・感電・やけど・故障の原因となります。

USB-AC アダプター/充電器が、熱い、異臭や異常音がする、煙がでているなど異常を感じたら、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。

- USB-AC アダプター/充電器を濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない
- USB-AC アダプター/充電器を布などで覆った状態で使用しない
- USB-AC アダプター/充電器を分解・改造しない
- USB-AC アダプター/充電器は指定の電源電圧で使用する

警告

製品の取扱いについて

- 可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない
引火・爆発の原因となります。
- ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない
火災・感電の原因となります。
- ファインダーでの撮影時は、定期的に休憩をとる
目の疲労や気分が悪くなったり、乗り物酔いに似た症状が出る場合があります。
必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。
疲労感、不快感などの異常を感じたときには、回復するまでファインダーの使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。
- フラッシュや LED (AF 補助光含む) を人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない
- カメラで日光や強い光を見ない
視力障害をきたすおそれがあります。
- 幼児や子供の手の届く場所に放置しない
次のような事故が発生するおそれがあります。
 - 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
 - 電池などの小さな付属品を飲み込む
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
 - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
 - カメラの動作部でけがをする。
- フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない
- 連続発光後、発光部分に手を触れない
やけどのおそれがあります。
- 分解や改造をしない
感電・けがをするおそれがあります。

- **内部に水や異物を入れない**

火災・感電の原因となります。

万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。

- **本機の温度の高い部分に長時間触れない**

低温やけどのおそれがあります。このような条件での使用が予想される場合は、あらかじめ三脚や手袋などを用意してください。

- **専用の当社製リチウムイオン電池、充電器、USB-ACアダプター以外は使用しない**

発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。

- **通電中のUSB-ACアダプター/充電器、充電中の電池に長時間触れない**

通電中のUSB-ACアダプター/充電器や充電中の電池は、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。

電池の取扱いについて

- **水や海水などの液体で濡らさない**

- **濡れた手で触ったり持ったりしない**

発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。

- **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する**

火災・破裂・発火・発熱の原因となります。

- **外装にキズや破損のある電池は使用しない、またキズを付けない**

破裂・発熱・発火の原因となります。

- **膨れた電池を無理に機器に取り付けない**

発熱、破裂、発火の原因となります。

- **落下や打撃により電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない**

破裂・発熱・発火の原因となります。

- **USB-ACアダプター/充電器や機器に接続時、無理に接続しない**

プラス・マイナスを逆に接続すると、電池が逆に充電され内部で異常な反応が起こり、漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。

- **電子レンジや高压容器などに入れない**

急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。

- **電磁調理器の上や傍らに置かない**

誤って加熱され、発熱、破裂、発火の原因となります。

- **充電中や放電中に可燃物を上に載せたり、覆ったりしない**

発熱、破裂、発火させるおそれがあります。

- **カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない**

- **液漏れや異臭、変色、変形その他異常が発生した場合は使用を中止し、すぐに火気から遠ざける**

火災・感電の原因となります。

お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。

- **電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**

- ・発熱、発火、爆発の可能性があるため、低温環境下でリチウムイオン電池を使用しないでください。

USB-AC アダプターの取扱いについて

- ・コンセントからの抜き差しは、必ず USB-AC アダプター本体を持つ
USB-AC アダプター本体を持たないと、火災・感電の原因となることがあります。

無線 LAN / Bluetooth® 機能について

- ・心臓ペースメーカーを装着している方から 15cm 以上離す
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- ・病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
必ず無線 LAN / Bluetooth® 機能もオフにしてください (P.348)。
- ・航空機内では電源を切る
運行の安全や支障をきたすおそれがあります。必ず無線 LAN / Bluetooth® 機能もオフにしてください (P.348)。

⚠ 注意

製品の取扱いについて

- ・異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する
火災・やけどの原因となることがあります。
やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサービスセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。
(電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け屋外で行ってください。)
- ・濡れた手でカメラを操作しない
故障・感電の原因となることがあります。
- ・カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する
けがや事故の原因となることがあります。
- ・高温になるところに放置しない
部品の劣化・火災の原因となることがあります。

電池の取扱いについて

- ・乳幼児や動物・ペットには、電池の取り扱い、運搬をさせない(舐める、口に入れる、噛む等の危険防止)
- ・電池を使ってカメラを長時間連続使用したあとは、すぐに電池を取り出さない
やけどの原因となることがあります。
- ・長期間ご使用にならない場合は、カメラから電池を外しておく
液漏れ・発熱により、火災・けが・故障の原因となることがあります。
- ・長期間保管する場合は、涼しいところに保管してください。

- 電池は、当社製リチウムイオン電池 1 個を使用します。指定の電池をお使いください。指定以外の電池を使用した場合、爆発（または破裂）の危険があります。
- 当社製リチウムイオン充電電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。

USB-AC アダプターの取扱いについて


- お手入れの際は、USB-AC アダプター本体をコンセントから抜いて行う
USB-AC アダプター本体を抜かないで行くと、感電・けがの原因となることがあります。
- 付属の USB-AC アダプター F-5AC はこのカメラ専用です。
他のカメラに接続して電池を充電することはできません。
- 付属の USB-AC アダプター F-5AC は当社製品以外の機器に使用しないでください。
- プラグインタイプの USB-AC アダプター F-5AC は、コンセントに垂直に正しく据え付けてください。
- AC アダプタの電源プラグは AC アダプタを主電源から切り離すために使用されるため、簡単に取り外しできるコンセントに接続してください。

交換レンズの取り扱いについて

- レンズまたは光学ビューファインダー（外付け）で直接太陽や強い光を見ない
失明や視力障害を起こすことがあります。
- 使用しないときはレンズキャップを付けて保管する
太陽光が入射して、火災の原因になることがあります。

使用上のご注意

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。
次のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
 - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 火気のある場所
 - 水に濡れやすい場所
 - 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。撮像素子の退色・焼きつきを起こすことがあります。
- ファインダーを直射日光や強い光源に向けて放置しないでください。焼きつきを起こすことがあります。
- カメラをご使用の際は、必ず電池/カードカバーを閉じロックをしてください。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。
ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。
使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでカメラを使用すると磁気や電磁波、電波、高電圧の影響で、カメラが誤動作する場合があります。カメラが正常に動作しない場合は、電源を切ってから、電池を抜き差しして再度電源を入れてください。
- カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
- SD/SDHC/SDXC カード以外は、絶対にカメラに入れないでください。
その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- 大切なデータは万が一の場合に備え、パソコン等の他の記録媒体に定期的にバックアップしてください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 三脚を着脱する際は、カメラを回さず三脚のネジを回してください。
- カメラを持ち運ぶ際は、当社純正アクセサリ以外（三脚など）は取り外してください。
- 本体の電気接点部には手を触れないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。
- 水につけたり水をかけたりしないでください。
- 落下したり強い力を加えないでください。
- 各カバーの開け閉めや電池の交換時は、本機の水分を十分拭き取ってから行ってください。

- レンズの可動部で保持しないでください。
 - レンズ面に直接触れないでください。
 - 電気回路接点部に直接触れないでください。
 - 急激な温度変化をかけないでください。
 - カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
次の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
 - ズーム動作を繰り返す。
 - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
 - 長時間、モニターで画像を表示する。
 - 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
 - 電池の端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。
充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。
 - 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用前に必ず充電してください。
 - 一般に電池は低温になるに従って一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときには、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
 - 海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。
 - 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池の排出協力店・排出協力自治体にお持ちください。
 - 詳しくは一般社団法人 JBRC ホームページ (<https://www.jbrc.com>) をご覧ください。
- 
 Li-ion
- モニターは強く押さないでください。
画面上ににじみが残ったり、画像が正しく再生されなくなったり、モニターが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れしないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。
 - モニターの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
 - 被写体が斜めのとき、モニターにギザギザが見えることがありますが、故障ではありません。
記録される画像には影響ありません。
 - 一般に低温になるに従ってモニターは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときには、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下したモニターは、常温に戻ると回復します。
 - 本製品のモニターは、精密度の高い技術でつくられています。一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、モニターの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。

その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報については当社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら当社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

機器認定について

本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵されています。認証ラベルは無線設備に添付されています。次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品の証明ラベルをはがすこと

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業、科学、医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定省電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くでこれらの無線局が運営されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定省電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときは、カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

無線 LAN 機能

本機は、2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS/OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は、40 m 以下です。

2.4DS/OF4

Bluetooth® 機能

本機は、2.4GHz 周波数帯を使用するその他変調方式を採用しており、与干渉距離は、10 m 以下です。

2.4 XX 1

無線 LAN/Bluetooth® 機能の使用について

本製品を購入した地域以外での無線 LAN/Bluetooth® 機能の使用については、その国の電波管理規則に違反する場合がありますので、当社では一切の責任は負えません。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。本装置は、VCCI 協会の運用規程に基づく技術基準に適合した文言、またはマークを画面に電子的に表示しています。表示の操作方法は、取扱説明書の [* カスタムメニュー \[2\] の【認証マーク表示】\(P.289\)](#) に記載しております。

VCCI-B

接続ケーブル、USB-AC アダプター（USB-AC アダプター対応機種のみ）は、必ず、当製品指定のものをお使いください。

指定品以外では、VCCI 協会の技術基準を超えることが考えられます。

商標について

Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

SDXC ロゴは、SD-3C,LLC の商標です。

Apical ロゴは Apical Limited の登録商標です。



Micro Four Thirds/Four Thirds および Micro Four Thirds/Four Thirds ロゴマークは OM デジタルソリューションズ株式会社の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。

Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、OM デジタルソリューションズ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。なお、本文中には TM、® マークは明記していない場合があります。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NONCOMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

このカメラの内部のソフトウェアは第三者作成のソフトウェアを含んでいます。第三者作成のソフトウェアは、その所有者または著作権者により所定の条件が課せられており、その条件に基づいてあなたに配布されています。この条件の中であなたに告知するものがある場合には、次の URL のウェブサイトに必要な応じて準備された software notice PDF ファイル内に見出すことができます。

<https://cs.olympus-imaging.jp/en/support/msgs/digicamera/download/notice/notice.cfm>



OMデジタルソリューションズ株式会社

インターネットでの情報入手

<https://om-digitalsolutions.com/>

「OM デジタル」でインターネット検索するか、上記 URL または QR コードよりご確認ください。



最新サポート情報

アクセサリ対応情報やよくあるご質問（Q&A）、各種最新情報は QR コードよりご確認ください。



※記載内容は変更されることがあります。